

実行予算書作成システム
実行予算 Light

利用者マニュアル

協栄産業株式会社

はじめに

このたびは、実行予算 Light をご導入いただき誠にありがとうございます。
本マニュアルは、実行予算 Light の操作について参照することができます。
マニュアルは、以下の 2 章から構成されています。

第 1 章 パッケージのセットアップ

第 2 章 実行予算 Light の機能

第 3 章 実行予算 Light の操作

目次

第1章 パッケージのセットアップ

1.1 セットアップの前に	1 - 1
1.2 セットアップ	1 - 2
1.3 実行予算 Light について	1 - 6

第2章 実行予算 Light の機能

2.1 システムの特徴	2 - 1
2.2 システムの機能	2 - 1

第3章 実行予算 Light の操作

3.1 システム操作の前に	3 - 1
3.1.1 システムの起動	3 - 1
3.1.2 メニュー体系	3 - 2
3.1.3 処理メニューとツールボタン	3 - 7
(1) 処理メニュー	3 - 7
(2) ツールボタン	3 - 9
(3) ツールボタンの配置変更	3 - 9
3.1.4 ポップアップメニュー	3 - 10
3.1.5 ファンクションキー機能	3 - 11
(1) 編集画面で使用できるFキー	3 - 11
(2) 編集画面以外で使用できるFキー	3 - 12
3.1.6 自動日本語入力機能	3 - 12
(1) 人為的な日本語入力の起動または終了	3 - 12
(2) 自動起動する日本語入力システム	3 - 12
3.1.7 金額計算について	3 - 13
3.1.8 マスタファイルについて	3 - 13
3.1.9 物件（内訳書）編集時の自動保存について	3 - 13
3.2 システム操作	3 - 15
3.2.1 ログイン	3 - 15
(1) ログイン情報入力及び実行	3 - 15
3.2.2 工事概要の新規作成・修正・検索	3 - 15
(1) 工事概要新規作成でデータを作成し入力する	3 - 15
(2) 工事概要を修正する	3 - 17
(3) 工事概要を検索する	3 - 18
3.2.3 ファイルの新規作成	3 - 20
(1) 新規にデータを入力する	3 - 20
3.2.4 ファイルを編集する	3 - 21

(1) ファイルを開く	3 - 21
(2) 別フォルダを開く	3 - 21
(3) ファイルの備考入力について	3 - 22
3.2.5 内訳書の作成	3 - 23
(1) 階層構造について	3 - 23
(2) 編集モードと参照モードについて	3 - 24
(3) 集計階層の直接入力	3 - 24
(4) 明細及び別紙明細階層の直接入力	3 - 26
(5) 下階層の作成	3 - 27
(6) 数量欄の計算式入力	3 - 28
(7) 階層の移動	3 - 29
(8) 編集メニューの機能	3 - 30
(9) マスタ参照機能	3 - 51
(10) Excel 貼付機能	3 - 57
3.2.6 処理メニュー 表示(V)の機能	3 - 63
(1) 階層移動	3 - 63
(2) 階層移動TREE	3 - 63
(3) 標準表示と全単価表示	3 - 63
(4) 単価切替	3 - 65
(5) 印刷改頁行確認	3 - 65
(6) 部位表示	3 - 66
(7) 数量欄切替	3 - 67
(8) 明細行切替	3 - 67
(9) 要素表示	3 - 69
(10) 入力不可項目	3 - 69
(11) 付箋	3 - 70
(12) 列幅戻す	3 - 71
(13) 値引データ入力	3 - 72
(14) 金額合計表示	3 - 73
(15) ズーム	3 - 73
(16) 列非表示設定	3 - 74
(17) ツールバー	3 - 74
3.2.7 処理メニュー 明細(S)の機能	3 - 75
(1) コード表示	3 - 75
(2) 行属性	3 - 75
(3) 計算式入力	3 - 78
(4) 計算式クリア	3 - 78
(5) 要素入力	3 - 79
(6) 要素残計算	3 - 79
(7) 割掛	3 - 80
(8) シミュレーション	3 - 82
(9) 再計算	3 - 89
(10) 単位替え	3 - 90
(11) 単価チェック	3 - 90
(12) 数量チェック	3 - 91
(13) 数量=0行削除	3 - 91

(14)	SEQ並び替え	3 - 93
(15)	名称・規格欄文字数変換	3 - 94
(16)	総括表編集	3 - 99
(17)	実施予算書編集	3 - 102
3.2.8	処理メニュー 印刷(P)の機能	3 - 107
(1)	全印刷	3 - 108
(2)	表示階層印刷	3 - 108
(3)	下階層印刷	3 - 109
(4)	印刷実行ウィンドウ	3 - 110
(5)	プリンタ	3 - 125
3.2.9	処理メニュー ウィンドウ(W)の機能	3 - 126
(1)	ウィンドウ(W)メニューと機能	3 - 126
3.2.10	処理メニュー オプション(O)の機能	3 - 127
(1)	カーソル移動の制御	3 - 127
(2)	名称欄文字数・規格欄文字数	3 - 127
(3)	マスタ変更	3 - 128
(4)	付箋	3 - 129
(5)	その他設定	3 - 129
3.2.11	処理メニュー ファイル(F)の機能	3 - 131
(1)	新規作成	3 - 131
(2)	開く	3 - 131
(3)	閉じる	3 - 132
(4)	上書き保存	3 - 132
(5)	名前を付けて保存	3 - 132
(6)	標準TXT出力	3 - 133
(7)	標準CSV出力	3 - 135
(8)	終了	3 - 136
(9)	標準TXTフォーマットレイアウト	3 - 137
(10)	標準CSVフォーマットレイアウト	3 - 143
(11)	実行予算標準CSVフォーマットレイアウト	3 - 157
3.2.12	メインメニューの機能	3 - 168
(1)	ファイル(F)の機能	3 - 168
(2)	表示(V)の機能	3 - 169
(3)	工事概要管理(K)の機能	3 - 170
(4)	物件管理(B)の機能	3 - 178
(5)	マスタ管理(M)の機能	3 - 188
(6)	外部入出力(G)の機能	3 - 206
(7)	オプション(O)の機能	3 - 226

付 録

1.	BCS入力 エラーメッセージについて	付 - 1
----	--------------------	-------

第 1 章

第1章 パッケージのセットアップ

1. 1 セットアップの前に

1.1.1 必要なハードウェア、ソフトウェア

(1) ハードウェア

- | | |
|-------------|---|
| ①パソコン本体 | Windows7/8/8.1/10(32bit または 64bit)が正常に稼動するパソコン |
| ②メモリ | 2GB以上を推奨 |
| ③ハードディスク | 1GB以上推奨 |
| ④CD-ROMドライブ | |
| ⑤ディスプレイ | 1,024×768ドット以上の解像度を推奨 |
| ⑥プリンタ | Windows7/8/8.1/10(32bit または 64bit)で使用可能なプリンタ
かつ印刷可能領域が上下左右とも
周囲5mm範囲まで印刷可能なプリンタ |
| ⑦マウス | Windows7/8/8.1/10(32bit または 64bit)で使用可能なマウス |

ご注意 必要メモリ容量、ハードディスク容量はシステム環境により異なる場合がありますのでご注意ください。

(2) ソフトウェア

- | | |
|-----|------------------------------------|
| ①OS | Windows7/8/8.1/10(32bit または 64bit) |
|-----|------------------------------------|

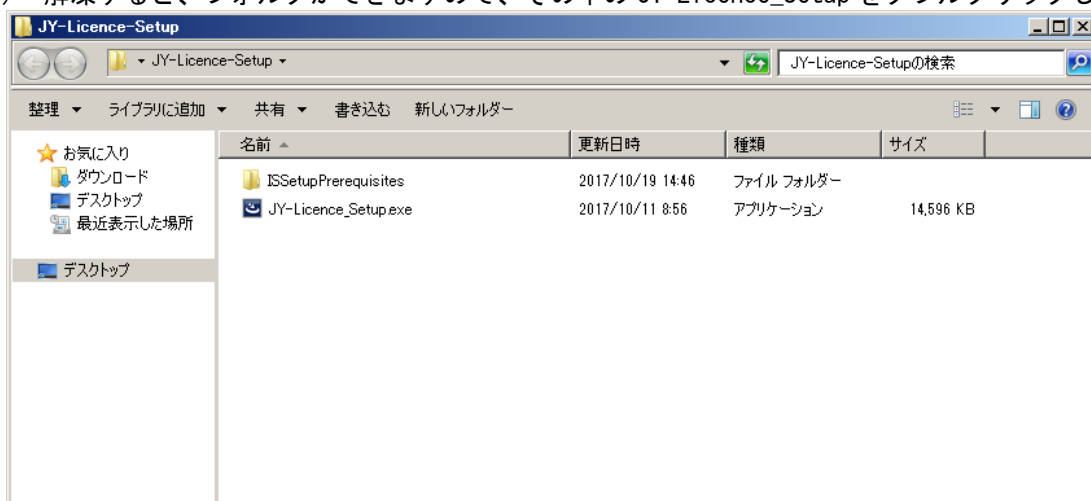
1.1.2 ディスプレイのフォントサイズについて

ディスプレイのフォントサイズは「小さいフォント」を使用して下さい。「大きいフォント」または「カスタムフォント」を使用した場合、全体的に大きく表示されるなど、正常な画面表示になりません。フォントサイズの設定につきましては、画面のプロパティで確認または変更できます。(変更していない場合、初期設定は「小さいフォント」になっています。)

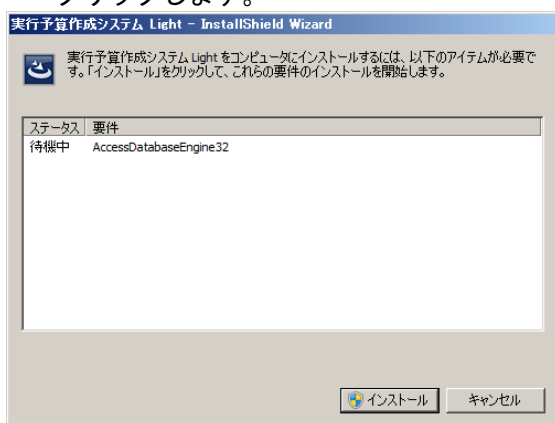
1. 2 セットアップ

1.2.1 セットアップの手順（新規でインストール）

- (1) 取得したセットアップ用圧縮ファイル（JY-Licence_Setup.zip）を解凍します。
- (2) 解凍すると、フォルダができますので、その中の JY-Licence_Setup をダブルクリックします。



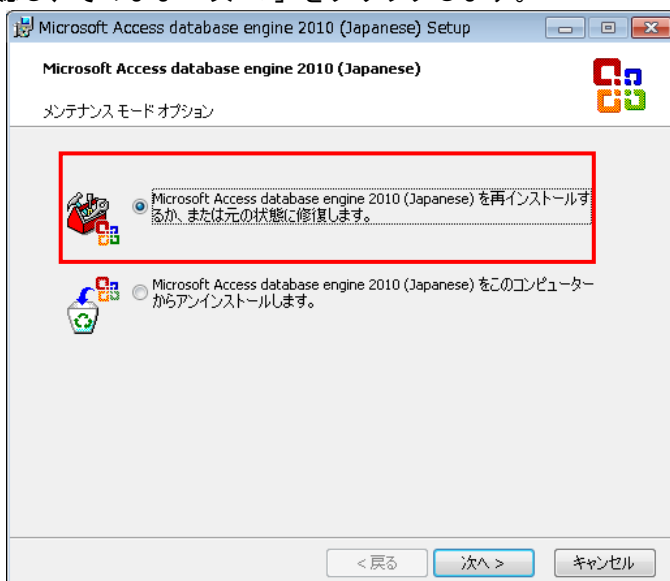
- (3) 最初にデータベースエンジンのインストール画面が表示されるので、[インストール]をクリックします。



- (4) 使用許諾契約書画面が表示されるので、「使用許諾契約書の条項に同意します」にチェックをつけ、[次へ(N)]をクリックします。

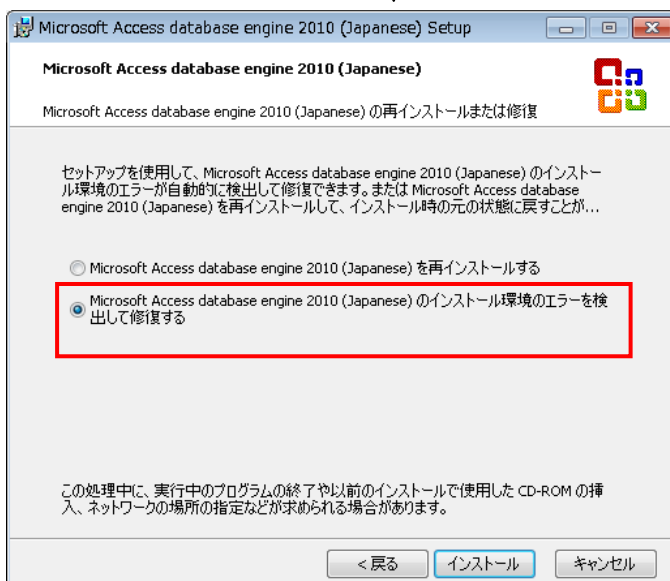


※使用許諾確認契約書画面が表示されず、以下の画面が表示される時は、上側が選択されていることを確認し、そのまま「次へ>」をクリックします。

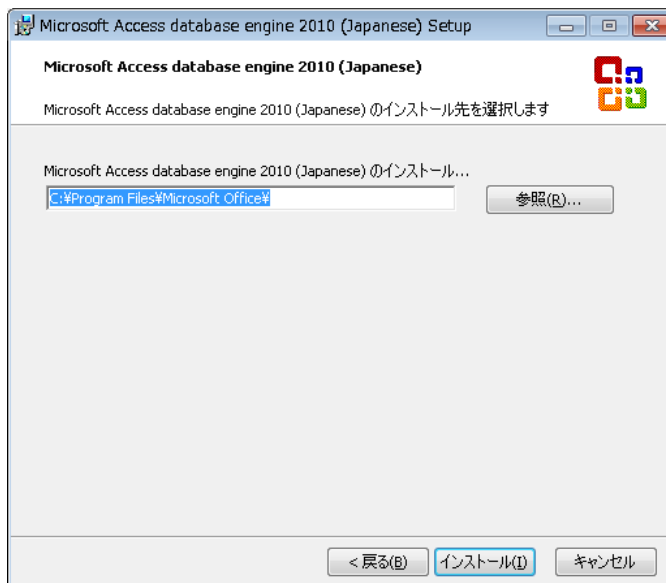


続けて表示される以下の画面でも、[インストール]をクリックします。

(どちらが選択されいても構いませんが、時間節約のため、下段を選択します)



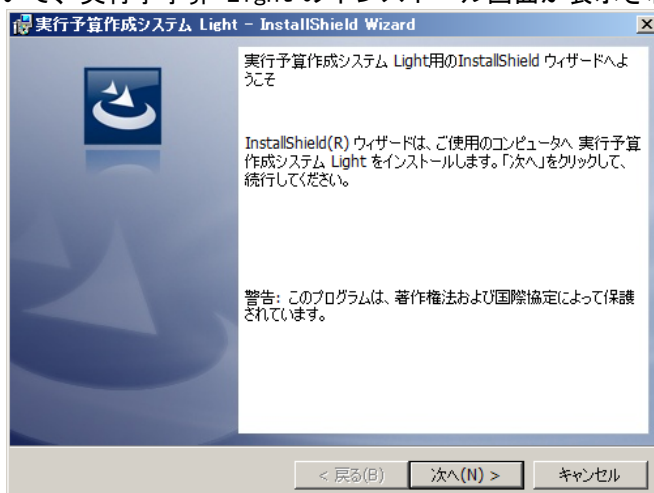
(5) インストール先のフォルダ確認画面が表示されるので、そのまま[インストール]をクリックします。



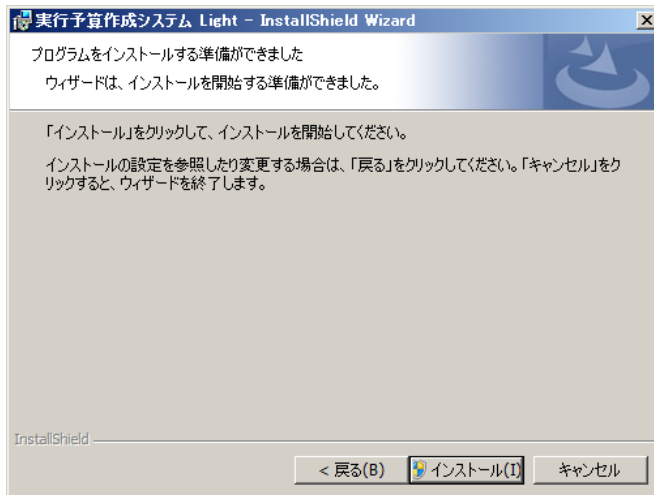
(6) データベースエンジンのインストールが終了すると、以下のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



(7) 続いて、実行予算 Light のインストール画面が表示されるので、[次へ(N)]をクリックします。



(8) 以下の画面が表示されるので、[インストール]をクリックします。



(9) 終了すると、以下の画面が表示されるので[完了]をクリックします。



1.2.2 システムを削除する場合

インストール済みの実行予算 L i g h t を削除したい場合に以下手順で行えます。

[コントロールパネル] の [プログラムのアンインストール] で、「プログラムと機能」の画面を表示します。

一覧より '実行予算 L i g h t' を選んで、右クリックでアンインストールを選択します。

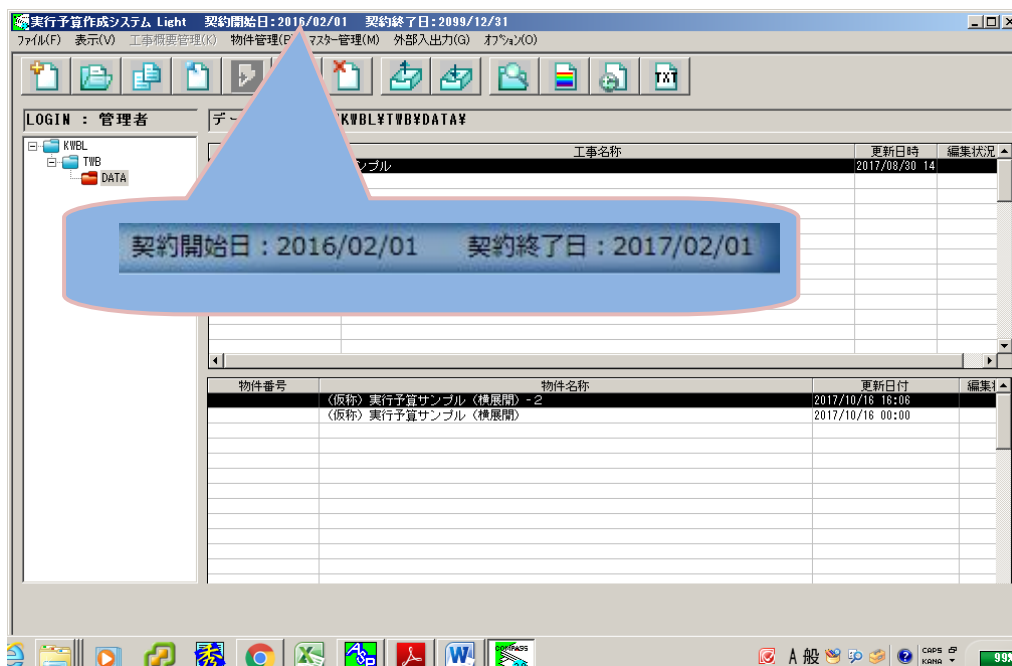
共有ファイルの削除確認が表示された場合 'すべていいえ' を選択して下さい。

1. 3 実行予算 Lightについて

実行予算 Lightは、契約に基づいて利用期限が設けられています。
利用期限を過ぎると、継続してご利用できなくなります。
継続してご利用になるには、更新手続きを行ってください。

① 利用期限の確認

画面の上に利用期限が表示されています。



第 2 章

第2章 実行予算 Light の機能

2. 1 システムの特徴

- ・ 階層構造を16階層持ち、集計、明細及び別紙明細階層で構成されています。
- ・ データの編集はWindowsの表計算的操作性を実現しました。
- ・ シミュレーション機能により、単価または数量単位で掛け率を設定し一律に見積金額を変更することができます。
- ・ 実行予算書、総括表、実施予算書の印刷が可能です。また、印刷イメージを画面に表示し確認できます。
- ・ 外部データの入力方法として、テキスト形式、BCS形式及びEXCELファイルの取込みができます。
- ・ 外部へデータを渡す方法として、テキスト形式、CSV形式、BCS形式の出力ができます。

2. 2 システムの機能

(1) データの入力

- ①画面より入力 新規に内訳ファイルの作成ができます。第1階層の集計階層より順に作成し、明細階層及び別紙明細階層の入力ができます。
- ②COMPASS 標準TXT COMPASS 標準TXT (Ver6 及び Ver7) のファイルを取り込みます。また、実行予算標準TXTファイルも取り込みます。
- ③BCS CSV ファイル 社団法人建設業協会作成のBCS CSV仕様に則ったCSVファイルを取り込みます。
- ④Excel ファイル 列及び行の情報を設定し、Excelファイルを取り込みます。

(2) 編集機能

- ①内訳書構成
 - ・ 集計階層 種目、科目等の集計項目の階層を構成します。最大15階層まで作れます。1階層99行まで入力できます。
 - ・ 明細階層 集計階層の下に内訳明細項目を設定できます。1集計階層に3000行の明細を入力できます。
 - ・ 別紙明細階層 明細階層の内訳明細項目の下に設定できます。単位当たりの単価設定ができますので歩掛的な使用ができます。
- ②編集項目 集計、明細、及び別紙明細階層ともに、名称、規格、数量、単位、単価、金額、及び備考の入力をおこなえます。単価については、材料、労務など最大6要素の入力が可能です。また、数量、単位、単価、金額については3セット持っています。
- ③行の属性 各行には、明細行、コメント行、小計行、中計行、大計行、参考計行、関係切行等の行属性を設定できます。
- ④内部コード 各行は、種目、科目、集計、名称、規格のコード欄を持っています。名称マスターを選択したときコードがセットされます。また、直接入力が可能です。

(3) 出力帳票

①社内用

- ・コードチェックリスト

A4版サイズ横に内部コード付きで見積書を作成します。

②実行予算書

- ・実行予算書横

A4版サイズ横で、材料、労務などの要素単価を横展開した実行予算書を作成します。

- ・実施予算書

A3版サイズ横の表紙・総括表・大内訳を作成します。

- ・総括表

A4版サイズ横で、Aタイプ、Bタイプから選択できます。

(4) 外部データ出力

①テキスト形式出力

内訳ファイルをテキスト形式でファイル出力します。

②CSV形式出力

内訳ファイルをCSV形式でファイル出力します。

③BCS CSV ファイル

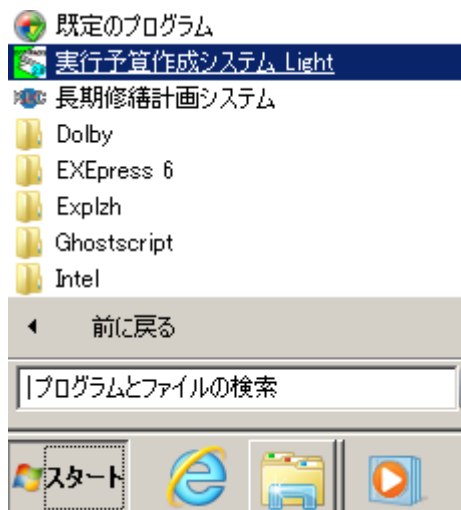
社団法人建築業協会関西支部作成のBCS CSV仕様に則ったCSVファイルを出力します。

第 3 章

第3章 実行予算 Light の操作

3. 1 システム操作の前に

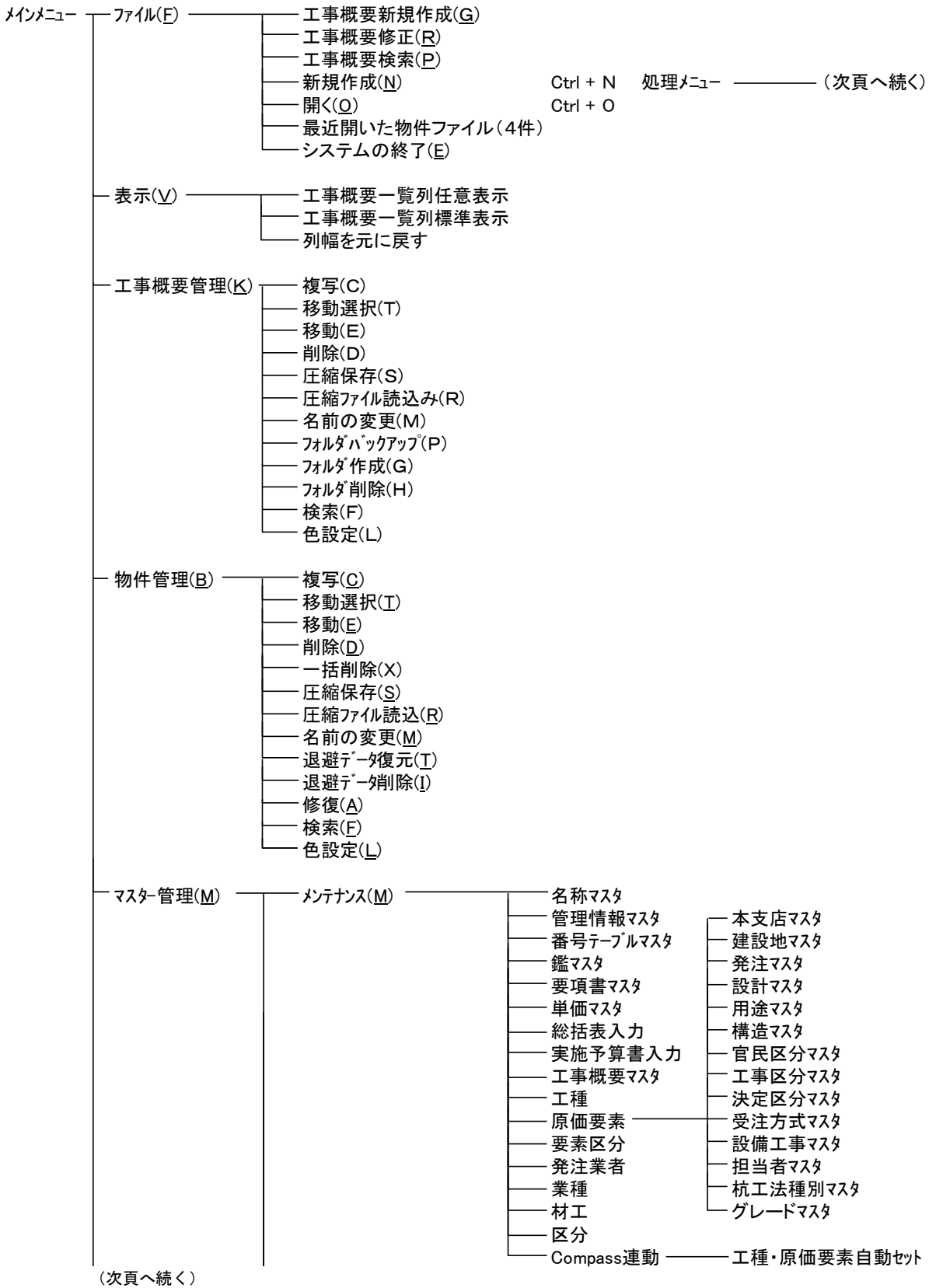
3. 1. 1 システムの起動



セットアップが完了すると、実行予算システムのメニューならびに、デスクトップ画面にショートカットアイコンが登録されます。

Windowsのスタート、すべてのプログラムの順で表示し、システムを起動して下さい。
または、デスクトップ画面のショートカットアイコンをダブルクリックすることで起動します。

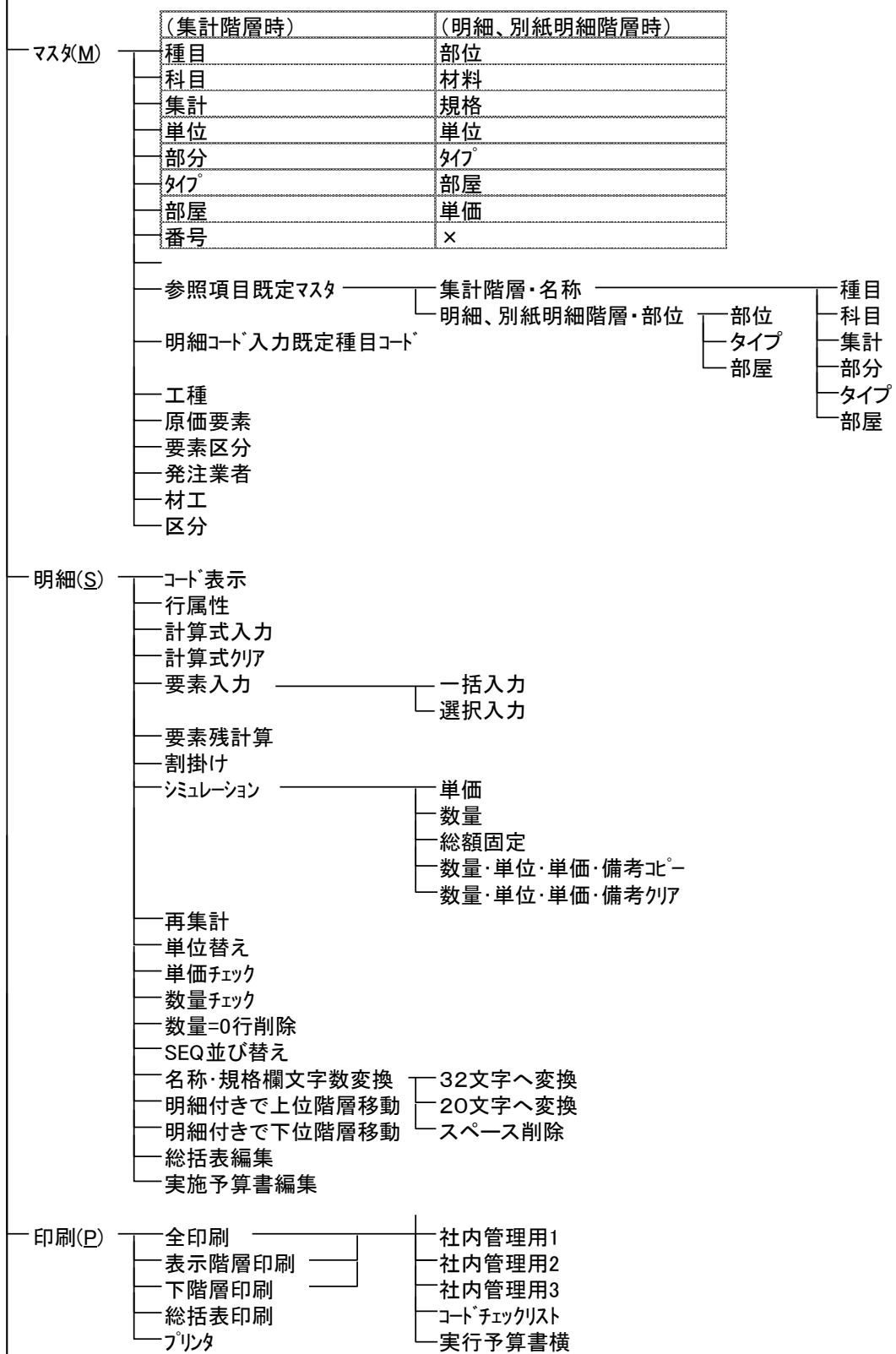
3. 1. 2 メニュー体系



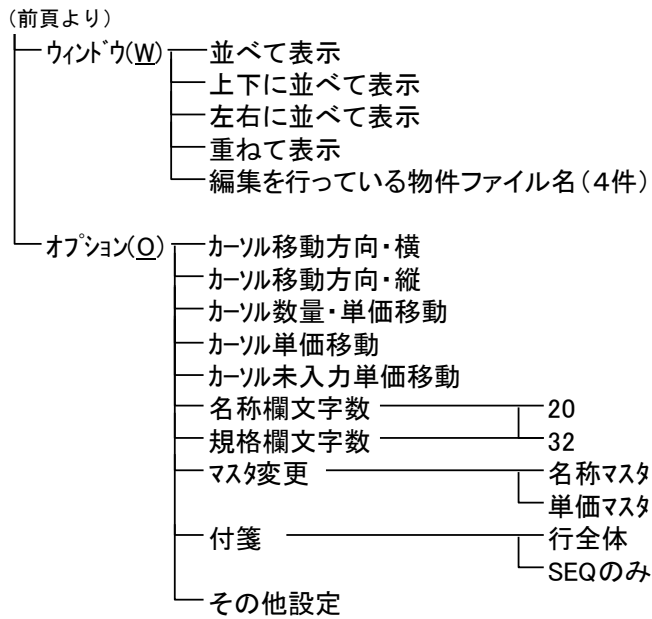


(次頁へ続く)

(前頁より)



(次頁へ続く)



<処理メニューの説明>

- ファイル(F) : 保存、閉じる、TXT 出力、CSV 出力、EXCEL 出力、終了など、ファイル処理関連の操作をおこないます。
- 編集(E) : 内訳書編集、入力時のコピー、貼り付け、明細一括処理など編集処理関連の操作をおこないます。
- 表示(V) : 階層移動、画面切替など表示関連の操作をおこないます。
- マスタ(M) : マスタ参照関連の操作をおこないます。
- 明細(S) : シミュレーション、コード表示、鑑編集、要項書編集などの操作をおこないます。
- 印刷(P) : 印刷関連の操作をおこないます。
- ウィンドウ(W) : 2 物件以上を同時に編集していた場合の物件表示切替をおこないます。
- オプション(O) : カーソルの移動、使用マスタの変更、名称/規格入力文字数の変更などをおこないます。

3. 1. 3 処理メニューとツールボタン

物件を開き編集画面が表示されると、画面上部にメニューバーと各種ボタンが表示されます。これらを処理メニューとツールボタンと呼びます。

処理メニューとツールボタン



- 1: ファイル操作関連ボタン 2: 表示操作関連ボタン 3: 編集/参照モード切替ボタン 4: 印刷操作関連ボタン
5: Excel 出力ボタン 6: 単価シミュレーションボタン 7: 割掛けボタン 8: カーソル移動関連ボタン
9: 行属性操作関連ボタン 10: 編集操作関連ボタン 11: マスタ参照ボタン 12: UNDO/REDO ボタン 13: 付箋機能ボタン

(1) 処理メニュー

- ファイル(F) : 保存、閉じる、TXT 出力、CSV 出力、終了等、ファイル処理関連の操作がおこなえます。
- 編集(E) : 内訳書編集、入力時のコピー、貼り付けなど編集処理関連の操作がおこなえます。
- 表示(V) : 階層移動、画面切替など表示関連の操作がおこなえます。
- マスタ(M) : マスタ参照関連の操作がおこなえます。
- 明細(S) : シミュレーション、コード表示、鑑編集、要項書編集等の操作がおこなえます。
- 印刷(P) : 印刷関連の操作がおこなえます。
- ウィンドウ(W) : 2 物件以上を同時に編集していた場合の物件表示切替がおこなえます。
- オプション(O) : カーソルの移動、使用マスタの変更がおこなえます。

処理メニューの詳細につきましては「3. 1. 2 メニュー体系」の処理メニューをご覧ください。

また、編集処理以外の、シミュレーション、コード表示、部分印刷画面等ではその処理に対応した、メニュー構成に変わります。

(2) ツールボタン

処理メニューの中から、内訳書作成時に使用頻度が高いと思われる処理をボタンにしたものです。

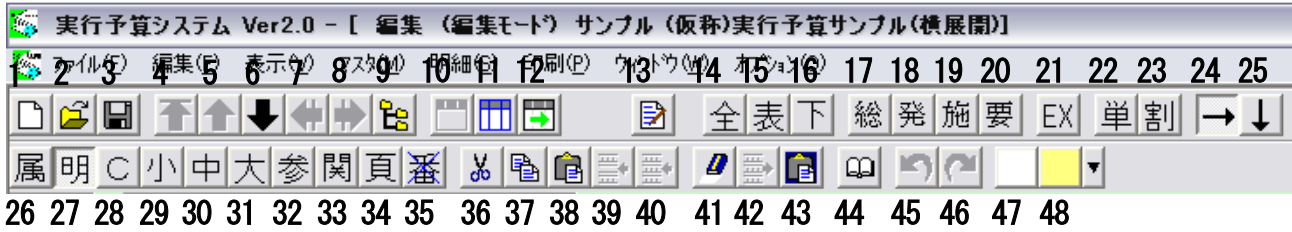
ツールボタンは主に処理メニューのファイル、表示、編集、明細（行属性）、マスタメニューに含まれる操作がおこなえます。処理がおこなえるボタンについてはボタン自身が鮮明に表示され、処理がおこなえないボタンについては、不明瞭に表示されます。行属性操作関連ボタンにつきましては、選択されている行の行種別が凹状態で表示され、行種別を変更する場合にそれ以外の凸状態のボタンを押すことで変更できます。

また、画面操作中にボタンにマウスをあわせると、そのボタンがおこなう処理内容を5秒程度表示します。

編集画面以外の、シミュレーション、コード表示、部分印刷画面等ではその画面に対応した、ボタン構成に変わります。

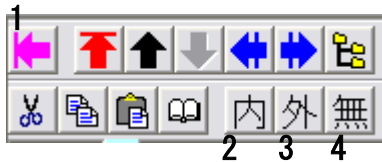
以下に個々のボタンについて説明します。

編集画面で使用できるボタン (横展開)



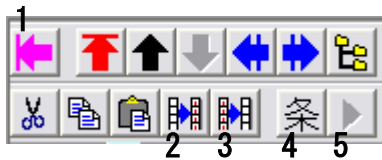
- 1:新規作成 2:開く 3:上書き保存 4:最上位階層へ 5:上位階層へ 6:下位階層へ 7:前の親階層へ
- 8:後の親階層へ 9:TREE 表示 10:標準表示 11:全単価表示 12:単価切替 13:編集/参照モード切替
- 14:全印刷 15:表示階層印刷 16:下階層印刷 17:総括表印刷 18:工事発注計画書印刷 19:実施予算書印刷
- 20:実行予算書横印刷 21:Excel 出力 22:単価シミュレーション 23:割掛け 24:カーソル移動方向・横
- 25:カーソル移動方向・縦 26:行属性 27:明細属性 28:コメント属性 29:小計属性 30:中計属性
- 31:大計属性 32:参考計属性 33:関係切属性 34:改頁属性 35:番号無し 36:切り取り 37:コピー
- 38:貼り付け 39:行挿入 (空白) 40:行挿入 (コピー) 41:クリア 42:行削除 43:繰返複写 44:マスタ参照
- 45:元に戻す 46:やり直す 47:付箋色クリア 48:付箋色設定

コード編集画面で使用できるボタン



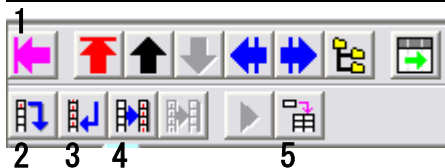
- 1:編集画面に戻る 2:内部部位データ 3:外部部位データ 4:内外区分なしデータ

シミュレーション画面で使用できるボタン



- 1:編集画面に戻る 2:全選択 3:全選択解除 4:条件 5:実行

表示階層、下階層印刷画面で使用できるボタン



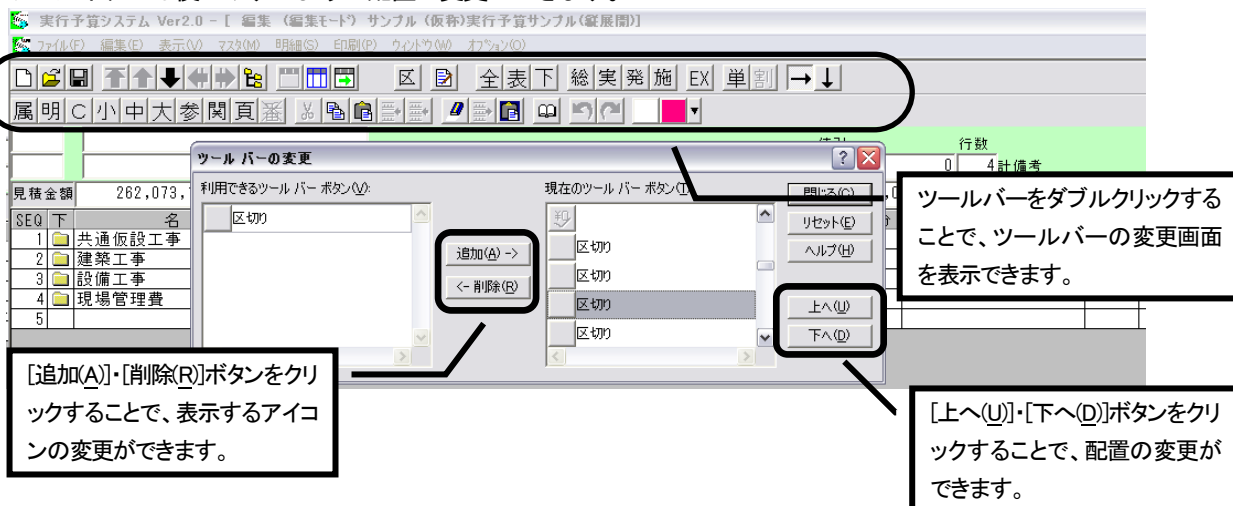
- 1:編集画面に戻る 2:選択始め 3:選択終り 4:全選択 5:下階層印刷へ

注) ここでの表示例は表示階層印刷です。下階層印刷の場合、この位置が「表示階層印刷へ」ボタンになります。

その他、単価マスタ自動セット、数量=0行削除、及びSEQ並び替え画面においても、これらのボタンのうちそれぞれの画面に必要なボタンが使用できます。

(3) ツールボタンの配置変更

ツールボタンは使いやすいように配置の変更ができます。



[表示(V)]メニューの [ツールバー] を実行する、
または、ツールバーをダブルクリックすると上記の画面が表示されます。

- ・ [利用できるツールバーボタン(V)] は追加できるボタンの一覧です。
[追加(A)] ボタンをクリックすると、[現在のツールバーボタン(T)] に追加できます。
- ・ [現在のツールバーボタン(T)] は現在表示されているボタンの一覧です。
[削除(R)] ボタンをクリックすると、[現在のツールバーボタン(T)] から削除されます。
- ・ [上へ(U)] ボタンをクリックすると、左隣のボタンと配置が変更されます。
- ・ [下へ(D)] ボタンをクリックすると、右隣のボタンと配置が変更されます。
- ・ [区切り] ボタンを追加すると、ボタンとボタンの間に間隔を入れることができます。
- ・ [リセット(E)] ボタンをクリックすると、変更を元に戻すことができます。
- ・ [閉じる(C)] ボタンをクリックすると、編集画面に戻ります。

3. 1. 4 ポップアップメニュー

編集画面を始め、各画面においてマウスを右クリックすると、その位置に画面に対応したメニューが表示されます。これをポップアップメニューと呼びます。

ポップアップメニューで表示される内容は画面により異なりますが、主にコピー、貼り付けなどの[編集(S)]メニューの処理、階層移動などの[表示(S)]メニューの処理、マスタ参照処理がおこなえます。以下に、編集画面でのポップアップメニュー表示例を示します。

編集画面におけるポップアップメニュー

実行予算システム Ver2.0
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V)
 属明 C 小 中 大 関

建築工事 値引 行數
 0 22 計備考

見積金額 240,260,114 階層計 建築

計 190,506,192 190,506,192

SEQ 下 名称

1 1 建築工事

2 2 1 1 式 0 9,514,893

3 3 1 1 式 928,729 928,729

4 4 1 1 式 0 15,598,003

5 5 1 1 式 0 17,599,457

6 6 1 1 式 0 23,870,811

7 7 1 1 式 0 23,869,983

8 8 1 1 式 0 88,005

9 9 1 1 式 0 3,189,977

10 10 1 1 式 0 2,199,973

11 11 1 1 式 0 3,300,114

12 12 1 1 式 0 1,100,106

13 13 1 1 式 0 4,786,584

14 14 1 1 式 0 4,730,791

15 15 1 1 式 0 714,999

16 16 1 1 式 21,813,036 21,813,036

17 17 1 1 式 0 106

18 18 1 1 式 0 852

19 19 1 1 式 0 830

20 20 1 1 式 0 22,000,025

21 21 1 1 式 0 12,100,008

22 22 1 1 式 0 12,100,008

マスタ参照
 上位階層へ
 下位階層へ
 前の階層へ
 次の階層へ
 最上位階層へ
 切り取り
 コピー
 貼り付け
 行挿入(空白)
 編修様式
 行削除
 クリア
 Excelへ
 Excel貼り付け
 Excel行挿入(貼付)
 行保存
 割掛け
 マウス変換
 計算式入力
 計算式クリア

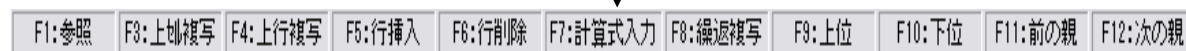
ポップアップメニュー

下列で右クリックすると、計属性変更のポップアップメニューが表示します。

3. 1. 5 ファンクションキー機能

ファンクションキー（Fキー）を使用して、処理メニュー、ボタン、及びポップアップメニューの一部操作がおこなえます。使用できるFキーは画面ごとに異なりますが、表示している画面で使用できるFキーについては、画面最下段にガイダンス表示されます。

Fキーガイダンス



以下に使用法及び内容を記述します。

(1) 編集画面で使用できるFキー

F 1 : マスタ参照

マスタ参照可能な項目でF 1キーを押すと、該当のマスタを表示します。
 詳細につきましては、「3. 2. 5 内訳書の作成 (9) マスタ参照機能」をご覧ください。
 同様の操作は、ボタン及びポップアップメニューの [マスタ参照] です。

F 2 : 編集

項目が選択されている状態でF 2キーを押すと、選択していた項目の編集（入力）状態になります。
 同様の操作は、マウスのダブルクリックです。

F 3 : 上セル複写

項目（セル）が選択または入力状態にあるとき、その直前行の同一項目を複写します。
 この機能は、Fキーのみで可能です。

F 4 : 上行複写

項目が選択または入力状態にあるとき、その直前行とまったく同じ内容を1行複写します。
 この機能は、Fキーのみで可能です。

F 5 : 行挿入

項目が選択または入力状態にあるとき、その行の上に空白行を1行作成します。
 同様の操作は、[編集(S)]メニュー、ボタン及びポップアップメニューの [行挿入 (空白)] です。

F 6 : 行削除

項目が選択または入力状態にあるとき、その行を削除します。
 同様の操作は、SEQ項目を選択しておこなう、[編集(S)]メニュー、ボタン、及びポップアップメニューの [行削除] です。

F 7 : 計算式入力

項目が選択または入力状態にあるとき、そのセルに計算式を入力するダイアログを表示します。
数量または単価のセルの上で実行されます。
同様の操作は、右クリックのポップアップメニューの計算式入力です。

F 8 : 繰返複写

項目が選択または入力状態にあるとき、その行と規格複数行を複写します。
同様の操作は、右クリックのポップアップメニューの[繰返複写]です。

F 9 : 上位

上位階層へ移動します。
同様の操作は、[表示(V)]メニュー、ボタン、及びポップアップメニューの[上位階層へ]です。

F 10 : 下位

項目が選択または入力状態にあるとき、その行の下位階層に移動します。
同様の操作は、[表示(V)]メニュー、ボタン、及びポップアップメニューの[下位階層へ]です。

F 11 : 前の親

表示している階層の親階層から1行前の下位階層に移動します。
同様の操作は、[表示(V)]メニュー及びボタンの「前の親階層へ」です。

F 12 : 次の親

表示している階層の親階層から1行後ろの下位階層に移動します。
同様の操作は、[表示(V)]メニュー及びボタンの「次の親階層へ」です。

(2) 編集画面以外で使用できるFキー

編集画面以外の、シミュレーション、コード表示、部分印刷画面等ではその画面に対応した、Fキー構成に変わります。編集画面以外では、その画面で必要なFキーが選択され、さらにF7、F8キーが以下の処理に変わります。

F 7 : 条件

シミュレーションなどの条件を表示します。
同様の操作は、[表示(V)]メニュー及びボタンの[条件]です。

F 8 : 実行

表示している画面の処理を実行します。
同様の操作は、[表示(V)]メニュー及びボタンの[実行]です。

3. 1. 6 自動日本語入力機能

編集画面において、数量項目（数量、単価、金額）以外は自動的に日本語（かな漢字）入力になります。この機能は項目入力が発生したときに、日本語入力を起動させる機能です。従いまして、キーボードまたはマウスを使用しての日本語入力の起動及び終了は、編集画面においては不要です。この機能に関しましての注意すべき事柄があります。以下に示しますのでご確認の上、ご使用下さい。

(1) 人為的な日本語入力の起動または終了

編集画面においてキーボードまたはマウスにより日本語入力を起動または終了おこなった場合、自動日本語入力機能が正常に動作しない場合があります。

(2) 自動起動する日本語入力システム

日本語入力システム（ソフト）が複数セットアップされ、それらが切替により正常に使用できる場合、自動起動するシステムは、実行予算 Light が起動時に選択されている日本語入力システムです。また、本システム起動後に、日本語入力システムの選択を変更した場合、本システムが終了するまで、変更した日本語入力システムを自動起動します。

注) 日本語入力システムは他社メーカーが作成したシステムです。当社製品でないため日本語入力システムについての操作、詳細などのお問い合わせに対しましては、お答えしかねる場合がございます。メーカーが提供するヘルプを参照いただくか、メーカーまたはご使用のパソコンメーカーのサポートにお問い合わせ下さい。

3. 1. 7 金額計算について

数量、単位、単価、金額、及び備考は1行のデータに対してそれぞれ3セット入力することが可能です。これらの入力は単価切替または全単価表示をおこなうことで入力できます。詳しい手順につきましては(3) 標準表示と全単価表示参照をご覧ください。

各行の金額計算は「数量 × 単価 = 金額 (小数以下切り捨て)」をそれぞれ独立しておこないます。各行で計算されたそれぞれの金額を階層単位で合計し、その合計金額を親階層のそれぞれの単価に積み上げます。親階層では、その積み上がった単価に対して金額計算をおこないます。ただし、親階層の数量が「1」の場合、単価には積み上げず金額に直接集計されます。

これら計算はすべて自動でおこないます。

3. 1. 8 マスタファイルについて

実行予算 Light では以下のマスタを使用します。
内訳名称マスタ、単価マスタ、及び管理情報マスタです。このうち内訳名称マスタと単価マスタについては、ファイルを複製して、別のマスタを作成して使用することも可能です。

・内訳名称マスタ

内訳書作成時、項目の名称を参照入力する場合に使用するファイルです。
既定値としてこのファイル名で提供しています。使用者のオリジナルマスタを作成したい場合、このファイルを複製して別ファイルを作成し、そのファイルを使用することも可能です。
このファイルには種目、科目、集計、部位、材料、規格、タイプ、部分、及び部屋名称が登録されています。

・単価マスタ

内訳書作成時、単価の参照入力に使用するファイルです。
既定値としてこのファイル名で提供しています。使用者のオリジナルマスタを作成したい場合、このファイルを複製して別ファイルを作成し、そのファイルを使用することも可能です。

・管理情報マスタ

このファイルはシステムの既定値などを管理するファイルです。システム起動時に必ず必要なファイルであり、このファイル名でのみ存在しなくてはなりません。
ファイルの内容としては、システムの既定値、新規物件作成時の既定値、及び番号マスタです。

3. 1. 9 物件（内訳書）編集時の自動保存について

物件（内訳書）編集時は、以下のタイミングにより、表示している階層のデータを自動保存します。

- ・ 行削除、行の貼り付け、行挿入（空白）、および行挿入（コピー）を実行したとき。
- ・ 階層移動したとき。
- ・ TREE表示を実行したとき。
- ・ コード編集を選択したとき。
- ・ 各シミュレーション処理を選択したとき。
- ・ 再集計を実行したとき。
- ・ 単位替えを選択したとき。
- ・ 数量=0行削除を選択したとき。
- ・ SEQ並び替えを選択したとき。
- ・ 名称・規格欄文字数変換を選択したとき。

- ・全印刷、および頁指定印刷を実行したとき。
- ・表示階層印刷、および下階層印刷を選択したとき。

何らかの影響により、システムが正常に終了しなかった場合、上記作業をおこなっていた状態まではデータが保存されています。

3. 2 システム操作

3. 2. 1 ログイン認証

システム起動の際、契約番号、パスワード、ユーザー名を入力します。

(1) ログイン情報入力及び実行

ログイン認証画面

ログイン認証画面のスクリーンショット。契約番号、パスワード、ユーザー名を入力し、OKボタンをクリックする。

契約番号、パスワード、ユーザー名を入力後、[OK]ボタンをクリック。

① 契約番号

契約時に配布された「契約番号」を入力します。

② パスワード

契約時に配布された「パスワード」を入力します。

③ ユーザー名

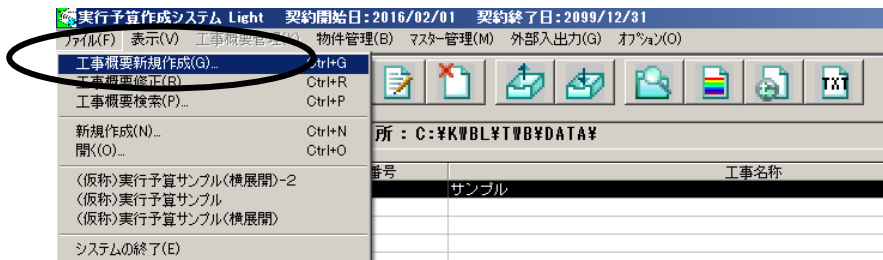
利用者を識別するための情報を入力します。

通常、利用者の氏名などを入力します。

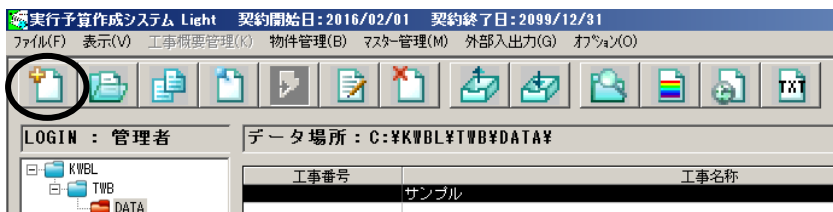
3. 2. 2 工事概要の新規作成・修正・検索

(1) 工事概要新規作成でデータを作成し入力する

工事概要一覧



ツールバーによる新規作成



工事概要新規作成

The screenshot shows a software window titled "KYOEI COMPASS for Win 工事概要". The window contains the following fields and controls:

- ファイル(F)** (File):
 - 工事番号 (Project No.): [Text Input]
 - 工事名称 (Project Name): [Text Input]
 - 本支店名 (Branch Name): [Dropdown]
 - 担当者 (Staff): [Dropdown]
 - 建設地 (Construction Site): [Dropdown]
 - 工事場所 (Project Location): [Text Input]
 - 発注 (Order): [Dropdown]
 - 設計 (Design): [Dropdown]
 - 工期 (Construction Period):
 - 自 (Start): [Text Input]
 - 至 (End): [Text Input]
 - 見積日付 (Estimate Date): [Text Input]
 - 日付は西暦で入力して下さい。 (Enter date in Gregorian calendar.)
 - 記入例: 2010年1月1日と表示したい場合、20100101と入力して下さい。 (Example: 20100101 for 2010/1/1)
 - 用途 (Use): [Dropdown]
 - 官民区分 (Public/Private): [Dropdown]
 - 工事区分 (Project Type): [Dropdown]
 - 決定区分 (Decision Type): [Dropdown]
 - 構造 (Structure): [Dropdown]
 - 受注方式 (Ordering Method): [Dropdown]
 - 設備工事 (Equipment Work): [Dropdown]
- 階構成** (Floor Structure):
 - 地下階 (B):
 - 地上階 (P):
 - PH階 (PH):
 - 多棟フラグ (Multi-story Flag):
 - 棟数 (Number of Buildings): [Text Input]
 - 住戸数 (Number of Units): [Text Input]
- 敷地面積** (Site Area): [Text Input] 0.00 m²
- 軒高** (Roof Height): [Text Input] 0.000 m
- 建築面積** (Building Area): [Text Input] 0.00 m²
- 延容積** (Total Volume): [Text Input] 0.00 m³
- 法延床面積** (Legal Floor Area): [Text Input] 0.00 m²
- 施延床面積** (Actual Floor Area): [Text Input] 0.00 m²
- 平均階高** (Average Floor Height): [Text Input] 0.000 m

杭工法種別 (Pile Method Type): [Dropdown]

外部レフト (External Left): [Dropdown]

内部レフト (Internal Left): [Dropdown]

備考 (Remarks): [Text Area]

Buttons: OK, キャンセル (Cancel)

メインメニューから [ファイル(F)] の [工事概要新規作成(G)] を実行する、または、工事概要一覧で右クリックして [新規作成(G)] を実行する、あるいは、ツールバーの新規作成ボタンを押すと上記の画面が表示されます。工事名称と任意の項目を入力して、[OK] ボタンをクリックして下さい。新規工事概要が作成され、メインメニューへ戻ります。

工期・見積日付は西暦で入力して下さい。(/ は不要です。)

工事名称以外の項目は任意ですので入力しなくてもかまいません。

工事名称は半角80文字まで、工事番号は半角20文字まで入力可能です。

コンボボックスの内容は、[マスター管理(M)]メニューの [メンテナンス] → [工事概要マスタ] で編集できます。

詳しい手順につきましては、「(5) マスタ管理(M)の機能 ①メンテナンス f. 工事概要マスタ」をご覧ください。

(2) 工事概要を修正する

工事概要に修正を加えたい場合に使用します。

工事概要修正

ファイル(F)

工事番号

工事名称 サンプル

本支店名 本社 担当者

建設地 東京都

工事場所

発注

設計

工期自 20110301 2011年03月01日 日付は西暦で入力して下さい。

至 20120228 2012年02月28日 記入例：2010年1月1日と表示したい場合、20100101と入力して下さい。

見積日付 20110220 2011年02月20日

用途 アパート 官民区分 民間

工事区分 新築

決定区分 当社決定

構造 受注方式

設備工事

階構成 地下階 日 地上階 2 PH階 P

多種フラグ 棟数 住戸数

敷地面積 0.00 m² 軒高 0.000 m

建築面積 0.00 m² 延容積 0.00 m³

法延床面積 0.00 m² 施延床面積 0.00 m² 平均階高 0.000 m

杭工法種別

外部グレード 内部グレード

備考

OK キャンセル

メインメニューから [ファイル(F)] の [工事概要修正(R)] を実行する、または、工事概要一覧で右クリックして [修正(R)] を実行する、あるいは、ツールバーの開くボタンを押すと上記の画面が表示されます。任意の項目を入力して、[OK] ボタンをクリックして下さい。工事概要が修正され、メインメニューへ戻ります。

(3) 工事概要を検索する

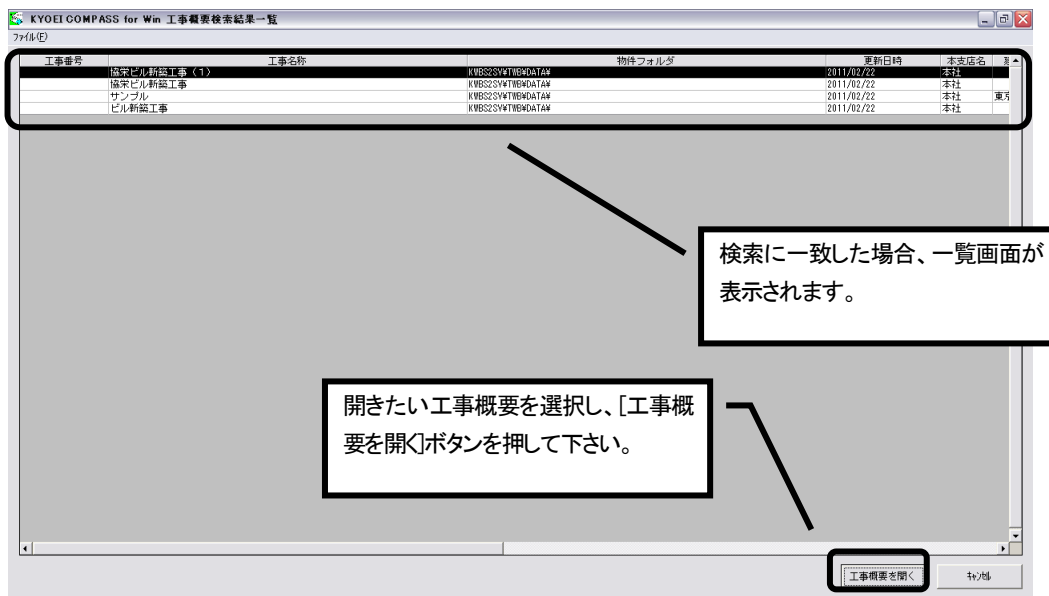
工事概要検索

メインメニューから [ファイル(F)] の [工事概要検索(P)] を実行する、
または、工事概要一覧で右クリックして [検索(P)] を実行すると上記の画面が表示されます。
任意の項目を入力して、[検索] ボタンをクリックして下さい。
工事概要検索結果一覧画面が表示されます。

<ポイント>

- ・ 本支店名、工事名称など文字列が入力できる欄はあいまい検索が適用されます。
- ・ 工事番号など数値が入力できる欄は範囲検索が適用されます。

工事概要検索結果一覧



工事概要画面

工事番号: []
工事名称: サンプル
本支店名: 本社 担当者: []
建設地: 東京都
工事場所: []
発注: []
設計: []
工期自: 20110301 2011年03月01日 日付は西暦で入力して下さい。
至: 20120228 2012年02月28日 記入例: 2010年1月1日と表示したい場合、
見積日付: 20110220 2011年02月20日 20100101と入力して下さい。
用途: アパート 官民区分: 民間
工事区分: 新築
決定区分: 当社決定
構造: [] 受注方式: []
設備工事: []
階構成: 地下階 B [] 地上階 2 PH階 P []
多種フラグ [] 棟数 [] 住戸数 []
敷地面積: 0.00 m² 軒高: 0.000 m
建築面積: 0.00 m² 延容積: 0.00 m³
法延床面積: 0.00 m² 施延床面積: 0.00 m² 平均階高: 0.000 m
杭工法種別: []
外部のレイト: [] 内部のレイト: []
備考: []
移動 キャンセル

[工事概要を開く]ボタンをクリックすると、工事概要画面が表示されます。

工事概要検索より開かれた場合は、工事概要は編集することはできません。

[移動]ボタンをクリックすると、メインメニューに戻り、選択した工事概要に移動します。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、工事概要検索結果一覧へ戻ります。

3. 2. 3 ファイルの新規作成

ファイルを新規に作成する方法には、

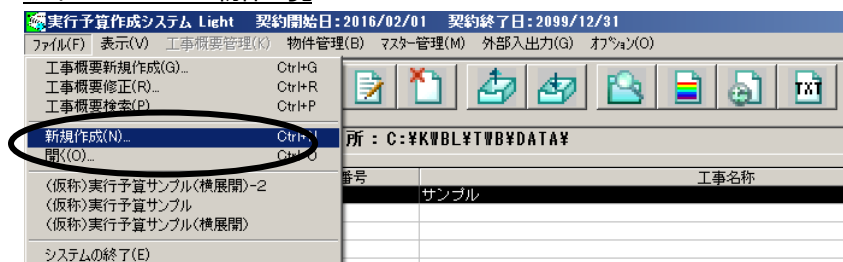
- (1) 新規作成でデータを作成し入力する
- (2) COMPASS標準テキストデータを取り込む
- (3) 実行予算標準CSVファイルを取り込む
- (4) BCS CSVファイルから作成する
- (5) EXCELファイルから作成する

があります。

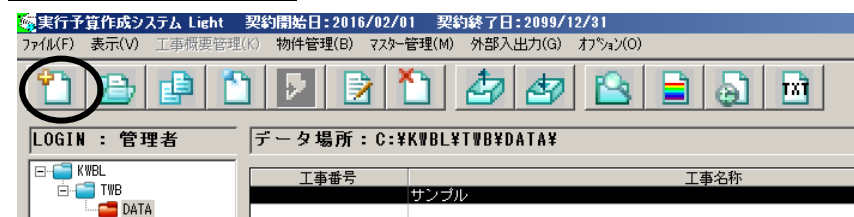
(2)～(5)の手順につきましては、「3. 2. 1 2 メインメニューの機能 (6) 外部入出力(G)の機能」をご覧ください。

(1) 新規作成でデータを作成し入力する

メインメニュー・物件一覧



ツールバーによる新規作成



新規作成



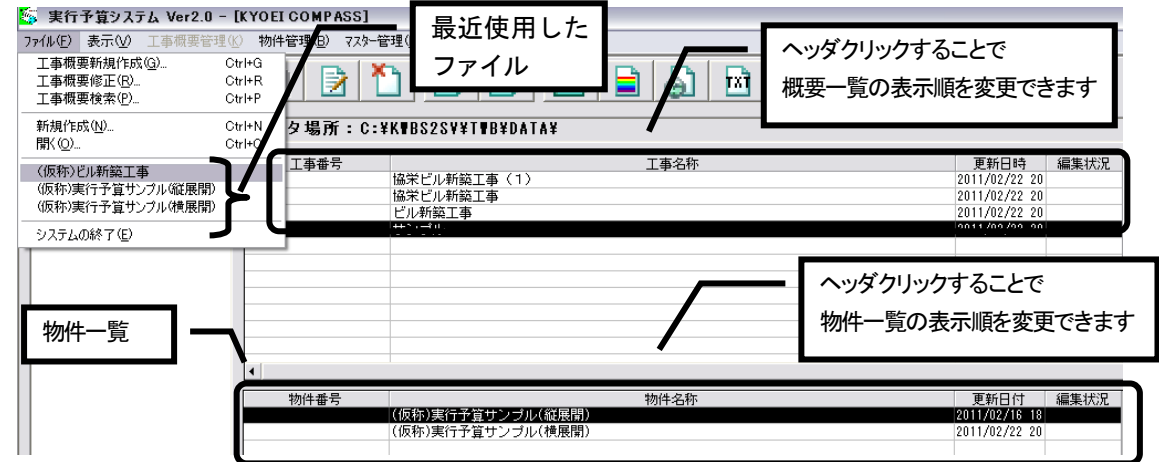
メインメニューから [ファイル(F)] の [新規作成(N)] を実行する、
または、物件一覧で右クリックして [新規作成(N)] を実行する、
あるいは、ツールバーの新規作成ボタンを押すと上記の画面が表示されます。
物件名称 (ファイル名) と任意の物件番号を入力して、[OK] ボタンをクリックして下さい。
新規物件ファイルが作成され、編集画面になります。物件管理番号は任意ですので入力しなくてもかまいません。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、メインメニュー・物件一覧へ戻ります。
物件名称は半角80文字まで、物件管理番号は半角20文字まで入力可能です。

3. 2. 4 ファイルを編集する

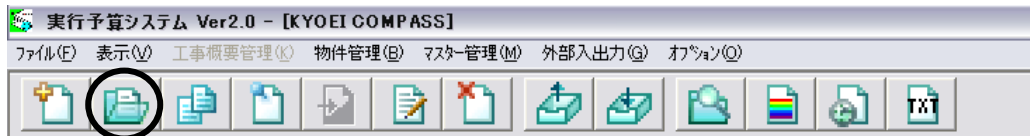
(1) ファイルを開く

すでに作成済みの物件ファイルを開き編集します。

メインメニュー・物件一覧



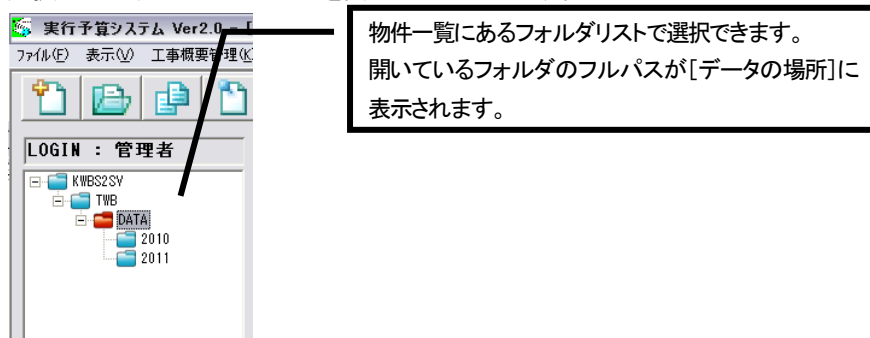
ツールバー



物件一覧において、編集したい物件を選択した状態で、メインメニューから [ファイル (F)] の [開く (O)] を実行する、ツールバーの物件を開くボタンをクリックする、物件一覧で右クリックして [開く (O)] を実行する、または、選択物件をダブルクリックすると、該当物件の編集画面になります。また、メインメニューから [ファイル (F)] を選択した状態で、最近使用したファイルが4件分表示されます。この表示をクリックすることで、選択物件の編集がおこなえます。物件一覧は、物件一覧のヘッダ部分をクリックすることで表示順を変更することができます。

(2) 別フォルダを開く

別フォルダのファイルを開く、または別フォルダにある物件一覧を表示します。選択したフォルダのファイルを開くことができます。

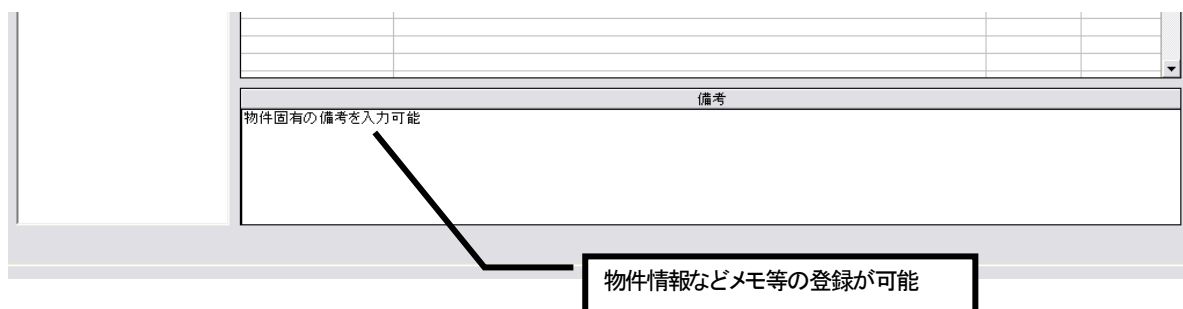


また、物件を新規作成する場合、表示されているフォルダに作成されます。
工事概要が異なれば、同一物件名称 (ファイル名) を作成できます。

(3) ファイルの備考入力について

ファイル（物件）に対して、固有の備考を入力することが可能です。

該当する物件をクリックし、備考欄をダブルクリックすると、備考の入力ができます。



3. 2. 5 内訳書の作成

内訳書を作成する場合、各項目を直接入力する方法と、マスタ参照で入力可能な項目はマスタから参照して入力する方法があります。ここでは、以下の手順で説明します。

- (1) 階層構造について
- (2) 編集モードと参照モードについて
- (3) 集計階層の直接入力
- (4) 明細及び別紙明細階層の直接入力
- (5) 下階層の作成
- (6) 数量欄の計算式入力
- (7) 階層の移動
- (8) 編集メニューの機能
- (9) マスタ参照機能
- (10) Excel 貼付機能

(1) 階層構造について

実行予算 Light では金額の積み上げ計算をおこなう構造を階層構造と呼びます。

階層構造は最下層から見て1本線で繋がる親子関係になります。

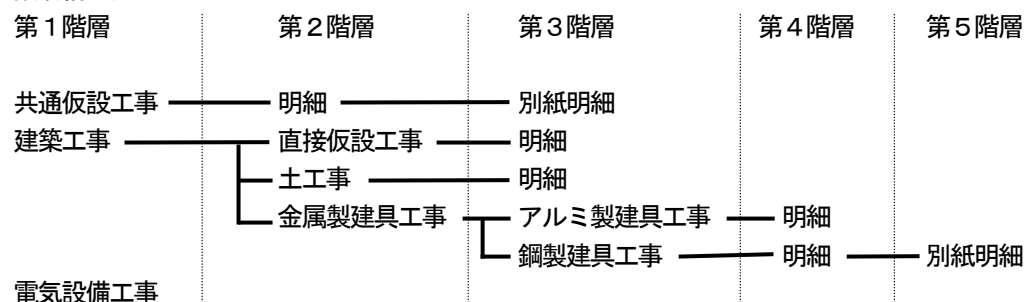
最初の親（第1階層）を含め最大16階層作成することが可能です。

この16階層のうち、一般的に大種目、種目、科目、小科目といわれる項目を入力（作成）する階層を集計階層と呼びます。明細、材料、部材を入力する階層を明細階層と呼びます。明細、材料、部材に対してさらに別紙明細、代価などを入力する階層を別紙明細階層と呼びます。

集計階層、明細階層、及び別紙明細階層を作成する階層の深さは自由ですが、第1階層は必ず集計階層になります。また、1つの親子関係においては、集計階層は複数階層作成できますが、明細階層及び別紙明細階層はそれぞれ1階層のみ作成することが可能で、明細階層を作成すると、その下階層は別紙明細階層のみが作成でき、この親子関係における階層構造は、たとえ16階層に至らなくとも終了します。

集計、明細または別紙明細階層では入力可能な文字数や項目が異なるため、集計階層に明細、材料、部材といったデータの入力はおこなわないで下さい。

階層構造例



注) 明細、別紙明細は複数行存在しているものとします。

「明細」は明細、材料、部材などで明細階層に作成します。

「別紙明細」は「明細」に対する別紙明細、代価などで別紙明細階層に作成します。

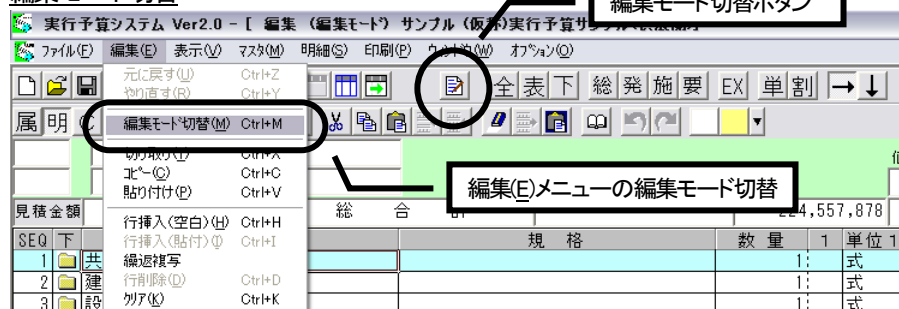
その他の項目（共通仮設工事、鋼製建具工事など）は集計階層に作成します。

(2) 編集モードと参照モードについて

内訳書に名称を入力する、単価を変更するなど、入力、変更をおこなえる状態を編集モードと呼びます。入力、変更など一切おこなえない状態を参照モードと呼びます。

参照モードでは、編集できないことを明確に表現するため、各列の表示色が黄色になります。

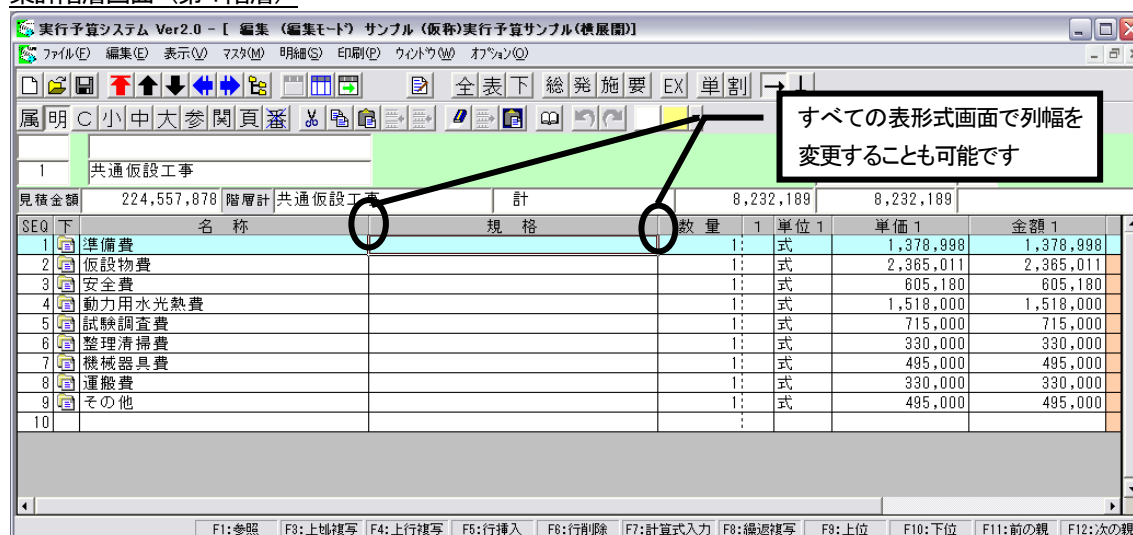
編集モード切替



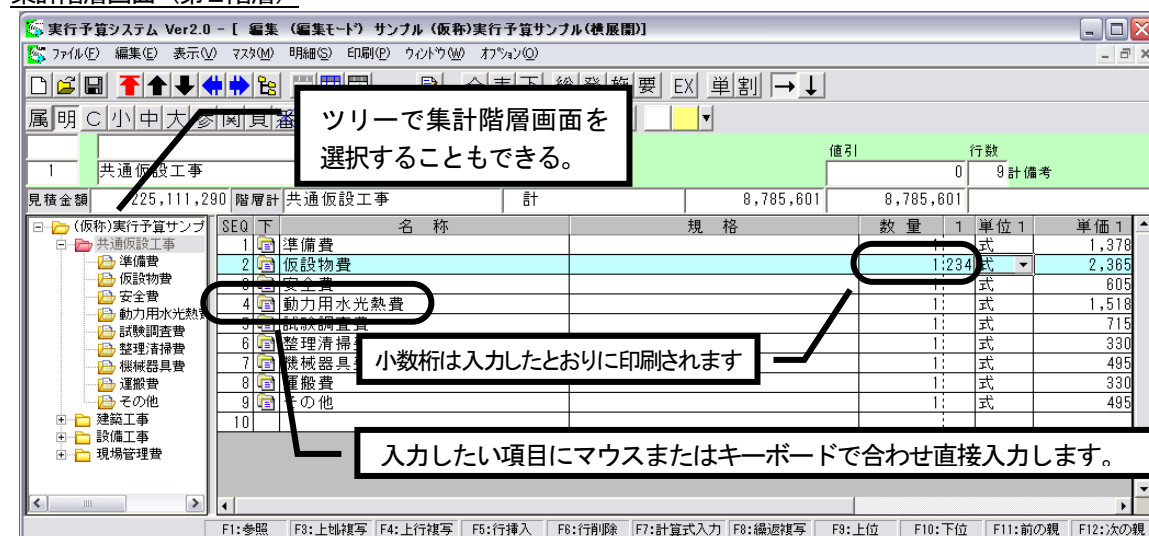
モード切替は処理メニューから [編集(E)] メニューの [編集モード切替] またはツールボタンでおこなえます。また、階層移動時に編集モードを優先とした以下の判断をおこない、自動でモードを変更します。

(3) 集計階層の直接入力

集計階層画面 (第1階層)



集計階層画面 (第2階層)



集計階層における、各行の項目の文字数は以下の通りです。

集計階層の入力項目

項目	文字数または桁数
名称	全角12文字または16文字
規格	全角10文字または16文字
数量	整数7桁 小数3桁
単位	全角2文字
単価	12桁
金額	12桁
備考	全角10文字

注) 数量 -0.999~-0.001 の入力方法
これらの数値の場合は、先に小数部
を入力して、整数部に「-」（マイナ
ス符号）を入力して下さい。

(全角1文字 = 半角2文字 = 2バイト)

<ポイント>

- ・名称、規格、単位、及び備考については自動で日本語入力になります。
- ・1行ごとに金額計算をおこないますが、単価に入力しないで金額に直接入力することも可能です。
- ・数量、単位、単価、及び金額はそれぞれ3セット入力できます。これらの入力は単価切替または全単価表示でおこなえます。また、これら3セットを区別するためこれらの入力項目のタイトルは「数量1」「数量2」「数量3」などと表現しています。
- ・画面では数量、単価、及び金額項目が未入力の場合「0」と表示されますが、印刷において「0」は印刷されません。空白になります。
- ・作成した行数が画面右上の「行数」に表示されます。1度行を作成すると入力項目をすべてクリアしても、行データとしては存在します。行データの存在は、数量、単価、及び金額に「0」が表示しているか、いなかで判断できます。「0」が表示されている場合、行が存在していることになります。このようなデータを削除する場合は、「行削除」をおこなって下さい。
- ・名称及び単位項目はマスタから入力することも可能です。
- ・名称項目については印刷時に均等割り付けする機能があります。従いまして、印刷時のバランス考慮して入力しなくてもかまいません。均等割付の機能に関しましては「3.2.7 処理メニュー 明細(S)の機能 (2) 行属性」もあわせてご覧下さい。
- ・小数区切り表示の場合、数量の小数桁は、画面で入力したままの状態、印刷されます。小数桁が必要ない場合は、小数桁を入力しないか、小数桁を削除して下さい。例えば、整数部に「1」と入力し、小数部は入力しないと「1」と、整数部は同様に、小数部に「0」と入力すると「1.0」と印刷されます。数量小数桁につきましては「行属性」もあわせてご覧下さい。
- ・名称、規格、及び備考の表示において、まったく同じ文字数を使用している場合でも、最終文字の位置が表示上、揃わないことがあります。印刷においては問題ありません、揃って印刷されます。
- ・編集画面に限らず、すべての表形式画面で列幅の変更が可能です。列幅の伸縮により入力文字数の制限、印刷帳票の列幅が変わることはありません。
- ・単位を入力する場合、コンボボックスから選択をおこないますが、単位セルに入力した数値よりマスタから自動入力することも可能です。詳しい手順につきましては、「(3) マスタ管理(M)の機能 b. 管理情報マスタ」をご覧ください。
- ・[Ctrl]キー + [End]キーを押すと最終行に移動することができます。
- ・新規に行を作成する場合、最終行で「↓」キーもしくは[Enter]キーを押してください。またカーソル移動方向が縦の場合は新規行が作成されたとき名称列にカーソルが移動します。
- ・明細行をコピーした場合、貼り付けまたは、その他のキー操作がおこなわれるまでコピー元が色付けされません。

- ・編集中の行には、背景色が付きます。
- ・編集画面では「F2」キーを押すと文字末尾にセルバーが移動します。
- ・新規行の名称欄に文字を入力した場合、一式が自動入力されます。
- ・[オプション(O)]メニューの[動作環境設定]で、システム操作上の設定変更が可能です。詳しい手順は「(5) オプション(O)の機能 ①動作環境設定」をご覧ください。)

(4) 明細及び別紙明細階層の直接入力

明細階層画面

明細階層の、各行の項目の文字数は以下の通りです。

明細・別紙明細階層の入力項目

項目	文字数または桁数
部位	全角12文字
名称	全角20文字 (上段: 全角10文字、下段: 全角10文字) または全角32文字 (上段: 全角16文字、下段: 全角16文字)
規格	全角20文字 (上段: 全角10文字、下段: 全角10文字) または全角32文字 (上段: 全角16文字、下段: 全角16文字)
数量	整数7桁 小数3桁
単位	全角2文字
単価	12桁
金額	12桁
備考	全角20文字 (上段: 全角10文字、下段: 全角10文字)

(全角1文字 = 半角2文字 = 2バイト)

別紙明細階層の場合、画面右上でさらに以下の情報が入力できます。

項目	桁数
単位数量	整数6桁、小数3桁 (ただし、-0.999~-0.001 は入力不可)

別紙明細階層の合計金額を、この値で除算して親階層となる明細階層データの単価に集計します。

明細、別紙明細階層の編集画面において、単価上段、金額上段に文字を入力できます。

項目	文字数
単価上段	全角6.5文字(半角13文字)
金額上段	全角7.5文字(半角15文字)

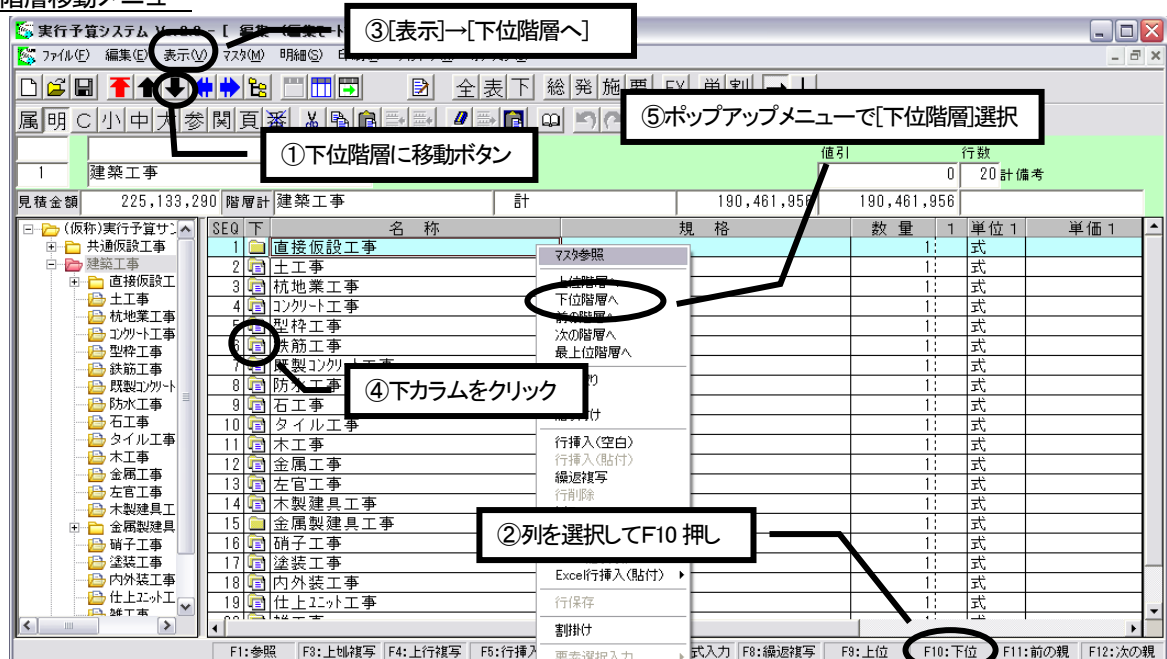
単価、金額とも「0」のとき、それぞれの上段で入力した文字列が単価、金額に印刷されます。

<ポイント>

- ・ 部位、名称、規格、単位、及び備考については自動で日本語入力になります。
- ・ 部位項目を全角6文字より多く入力した場合、上下2段に表示されます。画面表示上は、上下に表示しますが、印刷では1行になります。
- ・ 部位項目の入力は、項目の表現上「部位」としてはいますが、建具記号等の入力に使用してもかまいません。
- ・ 部位の印刷は、名称の上段に全角2文字分左から印刷されます。ただし、名称文字数を32としている場合、名称と同じ位置から印刷されます。部位および名称上下段共入力していた場合、印刷では2行になります。
- ・ 部位、名称、規格、及び単位項目はマスタから入力することも可能です。
- ・ 規格、備考等が1行分の規定文字数では入力しきらない場合、次行に続けて入力して下さい。データとしてはそのような行も1行と見なしますが、印刷した場合に続けて印刷されるため、印刷上は問題ありません。
- ・ その他のポイントは集計階層と同様です。

(5) 下階層の作成

階層移動メニュー



下階層を作成するには、作成したい行データの任意のセルにセルカーソルがある状態で、

- ① [下位階層に移動] ボタンをクリックする
 - ② F10 キーを押す
 - ③ [表示(V)] メニューの [下位階層へ] をおこなう
 - ④ 作成したい行の下カラムをクリック
 - ⑤ 右クリックでのポップアップメニューの [下位階層へ] をおこなう
- 以上の方法があります。



下階層を作成する操作をすると上記の画面が表示されます。

下階層の階層形式を [集計画面へ] ボタンか [明細画面へ] をクリックして選択して下さい。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、編集に戻ります。

<ポイント>

- ・下階層にデータが存在するか、しないかは、画面左側の「下」という列に、絵で表示されます。

- 📁 : 下階層に集計階層データが存在します

- 📄 : 下階層に明細階層データが存在します

- 📄 : 下階層に別紙明細階層データが存在します

- ・明細階層データの下階層データとして存在できるのは、別紙明細階層データです。明細階層データに下階層データを作成すると、上記画面は表示されず、別紙明細の作成確認になります。

また、別紙明細階層データに下階層データを作成することはできません。

(6) 数量欄の計算式入力

数量欄はカーソル位置で元数値に＋－及び×÷の計算式に対応しています。

SEQ	下	名称	規格	数量	1	単位 1	単価 1	金額 1
1	📁	共通仮設工事		1		式	0	6,430
2	📁	建築工事		1		式	0	52,829
3	📁	電気設備工事		1		式	0	6,254
4	📁	給排水衛生設備工事		1		式	0	5,285
5	📁	空調設備工事		1		式	0	4,086
6		昇降機設備工事		1		式	7,000,000	7,000
7		解体工事		1		式	1,200,000	1,200
8		諸経費		1		式		13,000
9							+1000	1,201,000

例えば、解体工事の単価 1 が「1,200,000」で、そのセルに「+1000」の様に記入し、Enter キーで確定すると「1,201,000」になります。

・ただしマイナスの場合に限り、例「-1000」ではなく、「+-1000」の様にマイナス記号の前にプラス記号を付けるようにしてください。また「×」は「*」、「÷」は「/」を使用してください。

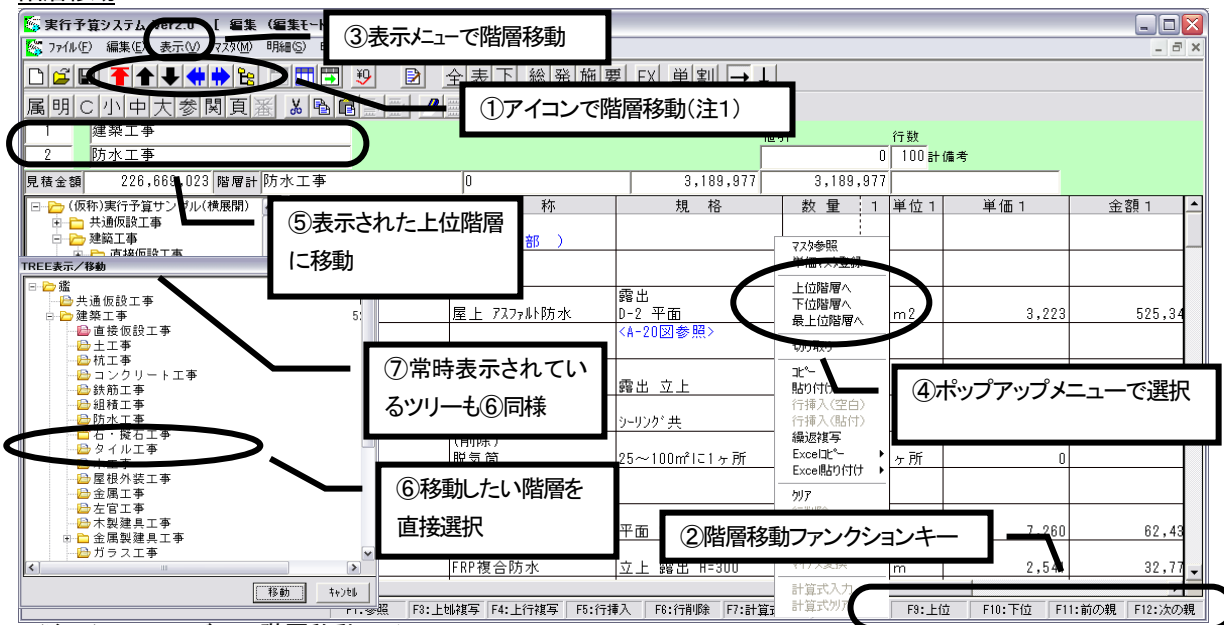
(7) 階層の移動

階層移動するための機能としては、

- ① ツールバーのアイコンでおこなう (注1)
- ② ファンクションキーでおこなう (キー一覧は下部に表示してあります)
- ③ [表示(V)] メニューでおこなう
- ④ 右クリックでのポップアップメニューでおこなう
- ⑤ 2階層上の階層番号または名称表示項目をクリックする (上位階層へ移動のみ)
- ⑥ ツリーで直接移動する階層を選択する
- ⑦ 常時表示ツリーで直接移動する階層を選択する

以上の方法があります。

階層移動



(注1) ツールバーの階層移動アイコン



- 最上位階層に移動します。
- 上位階層に移動します。
- 下位階層に移動します。
- 集計階層の場合、同じ階層の前の親に移動します(階層は移動しません)。明細階層の場合、階層が異なっても明細移動します。別紙明細の場合、同一科目内であれば、別紙明細のある行が離れていても移動します。
- 集計階層の場合、同じ階層の次の親に移動します(階層は移動しません)。明細階層の場合、階層が異なっても明細移動します。別紙明細の場合、同一科目内であれば、別紙明細のある行が離れていても移動します。
- 常時ツリーを表示します。

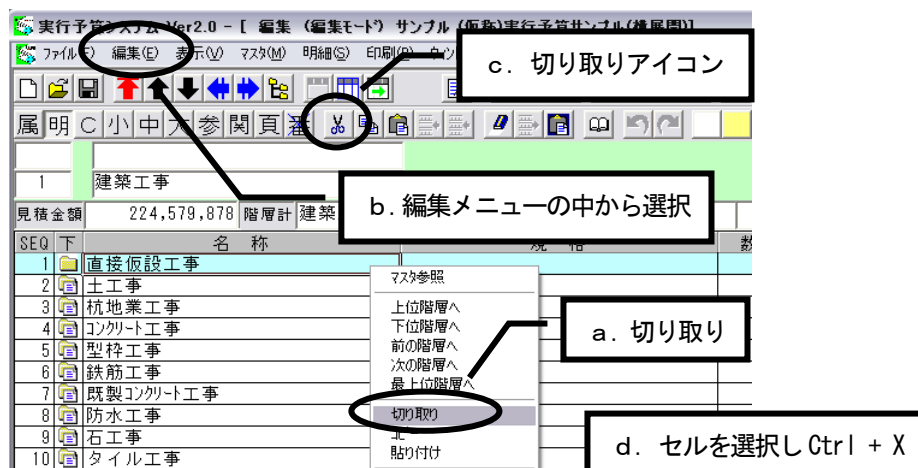
(8) 編集メニューの機能

編集メニューの機能は主に、項目または行の切り取り、コピー、貼り付けなど入力及び編集に必要な機能があります。これら機能は編集メニューの他に、ボタン、ポップアップメニュー、及びFキーにて一部機能が可能です。また、編集メニューにはありませんが内訳書編集に便利な機能としてF2（編集）、F3（上セル複写）、及びF4（上行複写）キーがあります。これらにつきましては、「3. 1. 5 ファンクション機能」をご覧ください。

①切り取り

指定した文字、項目、または行を切り取ります。

切り取り



・文字の切り取り

切り取りたい文字の範囲をカーソルで設定し、以下の操作を行うことで切り取りを行うことができます。

- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから「切り取り」を選択。
- 【編集(E)】メニューの【切り取り(T)】を選択
- ツールバーの【切り取り】アイコンを押す。
- ショートカットキーでセルを選択しctrl + Xを押す。

セルを選択した状態でおこなうと、セル内のすべての文字が切り取られます。

行全体を行う場合は対象の行のSEQを選択した状態で切り取りを行います。

- ・行の切り取り後、貼り付けをおこなった場合、その階層のデータのみが貼り付きます。下階層（子）データは貼り付きません。下階層データも含める場合は、行挿入(貼付)をおこなって下さい。
- ・行の切り取りの場合、行削除と同じになりますがクリアや行削除と異なる点は、実行直後に貼り付け、行挿入(貼付)の対象になることです。
- ・間違ったデータを切り取ってしまった場合でも、「元に戻す」で戻すことが可能です。（回数制限あり）
- ・項目、行とも複数選択後、切り取ることが可能です。

②コピー

コピーしたい文字、項目または行を選択します。

コピー



コピーしたい文字の範囲をカーソルで設定します。次の操作でコピーすることができます。

- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから [コピー] を選択
- [編集(E)] メニューの [コピー(C)] を選択
- ツールバーの [コピー] アイコンを押す。
- ショートカットキーでセルを選択し ctrl + C を押す。

選択したセルをコピーします。

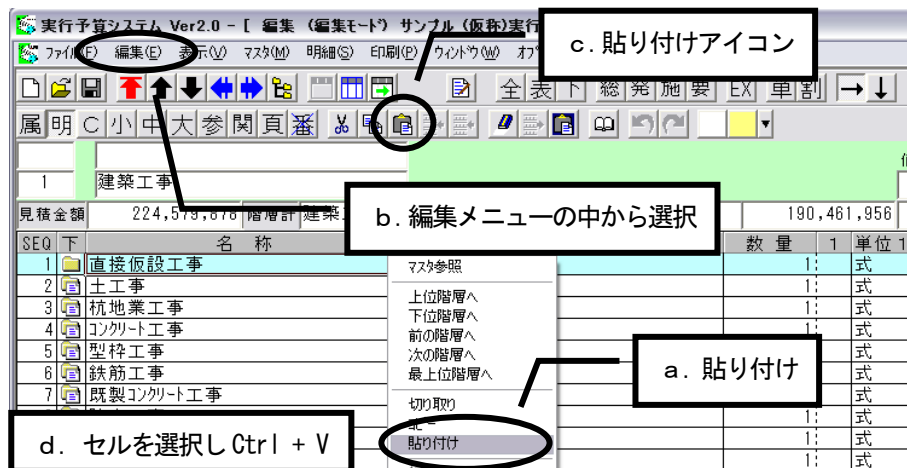
行全体をコピーする場合には SEQ にカーソルを合わせた状態でコピーをします。

- ・ 行のコピー後、貼り付けをおこなった場合、その階層のデータのみが貼り付きます。下階層（子）データは貼り付きません。下階層データも含める場合は、行挿入(貼付)をおこなって下さい。
- ・ 項目、行とも複数選択後、コピー対象とすることが可能です。

③貼り付け

切り取りまたはコピーした内容を、選択した項目または行に貼り付けます。

貼り付け



・貼り付け

貼り付けたいセルをカーソルで設定します。次の操作で貼り付けすることができます。

- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから [貼り付け] を選択

- b. [編集(E)]メニューの[貼り付け(C)]を選択
- c. ツールバーの[貼り付け]アイコンを押す。
- d. ショートカットキーでセルを選択し ctrl + V を押す。

選択したセルに貼り付けします。

行全体に貼り付けする場合にはSEQにカーソルを合わせた状態でコピーをします。

ただし行選択の場合、下階層データはコピーされません。

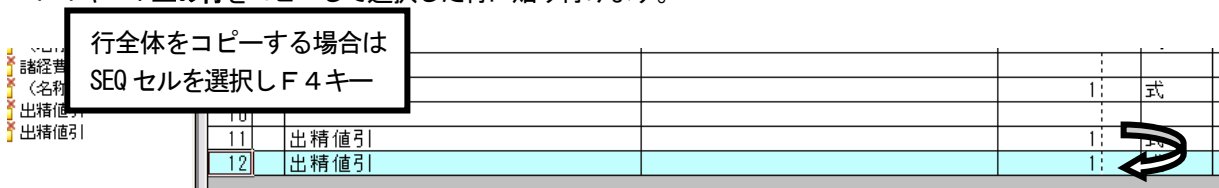
下階層データも含めてコピーしたい場合は、行挿入(貼付)をおこなってください。

- ・間違ったデータを貼り付けてしまった場合「元に戻す」で戻すことが可能です。(回数制限あり)

④コピー+貼り付け

コピーや貼り付けの操作をそれぞれ行うこともできますが、ショートカットキーを使うことで同時に行うことができ、入力時間を短縮することができます。

- ・ F 3 キー：上のセルをコピーして選択したセルに貼り付けします。
- ・ F 4 キー：上の行をコピーして選択した行に貼り付けます。



選択したセルや行がコピーされたデータで上書きされます。コピーさせたい行にカーソルを合わせて実行してください。

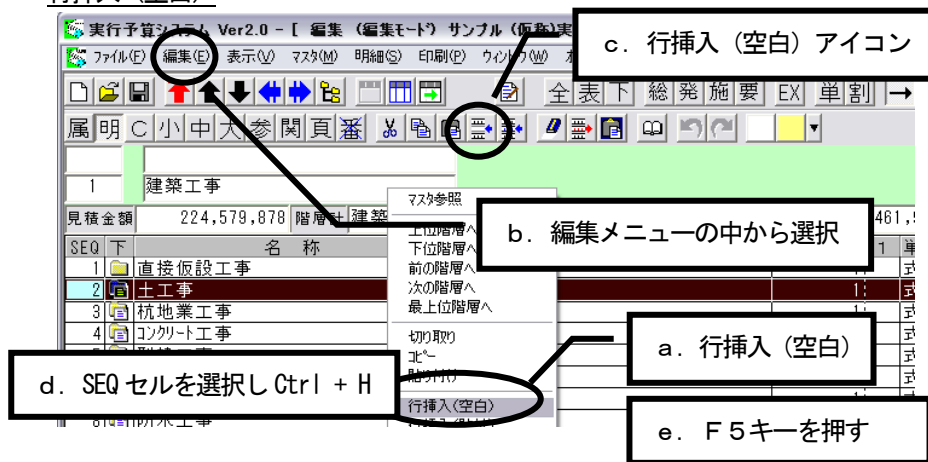
- ・間違ったデータを貼り付けてしまった場合「元に戻す」で戻すことが可能です。(回数制限あり)

⑤行挿入(空白)

選択をおこなった前行に空白行を作成します。

SEQにカーソルを合わせて行選択を行わないとこのコマンドは実行されません。

行挿入(空白)



・行挿入(空白)

行挿入したい行のSEQをカーソルで設定します。次の操作で空白行を挿入することができます。

- a. マウスを右クリックして、ポップアップメニューから[行挿入(空白)]を選択
- b. [編集(E)]メニューの[行挿入(空白)]を選択
- c. ツールバーの[行挿入(空白)]アイコンを押す。
- d. ショートカットキーでSEQセルを選択し ctrl + H を押す。
- e. F 5 キーを押す

- ・ 空白行は選択した行の前に挿入されます。

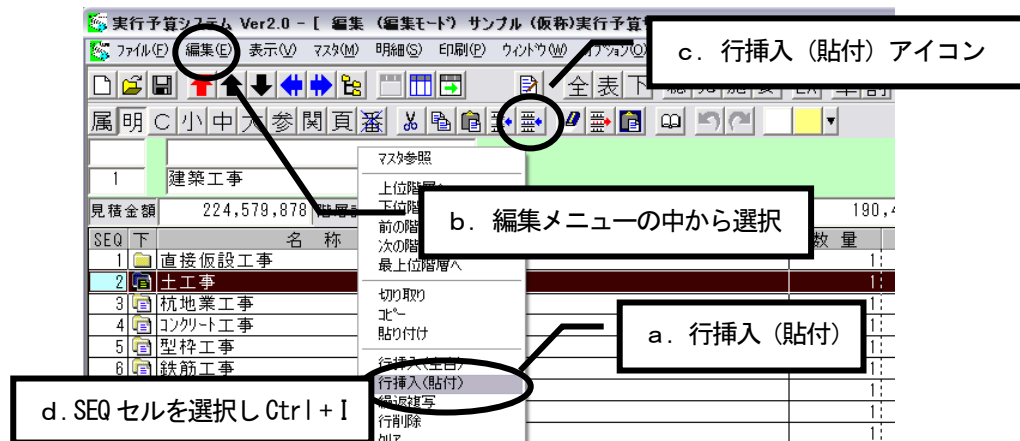
したがって選択した行から下にあるデータはすべて一行下にずれます。

⑥行挿入（貼付）

選択をおこなった行にコピーをした行を作成します。

SEQ にカーソルを合わせて行選択を行わないとこのコマンドは実行されません。

行挿入（貼付）



行挿入したい行の SEQ をカーソルで設定します。次の操作で空白行を挿入することができます。

- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから [行挿入（貼付）] を選択
 - [編集(E)] メニューの [行挿入（貼付）] を選択
 - ツールバーの [行挿入（貼付）] アイコンを押す。
 - ショートカットキーで SEQ セルを選択し ctrl + I を押す。
- ・ 下部にある [F5：行挿入] は行挿入（空白）と同等の機能ですのでデータはコピーされません。

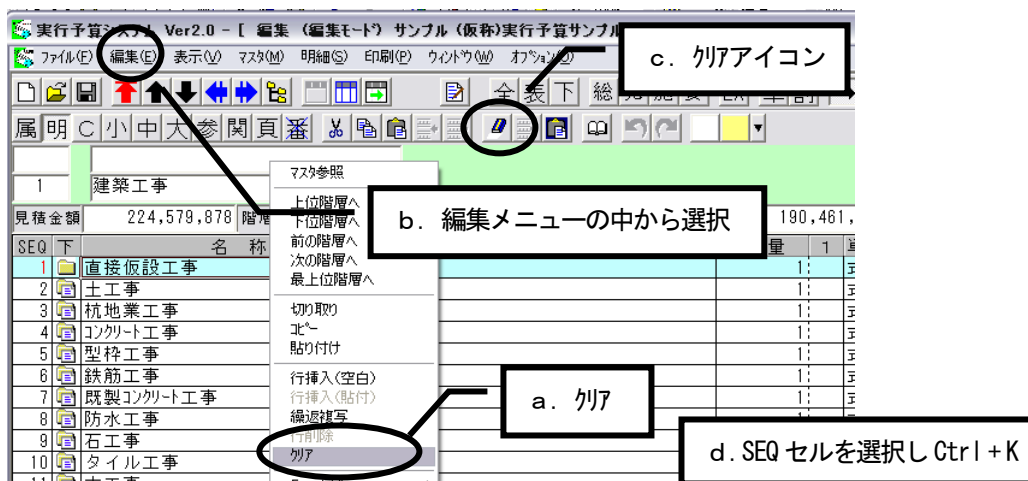
- ・ 選択した行の前にコピーしたデータが挿入されます。

したがって選択した行から下にあるデータはすべて一行下にずれます。

⑦クリア

指定した項目、または行をクリアします。

クリア



データをクリアする場合は、以下の操作を行うことで実行されます。

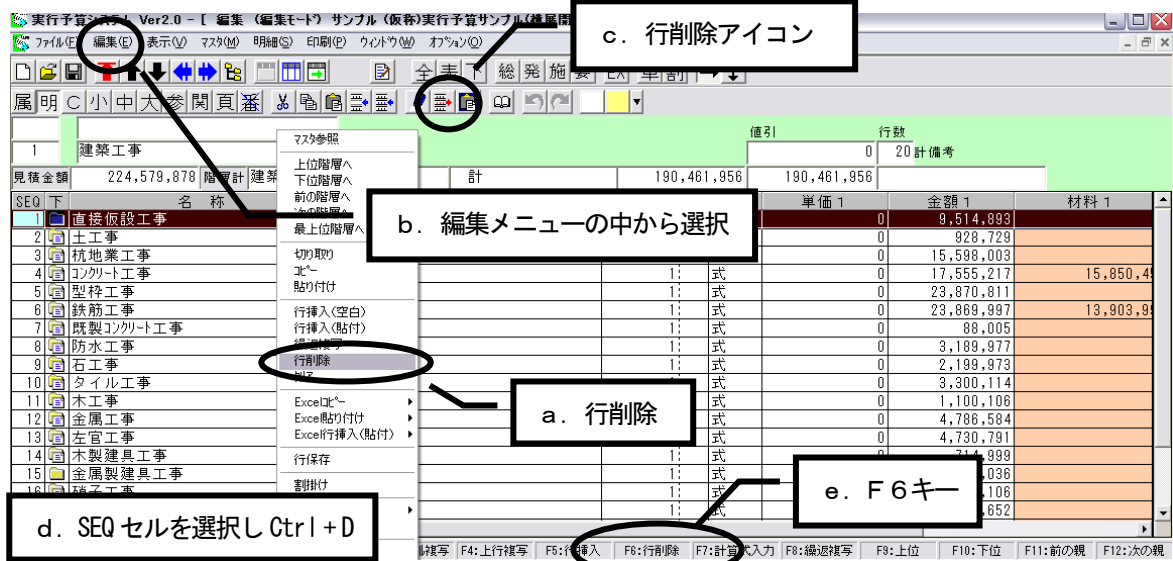
- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから [クリア] を選択
 - [編集(E)] メニューの [クリア(K)] を選択
 - ツールバーの [クリア] アイコンを押す。
 - ショートカットキーで ctrl + K を押す。
- セルを選択した状態で操作するとセル全体がクリアされます。セル内に入力されている一部の文字をクリアすることはできません。一部分だけクリアしたい場合は切り取りで行ってください。
 - 行をクリアする場合は、カーソルがSEQにある状態でクリア操作を実行します。
-
- 一度クリアしたデータは「元に戻す」で復元することが可能です。(回数制限あり)
 - 行をクリアすると、その階層のデータのみがクリアされます。
下階層(子)データはクリアされません。下階層データもクリアする場合は、行削除をおこなってください。

⑧行削除

選択をおこなった行を削除します。

SEQにカーソルを合わせて行選択を行わないとこのコマンドは実行されません。

行削除



削除したい行のSEQをカーソルで設定します。次の操作で行を削除することができます。

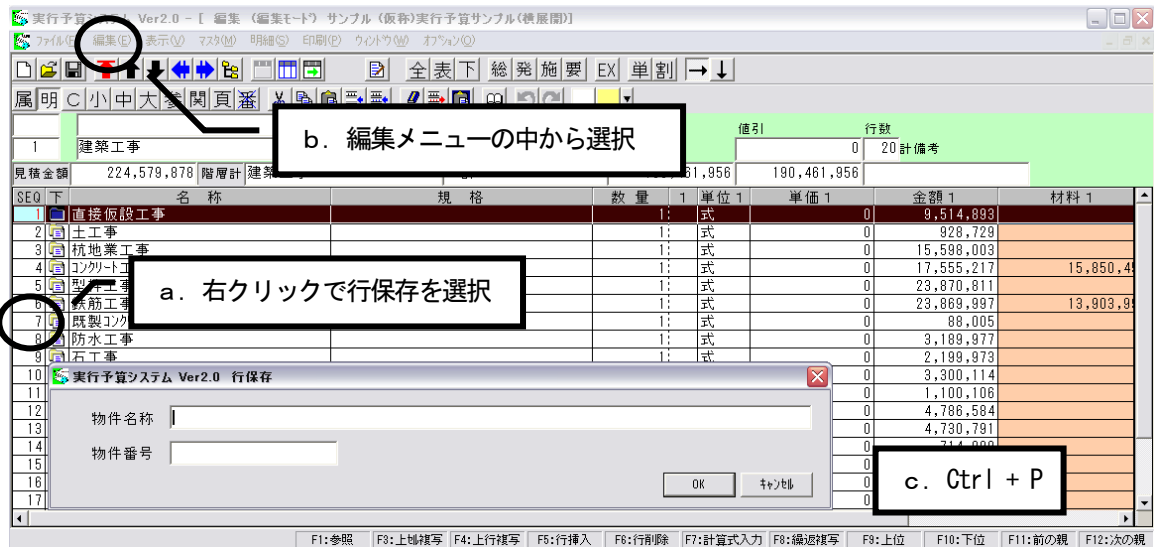
- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから「行削除」を選択
- 「編集(E)」メニューの「行削除」を選択
- ツールバーの「行挿入削除」アイコンを押す。
- ショートカットキーでSEQセルを選択しctrl + Dを押す。
- F6キーを押す。

- 一度削除したデータは「元に戻す」で復元することが可能です。(回数制限あり)
- 行を削除すると、**下階層(子)データも削除されます。**下階層データを残す場合は、クリア操作を行ってください。
- 行削除実行時の確認メッセージは、表示有無を設定できます。初期設定は「確認する」になっています。変更する場合は、[物件選択画面]→[マスク管理]→[メンテナンス]→[管理情報マスタメンテ]の「行削除確認メッセージ」で変更して下さい。

⑨行保存

指定した行を名称を付けて保存します。

行保存



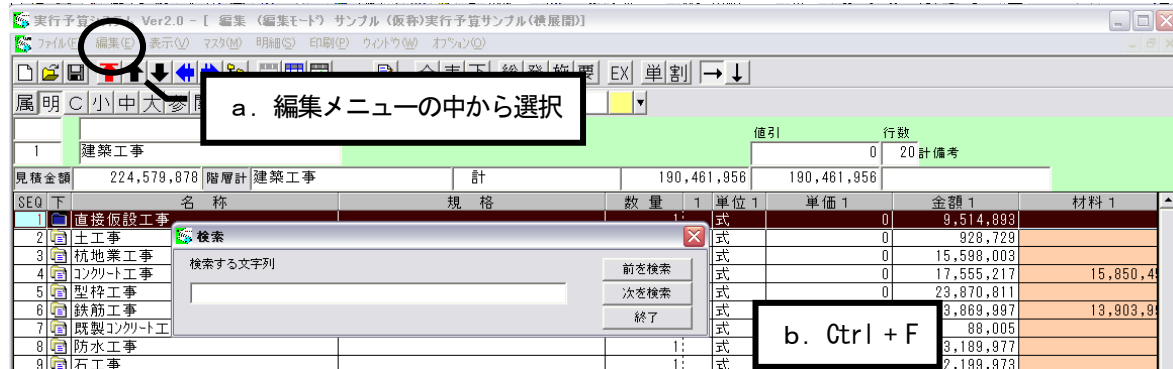
保存したい行の SEQ をカーソルで設定します。次の操作で行を保存することができます。

- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから [行保存] を選択
- [編集(E)] メニューの [行保存(P)] を選択
- ショートカットキーで SEQ セルを選択し ctrl + P を押す。
 - 行保存ダイアログで物件名称と物件管理番号を入力し保存します。保存されるフォルダは元の物件と同じフォルダになり、下階層(子)データも保存されます。
 - 保存した行はファイルの開くで参照することができます。
 - 集計階層でも SEQ をクリックし、保存可能です。

⑨検索

表示している階層において、同一の文字列を検索します。

検索



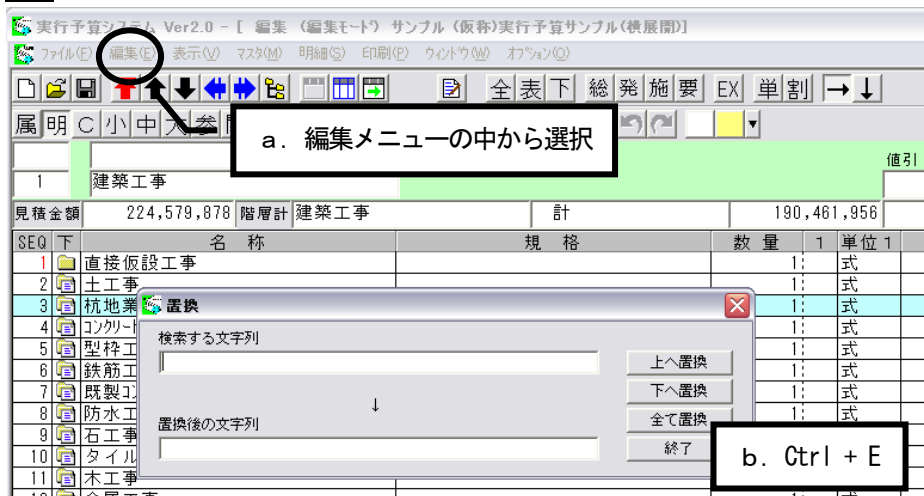
検索したい階層で、次の操作を行うことで検索フォームが開きます。

- [編集(E)] メニューの [検索(F)] を選択
- ショートカットキーで ctrl + F を押す。
 - 検索したい文字列を入力し [次へ検索] ボタンを押すことで検索されます。
 - [終了] ボタンで検索フォームが閉じられます。

⑩置換

表示している階層において、文字列の置換をおこないます。

置換



文字を置換したい階層で、次の操作を行うことで置換フォームが開きます。

- [編集(E)]メニューの[置換(E)]を選択
- ショートカットキーでctrl + Eを押す。
 - [置換]ボタンをクリックすると、表示階層内の同一文字列を1ずつ置換します。
 - [全て置換]ボタンをクリックすると、階層内の同一文字列を全て置換します。
 - [終了]ボタンで置換フォームが閉じられます。

⑪ジャンプ

表示している階層において、指定した行へジャンプします。

ジャンプ



処理メニューから、次の操作を行うことでジャンプフォームが開きます。

- [編集(E)]メニューの[ジャンプ(J)]を選択
- ショートカットキーでctrl + Jを押す。
 - 移動先の行番号を入力し、[移動]ボタンをクリックして下さい。
指定した行が画面の最初の行に、表示されます。
 - [キャンセル]ボタンをクリックすると、編集に戻ります。

⑫マウス変換

指定した数量に、-1 を掛けます。

マウス変換



マウスを付けたい数量の範囲をカーソルで設定し、以下の操作を行うことでマウス変換を行うことができます。

- マウスを右クリックして、ポップアップメニューから「マウス変換」を選択
- 「編集(E)」メニューの「マウス変換(L)」を選択
- ショートカットキーでセルを選択しctrl + Lを押す。

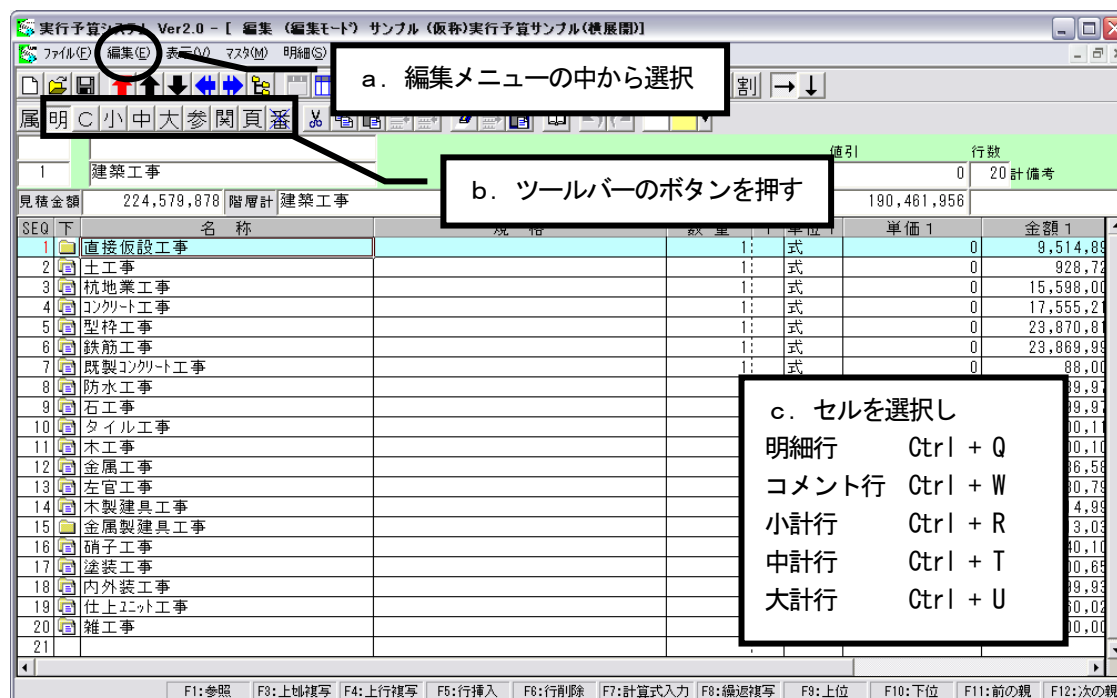
セルを選択した状態で行うと、セル内のすべての数量に-1 が掛けられます。

- ・単価が0の数量に行くと単価に金額が入力されます。
- ・数量が7桁の場合はマウス変換を行えません。(頭が“-”の場合は行えます。) また単価が0で金額が11桁以上の場合もマウス変換を行えません。

⑬行種別設定

指定した行に行種を設定します。

行種を設定したい行の範囲を設定し、以下の操作を行うことで行種を設定します。



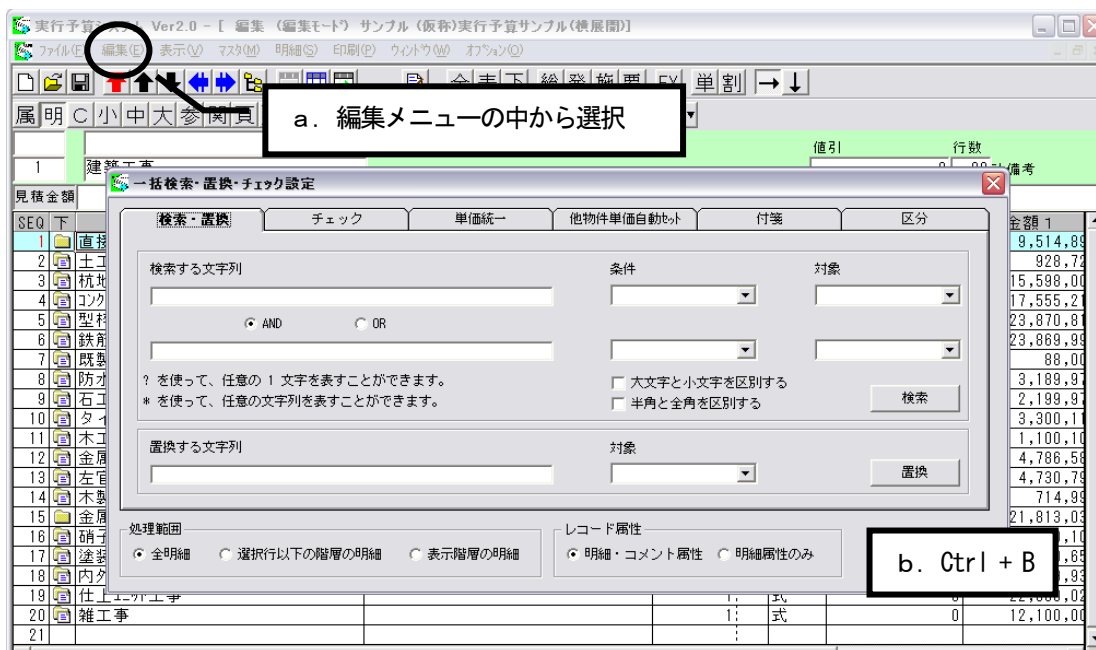
- [編集(E)]メニューの[マイクス変換(L)]を選択
- ツールバーの[行種設定]アイコンを押す。
- ショートカットキーでセルを選択しctrl + Q、W、R、T、Uを押す。
セルを選択した状態で行うと、選択された行に行種が設定される。

- ・明細行以外の行種に対して、明細行を設定すると金額が0になります。
- ・行種別については、行属性の項を参照してください。

⑭明細一括処理

明細行に対して様々な検索・編集処理を行います。

明細一括処理



処理メニューから、次の操作を行うことで一括検索・置換・チェック設定フォームが開きます。

a. [編集(E)]メニューの[明細一括処理(B)]を選択

b. ショートカットキーでctrl + Bを押す。

- ・それぞれの条件に応じて検索・置換ボタンをクリックすると、明細行が検索・置換されます。
- ・[キャンセル] ボタンをクリックすると、編集に戻ります。

c 検索・置換タブ

指定した条件・対照の明細を検索する、置換する。

i 検索する文字列

検索する文字列を入力します。数値の場合は数値を入力します。

ii 条件

検索する文字列の検索条件を選択します。

iii 対象

検索する文字列の検索対照を選択します。

iv AND OR

複数条件で検索したい場合は、AND の場合は「且つ」、OR の場合は「又は」で指定します。

v ? を使って、任意の 1 文字を表すことができます。

「?」を検索したい場合は「~?」を入力します。

vi * を使って、任意の文字列を表すことができます。

「*」を検索したい場合は「~*」を入力します。

vii 大文字と小文字を区別する

チェックが付いている場合は大文字と小文字を区別して検索します。

viii 半角と全角を区別する

チェックが付いている場合は半角と全角を区別して検索します。

ix 置換する文字列（置換の場合のみ入力）

置換する文字列を入力します。数値の場合は数値を入力します。

x 条件（置換の場合のみ入力）

置換する文字列の検索条件を選択します。

x i 置換（置換の場合のみ入力）

検索する文字列の検索対照を選択します。

x ii 処理範囲

検索対象の範囲を指定します。

・全明細

全ての明細を検索対象とします。

・選択行以下の階層の明細

選択されている行の下階層の明細を検索対象とします。

下階層のさらに下に明細階層がある場合はそれらの階層も含まれます。

・表示階層の明細

表示している明細階層のみを対象とします。

x iii レコード属性

行属性を検索条件に加えます。

- ・明細・コメント属性
明細属性とコメント属性を対象とします。
- ・明細属性
明細属性のみを対象とします。

※[検索]ボタンクリック後の画面はg.、[置換]ボタンクリック後の画面はh. 参照。

d チェックタブ

一括検索・置換・チェック設定

検索・置換 | **チェック** | 単価統一 | 他物件単価自動もつ | 付箋 | 区分

数量、単位が入力され、金額が“0”の明細
 単位、単価、金額のいずれかが入力され、数量が“0”の明細

チェック

処理範囲
 全明細 選択行以下の階層の明細 表示階層の明細

レコード属性
 明細・コメント属性 明細属性のみ

キャンセル

数量・単価・金額の未入力を検索する。

- i 数量、単位が入力され、金額が“0”の明細
数量、単位が入力されていて単価及び金額が未入力明細行を検索します。
- ii 単位、単価、金額のいずれかが入力され、数量が“0”の明細
単位、単価、金額のいずれかが入力されていて、数量が未入力の明細を検索します。
- iii 処理範囲
検索対象の範囲を指定します。
 - ・全明細
全ての明細を検索対象とします。
 - ・選択行以下の階層の明細
選択されている行の下階層の明細を検索対象とします。
下階層のさらに下に明細階層がある場合はそれらの階層も含まれます。
 - ・表示階層の明細
表示している明細階層のみを対象とします。
- iv レコード属性
行属性を検索条件に加えます。
 - ・明細・コメント属性
明細属性とコメント属性を対象とします。
 - ・明細属性
明細属性のみを対象とします。

※[チェック]ボタンクリック後の画面はg. 参照。

e 単価統一タブ

明細階層で選択されている明細と同一条件の明細の単価を変更する。

初期画面として、選択行の明細が表示されます。

- i 部位・名称・規格・数量・単位・単価・金額・備考
名称・規格・単位・単価以外にチェックを付けることで検索条件に加えます。
- ii 単価=0の明細のみ
単価が未入力 of 明細のみ対象とします。
- iii 全ての明細
単価が入力されている明細も対象とします。
- iv 処理範囲
検索対象の範囲を指定します。
 - ・全明細
全ての明細を検索対象とします。
 - ・選択行以下の階層の明細
選択されている行の下階層の明細を検索対象とします。
下階層のさらに下に明細階層がある場合はそれらの階層も含まれます。
 - ・表示階層の明細
表示している明細階層のみを対象とします。
- v レコード属性
行属性を検索条件に加えます。
 - ・明細・コメント属性
明細属性とコメント属性を対象とします。
 - ・明細属性
属性のみを対象とします。

※[単価統一]ボタンクリック後の画面はh. 参照。

f 付箋タブ



明細行の付箋を検索・クリアします。

- i 付箋 1、付箋 2、付箋 3、付箋 4、付箋 5、付箋 6
検索・クリアする付箋色をそれぞれ指定します。
- ii 付箋クリア
付箋 1～付箋 6 の付箋色を全てクリアします。
- iii 処理範囲
検索対象の範囲を指定します。
 - ・全明細
全ての明細を検索対象とします。
 - ・選択行以下の階層の明細
選択されている行の下階層の明細を検索対象とします。
下階層のさらに下に明細階層がある場合はそれらの階層も含まれます。
 - ・表示階層の明細
表示している明細階層のみを対象とします。
- iv レコード属性
行属性を検索条件に加えます。
 - ・明細・コメント属性
明細属性とコメント属性を対象とします。
 - ・明細属性
属性のみを対象とします。
- v 前回検索付箋
付箋一括クリア、付箋一括検索、付箋検索を行うと、検索した付箋色を保存します。
次回以降付箋 1～6 に色が付いた状態で表示されます。
- vi 付箋セット
現在使用している付箋色を付箋 1～6 にセットします。
[付箋セット] ボタンを押すことでセットできます。

※[付箋一括クリア] ボタンクリック後の画面は g.、[付箋検索] ボタンクリック後の画面は h. 参照。

g 検索結果画面 1

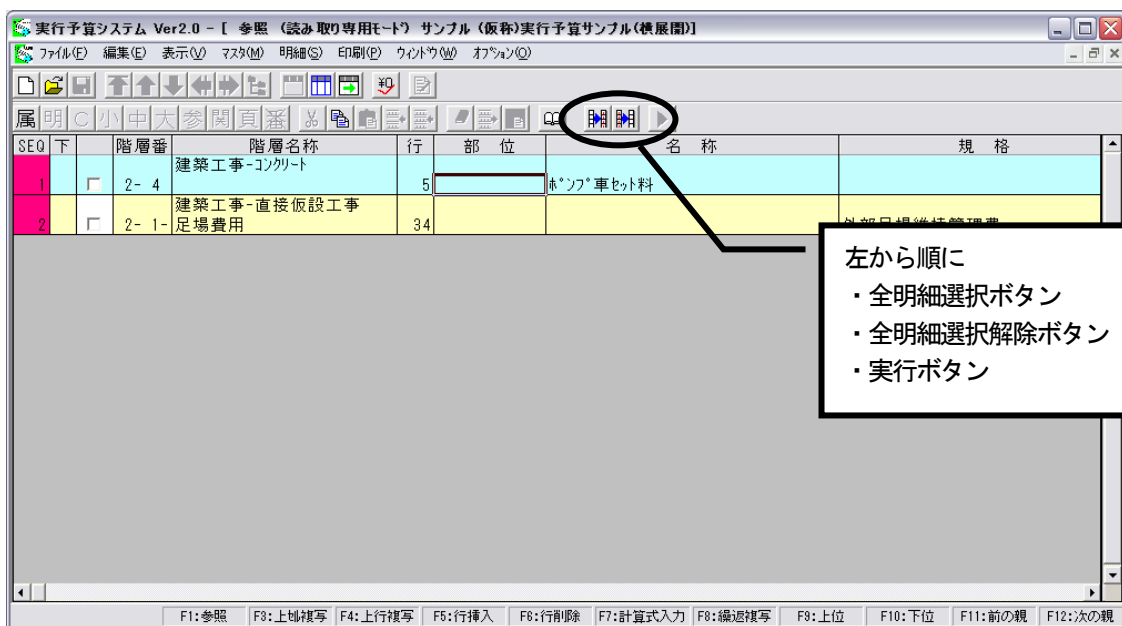
[検索]・[チェック]・[付箋検索]ボタンをクリックすると以下の画面に遷移します。

SEQ	下階層番	階層名称	行	部位	名称	規格
1	2-4	建築工事-コンクリート	5		鉄*ソ*車セット料	
2	2-1-	建築工事-直接仮設工事 足場費用	34			外部足場維持管理費

- ・ 検索結果画面では編集は行えません。
- ・ 列：階層、列：階層名称、列：行
該当行がどの科目に属しているか把握できます。
- ・ 任意の行をダブルクリックすることで、該当行へジャンプします。

h 検索結果画面2

[置換]・[単価統一]・[付箋一括クリア]ボタンをクリックすると以下の画面に遷移します。



- ・検索結果画面では編集は行えません。
- ・列：階層、列：階層名称、列：行
該当行がどの科目に属しているか把握できます。
- ・任意の行をダブルクリックすることで、該当行へジャンプします。
- ・選択チェックを行った明細についてのみ実行されます。
- ・[実行]をクリックするとチェックが付いている明細のみ実行されます。

i 区分タブ

一括検索・置換・チェック設定

検索・置換 チェック 単価統一 他物件単価自動ボト 付箋 区分

原価コード 20100 やり方及び墨出し

要素

検索

条件クリア

処理範囲

全明細 選択行以下の階層の明細 表示階層の明細

レコード属性

明細・コメント属性 明細属性のみ

キャンセル

指定した原価コード・要素の明細を検索します。

i 原価コード

原価コードボタンをクリックすると、原価要素マスタが表示されます。
原価要素マスタから検索対象としたい、原価コードを指定します。

ii 要素

要素ボタンをクリックすると、要素区分マスタが表示されます。
要素区分マスタから検索対象としたい、要素を指定します。

iii 検索

i、ii で選択した原価コードおよび要素の明細を検索します。

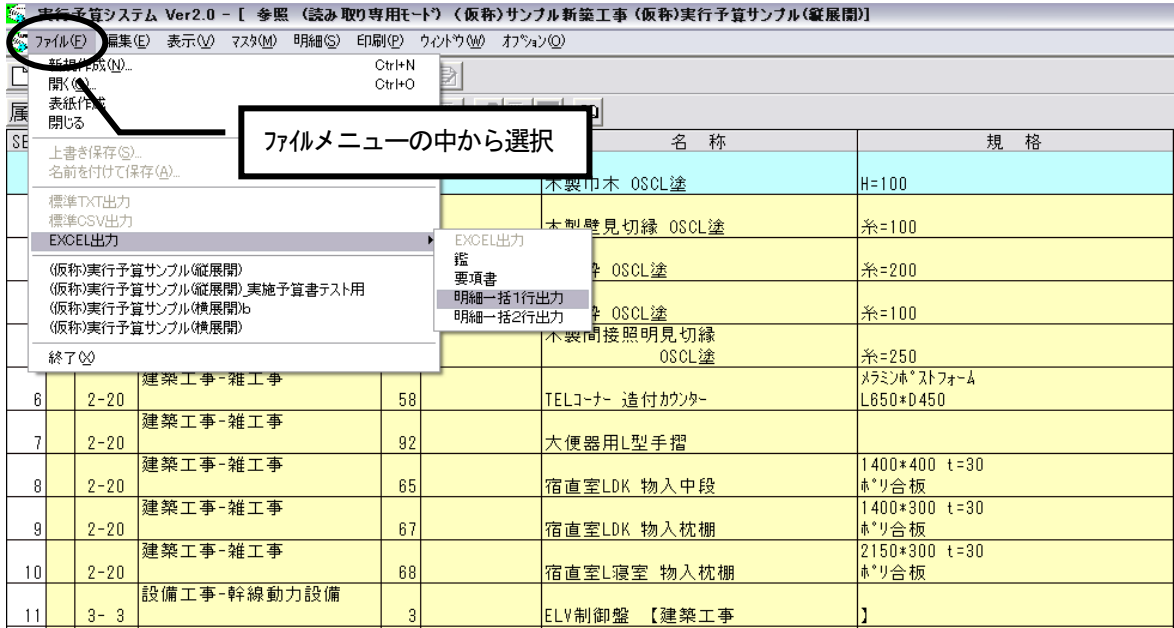
iv 条件クリア

i、ii で選択した条件をクリアします。

j 明細一括 Excel 出力

明細一括 Excel 出力は上図の検索結果画面でのみ使用が可能です。

[ファイル(F)]・[Excel 出力]・[明細一括 1行出力]または[明細一括 2行出力]をクリックすると処理が開始します。



明細一括 1行出力

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
SEQ	設備番号	階層名称	桁数	部位	名称	規格	数量	単位	単価	金額	区分	区分名	契約	要否	備考
1	2-17	建築工事-設備工事	32		木製巾木 OSCL塗	H=100	74.800	m	377	28,199	A1	塗装工事	契約	外注	
2	2-17	建築工事-設備工事	33		木製壁見切縁 OSCL塗	糸=100	9.800	m	377	3,694	A1	塗装工事	契約	外注	
3	2-17	建築工事-設備工事	36		木製枠 OSCL塗	糸=200	30.500	m	471	14,365	A1	塗装工事	契約	外注	
4	2-17	建築工事-設備工事	35		木製枠 OSCL塗	糸=100	4.800	m							
5	2-17	建築工事-設備工事	34		木製間接照明見切縁 OSCL塗	糸=250	7.300	m							
6	2-20	建築工事-雑工事	58		TELコーナー 造付加付	メラミン*スチフォーム L650*0450	1.000	ヶ所	28,320	28,320	B1	金物工事	契約	外注	
7	2-20	建築工事-雑工事	92		大便器用L型手摺	1400*400 t=30 樹脂合板	1.000	ヶ所	10,230	10,230	A1	家具工事	契約	外注	
8	2-20	建築工事-雑工事	65		宿直室LDK 物入中段	1400*300 t=30 樹脂合板	1.000	ヶ所	6,270	6,270	A1	家具工事	契約	外注	
9	2-20	建築工事-雑工事	67		宿直室LDK 物入枕棚	2150*300 t=30 樹脂合板	1.000	ヶ所	9,790	9,790	A1	家具工事	契約	外注	
10	2-20	建築工事-雑工事	68		宿直室L寝室 物入枕棚	樹脂合板	1.000	ヶ所							
11	3-3	設備工事-幹線動力設備	3		ELV制御盤 【建築工事	】	1.000	面			A1	電気設備工事	契約	外注	

各行を Excel 上の 1行で出力します。
上下段存在する場合は、改行を行い出力します。

明細一括 2行出力

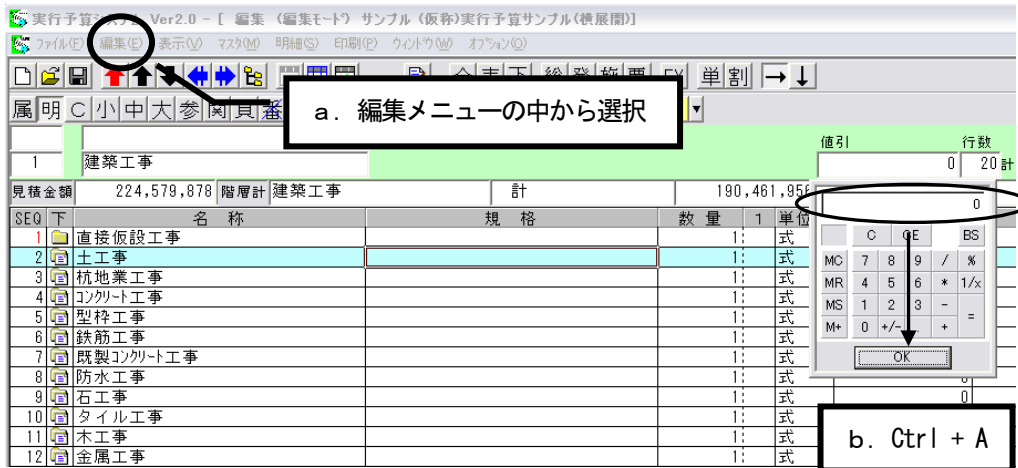
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
SEQ	設備番号	階層名称	桁数	部位	名称	規格	数量	単位	単価	金額	区分	区分名	契約	要否	備考
1	2-17	建築工事-設備工事	32		木製巾木 OSCL塗	H=100	74.800	m	377	28,199	A1	塗装工事	契約	外注	
2	2-17	建築工事-設備工事	33		木製壁見切縁 OSCL塗	糸=100	9.800	m	377	3,694	A1	塗装工事	契約	外注	
3	2-17	建築工事-設備工事	36		木製枠 OSCL塗	糸=200	30.500	m	471	14,365	A1	塗装工事	契約	外注	
4	2-17	建築工事-設備工事	35		木製枠 OSCL塗	糸=100	4.800	m							
5	2-17	建築工事-設備工事	34		木製間接照明見切縁 OSCL塗	糸=250	7.300	m							
6	2-20	建築工事-雑工事	58		TELコーナー 造付加付	メラミン*スチフォーム L650*0450	1.000	ヶ所	28,320	28,320	B1	金物工事	契約	外注	
7	2-20	建築工事-雑工事	92		大便器用L型手摺	1400*400 t=30 樹脂合板	1.000	ヶ所	10,230	10,230	A1	家具工事	契約	外注	
8	2-20	建築工事-雑工事	65		宿直室LDK 物入中段	1400*300 t=30 樹脂合板	1.000	ヶ所	6,270	6,270	A1	家具工事	契約	外注	
9	2-20	建築工事-雑工事	67		宿直室LDK 物入枕棚	2150*300 t=30 樹脂合板	1.000	ヶ所	9,790	9,790	A1	家具工事	契約	外注	
10	2-20	建築工事-雑工事	68		宿直室L寝室 物入枕棚	樹脂合板	1.000	ヶ所							
11	3-3	設備工事-幹線動力設備	3		ELV制御盤 【建築工事	】	1.000	面			A1	電気設備工事	契約	外注	

各行を Excel 上の 2行で出力します。
上下段存在する場合は、上段を 1行目、下段を 2行目に出力します。

⑮電卓

電卓を表示して、選択されている項目にその内容を入力します。

電卓



処理メニューから、次の操作を行うことでジャンプフォームが開きます。

a. [編集(E)]メニューの[電卓(A)]を選択

b. ショートカットキーでctrl + Aを押す。

・電卓で計算して、電卓ウインドウの [OK] ボタンをクリックすると、電卓の結果部分に表示されている数字が選択されているセルに入力されます。

・ [ESC] ボタンを押すと、編集に戻ります。

・すべての項目に入力が可能ですが、自動日本語入力機能の項目でも、半角で入力されます。

・数量につきましては、整数部、小数部同時に入力することはできません。電卓の値が少数点を含むデータの場合は値が四捨五入されて選択したセルにのみ入力されます。(両方選択した場合は整数部のみ)

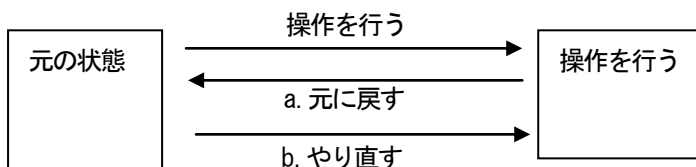
⑩元に戻す・やり直し

元に戻すは直前におこなった編集処理を取り消し、元に戻します。やり直しは元に戻した操作をやり直します。
元に戻す・やり直し



処理メニューから、次の操作を行うことで元に戻す・やり直しが実行できます。

- 「編集(E)」メニューの「元に戻す(U)」, 「やり直す(R)」を選択
- ショートカットキーでctrl + Z、Ctrl + Yを押す。
- 元に戻す、やり直すアイコンを押す。



- 元の状態から何かの操作を行った時、元の状態に戻るのが元に戻す(a)。そのあと元の状態から操作を行った状態に進めるのがやり直す(b)となります。
- やり直すは操作を元に戻す必要がなかった場合などに使用することで、再度入力を省くことができます。
- それぞれの操作を行うためには、事前に操作を行っている必要があります。
(実行できない場合はアイコンがオフになっています)
- 元に戻す処理の履歴は、10 回分です。それ以上続けて戻すことはできません。**

(9) マスタ参照機能

内訳書を入力する場合、直接入力の外にマスタから参照入力することができます。

マスタ参照は以下の方法でおこなえます

①ポップアップメニュー、[マスタ参照] ボタン、F1キー（参照）によるマスタ参照画面を開いて入力

② [マスタ(M)] メニューからマスタ参照画面を開いての参照入力 以上の方法があります。

また、①に関連した機能として、

③参照項目既定マスタ

④明細コード入力既定種目コード

があります。ただし、番号マスタ及び単価マスタに関しましては、使用方法が異なります。

これら方法につきましては別に

記述します。

⑤番号マスタ参照について

⑥単価マスタ参照について

マスタファイル及びその内容（種類）につきましては「3. 1. 8 マスタファイルについて」をご覧ください。

①ポップアップメニュー、[マスタ参照] ボタン、F1キー（参照）によるマスタ参照入力

マスタ参照入力可能な項目が選択または編集状態にあるとき、手入力を行わなくても、上記の処理をおこなうことで自動的にその項目に適したマスタが選択され内訳書に入力されます。

(A) 開かれたマスタ画面から、入力したい項目をダブルクリックすることで、入力がおこなえます。

(B) 単位マスタを除きマスタウィンドウから複数項目を選択して1度に複数行入力することも可能です。

(注1) 参照しているマスタは編集モードにすることで、マスタの編集もおこなえます。

マスタウィンドウ（第1階層例）

SEQ	下	名称	
1		共通仮設工事	
2		建築工事	
3		設備工事	
4		現場管理費	
5			

種目	科目	金額
00	主科目名称	
02	集計名称	
10	共通仮設工事	8,254,189
11	総合仮設工事	190,461,956
15	開発工事	22,942,733
20	建築工事	2,921,000
21	本件工事	
22	機械基礎工事	
30	電気設備工事	
40	給排水衛生設備工事	
41	機械設備工事	
42	空調和設備工事	
43	空調和換気設備工事	
44	設備工事	
50	昇降機設備工事	
51	立駐機設備工事	
53	ホーム・トヨタ・T工事	

・第1階層の場合

参照入力可能な項目は、名称及び単位です。

名称において選択されるマスタは、[マスタ(M)] メニューの [参照項目既定マスタ] → [集計階層・名称] で設定したマスタです。ただし、科目が選択されている場合、種目マスタが表示されます。

・第2階層以降の集計階層の場合

参照入力可能な項目は、名称及び単位です。

名称において選択されるマスタは、[マスタ(M)]メニューの[参照項目既定マスタ] → [集計階層・名称]で設定したマスタです。ただし、種目または科目が選択されている場合、上位(親)階層データの種目コードに対応した科目マスタを開きます。種目コードが設定されていない場合は、種目マスタが表示されます。この場合、親となる種目を選択して、マスタウィンドウにある[科目]ボタンをクリックすると、種目コードに対応した科目マスタが表示されます。

・明細、別紙明細階層の場合

参照入力可能な項目は、部位、名称(材料)、規格、単位、及び単価です。

部位において選択されるマスタは、[マスタ(M)]メニューの[参照項目既定マスタ] → [明細、別紙明細階層・部位]で設定したマスタです。

名称及び規格において選択されるマスタは、上位階層の種目及び科目コードに対応した材料マスタです。ただし、種目または科目が未確定(コードがゼロ)な場合、またはその種目、科目コードにマスタが存在しない場合、種目マスタあるいは科目マスタが選択されます。種目が決定していない場合は、親となる種目を選択して[科目]ボタンをクリックして下さい。その種目、科目コードに対応した材料または規格マスタが表示されます。

<ポイント>

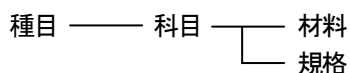
・参照入力できる項目以外にマスタ内容のダブルクリックで参照入力することはできません。

例えば、単位マスタの内容を規格に入力するなどです。

・参照可能なマスタは、集計階層の名称のとき種目、科目、集計、部分、タイプ、及び部屋マスタ
明細、別紙明細階層の部位のとき部位、タイプ、及び部屋マスタ
材料名称及び規格は、それぞれ材料、規格マスタです。

・種目、科目、集計、部位、材料、規格、及び単位マスタから参照入力すると、編集画面上では分かりませんが、そのコードもデータとして入力されます。コードはコード編集画面で確認及び編集できます。

・種目、科目、材料、規格マスタはコード的に下記のような親子関係をもっています。



マスタを開く場合に、親階層のコードが設定されていない場合は、その親階層のマスタが表示されます。

*単位は入力欄でプルダウン表示より選択可能です。

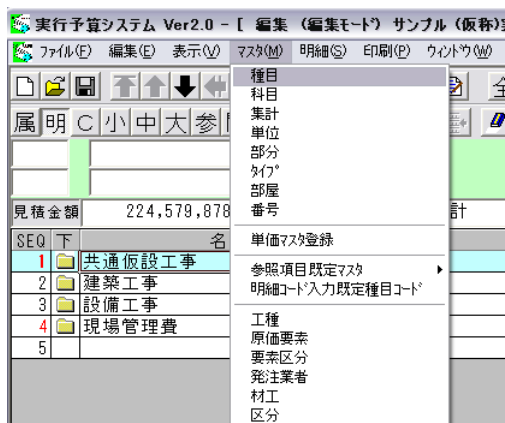
96,000,000	階層計	総 合 計	96,000,000		96,000,000	
名 称		規 格	数 量	1 単 位	1 単 価	金 額
共通仮設工事			1	式	0	6,430,000
建築工事			1		0	52,829,000
電気設備工事			1	式	0	6,254,000
給排水衛生設備工事			1	m	0	5,285,000
空調設備工事			1	m ²	0	4,086,000
昇降機設備工事			1	m ³	7,000,000	7,000,000
総括マスタ			1	式	1,200,000	1,200,000

② [マスタ(M)]メニューからマスタを選択しての参照入力

[マスタ(M)]メニューから参照入力したいマスタを選択して、開かれたマスタから、入力したい項目をダブルクリックすることで、入力がおこなえます。

マスタが開かれた後からの操作は、「①ポップアップメニュー、[マスタ参照]ボタン、またはF1キー(参照)によるマスタ参照入力」とまったく同じ操作になります。マスタを選択後の操作につきましては、①の項をご覧ください。

集計階層 マスタメニュー



名称は、種目、科目、集計、部分、タイプ、及び部屋マスタから参照入力が可能です。
単位は、単位マスタから参照入力が可能です。

明細、別紙明細階層 マスタメニュー



部位は、部位、タイプ、及び部屋マスタから参照入力が可能です。
名称は、材料マスタから参照入力が可能です。
規格は、規格マスタから参照入力が可能です。
単位は、単位マスタから参照入力が可能です。

<ポイント>

- ・「①ポップアップメニュー、[マスタ参照] ボタン、またはF1キー（参照）によるマスタ参照入力」はマスタを自動選択して開くのに対し、ここでは開きたいマスタを選択して参照入力をおこなうことになります。マスタを開いた後の操作は、①とまったく同様ですので、開いた後の操作は①の項を参照して下さい。

③参照項目既定マスタ

集計階層において①の操作で名称を入力するときに、自動選択されるマスタの種類を設定します。
明細、別紙明細階層においては、①の操作で部位を入力するときに、選択されるマスタの種類を設定します。
この設定が使用される詳細につきましては、①の項をご覧下さい。

④明細コード入力既定種目コード

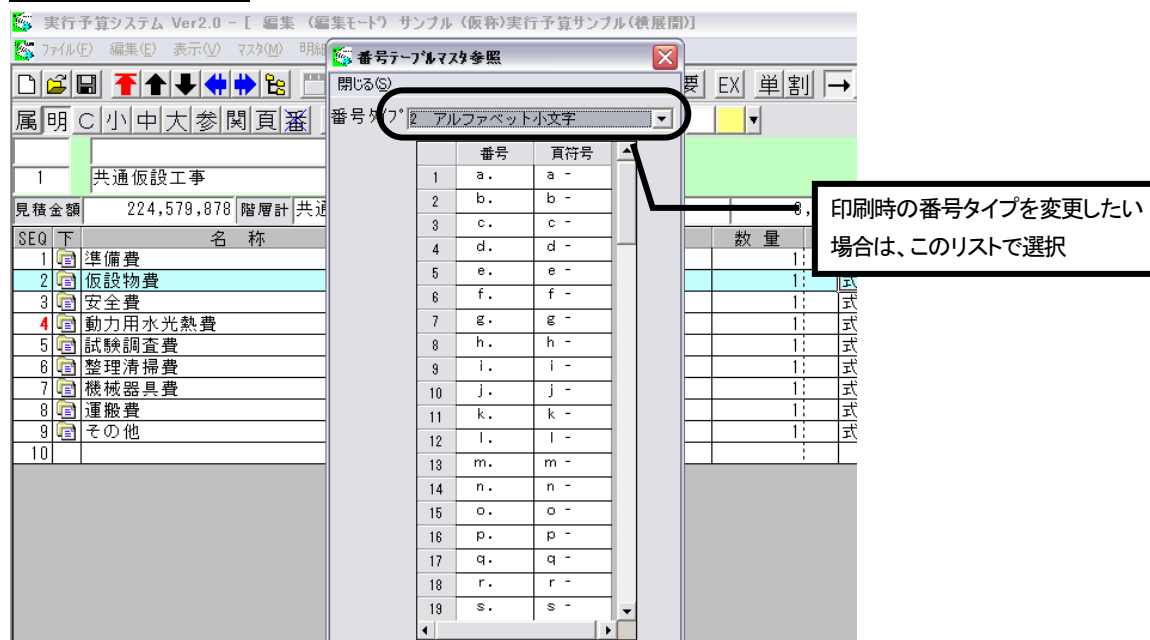
明細、別紙明細階層において、材料及び規格をコード入力した場合の種目コードを設定します。

⑤番号マスタ参照について

番号マスタは印刷時に集計階層において、名称の前に印字される項目番号を設定するマスタです。

従いまして、集計階層のみで設定可能なマスタです。
各階層ごと設定可能で、これら既定値は管理情報マスタで定義されています。

集計階層 番号マスタ



[マスタ(M)]メニューの[番号]を選択すると、上記の画面が表示されます。
開かれた番号マスタウィンドウは、現在表示している集計階層の番号タイプが表示されます。
印刷する番号タイプを変更したい場合、番号タイプのリストより選択します。
マスタを終了する場合は、マスタウィンドウの[ファイル(F)]の[終了]をおこないます。

<ポイント>

- ・上記画面例ですと、「A. 共通仮設工事」などと印刷されることになります。
- ・番号は行種別が明細のときのみ印刷され、編集画面のSEQ番号順にマスタの内容を印刷します。ただし、行種別が明細の場合でも番号を印刷したくない場合（値引きなど）は、行属性で番号無しを指定できます。
- ・このマスタ参照は、集計階層のみ可能です。
- ・番号マスタの修正は参照ウィンドウではできません。番号マスタを追加、修正したい場合はメインメニューから[マスタ管理(M)]の[メンテナンス(M)] → [番号テーブルマスタ]でおこなってください。

⑥単価マスタ参照について

単価マスタからの参照入力は、明細及び別紙明細階層のみで可能です。

参照入力の方法としては、

- a. ポップアップメニュー、[マスタ参照]ボタン、またはF1キー（参照）によるマスタ参照入力
- b. [マスタ(M)]メニューからマスタを選択しての参照入力

以上の方法があります。これら方法を単価マスタウィンドウの表示で説明します。

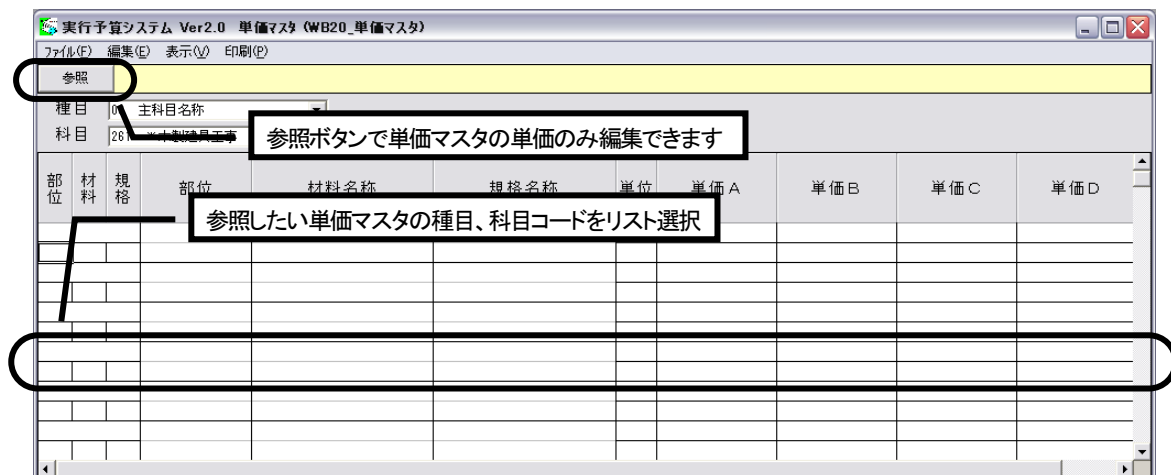
参照機能としては、

- c. 単価のみを入力する
- d. 単価マスタから1行分をそのまま貼り付ける

以上の機能があります。

・単価マスタウィンドウの表示

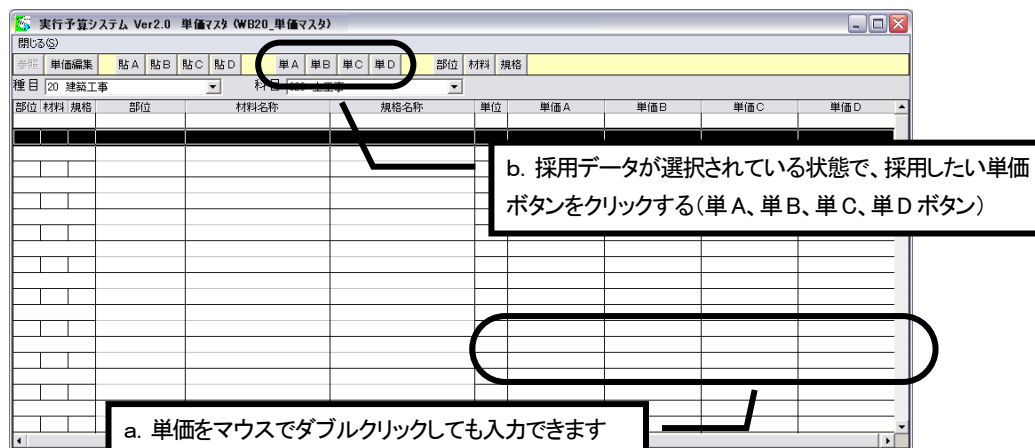
単価マスタウィンドウ



明細または別紙明細階層の**単価項目**で、ポップアップメニューの [マスタ参照] をクリックする、
 [マスタ参照] ボタンをクリックする、または F 1 キーを押すと単価マスタウィンドウが表示されます。
 あるいは、[マスタ (M)] メニューの [単価] を選択すると、単価マスタウィンドウが表示されます。
 参照したい、単価マスタの種目及び科目を選択します。
 選択したマスタが存在した場合、その明細が表示されます。

・単価のみを入力（採用）する

単価のみ採用



明細または別紙明細画面で、入力したい単価項目が選択または編集状態にある時に、以下の方法で入力します。

- a. 採用したい単価をダブルクリックする
 - b. マスタウィンドウの参照入力したいデータをマウスで選択後、採用したい [単価 A] から [単価 D] ボタンをクリックする、どちらかの操作で編集画面に選択した単価が入力されます
- ・ 単価マスタから 1 行分をそのまま貼り付ける

(10) Excel 貼付機能

Excel 貼付機能は、実行予算 Light から Excel への貼り付け、または Excel から実行予算 Light へ貼り付けを行う場合に使用します。

Excel 貼付機能

SEQ	下	名称	規格	数量	1	単位 1	単価 1
1		(外部)					
2							
3		塗膜防水		68.0		m ²	
4		アスファルト防水		14.3		m ²	
5		シート防水		2.0		m ²	
6		アスファルト系 シーリング					
7		防水押えアングル止					
8		アスファルト防水		3.4		m ²	
9		ポリサルファイド系 シーリング		60.0		m	
10		ポリサルファイド系 シーリング		10.4		m	
11		ポリサル シーリン					
12		ポリサル シーリン					

右クリックのポップアップメニューで選択します

Excelコピー ▶ 2段→2行で1明細(Excel)
Excel貼り付け ▶ 2段→1行で1明細(Excel)
Excel行挿入(貼付) ▶ 1段→1行で1明細(Excel)

範囲選択をして右クリック、または行選択をして右クリックのポップアップメニューから使用してください

・Excel コピー

実行予算 Light のデータを Excel に貼り付けたい場合に使用します。

2 段→2 行で 1 明細 (Excel) の場合、明細階層の 2 段が Excel で貼り付けると 2 行で貼り付けます。

2 段→1 行で 1 明細 (Excel) の場合、明細階層の 2 段が Excel で貼り付けると 1 行で貼り付けます。

1 段→1 行で 1 明細 (Excel) の場合、明細階層の 1 段が Excel で貼り付けると 1 行で貼り付けます。

Excel コピーの例 (明細階層 2 段表示)

SEQ	下	部 位	名 称	規 格	数 量	1	単 位 1	金 額 1	材 料 1
1			(外部)						
2									
3			屋上 アスファルト防水	露出 0-2 平面 <A-20参照>	163		m ²	525,349	
4									
5			屋上 アスファルト防水	露出 立上	64.9		m ²	208,458	
6			7.3mm厚I金物 (削除)	ツリツク共	110		m	79,860	
7			脱気筒	25~100m ² に1ヶ所	3		ヶ所	0	
8									
9			風除室屋根 FRP複合防水	平面 露出	8.6		m ²	62,436	
10			風除室屋根 FRP複合防水	立上 露出 H=300	12.9		m	32,778	
11			2階床 FRP複合防水	平面 保護有り	11.5		m ²	83,490	
12			2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300	25.8		m	65,557	
13			踊場 FRP複合防水	平場 保護有り	4.3		m ²	31,218	

黒枠を Excel コピーし、Excel に貼り付けます。

2段→2行で1明細(Excel)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3										
4		(外部)								
5										
6										
7			露出							525,349
8		屋上アスファルト防水	D-2 平面	163 m2	3,223	525,349				3,223
9			<A-20図参照>							
10										
11		屋上アスファルト防水	露出 立上	64.9 m2	3,212	208,458				208,458
12										
13										79,860
14		アルミ押E金物	シーリング共	110 m	726	79,860				726
15		(削除)								
16		脱気筒	25~100㎡に1ヶ所	3ヶ所						
17										
18										
19		風除室屋根								62,436
20		FRP複合防水	平面 露出	8.6 m2	7,260	62,436				7,260
21		風除室屋根								32,778
22		FRP複合防水	立上 露出 H=300	12.9 m	2,541	32,778				2,541
23										83,490
24		2階床 FRP複合防水	平面 保護有り	11.5 m2	7,260	83,490				7,260
25										65,557
26		2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300	25.8 m	2,541	65,557				2,541
27										31,218
28		踊場 FRP複合防水	平場 保護有り	4.3 m2	7,260	31,218				7,260

実行予算Light上での上下段がExcel では1行ずつ分かれて貼り付きます。

2段→1行で1明細(Excel)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		(外部)								
3										
4		屋上アスファルト防水	露出 D-2 平面 <A-20図参照>	163 m2	3,223	525,349			3,223	
5										
6		屋上アスファルト防水	露出 立上	64.9 m2	3,212	208,458			3,212	
7		アルミ押E金物	シーリング共	110 m	726	79,860			726	
8		(削除)								
9		脱気筒	25~100㎡に1ヶ所	3ヶ所	0	0				
10		風除室屋根	FRP複合防水 平面 露出							
11		風除室屋根	FRP複合防水 立上 露出 H=300							
12		2階床 FRP複合防水	平面 保護有り	11.5 m2	7,260	83,490				7,260
13		2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300	25.8 m	2,541	65,557				2,541
14		踊場 FRP複合防水	平場 保護有り	4.3 m2	7,260	31,218				7,260
15										

実行予算作成システム上での上下段がExcel では1行に貼り付きます。上下段をExcel で改行して1行で表示しています。

*実際には罫線、行列幅は変更されませんのでご注意ください。

Excel コピーの例 (明細階層 1 段表示)

実行予算システム Ver2.0 - [編集 (編集モード) サンプル (仮称) 実行予算サンプル (横展開)]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) マスタ(M) 明細(S) 印刷(P) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

全表下 総発施要 EX 単割 → ↓

属明 C 小中大 参関頁番

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	単位	単価
1			(外部)				
2							
3			屋上 アスファルト防水	露出	163	m2	3,223
4				<A-20図参照>			
5			屋上 アスファルト防水	露出 立上	64.9	m2	3,212
6			アルミ押入れ金物	ツリツグ 共	110	m	726
7			(削除)	脱気筒	3	ヶ所	0
8				25~100㎡に1ヶ所			
9			風除室屋根	平面 露出	8.6	m2	7,260
10			風除室屋根	立上 露出 H=300	12.0	m	2,541
11			2階床 FRP複合防水	平面 保護有り	11.5	m2	7,260
12			2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300	25.8	m	2,541
13			踊場 FRP複合防水	平面 保護有り	4.3	m2	7,260
14			踊場 FRP複合防水	巾木 保			
15			段部 FRP複合防水	踏面 保			
16			段部 FRP複合防水	蹴上 保			
17			段部 FRP複合防水	サシ巾木 保護有り	8.3	m	1,694
18							
19			EVツタ屋根	平面 X-2 露出	7.4	m2	2,420

黒枠を Excel コピーし、Excel に貼り付けます。

1 段→1 行で 1 明細 (Excel)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1									
2		(外部)							
3									
4		屋上 アスファルト防水	露出	D-2 平面	163 m2	3,223	525,349		3,223
5				<A-20図参照>					
6		屋上 アスファルト防水	露出 立上		64.9 m2	3,212	208,458		3,212
7		アルミ押入れ金物	ツリツグ 共		110 m	726	79,860		726
8		(削除)	脱気筒	25~100㎡に1ヶ所	3ヶ所	0	0		
9									
10		風除室屋根	FRP複合防水	平面 露出					7,260
11		風除室屋根	FRP複合防水	立上 露出 H=300					2,541
12		2階床 FRP複合防水	FRP複合防水	平面 保護有り					7,260
13		2階床 FRP複合防水	FRP複合防水	立上 保護有り H=300					2,541
14		踊場 FRP複合防水	FRP複合防水	平面 保護有り	4.3 m2	7,260	31,218		7,260

実行予算作成システム上での 1 段が Excel では 1 行に貼り付けます。

・Excel 貼り付け

Excel でコピーしたデータを実行予算 Light 上に貼り付けたい場合に使用します。

2行→2段で1明細(実行予算)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3										
4		(外部)								
5										
6										
7		露出								525,349
8	屋上アスファルト防水	D-2 平面		163 m2		3,223	525,349			3,223
9		<A-20図参照>								
10										
11										208,458
12	屋上アスファルト防水	露出 立上		64.9 m2		3,212	208,458			3,212
13										79,860
14	アルミ押金物	シーリング共		110 m		726	79,860			726
15	(削除)									
16	脱気筒	25~100㎡に1ヶ所		3ヶ所		0	0			
17										
18										
19	風除室屋根									62,436
20	FRP複合防水	平面 露出		8.6 m2		7,260	62,436			7,260
21	風除室屋根									32,778
22	FRP複合防水	立上 露出 H=300		12.9 m		2,541	32,778			2,541
23										83,490
24	2階床 FRP複合防水	平面 保護有り		11.5 m2		7,260	83,490			7,260
25										65,557
26	2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300		25.8 m		2,541	65,557			2,541
27										31,218
28	踊場 FRP複合防水	平場 保護有り		4.3 m2		7,260	31,218			7,260

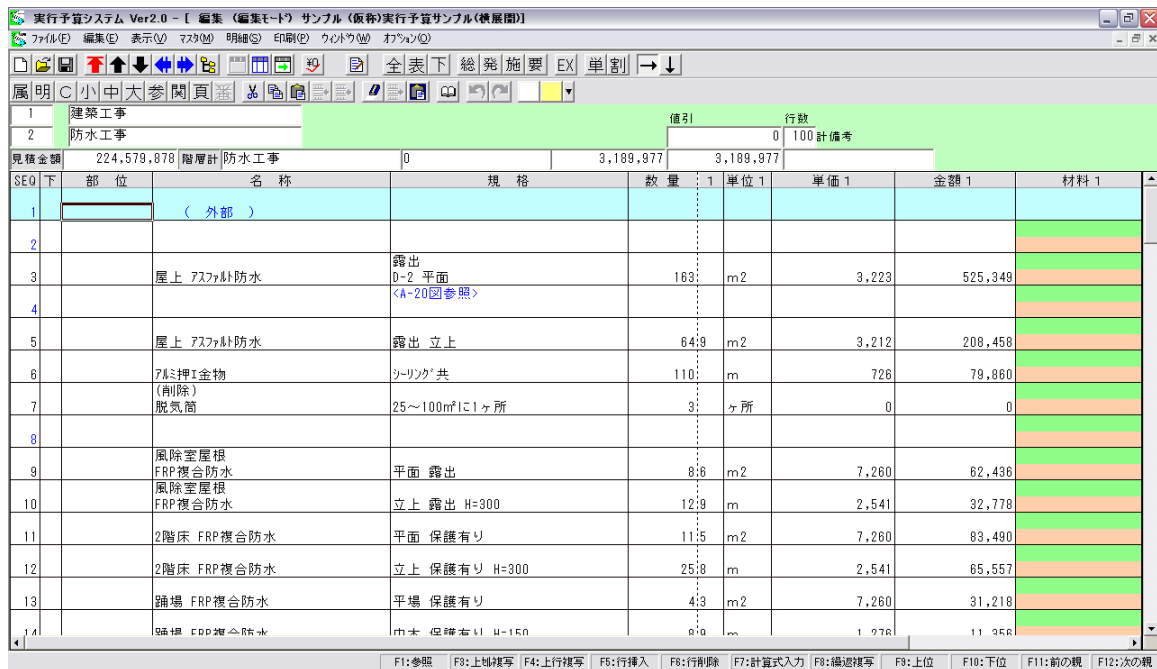
The screenshot shows the '実行予算システム Ver2.0' (Execution Budget System Ver2.0) interface. The main window displays a detailed budget table for '防水工事' (Waterproofing Work). The table includes columns for '部位' (Location), '名称' (Name), '規格' (Specification), '数量' (Quantity), '単位' (Unit), '単価' (Unit Price), '金額' (Amount), and '材料' (Material). The data is organized into rows corresponding to the Excel data shown above, with a total amount of 3,189,977. The interface also shows a menu bar, a toolbar, and a status bar at the bottom.

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	単位	単価	金額	材料
1			(外部)						
2									
3		屋上アスファルト防水	露出 D-2 平面 <A-20図参照>		163	m2	3,223	525,349	
4									
5		屋上アスファルト防水	露出 立上		64.9	m2	3,212	208,458	
6		アルミ押金物	シーリング共		110	m	726	79,860	
7		(削除) 脱気筒	25~100㎡に1ヶ所		3	ヶ所	0	0	
8									
9		風除室屋根 FRP複合防水	平面 露出		8.6	m2	7,260	62,436	
10		風除室屋根 FRP複合防水	立上 露出 H=300		12.9	m	2,541	32,778	
11		2階床 FRP複合防水	平面 保護有り		11.5	m2	7,260	83,490	
12		2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300		25.8	m	2,541	65,557	
13		踊場 FRP複合防水	平場 保護有り		4.3	m2	7,260	31,218	
14		踊場 FRP複合防水	平場 保護有り H=150		4.3	m2	7,260	31,218	

2行→1段で1明細(実行予算)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		(外部)								
3										
4		屋上 アスファルト防水	露出 D-2 平面 <A-20図参照>	163 m2	3,223	525,349				3,223
5										
6		屋上 アスファルト防水	露出 立上	64.9 m2	3,212	208,458				3,212
7		アルミ押E金物 (削除)	シーリング共	110 m	726	79,860				726
8		脱気筒	25~100㎡に1ヶ所	3ヶ所	0	0				
9										
10		風除室屋根 FRP複合防水	平面 露出	8.6 m2	7,260	62,436				7,260
11		風除室屋根 FRP複合防水	立上 露出 H=300	12.9 m	2,541	32,778				2,541
12		2階床 FRP複合防水	平面 保護有り	11.5 m2						
13		2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300	25.8 m						
14		踊場 FRP複合防水	平場 保護有り	4.3 m2						
15										

黒枠内を Excel でコピーし、実行予算 Light 上のポップアップメニューから 2行→1段で 1明細(実行予算)を選択します



1行→1段で1明細(実行予算)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		(外部)								
3										
4		屋上 アスファルト防水	露出 D-2 平面	163 m2	3,223	525,349				3,223
5			<A-20図参照>							
6		屋上 アスファルト防水	露出 立上	64.9 m2	3,212	208,458				3,212
7		アルミ押エ金物	シーリング共	110 m	726	79,860				726
8		(削除) 脱気筒	25~100㎡に1ヶ所	3ヶ所	0	0				
9										
10		風除室屋根 FRP複合防水	平面 露出	8.6 m2	7,260	62,436				7,260
11		風除室屋根 FRP複合防水	立上 露出 H=300	12.9 m	2,541	32,778				2,541
12		2階床 FRP複合防水	平面 保護有り	11.5 m2	7,260	83,490				7,260
13		2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300	25.8 m	2,541	65,557				2,541
14		踊場 FRP複合防水	平場 保護有り	4.3 m2	7,260	31,218				7,260
15										

黒枠内を Excel でコピーし、実行予算 Light 上のポップアップメニューから 1行→1段で 1明細(実行予算) を選択します

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	単位	単価
1			(外部)				
2							
3			屋上 アスファルト防水	露出	163	m2	3,223
4				<A-20図参照>			
5			屋上 アスファルト防水	露出 立上	64.9	m2	3,212
6			アルミ押エ金物	シーリング共	110	m	726
7			(削除)	25~100㎡に1ヶ所	3	ヶ所	0
8							
9			風除室屋根	平面 露出	8.6	m2	7,260
10			風除室屋根	立上 露出 H=300	12.9	m	2,541
11			2階床 FRP複合防水	平面 保護有り	11.5	m2	7,260
12			2階床 FRP複合防水	立上 保護有り H=300	25.8	m	2,541
13			踊場 FRP複合防水	平場 保護有り	4.3	m2	7,260
14			踊場 FRP複合防水	巾木 保護有り H=150	8.9	m	1,276
15			段部 FRP複合防水	踏面 保護有り	2.9	m2	7,260
16			段部 FRP複合防水	蹴上 保護有り	2.7	m2	8,470
17			段部 FRP複合防水	ササ巾木 保護有り	8.3	m	1,694
18							
19			EVチャージ屋根	平場 X-2 露出	7.4	m2	2,420

・Excel 行挿入(貼付)

Excel でコピーしたデータを実行予算 Light 上に貼り付けたい場合に使用します。
Excel 貼り付けとは異なり、Excel 行挿入(貼付)は新規行が作成され、貼り付けします。
最大行数(集計 99 行、明細 3000 行)を超える場合は貼り付けを行うことはできません。

Excel 貼付機能の注意点

- ・Excel コピーをする場合、Excel 上で罫線、行列幅は変更されません。
- ・Excel 貼り付けをする場合、明細階層の上段が触ることができない列から貼り付けることはできません。
- ・最大文字数を超える文字列を貼り付けた場合、最大文字数以下はカットされて貼り付けします。
- ・Excel 行挿入(貼付)をする場合、最大行数(集計 99 行、明細 3000 行)を超える場合は貼り付けを行うことはできません。
- ・UCD1(番号)列、掛率列はコピー、貼り付け対象外です。
- ・非表示列がある場合、貼り付けを行う Excel の形式も変更する必要があります。

3. 2. 6 処理メニュー 表示(V)の機能

[表示(V)]メニューは、主に階層の移動、編集画面の表示切替をおこないます。

ここでは、階層移動以外の機能をメニューの順番に従い、以下の手順で説明します。

- (1) 階層移動
- (2) 階層移動TREE
- (3) 標準表示と全単価表示
- (4) 単価切替
- (5) 印刷改頁行確認
- (6) 部位表示
- (7) 数量欄切替
- (8) 明細行切替
- (9) 要素表示
- (10) 入力不可項目
- (11) 付箋
- (12) 列幅戻す
- (13) 値引データ入力
- (14) 金額合計表示
- (15) ズーム
- (16) 列非表示設定
- (17) ツールバー

(1) 階層移動

ツールバーにある階層移動の機能と同等です。

機能の詳細につきましては、「3. 2. 5 内訳書の作成」にあります。その項をご覧ください。

(2) 階層移動TREE

従来までの階層移動TREE表示のほかに明細画面左に常時TREEを表示することができます。

SEQ	名称	規格	数量	単位	単価
1	直接仮設工事		1	式	
2	土工事		1	式	
3	杭地業工事		1	式	
4	コンクリート工事		1	式	
5	型枠工事		1	式	
6	鉄筋工事		1	式	
7	既製コンクリート工事		1	式	
8	防水工事		1	式	
9	石工事		1	式	
10	タイル工事		1	式	
11	木工事		1	式	
12	金属工事		1	式	
13	左官工事		1	式	
14	木製建具工事		1	式	
15	金属製建具工事		1	式	
16	硝子工事		1	式	
17	塗装工事		1	式	

・常時TREE上で新規階層や別紙明細などを作ることはできません。

(3) 標準表示と全単価表示

・標準表示

3セットある数量、単位、単価、及び金額のうち、1セットを表示する画面です。

(数量、単位、単価、金額の1セットを、それぞれ単価1、単価2、単価3と表現します。)

表示している単価番号を変える場合、単価切替を使用します。

・全単価表示

単価1、単価2、単価3のすべてを表示する画面です。

画面に表示されていない項目は、画面下の横スクロールバーを使用して表示させます。

・単価1、2表示、単価1、3表示、単価2、3表示

単価1、単価2、単価3を組み合わせて表示する画面です。

集計階層 全単価表示

標準表示ボタン、全単価表示ボタン
このボタンでも画面が切り替わります

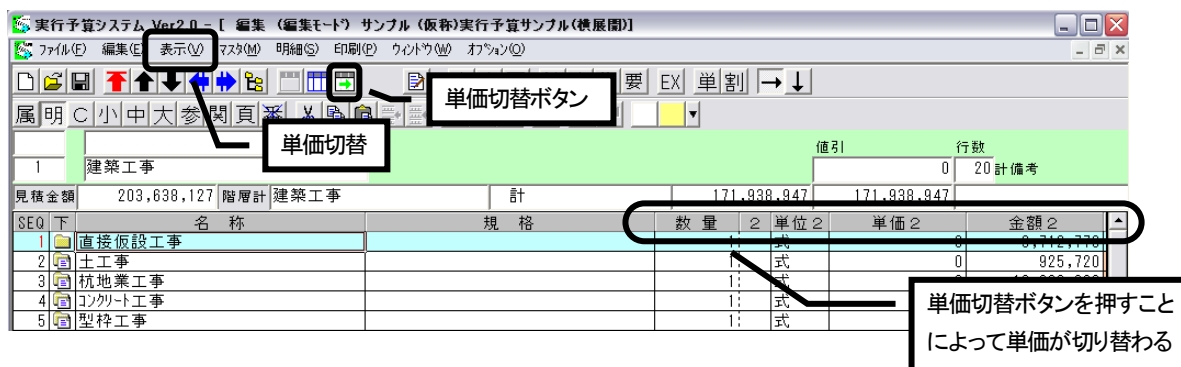
横スクロールバーで規格より右の項目がスクロールします

単価番号により数量、単位、単価、金額のセットが表示されます

SEQ	下	名称	規	数量	1	単位	1	単価	1	金額	備考	数量	2	単位	2	単価	2	金額	備考	数量	3	単位	3	単価	3	金額	備考
1		直接仮設工事			1	式	0		9,514.893			1	式	0				9,712.770									
2		土工事			1	式	0		928.729			1	式	0				928.720									
3		杭地業工事			1	式	0		15,596.003			1	式	0				13,820.000									
4		コンクリート工事			1	式	0		17,555.217			1	式	0				17,204.260									
5		型枠工事			1	式	0		23,870.811			1	式	0				22,000.000									
6		鉄筋工事			1	式	0		23,869.997			1	式	0				14,031.297									
7		既製コンクリート...			1	式	0		86.005			1	式	0				80.000									
8		防水工事			1	式	0		3,189.877			1	式	0				3,130.000									
9		石工事			1	式	0		2,189.873			1	式	0				2,140.000									
10		タイル工事			1	式	0		3,300.114			1	式	0				3,240.000									
11		木工事			1	式	0		1,100.106			1	式	0				1,100.000									
12		金属工事			1	式	0		4,786.584			1	式	0				4,740.000									
13		左官工事			1	式	0		4,730.781			1	式	0				4,550.000									
14		木製建具工事			1	式	0		714.899			1	式	0				770.000									
15		金属製建具...			1	式	0		21,813.036			1	式	0				21,584.900									
16		硝子工事			1	式	0		1,540.106			1	式	0				1,400.000									
17		塗装工事			1	式	0		3,300.652			1	式	0				3,500.000									
18		内外装工事			1	式	0		17,599.930			1	式	0				16,290.000									
19		仕上工			1	式	0		22,660.025			1	式	0				20,660.000									
20		雑工事			1	式	0		12,100.008			1	式	0				11,060.000									
21																											

標準表示と全単価表示の切替は、[表示(V)]メニューでおこなうか、標準表示ボタン、全単価表示ボタンでおこないます。全単価表示の時は単価切替ボタンはオフになっています。
横スクロールバーで規格より右の項目がスクロールします。

(4) 単価切替
単価切替

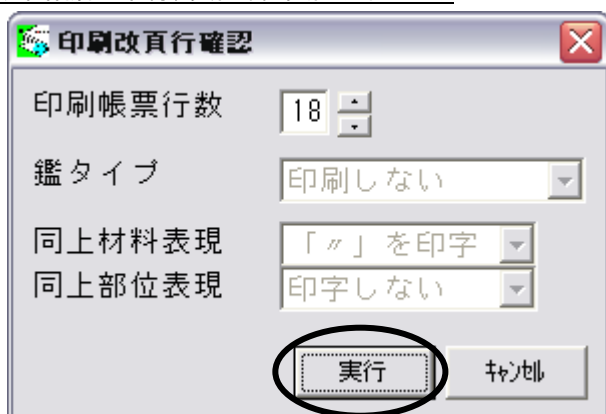


標準表示のとき、表示する単価を変更する場合におこないます。この処理は「単価切替」ボタンでも可能です。単価の切り替わる順番は「単価1→単価2→単価3→単価1…」です。
[表示(V)]メニューの[単価切替]では単価1、単価2、単価3いずれかを選択して切り替えることが可能です。

(5) 印刷改頁行確認

印刷した場合に、頁の先頭に印刷されるデータを確認します。

明細階層 印刷改頁行確認実行ウィンドウ



[表示(V)]メニューの[印刷改頁行確認] → [実行] をクリックすると、実行ウィンドウが表示されます。

印刷帳票行数 : 1頁あたりの印刷行数を指定。(15~25行)

鑑タイプ : 第1階層のときのみ、帳票タイプを指定。

同上材料表現 : 明細、別紙明細のときに指定。

同上部位表現 : 明細、別紙明細のときに指定。

以上の内容を設定後、[実行] ボタンをクリックします。

設定した内容で、頁の先頭データの行が緑色で表示されます。

表示をクリアする場合、[表示(V)]メニューの[印刷改頁行確認] → [クリア] をクリックします。

<ポイント>

- ・実際の印刷における、各帳票の1頁値の行数は
提出用A4横 : 17、18、または19行
社内用管理用1、2及び3 : 17、18、または19行
コードチェックリスト : 15行 です。

- ・第1階層においては、鑑タイプが「第1階層を載せる」場合、1頁目の行数が2頁以降に比べ5行少なくなります。
- ・明細、別紙明細階層においては、部位、材料の同上表現により印刷行数が異なるため、設定が必要です。
- ・各頁の先頭行位置は、実行直後のみ正確です。編集画面で入力などおこなうと、その時点で印刷の条件などに影響を及ぼすため、正確でなくなります。そのために、行挿入などをおこなうと、自動的にクリアされます。

(6) 部位表示

明細または別紙明細階層編集時、部位の表示、非表示を選択します。

明細階層 部位表示・非表示

SEQ	下	名称	規格	数量	単位2	単価2	金額2
1		(外部)					
3		屋上 コンクリート金コ押し	防水下	163	m2	300	48,900
4		屋根 コンクリート金コ押し	防水下	15.9	m2	300	4,770
5		屋根 防水珪砂金コ押し	t=30 素地	5.0	m2	1,500	7,500

<ポイント>

- ・部位列を非表示としても、部位にデータが入力されている場合、印刷時には出力されます。
- ・名称欄バケ数を「32」として、材料名称はすべて下段に入力し、上段には部位、建具記号を入力する場合など部位列を非表示にすることで編集が効率よくおこなえます。

(7) 数量欄切替

数量項目の表示を、小数で点線を入れ小数桁を印刷時と同じ桁数で表示する「小数区切り表示」と、小数点を表示して小数桁をすべて表示する「小数点表示」を選択します。

明細階層 小数点表示

この表示が変わります

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	単位	単価
1			(外部)				
3			屋上 コンクリート金コシ押I	防水下	163.000	m ²	312
4			屋根 コンクリート金コシ押I	防水下	15.900	m ²	312
5		屋根 防水モルタルコシ押I	t=30 素地		5.000	m ²	1,560

<ポイント>

- ・ 小数区切り表示の場合、数量の小数桁は、画面で入力したままの状態、印刷されます。小数桁が必要ない場合は、小数桁を入力しないか、小数桁を削除して下さい。例えば、整数部に「1」と入力し、小数部は入力しないと「1」と、整数部は同様に、小数部に「0」と入力すると「1. 0」と印刷されます。
- ・ 小数点表示では小数桁をすべて表示しますが、小数区切表示同様、印刷の際は入力した小数桁数だけが印刷されます。ただし、小数に「0」を入力した場合は、小数部は印刷されません。
- ・ 数量小数桁につきましては「行属性」もあわせてご覧下さい。

(8) 明細行切替

明細、別紙明細階層の場合、上下2段で1行のデータを表示する「2段表示」と、これを1行で表示する「1段表示」、上段を非表示にする「上段非表示」を選択します。

明細階層 1段

1行で表示します
数量、単価のみを入力する場合などに便利です

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	単位	単価
1			(外部)				
3			屋上 コンクリート金コシ押I	防水下	163.000	m ²	312
4			屋根 コンクリート金コシ押I	防水下	15.900	m ²	312
5		屋根 防水...	t=30 素地		5.000	m ²	1,560
7			立上 コンクリート打放補修	防水下	64.900	m ²	468
8			立上 コンクリート打放補修	H=100 防水下	4.200	m	364
9			立上 コンクリート打放補修	H=300 防水下	12.900	m	418
10			庇鼻先コンクリート打放補修	吹下	5.000	m ²	624

明細階層 上段非表示

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
見積金額	224,579,878	階層計	左官工事	0					
068	部位	名称	規格	数量	単価	半価			
1		(外部)							
3		屋上 コンクリート金コ押しI	防水下	163.000	m2	312			
4		屋根 コンクリート金コ押しI	防水下	15.800	m2	312			
5	ル金コ押しI	屋根 防水もれ列金コ押しI	t=30 素地	5.000	m2	1,560			
6									
7		立上 コンクリート打放補修	防水下	64.900	m2	468			
8		立上 コンクリート打放補修	H=100 防水下	4.200	m	364			
9		立上 コンクリート打放補修	H=300 防水下	12.800	m	416			
10		庇鼻先コンクリート打放補修	吹下	5.000	m2	624			

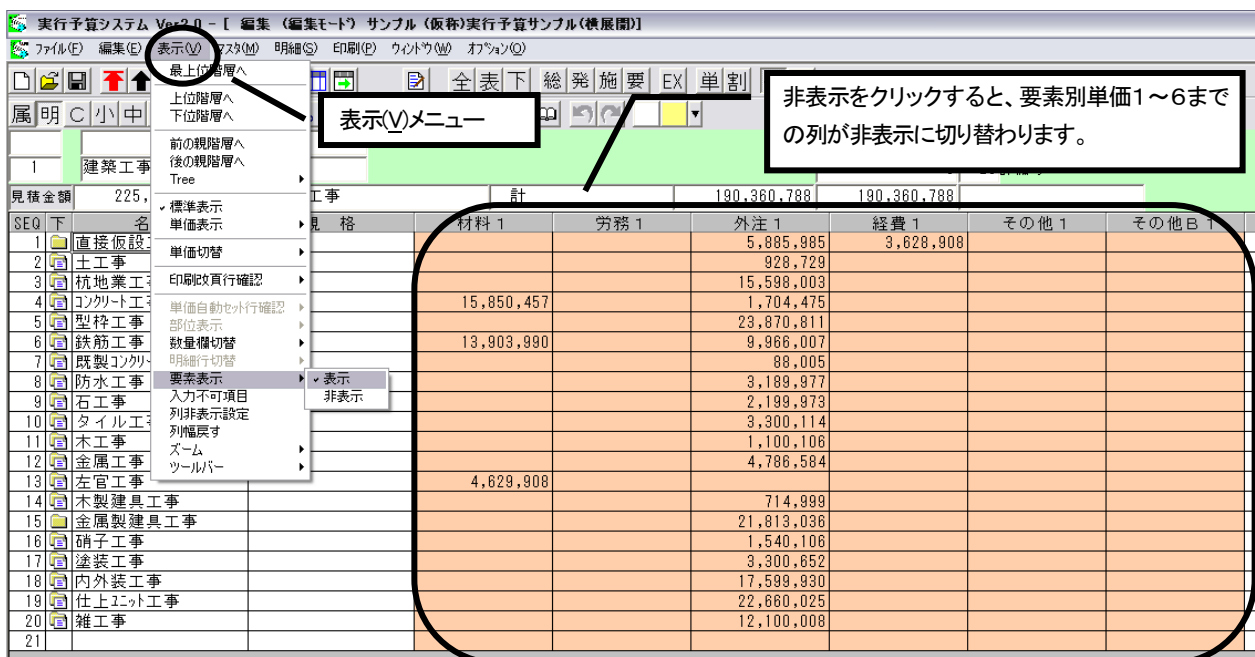
(画面例は部位、名称、及び規格の列幅を縮めています)

<ポイント>

- ・ 1段表示を選択した場合、各項目の列幅は上下段を合わせた最大文字数になります。従いまして、部位、材料規格で画面のほぼすべてが表示されます。この場合、横スクロールをしても、規格より右側がスクロールするため、画面上まったく変化がない状態になります。実際の運用ではこれら項目を始め、列幅を調整して使用して下さい。
 - ・ 2段表示と1段表示では名称、規格について文字の表示制御をおこなっています。
 - 2段行表示から1段行表示の場合
 - 下段のみ入力していた場合、下段を項目の先頭から表示します。
 - 上下段とも入力していた場合、上段を項目の先頭から、続けて下段を表示します。
 - 上段のみ入力していた場合、上段を項目の先頭から表示します。
 - 1段行表示から2段行表示の場合
 - 項目の先頭から全角10文字以下の入力の場合、下段に表示します。
 - 項目の先頭から全角10文字を超えた入力の場合、先頭から10文字を上段に、超えた部分を下段に表示します。
- 従いまして、1段表示で名称、規格を入力する場合は、2段表示の上下段を気にすることなく、項目の先頭から入力して下さい。

(9) 要素表示

材料、労務などの要素別単価の列が右に表示されます。
 [表示(V)]メニューの[要素表示]を選択します。

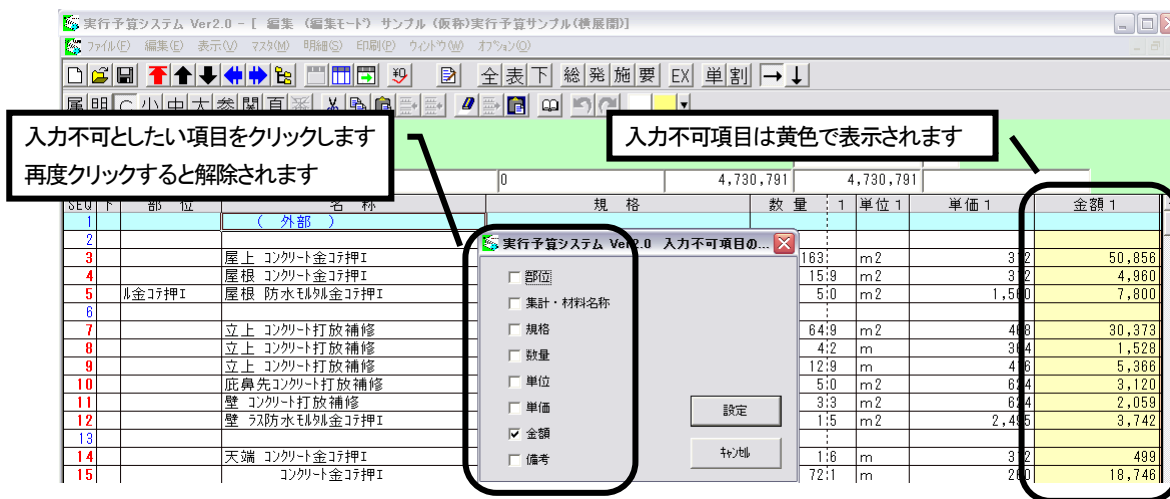


表示される要素別の列の数は、原価要素マスタの数に依存します。入力、直接入力が可能です。

(10) 入力不可項目

入力したくない項目がある場合、指定した項目は入力できない状態にする機能です。

明細階層 入力不可項目



[表示(V)]メニューの[入力不可項目]をクリックすると、設定ウィンドウが表示されます。
 入力不可としたい項目をマウスでクリックして下さい。該当項目にチェックマークが付きます。
 入力不可を解除する場合は、チェックマークを再度クリックすると、解除されます。
 設定が終わりましたら、[設定]ボタンをクリックします。[キャンセル]ボタンをクリックすると、処理をおこなわずに編集画面に戻ります。
 編集画面では、入力不可となった項目列が黄色で表示されます。

<ポイント>

- ・数量を入力不可とした場合、明細及び別紙明細階層においては、小数点区切り表示となり小数桁が3桁で表示されます。ただし、入力した小数桁の情報に変更はありません。
- ・入力不可とした項目は、編集状態にできないため、その項目中の文字列のコピー、貼り付けはできません。

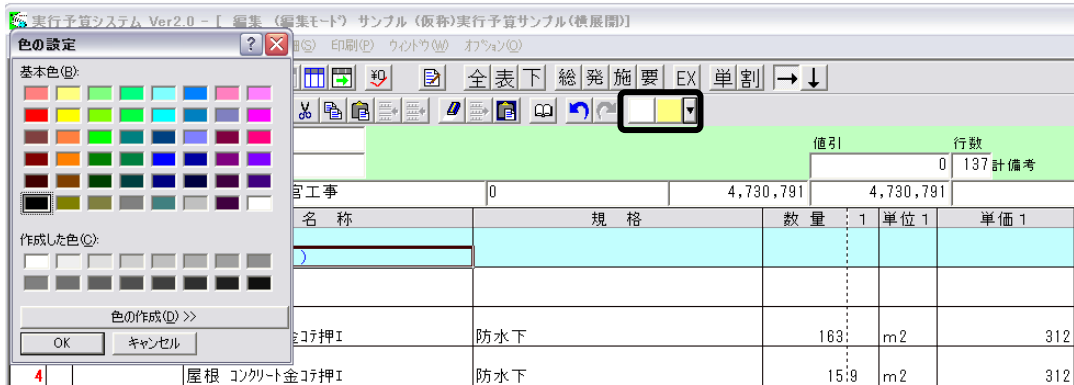
(11) 付箋

行単位にSEQにチェック用のマークを色表示する機能です。

①付箋色変更

付箋色変更ボタン(▼)を押すと色の設定メニューが表示されます。付箋の色を選択しOKで決定します。

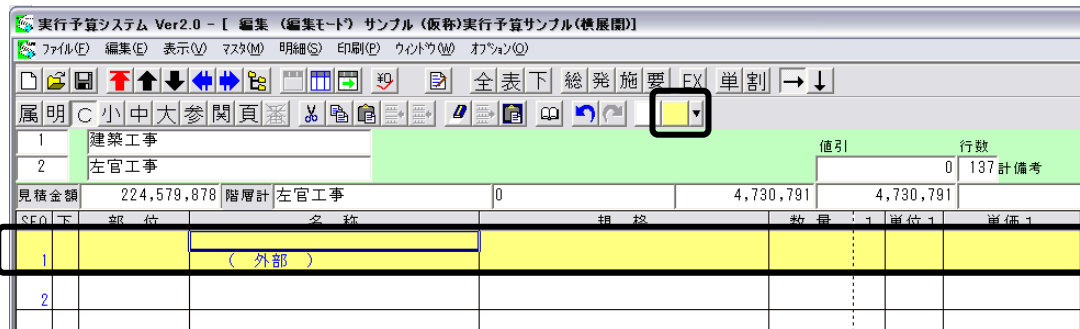
付箋色変更



②付箋色設定

チェックしたい行にカーソルを置き、付箋色設定ボタンをクリックします。付箋色変更で設定された色が表示されます。表示される領域は[オプション(0)]→[付箋色]でSEQのみか行全体かを選択することができます。

付箋色設定 (行全体)



③付箋色クリア

付箋色が表示された行にカーソルを置き、付箋色クリアボタンをクリックします。SEQに貼り付いた色がクリアされます。

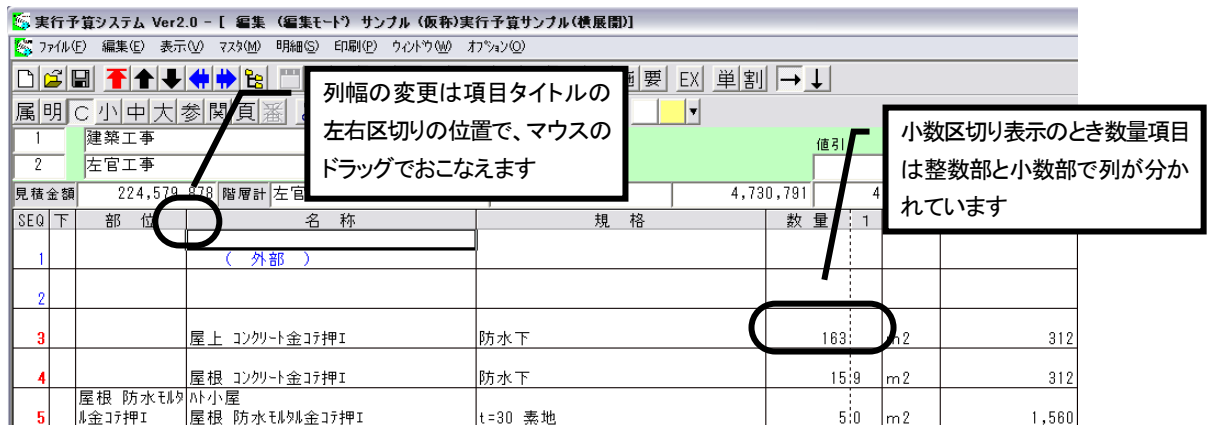
付箋色クリア



(12) 列幅戻す

表形式入力画面では、列幅の伸縮が可能です。列幅を変更した場合に、初期状態の列幅に戻すことをおこないます。

列幅戻す



[表示(V)]メニューの[列幅戻す]をクリックすると、初期状態の列幅に戻ります。

<ポイント>

- ・列幅を変更した場合は、画面ごとでその情報を保持しています。例えば編集画面の明細階層で変更した場合、その物件の他の明細階層に移動した場合でも、変更した状態で表示されます。
- ・列幅に戻す処理は、画面ごとで有効です。例えば、編集画面、シミュレーション画面で列幅を変更していて、編集画面で列幅に戻しても、シミュレーション画面では戻りません。
- ・小数区切り表示の場合、数量は整数部と小数部で列が分かれています。
- ・設定した列幅は、物件を閉じてても、情報を保持しています。

(13) 値引データ入力

表示された階層の計に対する値引金額を値引欄に入力することにより、見積印刷時に計の直前に値引金額を印刷します。

値引きデータ入力

実行予算システム Ver2.0 - [編集 (編集モード) サンプル (仮称) 実行予算サンプル (横展開)]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) マスタ(M) 明細(S) 印刷(P) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

全表下 総発施要 EX 単割 → ↓

属明 小中大 参関頁 添

1	建築工事	値引	-10,000	37	計備考
2	左官工事				

見積金額 224,579,878 階層計 左官工事 0 4,730,791 4,720,791

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	1	単位1	単価1
1			(外部)					
2								
3			屋上 コンクリート金型押	防水下	163		2	312

値引き金額を入力
します。

見積書印刷

提出用A4横 プレビュー

印刷 100% 3/3 内訳書

名称	規格・寸法	単位	数量	単価	金額	備
内部計					884,277	
値引			1	-571	-571	
小計					-10,000	
					1,596,949	

(14) 金額合計表示

金額欄または数量欄の複数セルを選択することで金額、数量の合計が表示されます。

金額合計表示

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	単位	単価	金額
1			(外部)					
2								
3			屋上 コンクリート金コシ押I	防水			31	50,856
4			屋根 コンクリート金コシ押I	防水下	15:9	m2	32	4,960
5			屋根 防水コシ押I	t=30 素地	5:0	m2	1,500	7,500
6			屋根 防水コシ押I	<A-40図参照>				
7			立上 コンクリート打放補修	防水下	64:9	m2	48	30,373
8				防水下	4:2	m	34	1,528
9				防水下	12:9	m	46	5,366
10			庇鼻先コンクリート打放補修	吹下	5:0	m2	624	3,120
合計: 100,883								

<ポイント>

- ・明細行属性のみの金額が足され、コメント行及び小計、中計、大計行属性は合計には足されません。
- ・1セルのみ選択した場合、合計は表示されません。

(15) ズーム

編集画面の文字サイズを拡大・縮小します。

例：150%表示

SEQ	下	名称	規格
1		直接仮設工事	
2		土工事	
3		杭地業工事	
4		コンクリート工事	
5		型枠工事	

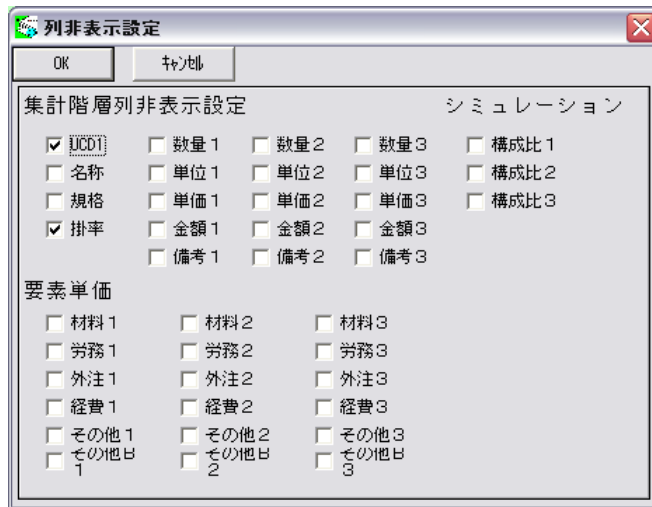
[表示(V)]メニューの[ズーム]で設定が可能です。

- ・50%~150%の10%刻み、または200%から選択できます。

(16) 列非表示設定

列の表示・非表示を設定します。

列非表示設定画面



[表示(V)]メニューの[列非表示設定]を実行すると上記画面が表示されます。

集計階層と明細階層では、非表示にできる項目が異なります。

非表示にしたい項目を選択して、[OK]ボタンをクリックして下さい。

編集画面に戻り、選択した項目は非表示になります。

再度表示したい場合は選択をはずして、[OK]ボタンをクリックして下さい。

要素単価の名称は要素区分マスタの要素区分名称が表示されます。

(17) ツールバー

ツールバーは配置を変更することが可能です。

詳しい手順につきましては「3. 1. 3 処理メニューとツールボタン」をご覧ください。

3. 2. 7 処理メニュー 明細(S)の機能

ここでは、メニューの順番に従い、以下の手順で説明します。

- (1) コード表示
- (2) 行属性
- (3) 計算式入力
- (4) 計算式クリア
- (5) 要素入力
- (6) 要素残計算
- (7) 割掛け
- (8) シミュレーション
- (9) 再集計
- (10) 単位替え
- (11) 単価チェック
- (12) 数量チェック
- (13) 数量=0行削除
- (14) SEQ並び替え
- (15) 名称・規格欄文字数変換
- (16) 総括表編集
- (17) 実施予算書編集

(1) コード表示

各行データは工種コード、原価要素コード、業者コード1～5、UCD1 からUCD3（ユーザコード）、及び単位コードを持っています。これらコードは、通常の運用においては意識する必要はありませんが、本システムから他のシステムへ、または自社システムへ連動する場合などでコードが必要な場合、この画面を使用して変更、確認ができます。

明細階層 コード表示

SEQ	下	工種	原価要素	UCD1	UCD2	UCD3	部位	t=30 素地
1		40700	40700	0000	0000	0000		
2		40700	40700	0000	0000	0000		
3		40700	40700	0000	0000	0000	屋上 コンクリート金コシ押I	防水下
4		40700	40700	0000	0000	0000	屋根 コンクリート金コシ押I	防水下
5		40700	40700	0000	0000	0000	屋根 防水珪砂金コシ押I t=30 素地	

① 明細(S)メニューの[コード表示]を選択すると、コード表示画面が表示されます。

工種、原価要素コードをはじめとする、コード確認及びコード編集が可能です。

コードを編集する場合、項目を選択して直接入力します。または、[マスタ参照]ボタン、

F1キーでそのコードに対応したマスターコードを参照入力することも可能です。

明細、別紙明細階層において、内外コードは項目を選択後、[内部]、[外部]、及び[内外なし]ボタンで入力することも可能です。[戻る]ボタンを選択すると、編集画面に戻ります。

<ポイント>

- ・種工種、原価要素、及び単位コードは、内訳書作成時にそれぞれの項目をマスタ参照入力、またはコード入力した場合と、FKS仕上システムからデータを連動した場合、入力されています。内訳書作成時に直接入力した場合は、入力されません。
- ・種目、科目、及び集計コードについてはTREE表示での移動を除き、下階層へ移動したときに、下階層データのそれぞれのコードが「0」のときは、上位階層のコードが入力（連動）されます。
- ・内外及びリストコードはFKS仕上システムから連動した場合、入力されています。
- ・UCD1、UCD2、及びUCD3はユーザコードとして、システム使用者が自由に使用できるコードです。これらコードは下階層への移動で、下階層データに入力（連動）されることはありません。

(2) 行属性

各行データは、行種別、数量小数桁数などの情報を持っています。これらをまとめて、行属性といいます。

明細階層 行属性ウィンドウ

②行属性表示ボタンで設定画面が表示。

行種別はこれらのボタンでも、変更ができます。

行種別に付箋色をつけることができます。

SEQ	下部位	名称	防水下	数量	単価	金額
1		(外部)				
2						
3		屋上 コンクリート金型押入	防水下			
4		屋根 コンクリート金型押入	防水下			
		屋根 防水モルタル小屋				
7		立上 コンクリート打放補修	防水下			
8		立上 コンクリート打放補修	H=100			
9		立上 コンクリート打放補修	H=300			
10		底鼻先コンクリート打放補修	吹下	5.0	m2	624
						3,120

行属性を確認または変更したい行の項目が選択または編集状態にあるときに、

- ① [明細(S)] メニューの [行属性] を選択する
- ② 行属性表示ボタンをクリックする

以上の操作を行ったとき、その行の行属性が表示されます。

行種別、数量小数桁、名称均等割付及び従属行数（明細、別紙明細階層のとき）の確認及び設定が可能です。

[OK] ボタンをクリックすると、設定内容にして編集に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定内容は変更せずに編集に戻ります。

<ポイント>

- ・行種別について

明細行 : 金額を階層計に集計します。

コメント行 : 金額を階層計に集計しません。SEQ、単価及び金額は青で表示されます。

小計行 : 表示階層の先頭から、またはその行より前にある最も近い小計行からの、明細行の金額を自動集計して、その行の金額にセットします。金額は階層計に集計しません。

- SEQ、単価及び金額に付箋色が着色されます。
明細画面では下階層マーク列に「Σ」マークが表示されます。
- 中計行 : 表示階層の先頭から、またはその行より前にある最も近い中計行からの、明細行の金額を自動集計して、その行の金額にセットします。金額は階層計に集計しません。
SEQ、単価及び金額に付箋色が着色されます。
明細画面では下階層マーク列に「Σ」マークが表示されます。
- 大計行 : 表示階層の先頭から、またはその行より前にある最も近い大計行からの、明細行の金額を自動集計して、その行の金額にセットします。金額は階層計に集計しません。
SEQ、単価及び金額に付箋色が着色されます。
明細画面では下階層マーク列に「Σ」マークが表示されます。
- 参考計行 : 表示階層の先頭から、またはその行より前にある最も近い計属性行からの、明細行の金額を自動集計して、その行の金額にセットします。金額は階層計に集計しません。
明細画面では下階層マーク列に「Σ」マークが表示されます。
- 関係切行 : この行の下階層との金額の関係が切れます。
明細画面では下階層マーク列に「◇」マークが表示されます。
関係切行を設定した場合、関係切行の下階層には移動できなくなります。
- 改頁行 : 印刷の際、この行が必ず頁の最初に印刷されます。SEQに付箋色が着色されます。
- 番号無し : 集計階層において、行種別が明細行であり番号を印刷させない場合、指定します。
SEQに付箋色が着色されます。(集計階層のみ)
- これら種別は、編集画面においてボタンで確認及び変更も可能です。

・数量小数桁について

表示されている小数桁数で、その桁数で数量の小数桁を表示及び印刷します。また編集画面において数量の小数桁を入力または変更した場合は、その桁数の情報が自動でセットされます。

・従属行数について (明細及び別紙明細階層のみ)

従属行数を指定すると、印刷の際、指定した行までを1グループとみなし、このグループが必ず1ページ内に印刷されます。ページをまたがると判断した場合、改ページして次頁の1行目から印刷されます。また、指定できる最大行数は13行です。

・名称均等割付について

印刷時に、名称を均等割付「する」、「しない」の設定が行ごとにできます。

集計階層の場合

管理情報に従う : 管理情報で設定されている均等割付の情報に従います。行データを作成した場合の既定値になります。この情報が選ばれているときは、管理情報で設定されている内容が表示されます。

均等割付しない : 管理情報の設定に関わらず、均等割付しません。

均等割付する : 管理情報の設定に関わらず、均等割付します。

明細、別紙明細階層の場合

管理情報に従う : 集計階層と同様。

均等割付しない : 集計階層と同様。

上段または下段のみ : 管理情報の設定に関わらず、上下段使用していた場合は上段のみを、下段のみ使用していた場合は下段を均等割付します。ちなみに、管理情報で均等割付を「する」とした場合、この方法でおこなっています。

下段のみ : 管理情報の設定に関わらず、下段のみ均等割り付けします。

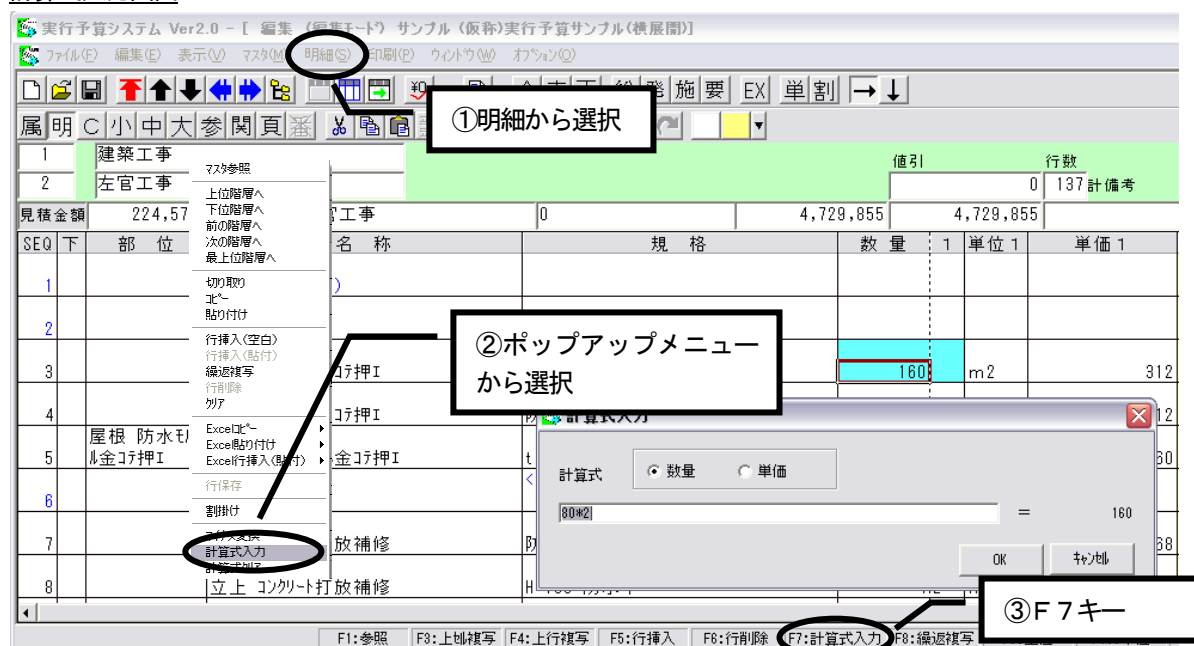
上段のみ : 管理情報の設定に関わらず、上段のみ均等割り付けします。

上下段とも : 管理情報の設定に関わらず、上下段とも均等割り付けします。

(3) 計算式入力

数量・単価欄において、計算式を入力します。

計算式入力画面



数量や単価など計算式を入力したいセルが編集状態であるときに、

① [明細(S)] メニューの [計算式入力] を選択する

② 右クリックのポップアップメニューから選択

③ ショートカットキーF7キーを押す

以上の操作を行ったとき、計算式入力画面が表示されます。計算する値と計算式の入力が可能です。

またセルのコピーや貼り付けなどを行った場合、計算式も一緒に貼り付けることができます。

[OK] ボタンをクリックすると、計算式とその値をセルに保存します。計算式が入力されたセルが着色されます。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、値を破棄し編集に戻ります。

(4) 計算式クリア

数量や単価のセルに計算式が入力されているとき、

① [明細(S)] メニューの [計算式クリア] を選択する

② 右クリックのポップアップメニューから選択

以上の操作を行ったとき、入力した計算式がクリアされます。

計算式のみがクリアされるため、セルの値はクリアされません。

間違っクリアしてしまった場合でも[元に戻す]操作で計算式を復元することができます。

(5) 要素入力

[明細(S)]メニューの[要素入力]を選択します。

要素入力の機能は、単価合計を指定した要素別単価に自動でセットする機能です。一括入力の場合は全ての行を対象とし、選択入力の場合は選択行のみにになります。

明細(S)メニュー

- 要素入力
- 要素残計算
- 割掛け
- シミュレーション
- 再集計
- 単位替え
- 単価チェック
- 数量チェック
- 単価マス自動セット
- 数量=0行削除
- SEO並び替え
- 名称・規格欄文字数変換
- 監編集
- 要項書編集

・一括入力の場合、指定した要素の全ての行に要素別単価が一括で入力されます。
 ・選択入力の場合、指定した要素の選択行に要素別単価が入力されます。

金額 1	材料 1	労務 1	外注 1	経費 1	その他 1
525,349			525,349	3,223	
			208,458	3,212	
			79,860	726	
			62,436	7,280	

(6) 要素残計算

[明細(S)]メニューの[要素残計算]をクリックまたは、右クリックメニューの[要素残計算]を選択して下さい。

要素残計算は、ある行に対して単価合計を要素別単価の残りを指定した要素にセットする機能です。

明細(S)メニュー

この例の場合、材料1に単価「5,000」が入力されているため、労務1に要素残計算を行うと、残りの単価「5,000」がセットされます。

金額 1	材料 1	労務 1	外注 1
1,000,000	500,000		
	5,000	500,000	

(7) 割掛け

処理対象を単価に変更すると単価の割掛け、数量に変更すると数量の割掛けをおこないます。

割掛け対象範囲

[明細(S)]メニューの[割掛け]を実行すると、割掛け画面が表示されます。

割掛けの対象範囲は選択された列です。行選択・セル選択はどちらでも可能です。

数量	単位	単価	金額
183	m ²	312	50,856
15.9	m ²	312	4,980
5.0	m ²	1,560	7,800

割掛け画面 単価割掛け実行ウィンドウ

処理内容は、[割掛け]または[率消去]が選択可能です。

割掛け結果の単価丸め単位桁数と端数丸め方法を設定します。

単価丸め単位	丸め単位	丸め方法
1~9	1	四捨五入
10~99	10	四捨五入
100~999	10	四捨五入
1,000~9,999	10	四捨五入
10,000~99,999	100	四捨五入
100,000以上	1000	四捨五入

割掛け画面 数量割掛け実行ウィンドウ

割掛け結果の端数丸め方法を設定します

単価、単位をコピーする場合チェックします

端数丸め方法: 四捨五入

未登録単位: 計算対象とする 計算対象外とする

単位をコピーする 単価をコピーする

[明細(S)]メニューの[割掛け]を実行する、

または、ツールバーの割掛けボタンを押すと上記の画面が表示されます。
処理対象を単価にすると、上記の単価割掛け実行ウィンドウが表示されます。
処理対象を数量にすると、上記の数量割掛け実行ウィンドウが表示されます。
処理内容を割掛けにすると、処理対象の割掛けをおこないません。
処理内容を率消去にすると、前回掛率を消去をおこないません。また編集画面の掛率セルも消去されます。
割掛け実行ウィンドウでは対象先のみ選択して下さい。
処理には対象元・対象先の単価と、掛率を入力して下さい。
その他の手順・項目につきましては、「(8)シミュレーション」をご覧ください。
上記項目を入力して、[OK]ボタンをクリックして下さい。
選択した行に割掛けまたは率消去が実行され、編集画面に戻ります。

<ポイント>

- ・対象元と対象先の単価を同一に設定した場合、対象元に掛率を掛けた値が対象先に入力されます。

(8) シミュレーション

シミュレーションには以下の方法があります。

- ①単価シミュレーション
- ②数量シミュレーション
- ③総額固定シミュレーション
- ④数量・単位・単価コピー
- ⑤数量・単位・単価クリア

①単価シミュレーション

3種ある単価のうち2種を選択して、一方の単価に掛け率をかけた結果をもう一方の単価とします。

集計階層 単価シミュレーション

SEQ	下	名称	指定	掛率	単位	単価1	金額1	単価2	金額2
1		直接仮設工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	9,514,893	0	0
2		土工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	928,729	0	0
3		杭地業工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	15,598,003	0	0
4		コンクリート工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	17,555,217	0	0
5		型枠工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	23,870,811	12.0	286,449,732
6		鉄筋工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	23,869,997	12.5	298,374,971
7		既製コンクリート工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	88,005	0.0	83,604,750
8		防水工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	3,130,000
9		石工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	2,140,000
10		タイル工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	3,240,000
11		木工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	1,100,000
12		金属工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	4,740,000
13		左官工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	4,729,855	2.5	4,550,000
14		木製建具工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	770,000
15		金属製建具工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	21,584,900
16		硝子工事	<input checked="" type="checkbox"/>	95.0	式	0	0	0	1,400,000

[明細(S)]メニューの[シミュレーション] → [単価]を選択すると、上記の画面が表示されます。

シミュレーションをおこなう階層に移動して、対象となる、単価を選択します。

シミュレーションをおこなう行データの設定項目をチェック、ならびに、掛け率を入力します。

なお、掛け率の単位は「%」、整数3桁、小数1桁の入力が可能です。

[全設定] ボタンをクリックすると、全ての設定項目にチェックマークが付きます。

[全解除] ボタンをクリックすると、全ての設定項目のチェックマークが解除されます。

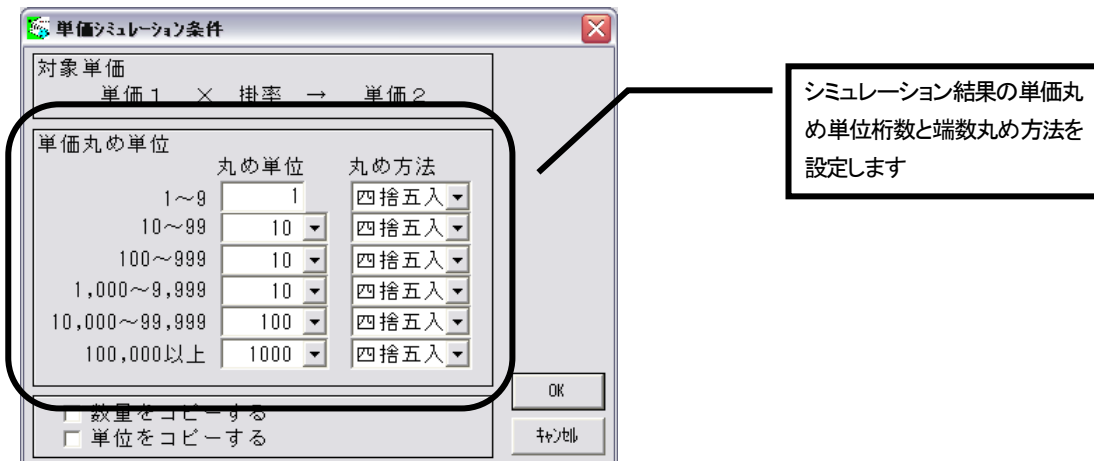
[戻る(B)] を選択、または [戻る] ボタンで編集画面に戻ります。

[条件] または [実行] ボタンをクリックすると、シミュレーション条件が確認できます。

<ポイント>

- ・ 設定の情報 (チェックマーク) は、シミュレーションを実行したときに書き込まれます。チェックマークを付けて、階層移動をした場合その情報は元の状態に戻ってしまいます。設定をおこなう場合は、必ずシミュレーションをおこないたい階層まで移動して、設定をおこない実行するようにして下さい。また、シミュレーションをおこなうと、実行した設定の情報と、掛率が書き込まれそれら情報が保持されます。
- ・ 対象単価を両方ともに、同じ単価番号を指定することもできます。この場合、選択した単価自身が変わってしまい元の単価が残りません。元の単価を残したい場合は、必ず違う単価番号を選択して下さい。

集計階層 単価シミュレーション条件・実行ウィンドウ



[条件] または [実行] ボタンをクリックすると、4 上記の画面が表示されます。

シミュレーション結果の単価丸め単位（桁数）及び丸め方法を設定します。

条件の場合、[OK] ボタンをクリックすると、単価シミュレーション設定画面に戻ります。

実行の場合、[OK] ボタンをクリックすると、設定項目にチェックマークが付いている行データのシミュレーションを、実行します。終了すると、単価シミュレーション設定画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、単価シミュレーション設定画面に戻ります。

<ポイント>

- ・シミュレーションは、チェックを付けた行データの最下層データにおこない、計算結果の積み上げ計算をおこないません。
- ・単価シミュレーションは、単価のみを対象としておこないません。従いまして、シミュレーション先の数量が「0」の場合、計算結果も「0」となります。このような場合は、「数量をコピーする」また必要があれば「単位をコピーする」にチェックを付け、実行して下さい。
- ・設定項目をチェックしている場合でも、「掛率」が未入力、または、「掛率」に入力していても、設定項目にチェックが付いていない場合、その行データはシミュレーションを行いません。
- ・単価丸め単位とは、シミュレーションした結果の単価がウィンドウ画面左範囲になった場合、どの桁で丸め、その端数処理をどのようにするか設定するものです。例えば、シミュレーションした結果が「10, 521」となった場合は、「10, 000~99, 999」で設定した内容で丸め処理をおこないます。

②数量シミュレーション

3種ある数量のうち2種を選択して、一方の数量に掛け率をかけた結果をもう一方の数量とします。

集計階層 数量シミュレーション

[明細(S)]メニューの[シミュレーション]→[数量]を選択すると、上記の画面が表示されます。

シミュレーションをおこなう階層に移動して、対象となる、数量を選択します。

シミュレーションをおこなう行データの設定項目をチェック、ならびに、掛け率を入力します。

なお、掛け率の単位は「%」、整数3桁、小数1桁の入力が可能です。

[全設定] ボタンをクリックすると、全ての設定項目にチェックマークが付きます。

[全解除] ボタンをクリックすると、全ての設定項目のチェックマークが解除されます。

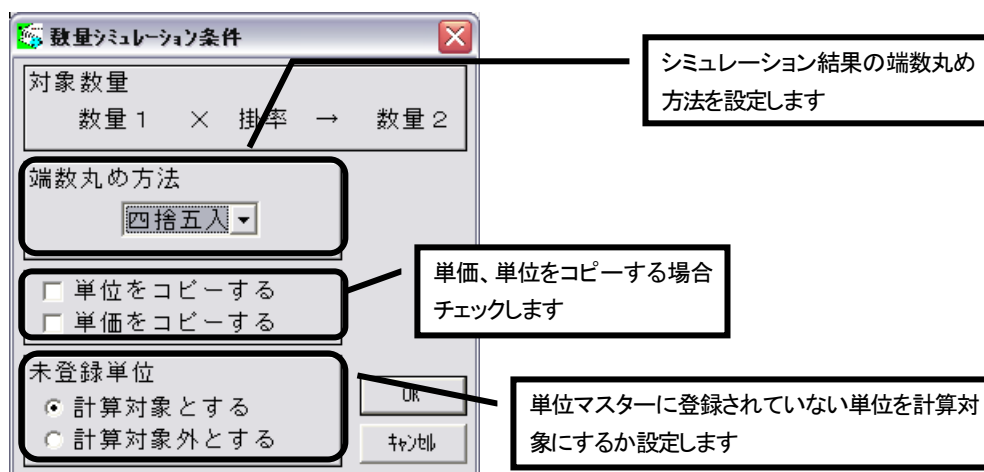
[戻る(B)] を選択、または[戻る] ボタンで編集画面に戻ります。

[条件] または[実行] ボタンをクリックすると、シミュレーション条件が確認できます。

<ポイント>

- ・ 設定の情報(チェックマーク)は、シミュレーションを実行したときに書き込まれます。チェックマークを付けて、階層移動をした場合その情報は元の状態に戻ってしまいます。設定をおこなう場合は、必ずシミュレーションをおこないたい階層まで移動して、設定をおこない実行するようにして下さい。また、シミュレーションをおこなうと、実行した設定の情報と、掛率が書き込まれそれら情報が保持されます。
- ・ 対象数量を両方ともに、同じ数量番号を指定することもできます。この場合、選択した数量自身が変わってしまい元の数量が残りません。元の数量を残したい場合は、必ず違う数量番号を選択して下さい。

集計階層 数量シミュレーション条件・実行ウィンドウ



[条件] または [実行] ボタンをクリックすると、上記の画面が表示されます。

シミュレーション結果の丸め方法を設定します。

条件の場合、[OK] ボタンをクリックすると、数量シミュレーション設定画面に戻ります。

実行の場合、[OK] ボタンをクリックすると、設定項目にチェックマークが付いている行データのシミュレーションを、実行します。終了すると、数量シミュレーション設定画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、数量シミュレーション設定画面に戻ります。

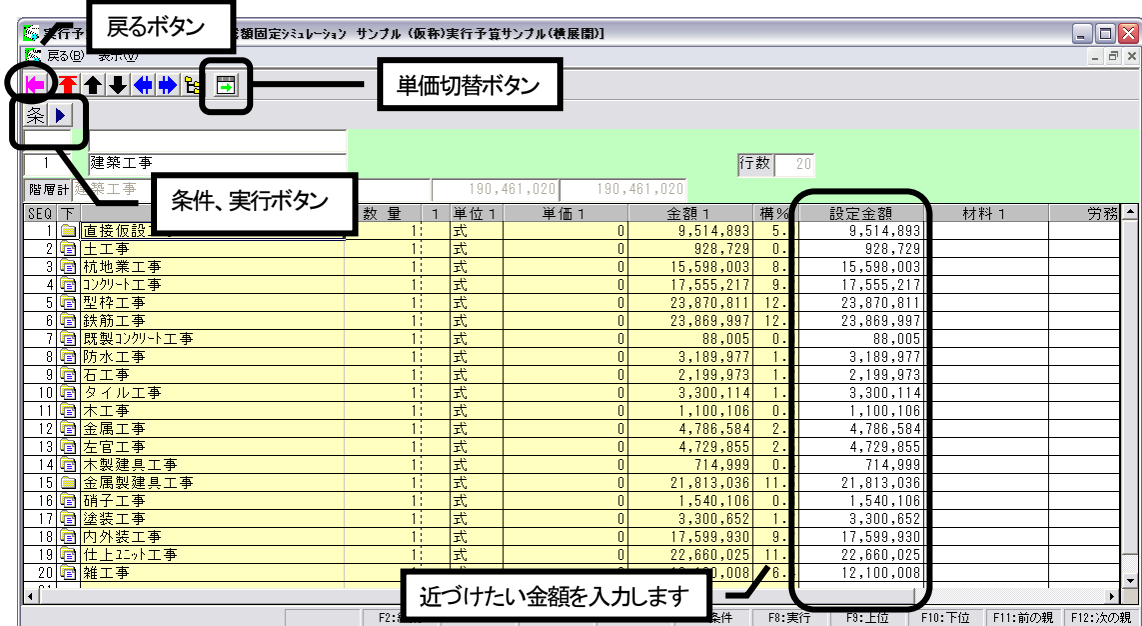
<ポイント>

- ・シミュレーションは、チェックを付けた行データの最下層データにおこない、金額の計算及び積み上げ計算をおこないます。
- ・数量シミュレーションは、数量のみを対象としておこないます。従いまして、シミュレーション先の単価が「0」の場合、計算結果も「0」となります。このような場合は、「単価をコピーする」また必要があれば「単位をコピーする」にチェックを付け、実行して下さい。
- ・設定項目をチェックしている場合でも、「掛率」が未入力、または、「掛率」に入力していても、設定項目にチェックが付いていない場合、その行データはシミュレーションをおこないません。
- ・単位をマスタ参照入力、コード入力またはコード編集で単位コードを入力した場合、単位マスタにおいて該当の単位コードの情報で、「数量シミュレーション対象」が「対象外」となっている最下層の行データに対しては、シミュレーションをおこないません。この情報の確認は、単位マスタウィンドウを表示して、編集モードで確認できます。尚、当社提供のマスタの場合、単位コード：1の「式」を「対象外」としています。単位マスタは物件ごとに変更できますが、システムのマスタを変更する場合は、トップメニューよりマスタ管理のメンテ→管理情報マスタで変更して下さい。
- ・丸め方法は、シミュレーションした結果の数量が、シミュレーション前の小数桁数より大きくなった場合の丸め方法です。例えば、シミュレーション前の数量が「12.5」（小数1桁）で結果の数量が「11.68」（小数2桁）になった場合、小数2桁目を設定した内容で丸めます。

③総額固定シミュレーション

集計されている金額を設定した金額に近づけるように、単価を調整するシミュレーションです。

集計階層 総額固定シミュレーション



- [明細(S)] メニューの [シミュレーション] → [総額固定] を選択すると、上記の画面が表示されます。
- シミュレーションをおこなう階層に移動して、対象となる単価を単価切替ボタンで選択します。
- シミュレーションをおこなう行データの設定金額を、入力します。
- [戻る(B)] を選択、または [戻る] ボタンで編集画面に戻ります。
- [条件] または [実行] ボタンをクリックすると、シミュレーション条件が確認できます。

<ポイント>

- ・設定金額を入力後、階層移動をした場合その情報は元の状態に戻ってしまいます。設定をおこなう場合は、必ずシミュレーションをおこないたい階層まで移動して、設定をおこない実行するようにして下さい。

集計階層 総額固定シミュレーション条件・実行ウィンドウ



- [条件] または [実行] ボタンをクリックすると、上記の画面が表示されます。
- シミュレーション結果の単価丸め単位（桁数）及び丸め方法を設定します。

条件の場合、[OK] ボタンをクリックすると、総額固定シミュレーション設定画面に戻ります。
 実行の場合、[OK] ボタンをクリックすると、表示金額と設定金額が違う行データのシミュレーションを、実行します。終了すると、総額固定シミュレーション設定画面に戻ります。
 [キャンセル] ボタンをクリックすると、総額固定シミュレーション設定画面に戻ります。

<ポイント>

- ・シミュレーションは、表示されている金額と、設定金額の入力値が違う行データの最下層データにおこない、計算結果の積み上げ計算をおこないます。
- ・総額固定シミュレーションは以下の方法で、掛け率を求め、その掛け率を最下層データに反映して、計算結果の積み上げ計算をおこないます。

$$\text{設定金額} \div \text{表示金額} = \text{掛け率} \quad (\text{整数7桁、小数3桁})$$
 従いまして、シミュレーションの結果が、設定金額とまったく同じ金額にならない場合もあります。
 設定金額を「0」とした場合、最下層データの単価が「0」になります。
- ・単価丸め単位とは、シミュレーションした結果の単価がウィンドウ画面左範囲になった場合、どの桁で丸め、その端数処理をどのようにするか設定するものです。例えば、シミュレーションした結果が「10, 521」となった場合は、「10, 000~99, 999」で設定した内容で丸め処理をおこないます。
- ・**総額固定シミュレーションは単価シミュレーションとは違い、シミュレーションを実行すると、指定した単価番号自身の単価が変わってしまいます。**元の単価を残していきたい場合は、他の単価番号に「数量・単位・単価コピー」などを使用して元の単価を別の単価番号に残しておく必要があります。

④数量・単位・単価コピー

3種ある数量・単位・単価のうち2種選択して、一方からもう一方へコピーします。

集計階層 数量・単位・単価コピー



[明細(S)] メニューの [シミュレーション] → [数量・単位・単価コピー] を選択すると、上記の画面が表示されます。

コピーをおこなう階層に移動して、行データの設定項目をチェックします。

[全設定] ボタンをクリックすると、全ての設定項目にチェックマークが付きます。

[全解除] ボタンをクリックすると、全ての設定項目のチェックマークが解除されます。

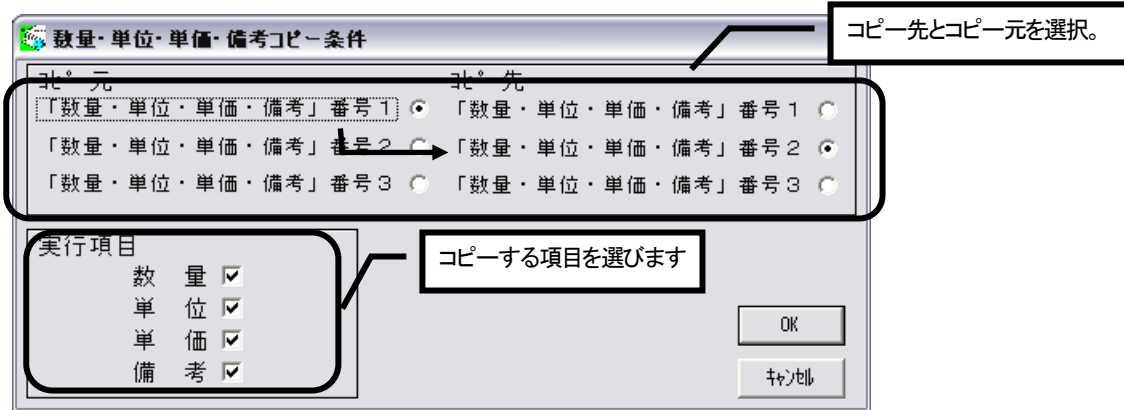
[戻る(B)] を選択、または戻るボタンで編集画面に戻ります。

[条件] または [実行] ボタンをクリックすると、コピー条件が確認できます。

<ポイント>

- ・設定の情報(チェックマーク)を付けて、階層移動をした場合、チェックは無効(クリア)になります。設定をおこなう場合は、コピーをおこないたい階層まで移動して、設定をおこない実行するようにして下さい。

集計階層 数量・単位・単価コピー 条件・実行ウィンドウ



[条件] または [実行] ボタンをクリックすると、上記の画面が表示されます。

コピー元、コピー先、及び実行項目を設定します。実行項目にチェックが付いている項目の、コピーをおこないます。

条件の場合、[OK] ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

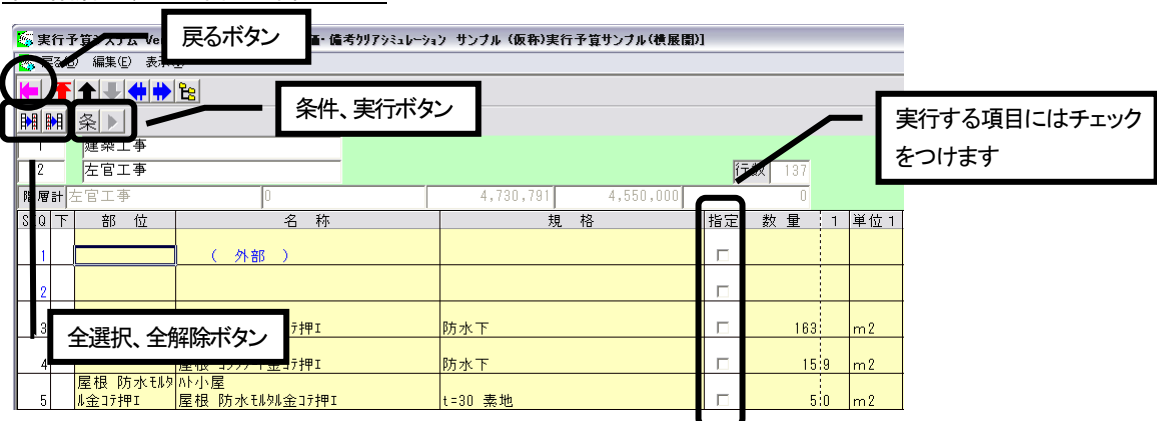
実行の場合、[OK] ボタンをクリックすると、チェックマークが付いている行データを含め、それら下階層データのコピーを実行します。終了すると、設定画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

⑤数量・単位・単価クリア

3種ある数量・単位・単価のうち1種選択して、その内容をクリアします。

集計階層 数量・単位・単価クリア



[明細(S)] メニューの [シミュレーション] → [数量・単位・単価クリア] を選択すると、上記の画面が表示されます。

クリアをおこなう階層に移動して、行データの設定項目をチェックします。

[全設定] ボタンをクリックすると、全ての設定項目にチェックマークが付きます。

[全解除] ボタンをクリックすると、全ての設定項目のチェックマークが解除されます。

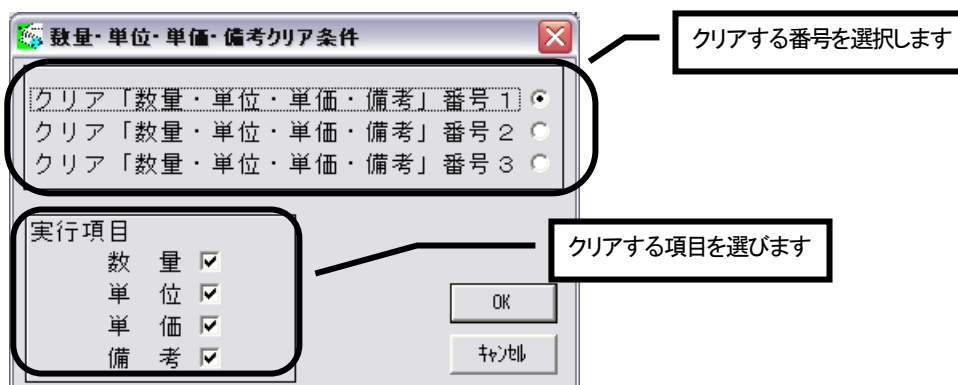
[戻る(B)] を選択、または戻るボタンで編集画面に戻ります。

条件または実行ボタンをクリックすると、クリア条件が確認できます。

<ポイント>

- ・設定の情報（チェックマーク）を付けて、階層移動をした場合、チェックは無効（クリア）になります。設定をおこなう場合は、クリアをおこないたい階層まで移動して、設定をおこない実行するようにして下さい。

集計階層 数量・単位・単価クリア 条件・実行ウィンドウ



[条件] または [実行] ボタンをクリックすると、上記の画面が表示されます。

クリアする「数量・単位・単価・備考」番号及び実行項目を設定します。

実行項目にチェックが付いている項目の、クリアをおこないます。

条件の場合、[OK] ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

実行の場合、[OK] ボタンをクリックすると、チェックマークが付いている行データを含め、それら下階層データのクリアを実行します。終了すると、設定画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

(9) 再集計

再度、金額計算及び集計（積み上げ）をおこないます。

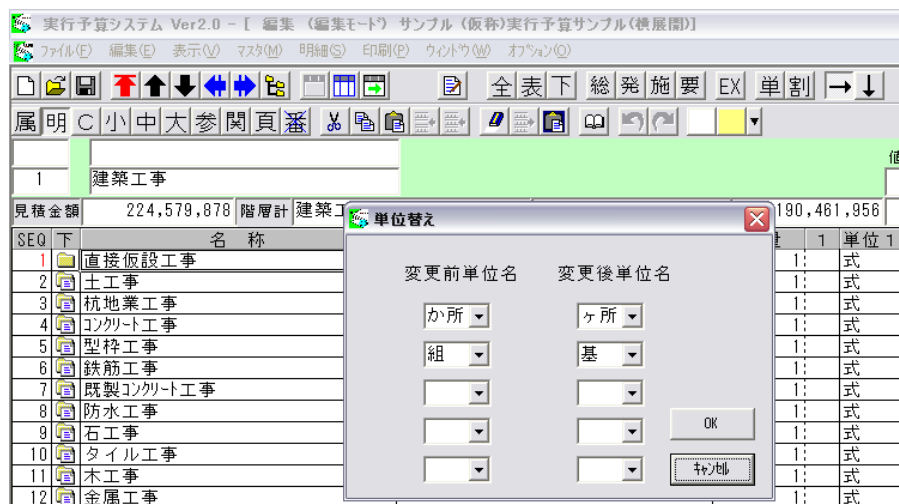
<ポイント>

- ・通常実行予算 Light では、自動でこれら処理はおこなっていますが、外部からのデータ連動などで金額計算に確証がもてない場合に実行して下さい。
- ・実行予算 Light では金額に直接入力ができます。このため、自動で「数量×単価＝金額」の計算を実行後、操作ミスなどにより、計算結果とは異なった金額を入力してしまう可能性もあります。このような場合に実行して下さい。

(10) 単位替え

単位項目で使用している文字列を、一括で別の文字列に変更します。

単位替え



[明細(S)]メニューの[単位替え]を選択すると、上記の画面が表示されます。

変更前単位名及び変更後単位名を直接入力、またはリストより選択します。

[OK] ボタンをクリックすると、物件データの単位で使用されている該当文字列を、変更します。

正常に終了すると、編集画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、編集画面に戻ります。

<ポイント>

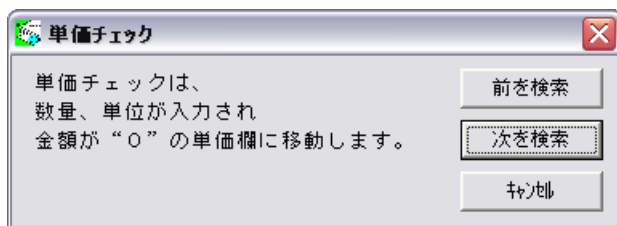
- ・単位コードは変更しません。

(11) 単価チェック

明細または別紙明細階層において、表示している階層の単価未入力データを検索します。

この処理をおこなうと、現在選択されているから下の行に対し、数量、単位が入力されていて単価及び金額が未入力(“0”)な、行種別:明細属性のデータをチェックします。

該当のデータが見つかると、その行の単価を選択状態にします。



<ポイント>

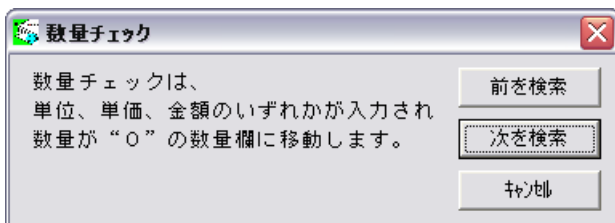
- ・チェック対象は前を検索で現在選択されている(カーソルがある)行から上、次を検索で現在選択されている(カーソルがある)行から下です。従いまして、この処理をおこなう場合には、前を検索の場合は最終行、次を検索の場合は1行目の項目を選択状態にしておこなうと効果的です。
- ・標準表示の場合は、表示している単価のみを、全単価表示の場合は、3つのすべての単価をチェックします。
- ・数量、単位のどちらかのみ入力されていた場合、その行はチェックされません。

(12) 数量チェック

明細または別紙明細階層において、表示している階層の数量未入力データを検索します。

この処理をおこなうと、現在選択されているから下の行に対し、単価、単位が入力されていて数量が未入力（“0”）な、行種別：明細属性のデータをチェックします。

該当のデータが見つかったら、その行の単価を選択状態にします。



<ポイント>

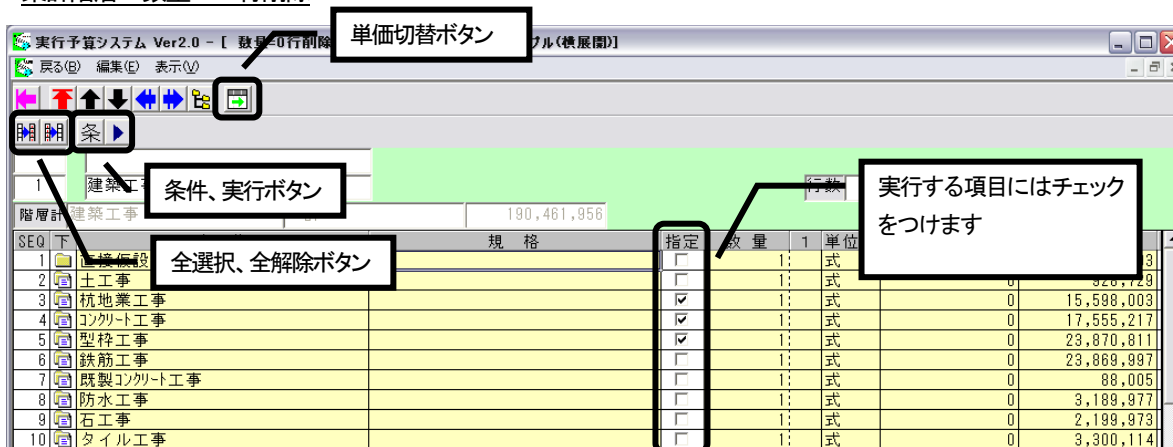
- ・チェック対象は前を検索で現在選択されている（カーソルがある）行から上、次を検索で現在選択されている（カーソルがある）行から下です。従いまして、この処理をおこなう場合には、前を検索の場合は最終行、次を検索の場合は1行目の項目を選択状態にしておこなうと効果的です。
- ・標準表示の場合は、表示している数量のみを、全単価表示の場合は、3つのすべての数量をチェックします。
- ・単位、単価、金額のいずれかが入力されていた場合、その行はチェックされません。

(13) 数量=0行削除

明細及び別紙明細階層データにおいて、以下条件を満たすデータを削除します。

削除条件：選択した単価番号の単位が入力されている、かつ数量、金額とも「0」。

集計階層 数量=0行削除

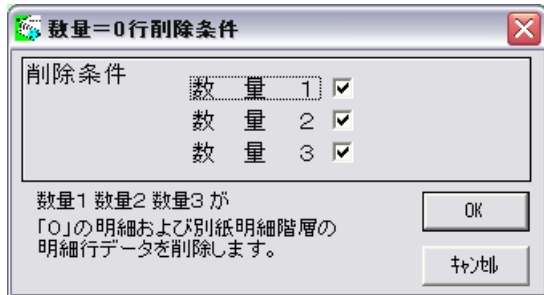


- ① [明細(S)] メニューの [数量=0行削除] を選択すると、上記の画面が表示されます。
- ② 削除処理をおこなう行データに対して、設定項目をクリックして下さい、チェックマークが付きます。
チェックマークを解除する場合は、再度設定項目をクリックして下さい。
[単価切替] ボタンをクリックすると、表示単価を切り替えます。
[全設定] ボタンをクリックすると、全ての設定項目にチェックマークが付きます。
[全解除] ボタンをクリックすると、全ての設定項目のチェックマークが解除されます。
[戻る(B)] を選択、または戻るボタンで編集画面に戻ります。
- ③ [条件] または [実行] ボタンをクリックすると、実行条件が確認できます。

<ポイント>

- ・ 集計階層のみで実行可能です。

集計階層 数量=0行削除 条件・実行ウィンドウ



[条件] または [実行] ボタンをクリックすると、上記の画面が表示されます。

チェックする数量を選択します。

条件の場合、[OK] ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

実行の場合、[OK] ボタンをクリックすると、設定項目にチェックマークが付いている行データに対し実行します。終了すると、設定画面に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

<ポイント>

- ・削除条件で選択した数量をすべてチェックして、すべてが条件にあてはまるときにデータは削除されます。
- ・別紙明細階層を持つ明細行は削除されません。この場合削除の対象になるのは、別紙明細階層の行データになります。
- ・指定した集計階層の明細階層データがすべて削除された場合でも、集計階層データは削除されません。
- ・**行データが削除された場合、削除された次の行種別がコメント属性行のとき、そのコメント行も削除されます。**
これは、削除されたデータに対する規格、備考などで使用している行と判断しているためです。以下のような行データの場合、この条件にあてはまります。

SEQ	下	部位	名称	規格	数量	1	単位1	単価1	金額
1			オートドア	ABC-123S	0		か所	300,000	
2				外付用 120Kg 〇〇会社製	0			0	0
3					0			0	0
4			オートドア	DEF-456S	0		か所	350,000	0

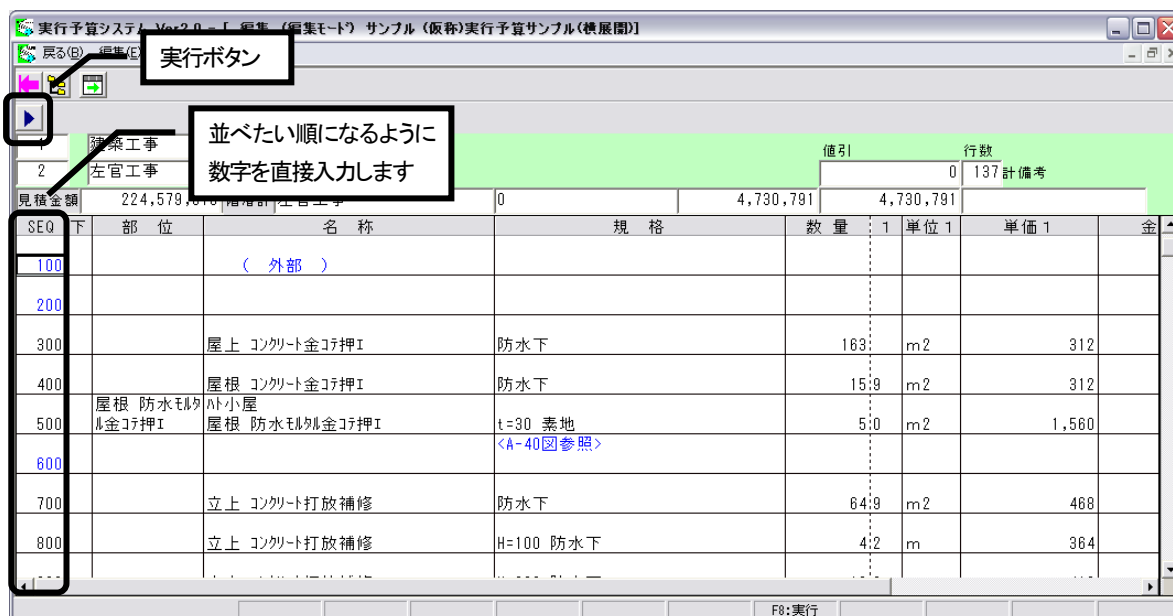
まずこの行が削除

これらの行も一緒に削除

(14) SEQ並び替え

明細、別紙明細階層において作成した行の並び順を、直接行順番号を入力して変更します。

明細階層 SEQ並び替え



- ①明細または別紙明細階層で、[明細(S)]メニューの[SEQ並び替え]を選択すると、上記の画面が表示されます。
- ②変更したい並び順になるようにSEQ項目を直接入力します。
[単価切替] ボタンをクリックすると、表示単価を切り替えます。
- ③ [実行] ボタンをクリックすると、入力した順で再表示します。
[戻る(B)] を選択、または [戻る] ボタンで編集画面に戻ります。このとき、並び順の変更があった場合、確認メッセージが表示されます。

<ポイント>

- ・この処理は明細階層または別紙明細階層のみで使用できます。

(15) 名称・規格欄文字数変換

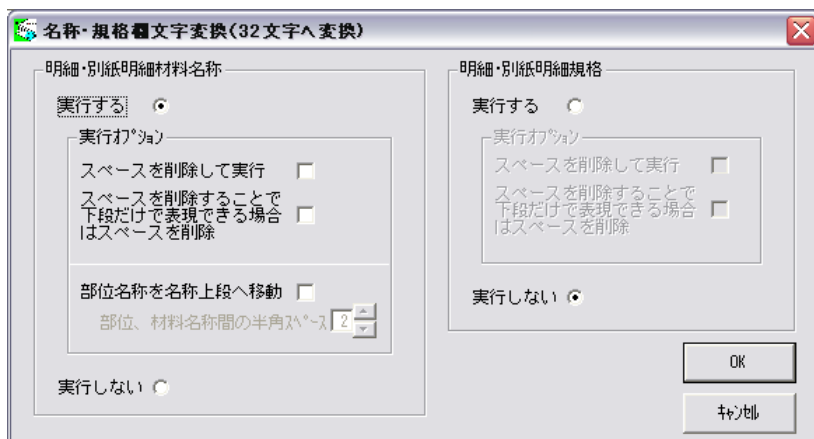
名称、規格を指定した文字数により、再配置します。または、スペースを削除して文字詰めをおこないます。
名称・規格欄文字数変換には以下の処理があります。

- ① 32文字へ変換
- ② 20文字へ変換
- ③ スペース削除

① 32文字へ変換

半角32文字として再配置します。**再配置は内訳書すべてにおこないます。**

名称・規格欄文字数変換 32文字へ変換 実行ウィンドウ



[明細(S)] メニューの [名称・規格欄文字数変換] → [32文字へ変換] を選択すると、上記の画面が表示されます。各実行条件を設定します。

[OK] ボタンをクリックすると、設定内容に従い、再配置を実行します。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、編集画面に戻ります。

<ポイント>

- ・この処理を実行すると、**文字列の配置は元には戻りません**。必要があれば、物件そのものを複製または圧縮保存など、バックアップをおこなったうえで、処理をおこなってください。

(物件の複製、圧縮保存)

- ・各実行条件は以下のとおりです。

明細・別紙明細材料名称

実行する：明細、別紙明細階層材料名称上段、下段を合成して、上下段各32文字として再配置します。

上下段を合成後、下段のみ(32文字)で表現することができる場合、上段は未使用とし、下段に配置します。

実行オプション

スペースを削除して実行：上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。

スペースを削除することで下段だけで表現できる場合はスペースを削除：

上下段を合成後、スペースを削除することで、下段のみ(32文字)で表現することができる場合、再配置のときにスペースを削除します。上記以外の場合、スペースは削除しません。

部位名称を名称上段へ移動：明細、別紙明細階層で部位に入力されている内容を、材料名称上段へ再配置します。この場合、材料名称上段は部位名称単独、または部位名称と材料名称となるので、部位名称と材料名称の間に何文字分のスペースを挿入するか指示します。

実行しない：明細、別紙明細階層材料名称上段、下段の合成、再配置は起こりません。

明細・別紙明細規格

実行する：明細、別紙明細階層規格上段、下段を合成して、上下段各 32 文字として再配置します。

上下段を合成後、下段のみ (32 文字) で表現することができる場合、上段は未使用とし、下段に配置します。

実行オプション

スペースを削除して実行：上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。

スペースを削除することで下段だけで表現できる場合はスペースを削除：

上下段を合成後、スペースを削除することで、下段のみ (32 文字) で表現することができる場合、再配置のときにスペースを削除します。上記以外の場合、スペースは削除しません。

実行しない：明細、別紙明細階層規格上段、下段の合成、再配置は起こりません。

・処理を実行した例を以下に示します。

名称・規格欄文字数変換 32文字へ変換 実行前

名 称	規 格
ササラ幅木油性調合ペ イント	木部面 糸=100~ 240 OP

材料名称、規格とも上下段各 20 文字の状態。

名称・規格欄文字数変換 32文字へ変換 実行後

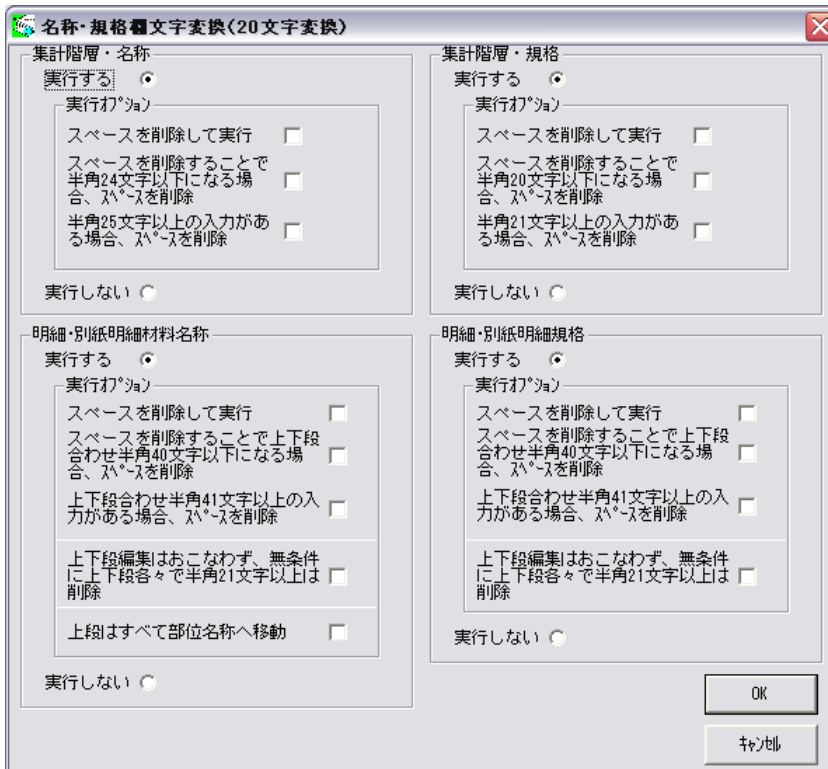
名 称	規 格
ササラ幅木油性調合ペイント	木部面 糸=100~240 OP

材料名称、規格とも「実行する」として処理をした結果。

②20文字へ変換

半角20文字（集計階層名称は24文字）として再配置します。**再配置は内訳書すべてにおこないます。**

名称・規格欄文字数変換 20文字へ変換 実行ウィンドウ



[明細(S)]メニューの[名称・規格欄文字数変換] → [20文字へ変換]を選択すると、上記の画面が表示されます。
各実行条件を設定します。
[OK] ボタンをクリックすると、設定内容に従い、再配置を実行します。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、編集画面に戻ります。

<ポイント>

- ・この処理を実行すると、**文字列の配置は元には戻りません。** 必要があれば、物件そのものを複写または圧縮保存など、バックアップをおこなったうえで、処理をおこなってください。

(物件の複写、圧縮保存を参照)

- ・各実行条件は以下のとおりです。

集計階層名称

実行する：集計階層名称を24文字として再配置します。**24文字以降は削除されます。**

実行オプション

スペースを削除して実行：再配置するときにスペースを削除します。

スペースを削除することで半角24文字以下になる場合、スペースを削除：

スペースを削除することで、半角24文字以下で表現することができる場合、再配置のときにスペースを削除します。

上記以外の場合、スペースは削除しません。

半角25文字以上の入力がある場合、スペースを削除：

半角で25文字以上使用していた場合、スペースを削除して再配置します。

実行しない：集計階層名称の再配置はおこないません。

集計階層規格

実行する：集計階層規格を20文字として再配置します。**20文字以降は削除されます。**

実行オプション

スペースを削除して実行：再配置するときにスペースを削除します。

スペースを削除することで半角20文字以下になる場合、スペースを削除：

スペースを削除することで、半角20文字以下で表現することができる場合、再配置のときにスペースを削除します。

上記以外の場合、スペースは削除しません。

半角21文字以上の入力がある場合、スペースを削除：

半角で21文字以上使用していた場合、スペースを削除して再配置します。

実行しない：集計階層規格の再配置はおこないません。

明細・別紙明細材料名称

実行する：明細、別紙明細階層材料名称上段、下段を合成して、上下段各20文字として再配置します。

上下段を合成後、下段のみ(20文字)で表現することができる場合、上段は未使用とし、下段に配置します。

上下段合わせ40文字となりますので、40文字以降は削除されます。

実行オプション

スペースを削除して実行：上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。

スペースを削除することで上下段合わせ半角40文字以下になる場合、スペースを削除：

上下段を合成後、スペースを削除することで、40文字以下で表現できる場合、再配置のときにスペースを削除します。

上記以外の場合、スペースは削除しません。

上下段合わせ半角 41 文字以上の入力がある場合、スペースを削除：

上下段を合成して半角で 41 文字以上使用していた場合、スペースを削除して再配置します。

上下段を合成して半角 40 文字以下の場合、スペースは削除しません。

上下段編集はおこなわず、無条件に上下各々で半角 21 文字以上は削除：

上下段の合成はおこなわず、上段、下段各々で半角 20 文字以降は削除します。

上下はすべて部位名称へ移動：

各条件による再配置後、上段名称の内容を部位名称に移動します。

上段名称は、未入力状態となります。

実行しない：明細、別紙明細階層材料名称上段、下段の合成、再配置はおこないません。

明細・別紙明細規格

実行する：明細、別紙明細階層規格上段、下段を合成して、上下段各 20 文字として再配置します。

上下段を合成後、下段のみ (20 文字) で表現することができる場合、上段は未使用とし、下段に配置します。

上下段合わせ 40 文字となりますので、40 文字以降は削除されます。

実行オプション

スペースを削除して実行：上下段を合成後、再配置するときにスペースを削除します。

スペースを削除することで上下段合わせ半角 40 文字以下になる場合、スペースを削除：

上下段を合成後、スペースを削除することで、40 文字以下で表現できる場合、再配置のときにスペースを削除します。

上記以外の場合、スペースは削除しません。

上下段合わせ半角 41 文字以上の入力がある場合、スペースを削除：

上下段を合成して半角で 41 文字以上使用していた場合、スペースを削除して再配置します。

上下段を合成して半角 40 文字以下の場合、スペースは削除しません。

上下段編集はおこなわず、無条件に上下各々で半角 21 文字以上は削除：

上下段の合成はおこなわず、上段、下段各々で半角 20 文字以降は削除します。

実行しない：明細、別紙明細階層規格上段、下段の合成、再配置はおこないません。

・処理を実行した例を以下に示します。

名称・規格欄文字数変換 20文字へ変換 実行前

名 称	規 格
ササラ幅木油性調合ペイント	木部面 糸=100~240 OP

材料名称、規格とも上下段各 32 文字の状態。

名称・規格欄文字数変換 20文字へ変換 実行後

名 称	規 格
ササラ幅木油性調合ペイント	木部面 糸=100~240 OP

材料名称、規格とも「実行する」として処理をした結果。

③スペース削除

名称、規格、単位および備考の各項目において、スペースを削除します。

スペース削除は内訳書すべてにおこないます。

名称・規格欄文字数変換 スペース削除 実行ウィンドウ

名称・規格欄文字数変換(スペース削除)

集計階層実行項目

名称 規格 単位 備考

明細・別紙明細実行項目

部位 材料名称上段 規格上段 備考上段
材料名称下段 規格下段 備考下段

削除実行により、上下段合わせた内容が下段だけで表現できる文字数の場合、合わせた結果を下段にセット。

削除実行により、上下段合わせた内容が下段だけで表現できる文字数の場合、合わせた結果を下段にセット。

OK キャンセル

[明細(S)] メニューの [名称・規格欄文字数変換] → [スペース削除] を選択すると、

上記の画面が表示されます。各実行条件を設定します。

[OK] ボタンをクリックすると、設定内容に従い、スペース削除を実行します。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、編集画面に戻ります。

<ポイント>

- この処理を実行すると、**実行項目の内容は元には戻りません**。必要があれば、物件そのものを複製または圧縮保存など、バックアップをおこなったうえで、処理をおこなってください。

(物件の複製、圧縮保存)

- 各実行条件は以下のとおりです。

集計階層実行項目

集計階層において、スペースを削除する項目を選択します。

明細・別紙明細実行項目

明細、別紙明細階層において、スペースを削除する項目を選択します。

材料名称、規格名称については、以下の選択も可能です。

削除実行により、上下段合わせた内容が下段だけで表現できる文字数の場合、合わせた結果を下段にセット：

材料名称、規格名称については、スペースを削除したことにより上下段合わせ、下段だけで表現できる文字数になった場合、上段を未使用として、下段に結果をセットします。

(16) 総括表編集

総括表の編集及び印刷がおこなえます。総括表はAタイプとBタイプが選択できます。

総括表A編集

実行予算総括表入力

ファイル(F) 印刷(P)

工事コード _____ 総括表タイトル _____

工事名称 (仮称)実行予算サンプル(横展開)

工事場所 _____

発注者 _____

設計 _____

工期	契約	自	2011/01/01	監理	契約	自	1900/01/01
		至	2011/12/31			至	1900/01/01
		延日数	日			延日数	日

受注区分 _____ 請負形態 _____

金額	坪単価	構成比	現場担当者	所長
				担当
			営業担当者	担当部長
				担当者
			工事責任者	

工事概要

用途			
構造			
敷地面積		㎡	坪
建築面積	0.00	㎡	0.00坪
延床面積	1,000.00	㎡	0.00坪
階構成	地下 0 階	地上 0 階	PH 0 階

備考

総括表A印刷

実行予算総括表

印刷(P) 80% 1/1 閉じる

工事コード _____ 実行予算総括表(建築)

工事名称 (仮称)実行予算サンプル(縦展開)

工事場所 _____

発注者 _____

設計 _____

工期	契約	2011 年 4 月 1 日	延日数	368 日	監理	年 月 日
		2012 年 3 月 31 日				年 月 日

受注区分 _____ 請負形態 _____

金額	坪単価	構成比	支払条件	現場担当者	所長
0	0	0.00%	0.00%		担当
0	0	0.00%	0.00%	営業担当者	担当部長
0	0	0.00%	0.00%		担当者
0	0	0.00%	0.00%	工事責任者	
0	0	0.00%	0.00%		
0	0	0.00%	0.00%		

工事概要

用途	アパート		
構造			
敷地面積	0.00	㎡	0.0坪
建築面積	0.00	㎡	0.0坪
延床面積	0.00	㎡	0.0坪
階構成	地下 0 階	地上 2 階	PH 0 階

備考

総括表B編集

実行予算総括表入力

ファイル(F) 印刷(P)

工事コード: _____ 西暦 和暦 なし 2011/03/10

総括表タイトル: 実行予算総括表(建築)

押印1	押印2	押印3	押印4	押印5	押印6	押印7
社長	原価本部長	工事部	原価部	支店長	支店	工責者

工事名称	〈仮称〉実行予算サンプル(縦展開)					
工事場所						
発注者						
設計者						
請負額	0	工事原価	0	工事価格に占める割合	0.00%	
消費税額	0	本支店経費	0		0.00%	
工事価格	0	損益率	0.00%	利率	0.00%	
工期	着工 2011/04/01	延日数	366	日	粗利益額	0
	竣工 2012/03/31				工事台帳粗利益額	0
工事責任者	営業担当者					

受注区分				請負形態		
人月粗利益額	目標	0 万円	実行	0 万円/	0 延人年	0 万円 コスト:
人月施工額		0 万円		0 万円/	0 延人年	0 万円

工事概要

用途	アパート					
構造	造					
建築面積	0.00 m ²					
延床面積	0.00 m ²					
階構成	地下	0 階	地上	2 階	PH	0 階

支払条件						
備考						

総括表B印刷

実行予算総括表

印刷(P) 80% 1/1 閉じる

実行予算総括表(建築) 2011 年 3 月 10 日

工事コード	社長	原価本部長	工事部	原価部	支店長	支店	工責者

工事名称	〈仮称〉実行予算サンプル(縦展開)						
工事場所							
発注者							
設計者							
請負額	¥0	工事原価	¥0	工事価格に占める割合	0.00%		
消費税額	¥0	本支店経費	¥0		0.00%		
工事価格	¥0	損益率	0.00%	利率	0.00%		
工期	着工	2011年04月01日	延日数	366	日	粗利益額	¥0
	竣工	2012年03月31日				工事台帳粗利益額	¥0
工事責任者	営業担当者 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0						

受注区分				請負形態		
人月粗利益額	目標	123 万円	実行	0 万円/	0 延人年	0 万円 コスト:
人月施工額		0 万円		0 万円/	0 延人年	0 万円

工事概要

用途	アパート					
構造						
建築面積	0.00 m ²					
延床面積	0.00 m ²					
階構成	地下	0 階	地上	2 階	PH	0 階

支払条件						
備考						

- ・消費税額は工事価格に消費税率を掛けた値になります。
- ・請負額は工事価格に消費税額を足した値になります。
- ・延日数は着工から竣工までの日数になります。
- ・本支店経費は $\text{工事価格} \times \text{工事価格に占める割合の2行目の率}$ になります。
- ・損益率は $(\text{工事価格} - \text{工事原価} - \text{本支店経費}) \div \text{工事価格}$ になります。
- ・粗利益額は $\text{工事価格} - \text{工事原価}$ になります。
- ・工事価格に占める割合の1行目は $\text{工事原価} \div \text{工事価格}$ になります。
- ・工事価格に占める割合の2行目は 手入力して下さい。
- ・工事価格に占める割合の3行目は 2行目にマイナスを掛けた値になります。
- ・工事価格に占める割合の4行目は $\text{粗利益額} \div \text{工事価格}$ になります。
- ・工事価格に占める割合の5行目は $\text{工事台帳粗利益額} \div \text{工事価格}$ になります。
- ・人月粗利益額は $\text{実行金額} \div \text{実行延人}$ になります。
- ・人月施工額は $\text{実行金額} \div \text{実行延人}$ になります。
- ・他の項目は手入力して下さい。

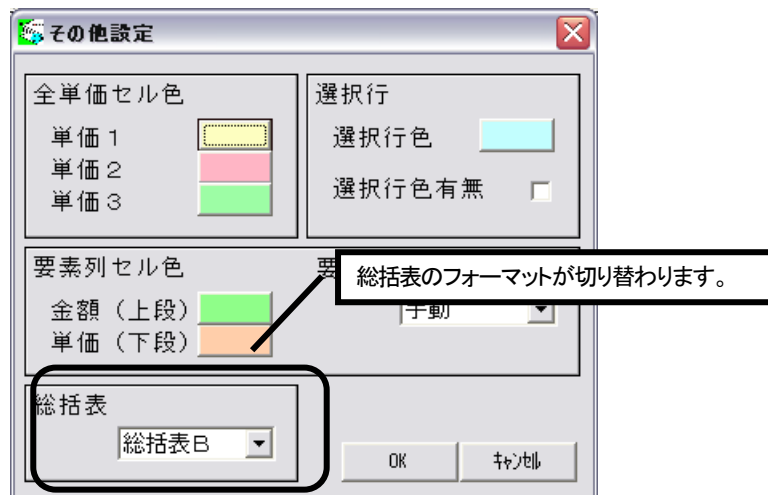
[明細(S)]メニューの[総括表編集]を選択すると、上記のいずれかの画面が表示されます。各項目が直接入力できます。

[閉じる]を選択すると、編集画面に戻ります。

要項書編集ウィンドウの[印刷(P)]メニューでプレビュー、印刷が可能です。

総括表A、Bの切替は[ワッショウ(O)]メニューの[その他設定]で可能です

その他設定



(17) 実施予算書編集

実施予算書の編集及び印刷がおこなえます。

実施予算書（表紙）編集

- ・親の工事番号セットボタンをクリックすると、親物件の工事番号が工事番号にセットされます。
- ・子の物件番号セットボタンをクリックすると、現在編集している物件の物件番号が工事番号にセットされます。
- ・親の名称セットボタンをクリックすると、親物件の工事名称が工事名称にセットされます。
- ・子の名称セットボタンをクリックすると、現在編集している物件の物件名称が工事名称にセットされます。
- ・物件を新規作成した場合、マスタで作成した内容が反映されます。

実施予算書（総括表）編集

- ・ 工事番号、工事名称は表紙で変更して下さい。
- ・ 用途、構造は物件の新規作成時に工事概要の内容が反映されます。
- ・ 地下・地上・PH階は1行目のみ工事概要の内容が反映されます。
- ・ 延床面積は階1～3行目までの面積の合計になります。
- ・ 工事価格は物件の工事価格が入力されます。
- ・ 直接工事費～利益までは大内訳の内容が反映されます。またそれぞれの行名は変更が可能です。
- ・ m2 面積/延床、坪面積/延床は先に入力した延床面積の m2 単価、坪単価が使用されます。
- ・ 支払条件、方針・所見は6行まで入力が可能です。
- ・ 概要は10行2列まで入力が可能です。
- ・ 目標ARAR、指示ARARは手入力して下さい。
- ・ 目標ARARの過不足は、ARARから目標ARARを引いた値になります。
- ・ 指示ARARの過不足は、ARARから指示ARARを引いた値になります。
- ・ 歩掛表は全て手入力して下さい。
- ・ 備考は7行まで入力が可能です。

実施予算書（大内訳）編集

・工種名列には、原価要素コードを入力します。入力には直接入力またはF1キーを押すことで、原価要素マスタが表示されます。また右クリックメニューからでも同様の処理が行えます。

- ・原価要素コードは6桁まで入力が可能です。
- ・大内訳タイトル、列名の工種名～比較元列までは変更が可能です。

・比較先、比較元の金額

左端に入力された原価要素コードが入力された集計階層を集約した金額を表示します。

・計行

ある間隔で計行が挟まれます。上図の場合、「仮設工事計」、「躯体工事計」、「仕上工事計」…が計行となります。

建築工事計は、仮設工事計+躯体工事計+仕上工事計 になります。

直接工事費合計は、設備工事計+直接工事費合計の上2行になります。

直接原価合計は、直接工事費合計+作業所経費計になります。

ARARは、工事価格-直接原価合計になります。

ARは、ARAR-ARの上1行になります。

AR移行の行は経費率の入力が可能です。工事価格*経費率/100になります。比較元・比較先に同じ値が入ります。

・構成比(%)

構成比は工事価格に占める各項目の構成比率になります。

・m²単価/延床

総括表の延床面積 m² 単価で計算されます。

・坪単価/延床

総括表の延床面積坪単価で計算されます。

・備考、方針・所見

備考、方針・所見は6行まで入力が可能です。

・各項目の白色セルが直接入力できます。

[ファイル(F)]メニューの [閉じる] を選択すると、編集画面に戻ります。

実施予算書編集ウィンドウの [印刷(P)] メニューを選択すると、印刷設定画面が表示されます。

印刷設定画面

印刷設定画面では比較先、比較元の金額を選択できます。

金額は現在編集集中の物件、他物件、またはなし（表示しない）から選択できます。

他物件を選択する場合は、物件一覧画面から物件を選択するのと同じ要領で選択することができます。

選択金額は、現在編集画面で表示されている金額が初期で選択されます。

[印刷プレビュー]ボタンまたは[Excel出力]ボタンをクリックすると、それぞれ出力できます。

[閉じる]ボタンをクリックすると、実施予算書編集画面に戻ります。

表紙・総括表・大内訳は3枚セットで出力されます。

表紙

3. 2. 8 処理メニュー 印刷(P)の機能

印刷の機能としては、

- ・[全印刷] : 社内管理用1の全ページの印刷をおこないます
- ・[表示階層印刷] : 表示している階層のみを印刷する
- ・[下階層印刷] : 表示している下階層を印刷する
- ・[総括表印刷] : 総括表を印刷する
- ・[プリンタ] : 印刷プリンタの設定をおこなう

以上があります。印刷できる帳票の種類として

- ・実行予算書 (A4横)
- ・社内管理用1 (A4横)
- ・社内管理用2 (A4横)
- ・社内管理用3 (A4横)
- ・コードチェックリスト (A4横)

名称、規格の列幅は、選択している名称文字数、規格文字数(20または32)により自動で印刷されます。

社内管理用及びコードチェックリストの用紙サイズはA4で、横向きに印刷されます。

印刷する場合の基本操作は、印刷(P)メニューから印刷機能を選択後、帳票の種類を指定しておこないます。

ここでは、これらを以下の手順で説明します。

- (1) 全印刷
- (2) 表示階層印刷
- (3) 下階層印刷
- (4) 印刷実行ウィンドウ
- (5) プリンタ

<ポイント>

- ・プレビューは印刷設定項目ダイアログで実行します。
- ・印刷頁は印刷設定項目ダイアログで設定します。
- ・社内用については、単価、金額を点線区切りで印刷することはできません。カンマ区切りになります。
- ・社内用については、名称文字数または規格文字数のいずれかが「32」のとき、名称、規格列幅とも32文字用で印刷されます。ただし、名称文字数：20、規格文字数：32のとき、名称列は32文字分の列幅となりますが、部位の印刷開始位置は左端から、名称の印刷は、部位の印刷開始位置から全角2文字分右にずれた位置になります。
- ・コードチェックリストについては、単価、金額を点線区切りで印刷することはできません。カンマ区切りになります。
- ・コードチェックリストについては、単位、数量の順で印刷することはできません。数量、単位の順になります。
- ・コードチェックリストについては、名称文字数または規格文字数のいずれかが「32」のとき、名称、規格列幅とも32文字用で印刷されます。ただし、名称文字数：20、規格文字数：32のとき、名称列は32文字分の列幅となりますが、部位の印刷開始位置は左端から、名称の印刷は、部位の印刷開始位置から全角2文字分右にずれた位置になります。

(1) 全印刷

選択帳票の全ページを対象に印刷をおこないます。

[印刷(P)]メニューの[全印刷]から帳票タイプを選択します。

選択した帳票タイプにあった、印刷実行ウィンドウが表示されます。各条件を設定後、実行して下さい。

印刷実行ウィンドウにつきましては「(4)印刷実行ウィンドウ」をご覧ください。

(2) 表示階層印刷

印刷設定画面で表示している階層の印刷をおこないます。印刷設定画面で印刷する範囲を設定後、実行します。

表示階層印刷 印刷範囲設定

SEQ	下指定	名称	規格	数量	1	単位1	単価1	金額1
1		直接仮設工事		1	1	式	0	9,514,893
2		土工事		1	1	式	0	928,729
3	▲	杭地業工事		1	1	式	0	15,598,003
4	■	コンクリート工事		1	1	式	0	17,555,217
5	■	型枠工事		1	1	式	0	23,870,811
6	■	鉄筋工事		1	1	式	0	23,869,997
7	■	既製コンクリート工事		1	1	式	0	88,005
8	■	防水工事		1	1	式	0	3,189,977
9	■	石工事		1	1	式	0	2,199,973
10	▼	タイル工事		1	1	式	0	3,300,114
11		木工事		1	1	式	0	1,100,106
12		金属工事		1	1	式	0	4,786,584
13		左官工事		1	1	式	0	4,730,791
14		木製建具工事		1	1	式	0	714,999
15		金属製建具工事		1	1	式	0	21,813,036
16		硝子工事		1	1	式	0	1,540,106
17		塗装工事		1	1	式	0	3,300,652

① [印刷(P)]メニューの[表示階層印刷]から帳票タイプを選択します。上記の画面が表示されます。

②印刷を始める行の、指定セルにセルカーソルをあわせ、[始め]ボタンをクリックします。(▲が表示)

③印刷を終える行の、指定セルにセルカーソルをあわせ、[終わり]ボタンをクリックします。(▼が表示)

④ [始め]及び[終わり]ボタンで、選択した範囲に、マークがつけます。(■が表示)

[全選択] ボタンを押すと、すべてが選択されます。

[解除] ボタンを押すと、選択が取り消されます。

⑤範囲選択した状態で、[実行]ボタンをクリックすると、選択した帳票タイプにあった、印刷実行ウィンドウが表示されます。各条件を設定後、実行して下さい。

印刷実行ウィンドウにつきましては「(6)印刷実行ウィンドウ」をご覧ください。

[戻る] ボタンを押すと、編集画面に戻ります。

[下階層印刷へ] ボタンをクリックすると、下階層印刷項目設定が画面に変わります。

(3) 下階層印刷

印刷設定画面で表示している階層の下階層データを印刷します。印刷項目設定画面で印刷する行データを選択後、実行します。

下階層印刷 印刷項目設定

見積金額	224,579,878	階層計	建築工事	計	190,461,956	190,461,956	20	計備考
SEQ	下	指定	名称	規格	数量	単位	単価	金額
1		<input checked="" type="checkbox"/>	直接仮設工事		1	式	0	9,514,893
2		<input checked="" type="checkbox"/>	土工事		1	式	0	928,729
3		<input checked="" type="checkbox"/>	杭地業工事		1	式	0	15,598,003
4		<input checked="" type="checkbox"/>	コンクリート工事		1	式	0	17,555,217
5		<input type="checkbox"/>	型枠工事		1	式	0	23,870,811
6		<input type="checkbox"/>	鉄筋工事		1	式	0	23,869,997
7		<input type="checkbox"/>	既製コンクリート工事		1	式	0	88,005
8		<input type="checkbox"/>	防水工事		1	式	0	3,189,977
9		<input type="checkbox"/>	石工事		1	式	0	2,199,973
10		<input checked="" type="checkbox"/>	タイル工事		1	式	0	3,300,114
11		<input checked="" type="checkbox"/>	木工事		1	式	0	1,100,106
12		<input type="checkbox"/>	金属工事		1	式	0	4,786,584
13		<input type="checkbox"/>	左官工事		1	式	0	4,730,791
14		<input type="checkbox"/>	木製建具工事		1	式	0	714,999
15		<input type="checkbox"/>	金属製建具工事		1	式	0	21,813,036
16		<input type="checkbox"/>	硝子工事		1	式	0	1,540,106
17		<input type="checkbox"/>	塗装工事		1	式	0	3,300,652

- ① [印刷(P)] メニューの [下階層印刷] の帳票タイプを選択します。上記の画面が表示されます。
- ② 印刷をおこなう行データの指定項目をチェックします。ただし、下階層にデータが存在しない場合は、チェックできません。
[全選択] ボタンをクリックすると、下階層データが存在する、全ての指定項目にチェックマークが付きます。
[全解除] ボタンをクリックすると、指定項目のチェックマークを全て解除します。
- ③ チェックされている状態で、[実行] ボタンをクリックすると、選択した帳票タイプにあった、印刷実行ウィンドウが表示されます。各条件を設定後、実行して下さい。
印刷実行ウィンドウにつきましては「(4) 印刷実行ウィンドウ」をご覧ください。
[戻る] ボタンを押すと、編集画面に戻ります。
[表示階層印刷へ] ボタンをクリックすると、表示階層印刷範囲設定が画面に変わります。

(4) 実行予算書実行ウィンドウ

印刷する帳票タイプにより、印刷される項目が異なるため帳票タイプごとに実行ウィンドウが異なります。また、各帳票タイプでは、印刷機能によりさらに実行ウィンドウが異なります。

ここでは、以下の手順で印刷実行ウィンドウを説明します。

- ① 実行予算書用印刷実行ウィンドウ
- ② 社内管理用1 印刷実行ウィンドウ
- ③ 社内管理用2 印刷実行ウィンドウ
- ④ 社内管理用3 印刷実行ウィンドウ
- ⑤ コードチェックリスト印刷実行ウィンドウ
- ⑥ プレビューウィンドウ

各実行ウィンドウの説明は、全印刷のときを使用しておこないます。表示階層印刷、及び下階層印刷の各実行ウィンドウにおける印刷条件の内容は、全印刷の実行ウィンドウに含まれています。

①実行予算書用印刷実行ウィンドウ

各印刷条件を設定後、「印刷」をクリックすると印刷を開始します。

実行予算書用 全印刷実行ウィンドウ 印刷設定

・印刷「数量・単位・単価」設定

3種ある「数量・単位・単価」のうち印刷する1種を指定します。

また、数量、単位、単価、金額、備考において印刷に不要な項目があればチェックします。

・別紙明細印刷

別紙明細階層の印刷有無を選択します。

- ・別紙単位数量、単位の印字有無
別紙明細を「印刷する」場合、単位数量と親明細の単位の印刷有無を選択します。
- ・別紙明細タイトル
別紙明細を印刷するときに、そのタイトルを設定します。

- ・鑑タイプ
印刷する鑑タイプを選択します。
- ・頁タイプ
頁タイプを選択します。
頁タイプの「第1階層頁符号+連番」とは、第1階層で選ばれている番号マスタによる、頁符号と頁符号ごとの連番で、第2階層からの頁を印字します。
頁タイプの「第1階層頁符号+第2階層頁符号+連番」とは、第1階層で選ばれている番号マスタと第2階層で選ばれている番号マスタによる、頁符号と頁符号ごとの連番で、第2階層からの頁を印字します。
- ・同上材料表現
同じ材料項目の名称が同一頁内で続いた場合の印刷規則を選択します。
- ・同上部位表現
同じ部位項目の名称が同一頁内で続いた場合の印刷規則を選択します。
- ・同上単位表現
同じ単位項目の名称が同一頁内で続いた場合の印刷規則を選択します。
- ・印刷帳票行数
1頁あたりの行数を選択します。
提出用B5の場合：15、16、及び17行が選択できます。
提出用A4横の場合：17、18、及び19行が選択できます。
提出用A4縦の場合：25行固定ですので表示されません。
また、これら内容は物件ごとに変更できますが、これらの初期値は管理情報マスタで設定できます。

- ・明細タイトルの空白行
明細タイトルの次の行に空白行を出力したくない場合、チェックします。
- ・第1階層の総合計
第1階層の総合計を印字したくない場合、チェックします。
- ・欄外頁計の印字
欄外頁計を印字したくない場合、チェックします。
- ・単位のセンタリング
単位をセンタリングしたくない場合、チェックします。
- ・金額=0・規格なし・備考なしの明細行の印字
金額=0・規格なし・備考なしの明細行を印字したくない場合、チェックします。
- ・金額のマイナス記号
マイナス金額の場合、記号として「-」か「▲」を選択します。
- ・金額=0の印字
金額が0の場合、「印字しない」か「0」を印字するかを選択します。
- ・数量の小数点印字
数量の小数点区切りを、「点線印字」か「小数点印字」を選択します。
- ・部位を印字しない
部位を印字したくない場合、チェックします。
- ・上段を印字しない
名称欄と規格欄の上段を印字したくない場合、チェックします。

- ・計行で改行する
行属性が小計行・中計行・大計行の行で改ページをする場合、チェックします。
- ・プリンタ設定
プリンタの設定をおこないます。詳細につきましては「(5) プリンタ」の項をご覧ください。
- ・プレビュー
指定された条件でプレビューを開始します。
- ・印刷
指定した条件で印刷を開始します。
- ・初期値に戻す
設定した内容を初期値に戻します。
- ・閉じる
全印刷実行ウィンドウを閉じます。
設定した内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は「いいえ」を選択します。

実行予算書用 全印刷実行ウィンドウ フォーマット

- ・ヘッダー
 フォント：「MSゴシック」か「MS明朝」を選択します。
 内訳書タイトル：内訳書のタイトルを選択します。
 「親」の場合：工事名称を印字します。
 「子」の場合：物件名称を印字します。
 「親+子」の場合：工事名称と物件名称を印字します。
 「内訳書」の場合：「内訳書」を印字します。
 「御見積書」の場合：「御見積書」を印字します。
 任意に入力した文字を印字することもできます。

日付／社名：「日付」か「社名」を印字する場合、選択します。
横位置：日付／社名に「日付」か「社名」が選択された場合、印字位置を指定します。
日付指定：日付／社名に「日付」が選択された場合、「和暦」か「西暦」を指定します。
印字する日付を変更することができます
内訳書会社名：日付／社名に「社名」が選択された場合、内訳書のヘッダーに印刷される会社名を設定します。

・明細

フォント：「MSゴシック」か「MS明朝」を選択します。
名称欄：内訳書の名称欄のタイトルを設定します。
摘要欄：内訳書の摘要欄のタイトルを設定します。
数量欄：内訳書の数量欄のタイトルを設定します。
単位欄：内訳書の単位欄のタイトルを設定します。
金額欄：内訳書の金額欄のタイトルを設定します。
備考欄：内訳書の備考欄のタイトルを設定します。
第一階層物件名表示：第一階層に印字する名称をします。
「親」の場合：工事名称を印字します。
「子」の場合：物件名称を印字します。
「親+子」の場合：工事名称と物件名称を印字します。
値引き項目名称：値引き項目の名称を設定します。

・フッター

フォント：「MSゴシック」か「MS明朝」を選択します。
左部：内訳書のフッターの左部に印字する項目を指定します。
中央部：内訳書のフッターの中央部に印字する項目を指定します。
右部：内訳書のフッターの右部に印字する項目を指定します。
「工種名称」の場合：印字する工種名称を選択します。
「ページ表示」の場合：印字するページ表示形式を選択します。
任意に入力した文字を印字することもできます。
「支店・会社名」の場合：印字する支店・会社名を選択します。
任意に入力した文字を印字することもできます。
内訳書コメント：内訳書のコメントを設定します。
頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する：頁タイプが連番で下線を短縮する場合、チェックします。

・プリンタ設定

プリンタの設定をおこないます。詳細につきましては「(5) プリンタ」の項をご覧ください。

・プレビュー

指定された条件でプレビューを開始します。

・印刷

指定した条件で印刷を開始します。

・初期値に戻す

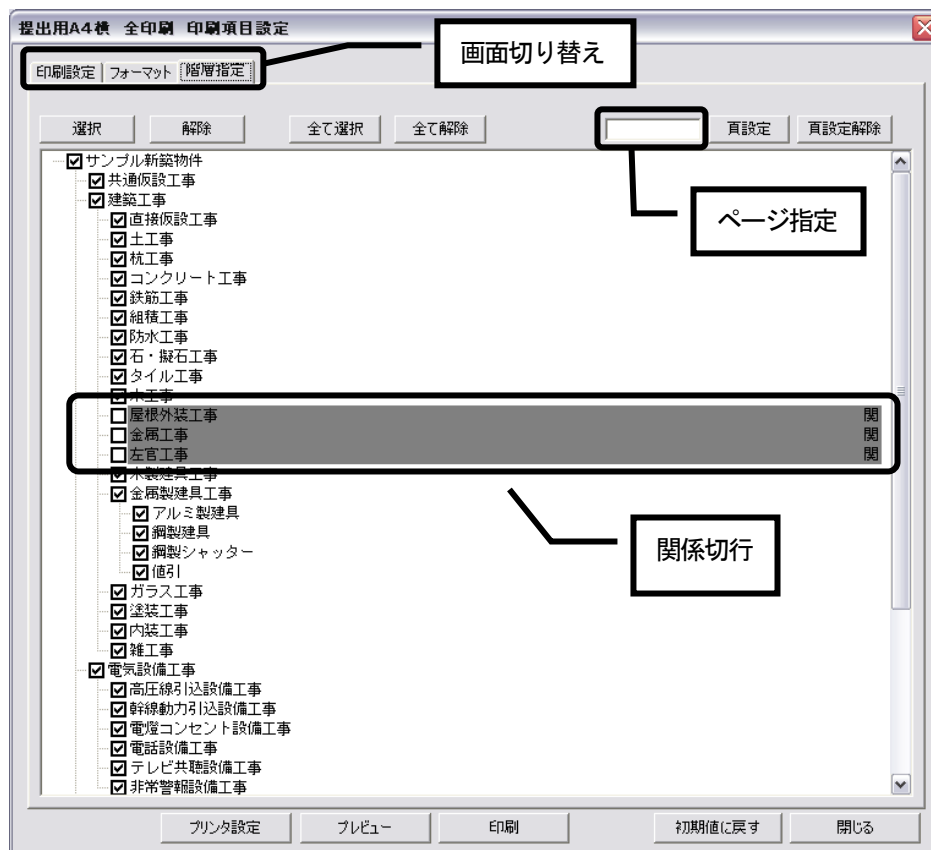
設定した内容を初期値に戻します。

・閉じる

全印刷実行ウィンドウを閉じます。

設定した内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は「いいえ」を選択します。

実行予算書用 全印刷実行ウィンドウ 階層指定



全印刷の場合、階層を指定して印刷をすることができます。

階層の指定方法は、階層名を指定し[選択]をクリックするか、階層名前のチェックボックスをクリックします。指定を解除する場合は、チェックがついている階層名を指定し[解除]をクリックするか、階層名前のチェックボックスをクリックしチェックを取り消します。

下位階層を指定した場合は、自動的に上位階層も指定されます。

[全て選択] [全て解除]をクリックすると、全ての階層が選択または選択解除されます。

階層毎に印刷されるページの初期値を指定することも可能です。

[Enter]キーを押す、または[頁指定]ボタンをクリックして下さい。頁指定されます。

- ・ プリンタ設定

プリンタの設定をおこないます。詳細につきましては「(5) プリンタ」の項をご覧ください。

- ・ プレビュー

指定された条件でプレビューを開始します。

- ・ 印刷

指定した条件で印刷を開始します。

- ・ 初期値に戻す

設定した内容を初期値に戻します。

- ・ 閉じる

全印刷実行ウィンドウを閉じます。

設定した内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は「いいえ」を選択します。

②社内管理用1印刷実行ウィンドウ

各印刷条件を設定後、[印刷] をクリックすると印刷を開始します。

社内管理用1 全印刷実行ウィンドウ 印刷設定

・印刷「数量・単位・単価」設定

3種ある「数量・単位・単価」のうち印刷する2種を指定します。

また、集計階層において構成比、m²単価の印刷有無を指定します。印刷する場合、延床面積を入力します。

・数量・単位・単価タイトル

「数量・単位・単価・金額」を2種印刷するため、それらが分かるようにタイトルが付けられます。

単価番号の場合：選択した単価番号がこれら項目の上に中央寄せで印刷されます。

タイトル変更の場合：入力した内容がこれら項目の上に中央寄せで印刷されます。中央寄せで印刷されるため、画面では左から入力して下さい。

・印刷帳票行数

1頁あたりの行数を選択します。

また、これら内容は物件ごとに変更できますが、これらの初期値は管理情報マスタで設定できます。

その他の条件につきましては、実行予算書用と同様です。「①実行予算書用印刷実行ウィンドウ」をご覧ください。

社内管理用1 全印刷実行ウィンドウ フォーマット

社内管理用1 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | 階層指定

ヘッダー

フォント: MS 明朝
 内訳書タイトル: 親
 日付/社名:
 横位置: 右寄せ
 日付設定:
 内訳書会社名: * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *

明細

フォント: MS 明朝
 名称欄: 名 称
 摘要欄: 規 格・寸 法
 数量欄: 数 量
 単位欄: 単 位
 単価欄: 単 価
 金額欄: 金 額
 備考欄: 備 考
 第一階層物件名称表示: 親
 値引き項目名称:
 頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する

フッター

フォント: MS 明朝
 左部: 支店・会社名 * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *
 中央部:
 右部: ページ表示 No
 内訳書コメント:
 頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する

プリンタ設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

社内管理用1 全印刷実行ウィンドウ 階層設定

社内管理用1 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | 階層指定

選択 解除 全て選択 全て解除 頁設定 頁設定解除

- 協栄ビル新築工事
- 共通仮設工事
- 建築工事
 - 直接仮設工事
 - 土工事
 - 杭工事
 - コンクリート工事
 - 鉄筋工事
 - 組積工事
 - 防水工事
 - 石・擬石工事
 - タイル工事
 - 木工事
 - 屋根外装工事
 - 金属工事
 - 左官工事
 - 木製建具工事
 - 金属製建具工事
 - アルミ製建具
 - 鋼製建具
 - 鋼製シャッター
 - 値引
 - ガラス工事
 - 塗装工事
 - 内装工事
 - 雑工事
- 電気設備工事
 - 高圧線引込設備工事
 - 幹線動力引込設備工事
 - 電燈コンセント設備工事
 - 電話設備工事
 - テレビ共聴設備工事
 - 非常警報設備工事

プリンタ設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

③社内管理用2印刷実行ウィンドウ

各印刷条件を設定後、[印刷] をクリックすると印刷を開始します。

社内管理用2 全印刷実行ウィンドウ 印刷指定

- ・ 構成比・平米単価の印刷

集計階層において構成比、m²単価の印刷有無を指定します。印刷する場合、延床面積を入力します。

- ・ 数量・単位・単価タイトル

「数量・単位・単価・金額」をすべて（3種）印刷するため、それらが分かるようにタイトルが付けられます。

単価番号の場合：選択した単価番号がこれら項目の上に中央寄せで印刷されます。

タイトル変更の場合：入力した内容がこれら項目の上に中央寄せで印刷されます。中央寄せで印刷されるため、画面では左から入力して下さい。

- ・ 印刷帳票行数

1 頁あたりの行数を選択します。

また、これら内容は物件ごとに変更できますが、これらの初期値は管理情報マスタで設定できます。

その他の条件につきましては、社内管理用1印刷用と同様です。

「②社内管理用1印刷実行ウィンドウ」をご覧ください。

社内管理用2 全印刷実行ウィンドウ フォーマット

社内管理用2 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | 階層指定

ヘッダー

フォント: MS 明朝
 内訳書タイトル: 親
 日付/社名:
 横位置: 右寄せ
 日付設定:
 内訳書会社名: * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *

明細

フォント: MS 明朝
 名称欄: 名 称
 摘要欄: 規 格・寸 法
 数量欄: 数 量
 単位欄: 単 位
 単価欄: 単 価
 金額欄: 金 額
 備考欄: 備 考
 第一階層物件名称表示: 親
 値引き項目名称:

フッター

フォント: MS 明朝
 左部: 支店・会社名 * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *
 中央部: 0
 右部: ページ表示 No.
 内訳書コメント:
 頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する

プリント設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

社内管理用2 全印刷実行ウィンドウ 階層指定

社内管理用2 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | 階層指定

選択 解除 全て選択 全て解除 頁設定 頁設定解除

- 協栄ビル新築工事
 - 共通仮設工事
 - 建築工事
 - 直接仮設工事
 - 土工事
 - 杭工事
 - コンクリート工事
 - 鉄筋工事
 - 組積工事
 - 防水工事
 - 石・凝石工事
 - タイル工事
 - 木工事
 - 屋根外装工事
 - 金属工事
 - 左官工事
 - 木製建具工事
 - 金属製建具工事
 - アルミ製建具
 - 鋼製建具
 - 鋼製シャッター
 - 値引
 - ガラス工事
 - 塗装工事
 - 内装工事
 - 雑工事
 - 電気設備工事
 - 高圧線引込設備工事
 - 幹線動力引込設備工事
 - 電燈コンセント設備工事
 - 電話設備工事
 - テレビ共聴設備工事
 - 非常警報設備工事

プリント設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

④社内管理用3印刷実行ウィンドウ

各印刷条件を設定後、[印刷] をクリックすると印刷を開始します。

社内管理用3 全印刷実行ウィンドウ 印刷設定

・印刷「数量・単位・単価」設定

3種ある「数量・単位・単価」のうち印刷する2種を指定します。

その他の条件につきましては、社内管理用2用と同様です。

「③社内管理用2印刷実行ウィンドウ」をご覧ください。

社内管理用3 全印刷実行ウィンドウ フォーマット

社内管理用3 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | 階層指定

ヘッダー

フォント: MS 明朝
 内訳書タイトル: 親
 日付/社名:
 横位置: 右寄せ
 日付設定:
 内訳書会社名: * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *

明細

フォント: MS 明朝
 名称欄: 名 称
 摘要欄: 規 格・寸 法
 数量欄: 数 量
 単位欄: 単 位
 単価欄: 単 価
 金額欄: 金 額
 備考欄: 備 考
 第一階層物件名称表示: 親
 値引き項目名称:

フッター

フォント: MS 明朝
 左部: 支店・会社名 * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *
 中央部: 0
 右部: ページ表示 No.
 内訳書コメント:
 頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する

プリント設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

社内管理用3 全印刷実行ウィンドウ 階層設定

社内管理用3 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | 階層指定

選択 解除 全て選択 全て解除 頁設定 頁設定解除

- 協栄ビル新築工事
 - 共通仮設工事
 - 建築工事
 - 直接仮設工事
 - 土工事
 - 杭工事
 - コンクリート工事
 - 鉄筋工事
 - 組積工事
 - 防水工事
 - 石・凝石工事
 - タイル工事
 - 木工事
 - 屋根外装工事
 - 金属工事
 - 左官工事
 - 木製建具工事
 - 金属製建具工事
 - アルミ製建具
 - 鋼製建具
 - 鋼製シャッター
 - 値引
 - ガラス工事
 - 塗装工事
 - 内装工事
 - 雑工事
 - 電気設備工事
 - 高圧線引込設備工事
 - 幹線動力引込設備工事
 - 電燈コンセント設備工事
 - 電話設備工事
 - テレビ共聴設備工事
 - 非常警報設備工事

プリント設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

⑤コードチェックリスト印刷実行ウィンドウ

各印刷条件を設定後、「印刷」をクリックすると印刷を開始します。

条件につきましては、実行予算書用と同様です。「①実行予算書用印刷実行ウィンドウ」をご覧ください。

コードチェックリスト印刷実行ウィンドウ 印刷設定

コードチェックリスト 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | 階層指定

印刷「数量・単位・単価」指定

数量1・単位1・単価1

数量2・単位2・単価2

数量3・単位3・単価3

ページタイプ: 連番

同上材料表現: 「R」を印字

同上部位表現: 印字しない

同上単位表現: そのまま印字

明細タイトルは空白行を空けない

第1階層の総合計を印字しない

欄外頁計を印字しない

単位をセンタリングしない

金額印・規格なし・備考なしの明細行を印字しない

金額のマイナス記号: 「-」を印字

金額=0印字: 「0」を印字

数量小数点印字: 点線印字

部位を印字しない

上段を印字しない

計行で改頁する

内訳書の頁番号初期値:

内訳書の頁範囲: すべて 頁指定 開始: 終了:

プリンタ設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

コードチェックリスト印刷実行ウィンドウ フォーマット

コードチェックリスト 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | **フォーマット** | 階層指定

ヘッダー

フォント: MS 明朝
 内訳書タイトル: 親
 日付/社名:
 横位置: 右寄せ
 日付設定:
 内訳書会社名: * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *

明細

フォント: MS 明朝
 名称欄: 名 称
 摘要欄: 規 格・寸 法
 数量欄: 数 量
 単位欄: 単 位
 単価欄: 単 価
 金額欄: 金 額
 備考欄: 備 考
 第一階層物件名称表示: 親
 値引き項目名称:

フッター

フォント: MS 明朝
 左部: 支店・会社名 * * * * * ○○建設株式会社 * * * * *
 中央部: 0
 右部: ページ表示 No.
 内訳書コメント:
 頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する

プリント設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

コードチェックリスト印刷実行ウィンドウ 階層設定

コードチェックリスト 全印刷 印刷項目設定

印刷設定 | フォーマット | **階層指定**

選択 解除 全て選択 全て解除 頁設定 頁設定解除

- 協栄ビル新築工事
 - 共通仮設工事
 - 建築工事
 - 直接仮設工事
 - 土工事
 - 杭工事
 - コンクリート工事
 - 鉄筋工事
 - 組積工事
 - 防水工事
 - 石・凝石工事
 - タイル工事
 - 木工事
 - 屋根外装工事
 - 金属工事
 - 左官工事
 - 木製建具工事
 - 金属製建具工事
 - アルミ製建具
 - 鋼製建具
 - 鋼製シャッター
 - 値引
 - ガラス工事
 - 塗装工事
 - 内装工事
 - 雑工事
 - 電気設備工事
 - 高圧線引込設備工事
 - 幹線動力引込設備工事
 - 電燈コンセント設備工事
 - 電話設備工事
 - テレビ共聴設備工事
 - 非常警報設備工事

プリント設定 プレビュー 印刷 初期値に戻す 閉じる

⑥プレビューウィンドウ

選択した帳票タイプにあった、印刷実行ウィンドウが表示されます。

プレビューウィンドウ

名称	規格・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
サンプル						
A 建築工事		1	式		5,347,163,854	
B 電気設備工事		1	式		1,816,000,000	
C 給排水衛生設備工事		1	式		1,624,000,000	
D 空調設備工事		1	式		875,000,000	
E 昇降機設備工事		1	式		530,000,000	
F 輸送設備工事		1	式		450,000,000	
G 外構工事		1	式		160,374,375	
H 厨房機器設備工事		1	式		16,141,200	
I 総合仮設工事		1	式		1,181,535,000	
J 現場経費		1	式		1,041,780,000	
K 多数明細行 (3000行)		1	式		3,864,000,000	*3000行
L 検証用明細		1	式		23,725,000	*2段表示
※ 階層検証(外付銀票)		1	式		99,918,650,000	1階層
					116,848,349,423	

実行すると、表示していた階層のプレビューウィンドウが表示されます。

[印刷] ボタンをクリックすると、印刷を実行します。印刷ではプリンタと印刷範囲が設定できます。

[検索] ボタンをクリックすると、検索用ウィンドウが開き、任意の文字列の検索ができます。

[単一ページ] ボタンをクリックすると、単一ページで表示されます。

[連続ページ] ボタンをクリックすると、連続ページで表示されます。スクロールでページ移動ができます。

[ズームアウト] ボタンをクリックすると、縮小表示します。

[ズームイン] ボタンをクリックすると、拡大表示します。

[ズーム] 表示倍率を設定します。表示倍率は印刷を行うと、保存されます。

[次ページ] ボタンをクリックすると、次ページを表示します。

[前ページ] ボタンをクリックすると、前ページを表示します。

[ページ数] ページを数値入力で、指定します。

[帳票選択] 鑑、要項書、内訳書を選択します。

[閉じる] ボタンをクリックすると、編集に戻ります。

(5) プリンタ

印刷するプリンタの選択及び設定がおこなえます。

[印刷(P)] の [プリンタ] をおこなう、または全印刷、表示階層印刷及び、下階層印刷実行ウィンドウの [プリンタ設定] ボタンでおこなえます。

<ポイント>

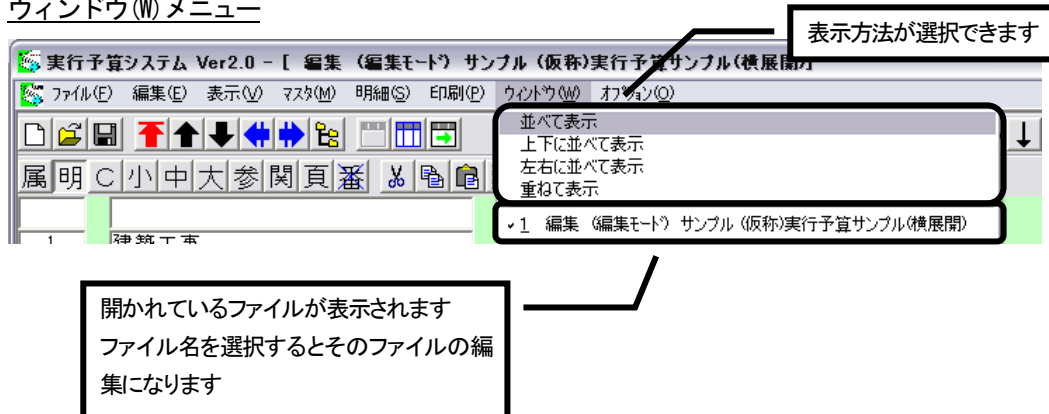
- ・この処理は、主にプリンタを変更する場合に使用して下さい。印刷範囲及び印刷部数は、規定値のままご使用下さい。
- ・プリンタが正しく設定されていない場合、印刷及びプレビューが正常に動作しないこともあります。
- ・最初に選択されるプリンタは、本システム起動時に「通常使うプリンタ」として設定されているプリンタです。出力プリンタを変更した場合、プレビューからの印刷を除き、各印刷は、本システムが終了するまで変更したプリンタに印刷されます。

3. 2. 9 処理メニュー ウィンドウ(W)の機能

ウィンドウの機能としては、編集物件を同時に複数開いていた場合に、並べて表示、表示物件を変更するなどがおこなえます。

(1) ウィンドウ(W)メニューと機能

ウィンドウ(W)メニュー



[ウィンドウ(W)]メニューをクリックすると上記の画面が表示されます。

表示方法及び編集ファイルの切替ができます。

- ・並べて表示
複数物件開いていた場合に、画面を上下または左右に並べて表示します。
開かれている物件数により、上下に表示するか、左右に表示するかは決まります。
- ・上下に並べて表示
複数物件開いていた場合に、画面を上下に並べて表示します。
- ・左右に並べて表示
複数物件開いていた場合に、画面を左右に並べて表示します。
- ・重ねて表示
複数物件開いていた場合に、画面を重ねて表示します。

- ・編集中ファイルの表示領域
現在開いているファイル名が表示されます。
編集中のファイルにはチェックマークが付きます。
編集するファイルを変更する場合、表示されているファイル名をクリックして下さい。選択したファイルの編集になります。

3. 2. 10 処理メニュー オプション(0)の機能

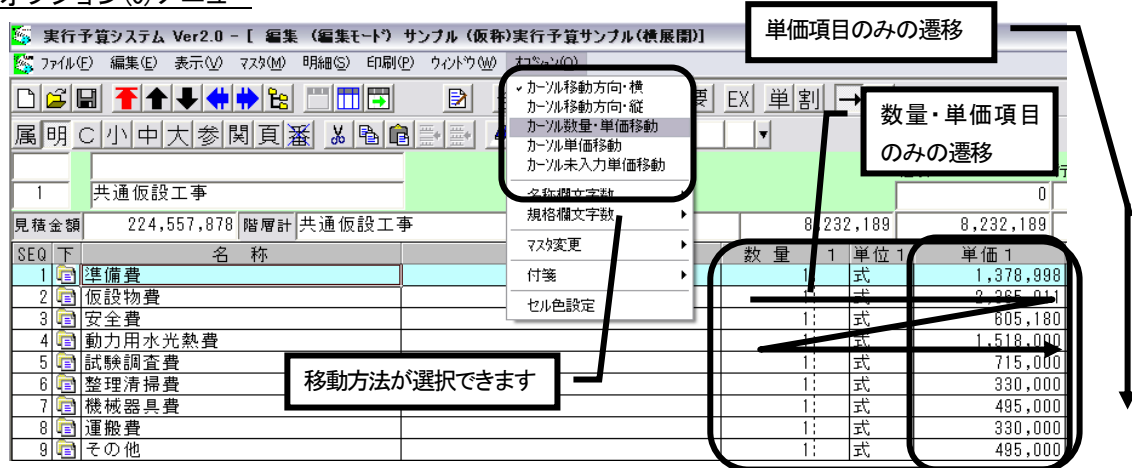
オプションの機能としては、カーソル移動の制御、使用するマスタの変更、付箋設定をおこないます。

(1) カーソル移動の制御

編集画面においてエンターキーを押したときに次の項目に移る方向を制御します。

移動には、横、縦、及び数量・単価項目のみ、単価項目のみの制御ができます。

オプション(0)メニュー



[オプション(0)]メニューをクリックすると上記の画面が表示されます。

現在の制御方法にチェックがつきます。

制御方法を変更する場合、マウスでメニューをクリックして下さい。

初期状態は [カーソル移動方向・横] となっています。

カーソル未入力単価移動を選択した場合、単価移動の遷移で未入力の単価はスキップします。

(2) 名称欄文字数・規格欄文字数

編集画面において名称、規格の最大入力文字数を指定します。

集計階層、明細・別紙明細階層での名称、規格の最大入力文字数は以下ようになります。

名称欄文字数・規格欄バイト数	集計階層 名称・規格	明細・別紙明細 名称・規格
20	全角12文字	上段：全角10文字 下段：全角10文字
32	全角16文字	上段：全角16文字 下段：全角16文字

(全角1文字 = 半角2文字 = 2バイト)

<ポイント>

- ・「32」から「20」へ変更した場合、画面表示、印刷時の列幅は「20」用の列幅で表示、印刷されますが、データとしては半角20文字（集計階層名称は24文字）目より後の状態を保持しています。このため、TXT出力、CSV出力、BCS出力、TDS CSV出力を実行した場合、表示されている文字数以上データが出力される場合があります。
- ・印刷時の名称、規格列幅は、ここで設定した内容により自動で印刷されます。

(3) マスタ変更

現在編集している物件において、マスタ参照で開かれる名称または単価マスタを変更する場合に使用します。または、マスタ参照をして「マスタが開けません」などのメッセージが表示された場合にも、この機能を使用して、再度使用するマスタを指定する場合にも使用します。

①名称マスタ

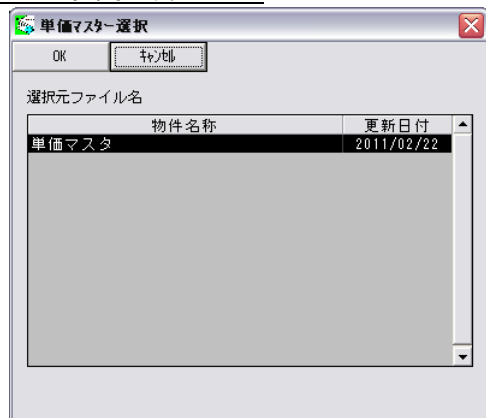
マスタ変更 名称マスタ



- ・ [オプション(0)] メニューの [マスタ変更] → [名称マスタ] を選択すると、上記の画面が表示されます。名称マスタとして参照するファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックして下さい。以後、この物件で使用する、名称マスタとなります。
- ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、編集に戻ります。
- ・ マスタ参照で使用する名称マスタは物件ごとに変更が可能です。使用するマスタの初期値は、メインメニューの [オプション(0)] で設定されている名称マスタになります。
- ・ マスタを変更する場合は、マスタ参照等で開いている、名称マスタの各ウィンドウはすべて閉じた状態でおこなって下さい。

②単価マスタ

マスタ変更 単価マスタ



- ・ [オプション(0)] メニューの [マスタ変更] → [単価マスタ] を選択すると、上記の画面が表示されます。設定方法は上記の名称マスタのマスタ変更と同様です。以後、この物件で使用する、単価マスタとなります。
- ・ 単価マスタは名称マスタ同様に物件ごとに変更が可能です。使用するマスタの初期値は、メインメニューの [オプション(0)] で設定されている単価マスタになります。
- ・ マスタを変更する場合は、単価マスタ参照で開いているウィンドウは閉じた状態でおこなって下さい。

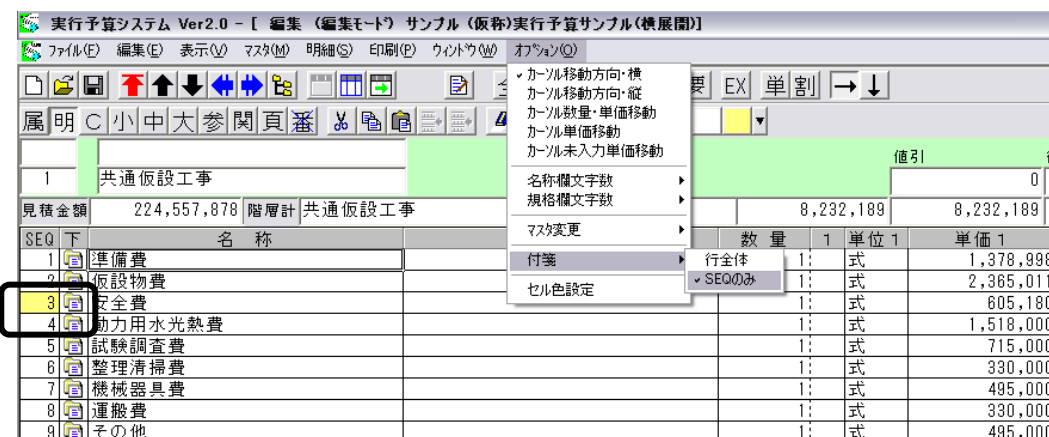
(4) 付箋

付箋色を明細行のどの部分につけるかを設定する場合に使用します。
この項目は設定を変更すると、随時反映されます。

①行全体



②SEQのみ



(5) その他設定

全単価表示の場合のセル色、選択行の色と有無、要素列のセル色、要素積上の設定、総括表の切替設定します。
この項目は設定を変更すると、随時反映されます。

その他設定



- ・ [オプション(0)] メニューの [その他設定] を選択すると、上記の画面が表示されます。

- ・全単価セル色の単価1～3を変更すると、全単価表示にした場合、ここで設定した色に変更されます。
- ・選択行の選択行色を設定し、選択行色有無にチェックを付けた場合、選択行にここで設定した色が付きます。
- ・要素列セル色の金額（上段）、単価（下段）を変更すると、横展開にした場合、ここで設定した色に変更されます。
- ・総括表を変更すると、総括表印刷した場合、ここで設定した総括表が印刷されます。

全単価表示

SEQ	下	名称	規格	単価1	単価2	単価3
1		準備費		1,378,998	0	0
2		仮設物費		2,365,011	0	0
3		安全費		605,180	0	0
4		動力用水光熱費		1,518,000	0	0
5		試験調査費		715,000	0	0
6		整理清掃費		330,000	0	0
7		機械器具費		495,000	0	0
8		運搬費		330,000	0	0
9		その他		495,000	0	0
10						

(説明上単価以外の列を非表示にしています。)

集計階層

SEQ	下	名称	規格	数量	1	単位1	単価1	金額1
1		準備費		1		式	1,378,998	1,378,998
2		仮設物費		1		式	2,365,011	2,365,011
3		安全費		1		式	605,180	605,180
4		動力用水光熱費		1		式	1,518,000	1,518,000
5		試験調査費		1		式	715,000	715,000
6		整理清掃費		1		式	330,000	330,000
7		機械器具費		1		式	495,000	495,000
8		運搬費		1		式	330,000	330,000
9		その他		1		式	495,000	495,000

3. 2. 1 1 処理メニュー ファイル(F)の機能

ファイルメニューでは主に、物件ファイルの新規作成、別の物件ファイルを開く、編集中の物件ファイルに対しての出力をはじめとするファイル操作、及びシステムの終了ができます。

ここでは、メニューの順場に従い、以下の手順で説明します。

- (1) 新規作成
- (2) 開く
- (3) 閉じる
- (4) 上書き保存
- (5) 名前を付けて保存
- (6) T X T出力
- (7) C S V出力
- (8) 終了

また、T X T及びC S V出力でC O M P A S S標準フォーマットのレイアウトを、

- (9) C O M P A S S標準T X Tフォーマットレイアウト
- (10) C O M P A S S標準C S Vフォーマットレイアウト
- (11) 実行予算標準T X Tフォーマットレイアウトで説明します。
- (12) 実行予算標準C S Vフォーマットレイアウトで説明します。

(1) 新規作成

新規にファイルを作成します。

操作につきましては、メインメニューでの [新規作成(N)] と同じです。「3. 2. 3 ファイルの新規作成」をご覧ください。

新規ファイルを作成すると、新規物件が編集状態になります。

この操作は、[新規作成] ボタンでも可能です。

(2) 開く

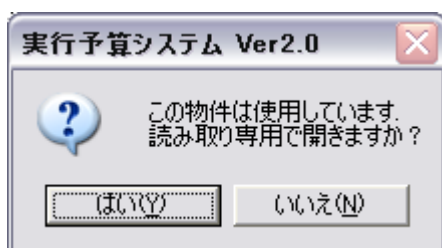
新たに物件ファイルを開きます。

操作につきましては、メインメニューでの [開く(O)] と同じです。「3. 2. 4 ファイルを編集する」をご覧ください。

物件ファイルを開くと、開いた物件が編集状態になります。

この操作は、[開く] ボタンでも可能です。

但し、編集中の物件を選択した場合、以下のメッセージが表示され読み取り専用で開くことが可能です。

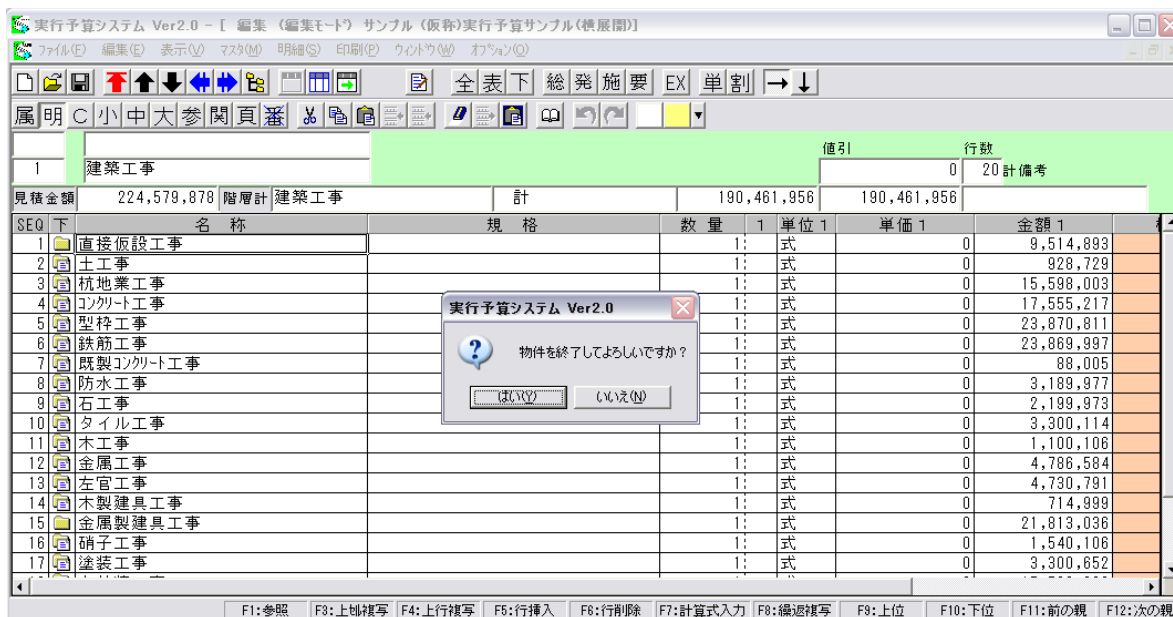


また [ファイル(F)] メニューの下部に最近使用した4物件ファイルが表示されます。これをクリックすることで選択したファイルを開くことも可能です。

<ポイント>

- ・ 1度に編集できる物件は4物件までです。

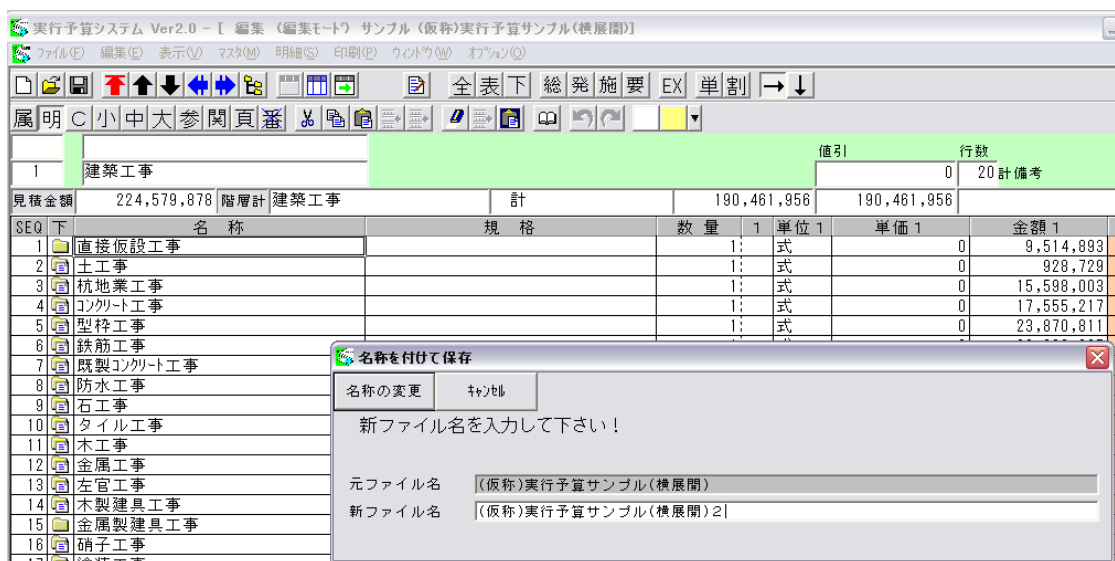
- (3) 閉じる
 編集を終了します。
 編集終了確認



[ファイル(F)] の [閉じる] を選択すると、上記の画面が表示されます。
 [はい(Y)] ボタンをクリックすると、編集を終了します。
 [いいえ(N)] ボタンをクリックすると、再度編集状態になります。

- (4) 上書き保存
 編集内容を物件ファイルに保存します。
 この操作は、[上書き保存] ボタンでも可能です。

- (5) 名前を付けて保存
 編集中の物件ファイルを別ファイルとして保存します。
 名前を付けて保存



[ファイル(F)] の [名前を付けて保存(A)] を選択すると、上記の画面が表示されます。
ファイル名に新しいファイル名を入力後、[名前の変更] ボタンをクリックします。
すでに同じファイル名でファイルが存在した場合、警告メッセージが表示されます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、編集へ戻ります。

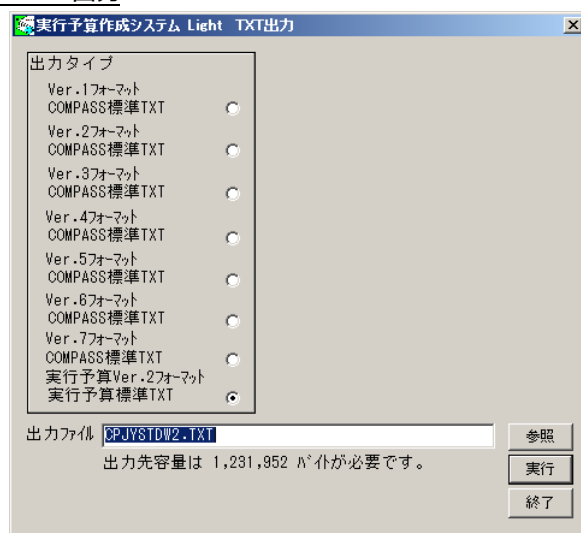
(6) T X T出力

編集中の物件をT X Tファイルに出力します。

出力できるT X Tファイルの種類として、

- ①Ver.1 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル
- ②Ver.2 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル
- ③Ver.3 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル
- ④Ver.4 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル
- ⑤Ver.5 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル
- ⑥Ver.6 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル
- ⑦Ver.7 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル 以上があります。

T X T出力



[ファイル(F)] の [T X T出力] を選択すると、上記の画面が表示されます。

出力タイプ及び出力ファイルを設定して下さい。

[参照] ボタンを使用すると、出力先の指定ができます。

[実行] ボタンをクリックすると、設定に従い、物件データをテキスト形式に出力します。

[終了] ボタンをクリックすると、編集へ戻ります。処理実行中はボタンが [キャンセル] に変わります。

再度 [終了] ボタンが表示されると、処理終了です。

①Ver.1 フォーマットCOMPASS標準T X Tファイル

COMPASS Ver.1 で使用します、標準T X Tフォーマットでファイルを出力します。

この指定をおこなうと、出力先に必要な容量が表示されます (出力先必要容量)。出力先媒体の空き容量が、足りない場合、正常に出力されません。十分ご注意ください。

1. 25MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約2400行のデータが、

1. 44MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約2800行のデータが出力可能です。

ここで出力したファイルは、メインメニューの [外部入出力(G)]、[COMPASS標準T X T入力] で取り込むことが可能です。また、Ver.1のシステムをお持ちの場合、[外部入力(G)]、[COMPASS標

標準TXT入力]で取り込むことが可能です。

②Ver.2 フォーマットCOMPASS標準TXTファイル

COMPASS Ver.2 で使用します、標準TXTフォーマットでファイルを出力します。

詳細は①Ver.1 フォーマットCOMPASS標準TXTファイルと同じです。

③Ver.3 フォーマットCOMPASS標準TXTファイル

COMPASS Ver.3 で使用します、標準TXTフォーマットでファイルを出力します。

この指定をおこなうと、出力先に必要な容量が表示されます（出力先必要容量）。出力先媒体の空き容量が、足りない場合、正常に出力されません。十分ご注意ください。

1. 25MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約2100行のデータが、

1. 44MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約2400行のデータが出力可能です。

④Ver.4 フォーマットCOMPASS標準TXTファイル

COMPASS Ver.4 で使用します、標準TXTフォーマットでファイルを出力します。

詳細は③Ver.3 フォーマットCOMPASS標準TXTファイルと同じです。

Ver.4 フォーマットCOMPASS標準TXTファイルのレイアウト及びその項目説明は、「COMPASS標準TXTフォーマットレイアウト」を参照して下さい。

ここで出力したファイルは、メインメニューの [外部入出力(G)]、[COMPASS標準TXT入力]で取り込むことが可能です。

⑤Ver.5 フォーマットCOMPASS標準TXTファイル

COMPASS Ver.5 で使用します、標準TXTフォーマットでファイルを出力します。

詳細は③Ver.3 フォーマットCOMPASS標準TXTファイルと同じです。

⑥Ver.6 フォーマットCOMPASS標準TXTファイル

COMPASS Ver.6 で使用します、標準TXTフォーマットでファイルを出力します。

⑦Ver.7 フォーマットCOMPASS標準TXTファイル

COMPASS Ver.7 で使用します、標準TXTフォーマットでファイルを出力します。

<ポイント>

- ・下位バージョンのフォーマットで出力したTXTファイルを、上位バージョンのシステムでTXT入力した場合、下位バージョンで存在しない情報は取り込むことができません。

(7) CSV出力

編集中の物件をCSVファイルに出力します。

出力できるCSVファイルの種類として、

①Ver.1 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

②Ver.2 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

③Ver.3 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

④Ver.4 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

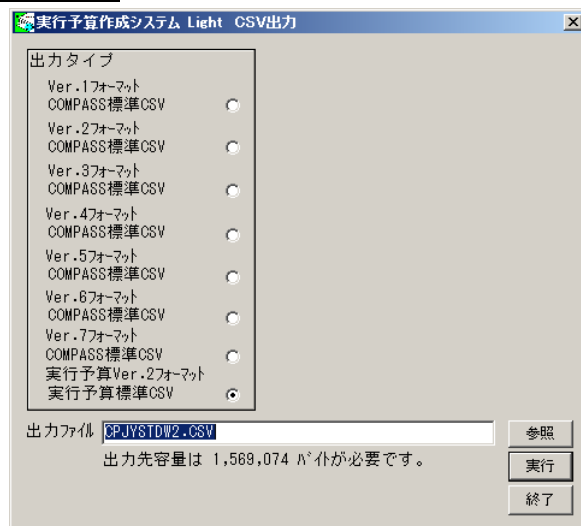
⑤Ver.5 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

⑥Ver.6 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

⑦Ver.7 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

⑧実行予算 Ver.2 フォーマット(実行予算標準CSV) 以上があります。

CSV出力



[ファイル(F)] の [CSV出力] を選択すると、上記の画面が表示されます。

出力タイプ及び出力ファイルを設定して下さい。

[参照] ボタンを使用すると、出力先のドライブ、ホルダー、及びファイル名が容易に指定できます。

[実行] ボタンをクリックすると、設定に従い、物件データをCSV形式に出力します。

[終了] ボタンをクリックすると、編集へ戻ります。

処理実行中は [終了] ボタンが [キャンセル] ボタンに変わります。

再度 [終了] ボタンが表示されると、処理終了です。

①Ver.1 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

COMPASS Ver.1 形式の標準CSVフォーマットでファイルを出力します。

この指定をおこなうと、出力先に必要な容量が表示されます（出力先必要容量）。出力先媒体の空き容量が、足りない場合、正常に出力されません。十分ご注意ください。

1. 25MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約1900行のデータが、

1. 44MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約2200行のデータが出力可能です。

②Ver.2 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

COMPASS Ver.2 形式の標準CSVフォーマットでファイルを出力します。

詳細は①Ver.1 フォーマットCOMPASS標準CSVファイルと同じです。

③Ver.3 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

COMPASS Ver.3 形式の標準CSVフォーマットでファイルを出力します。

この指定をおこなうと、出力先に必要な容量が表示されます（出力先必要容量）。出力先媒体の空き容量が、足りない場合、正常に出力されません。十分ご注意ください。

1. 25MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約1600行のデータが、

1. 44MBバイトフォーマットのフロッピーの場合、最大約1900行のデータが出力可能です。

④Ver.4 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

COMPASS Ver.4 形式の標準CSVフォーマットでファイルを出力します。

詳細は③Ver.3 フォーマットCOMPASS標準CSVファイルと同じです。

Ver.4 フォーマットCOMPASS標準CSVファイルのレイアウト及びその項目説明は、「COMPASS

標準CSVフォーマットレイアウト」を参照して下さい。

⑤Ver. 5 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

COMPASS Ver. 5 形式の標準CSVフォーマットでファイルを出力します。
詳細は③Ver. 3 フォーマットCOMPASS標準CSVファイルと同じです。

⑥Ver. 6 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

COMPASS Ver. 6 形式の標準CSVフォーマットでファイルを出力します。

⑦Ver. 7 フォーマットCOMPASS標準CSVファイル

COMPASS Ver. 7 形式の標準CSVフォーマットでファイルを出力します。

⑧実行予算 Ver. 2 フォーマット (実行予算標準 CSV)

COMPASS 実行予算システム (Ver2) と連携するファイルを出力します。

(8) 終了

編集中のすべての物件を閉じ、システムを終了します。

終了時には、[閉じる] の処理がありますので「(3) 閉じる」の項を参照下さい。

(9) COMPASS 標準TXT Ver7 フォーマットレイアウト・項目説明

COMPASS 標準TXTフォーマット レイアウト(1/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
1	階層コード1	数字	1	2	
2	第1階層1	数字	3	4	
3	第2階層1	数字	7	4	
4	第3階層1	数字	11	4	
5	第4階層1	数字	15	4	
6	第5階層1	数字	19	4	
7	第6階層1	数字	23	4	
8	第7階層1	数字	27	4	
9	第8階層1	数字	31	4	
10	第9階層1	数字	35	4	
11	第10階層1	数字	39	4	
12	第11階層1	数字	43	4	
13	第12階層1	数字	47	4	
14	第13階層1	数字	51	4	
15	第14階層1	数字	55	4	
16	第15階層1	数字	59	4	
17	第16階層1	数字	63	4	
17	出力順	数字	67	4	
18	データ種別	文字	71	1	
19	下階層区分	数字	72	2	
20	下階層データ種別	文字	74	1	
21	レコード属性	文字	75	1	
22	改頁属性	文字	76	1	
23	番無属性	文字	77	1	
24	明細タイプ	数字	78	1	
25	番号コード	数字	79	1	
26	集計・部位名称	文字	80	32	レコード目は ファイル名の先頭から24バイト 拡張子なし
27	名称上	文字	112	32	レコード目は 工事名称1行目の1~20バイト
28	名称下	文字	144	32	レコード目は 工事名称1行目の21~40バイト
29	規格上	文字	176	32	レコード目は 工事名称1行目の41~60バイト
30	規格下	文字	208	32	
31	数量1	文字	240	13	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
32	単位1	文字	253	4	
33	単価1	文字	257	15	マイナス符号付 整数12桁小数1桁
34	金額1	文字	272	13	マイナス符号付 整数12桁
35	小数表現1	数字	285	1	
36	単位コード1	数字	286	2	
37	単種目1	文字	288	2	
38	単科目1	文字	290	4	
39	単部位1	文字	294	3	
40	単材料1	文字	297	3	
41	単規格1	文字	300	3	
42	採用単区分1	数字	303	1	
43	未使用	文字	304	6	スペース
44	未使用	文字	310	4	スペース
45	数量2	文字	314	13	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
46	単位2	文字	327	4	
47	単価2	文字	331	15	マイナス符号付 整数12桁小数1桁
48	金額2	文字	346	13	マイナス符号付 整数12桁
49	小数表現2	数字	359	1	
50	単位コード2	数字	360	2	
51	単種目2	文字	362	2	
52	単科目2	文字	364	4	
53	単部位2	文字	368	3	

COMPASS標準TXTフォーマット レイアウト(2/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
54	単材料2	文字	371	3	
55	単規格2	文字	374	3	
56	採用単区分2	数字	377	1	
57	未使用	文字	378	6	スペース
58	未使用	文字	384	4	スペース
59	数量3	文字	388	13	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
60	単位3	文字	401	4	
61	単価3	文字	405	15	マイナス符号付 整数12桁小数1桁
62	金額3	文字	420	13	マイナス符号付 整数12桁
63	小数表現3	数字	433	1	
64	単位コード3	数字	434	2	
65	単種目3	文字	436	2	
66	単科目3	文字	438	4	
67	単部位3	文字	442	3	
68	単材料3	文字	445	3	
69	単規格3	文字	448	3	
70	採用単区分3	数字	451	1	
71	未使用	文字	452	6	スペース
72	未使用	文字	458	4	スペース
73	備考上1	文字	462	20	1レコード目は 提出先の1~20バイト
74	備考下1	文字	482	20	1レコード目は 提出先の21~40バイト
75	計表現前	文字	502	32	1レコード目は 第1階層の計表現前(名称欄)
76	計表現後	文字	534	32	1レコード目は 第1階層の計表現後(規格欄)
77	従属行数	数字	566	2	
78	別紙分母	文字	568	11	マイナス符号 小数点付 整数6桁 小数3桁
79	種目コード	文字	579	2	
80	科目コード	文字	581	4	
81	部位コード	文字	585	3	
82	材料コード	文字	588	3	
83	規格コード	文字	591	3	
84	集計コード	文字	594	3	
85	内外区分	文字	597	1	
86	リストコード	文字	598	13	
87	Uコード1	文字	611	4	
88	Uコード2	文字	615	4	
89	Uコード3	文字	619	4	
90	均等割付	数字	623	1	
91	別紙分母小数	数字	624	1	
92	ゼロ印字	数字	625	1	
93	別紙タイトル種別	数字	626	1	
94	別紙タイトル	文字	627	32	
95	値引き1	数字	659	13	
96	値引き2	数字	672	13	
97	値引き3	数字	685	13	
98	備考上2	文字	698	20	
99	備考下2	文字	718	20	
100	備考上3	文字	738	20	
101	備考下3	文字	758	20	
102	付箋	文字	778	10	
103	計備考	文字	788	20	
104	数量1計算式	文字	808	100	
105	数量2計算式	文字	908	100	
106	数量3計算式	文字	1008	100	
107	単価1計算式	文字	1108	100	
108	単価2計算式	文字	1208	100	

COMPASS標準TXTフォーマット レイアウト(3/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
109	単価3計算式	文字	1308	100	
110	単価上1	文字	1408	13	
111	金額上1	文字	1421	15	
112	単価上2	文字	1436	13	
113	金額上2	文字	1449	15	
114	単価上3	文字	1464	13	
115	金額上3	文字	1477	15	
116	更新日付	文字	1492	20	
117	ページ番号	文字	1512	4	
118	階層	文字	1516	1	
119	UID	数字	1517	10	
120	採用業者番号	数字	1527	1	
121	採用業者名	文字	1528	32	
122	ステータス	数字	1560	2	
123	発注コード1	文字	1562	6	
124	発注コード2	文字	1568	6	
125	目標金額1	数字	1574	13	
126	目標金額2	数字	1587	13	
127	目標金額3	数字	1600	13	
128	数量4	数字	1613	13	
129	単位4	文字	1626	4	
130	単価4	数字	1630	15	
131	金額4	数字	1645	13	
132	小数表現4	数字	1658	1	
133	単位コード4	数字	1659	2	
134	単種目4	数字	1661	2	
135	単科目4	数字	1663	4	
136	単部位4	数字	1667	3	
137	単材料4	数字	1670	3	
138	単摘要4	数字	1673	3	
139	採用単区分4	数字	1676	1	
140	単価上4	文字	1677	13	
141	金額上4	文字	1690	15	
142	値引き4	数字	1705	13	
143	備考上4	文字	1718	20	
144	備考下4	文字	1738	20	
145	数量4計算式	文字	1758	100	
146	単価4計算式	文字	1858	100	
147	目標金額4	数字	1958	13	
148	項目コード	文字	1971	12	
149	業種コード	数字	1983	4	
150	要素コード	数字	1987	2	
151	区分コード	文字	1989	8	
152	拾いコード	文字	1997	10	
153	担当部署	数字	2007	1	
154	仮業者CD	数字	2008	2	
155	仮業者名	文字	2010	4	
156	分類名称1	文字	2014	10	
157	業者名1	文字	2024	32	
158	掛率1	数字	2056	5	
159	見積単価1	数字	2061	15	
160	コメント1	文字	2076	40	
161	分類名称2	文字	2116	10	
162	業者名2	文字	2126	32	

COMPASS標準TXTフォーマット レイアウト(4/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
163	掛率2	数字	2158	5	
164	見積単価2	数字	2163	15	
165	コメント2	文字	2178	40	
166	分類名称3	文字	2218	10	
167	業者名3	文字	2228	32	
168	掛率3	数字	2260	5	
169	見積単価3	数字	2265	15	
170	コメント3	文字	2280	40	
171	分類名称4	文字	2320	10	
172	業者名4	文字	2330	32	
173	掛率4	数字	2362	5	
174	見積単価4	数字	2367	15	
175	コメント4	文字	2382	40	
176	明細番号	文字	2422	25	
177	明細番号2	文字	2447	5	
178	取引区分CD	文字	2452	5	
179	材工共CD	文字	2457	2	
180	建設資機材CD	文字	2459	40	
181	送信側変換結果CD	文字	2499	2	
182	受信側変換結果CD	文字	2501	2	
183	使用期間1	数字	2503	8	
184	使用期間単位1	文字	2511	6	
185	補助数量1	数字	2517	11	
186	補助数量単位1	文字	2528	6	
187	使用期間2	数字	2534	8	
188	使用期間単位2	文字	2542	6	
189	補助数量2	数字	2548	11	
190	補助数量単位2	文字	2559	6	
191	使用期間3	数字	2565	8	
192	使用期間単位3	文字	2573	6	
193	補助数量3	数字	2579	11	
194	補助数量単位3	文字	2590	6	
195	使用期間4	数字	2596	8	
196	使用期間単位4	文字	2604	6	
197	補助数量4	数字	2610	11	
198	補助数量単位4	文字	2621	6	
199	使用メーカーCD	文字	2627	25	
200	使用メーカー名	文字	2652	40	
201	使用商社CD	文字	2692	25	
202	使用商社名	文字	2717	40	
203	変更CD	文字	2757	1	
204	明細CD	文字	2758	50	
205	属性CD	文字	2808	1	
206	補助明細CD	文字	2809	2	
207	入力属性	文字	2811	1	
208	関係付1	数字	2812	1	
209	関係付2	数字	2813	1	
210	関係付3	数字	2814	1	
211	関係付4	数字	2815	1	
212	(Buf)	数字	2816	1	

COMPASS標準TXT Ver7 フォーマット 項目説明(1/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
18	データ種別	文字	71	1	S:集計階層 M:明細階層 B:別紙明細
19	下階層区分	数字	72	2	00,02~16 下階層にデータがある場合、その階層番号を格納 下階層にデータが無い場合は「00」
20	下階層データ種別	文字	74	1	S:集計階層 M:明細階層 B:別紙明細 下階層データのデータ種別を格納 下階層にデータがない場合はスペース
21	レコード属性	文字	75	1	M:明細行 C:コメント行 S:小計行 T:中計行 D:大計行 R:参考計行 K:関係切り行 Z:消費税行
22	改頁属性	文字	76	1	P:改頁行 指定がない場合はスペース
23	番無属性	文字	77	1	N:番号無し 集計階層データでレコード属性が「M」 にもかかわらず番号を印字したくない場合使用 指定がない場合はスペース
24	明細タイプ	数字	78	1	1:名称下のみ使用 2:名称上下使用 3:部位名、名称下使用 4:部位名、名称上下使用 0:集計階層データ 明細階層及び別紙明細階層データの 部位、名称の使用状態をコード化
25	番号コード	数字	79	1	下階層に 集計階層が存在する集計階層データにおいて 下階層で選択された番号タイプを格納 ただし、第1階層の情報は1レコード目
35 49 63 132	小数表現1 小数表現2 小数表現3 小数表現4	数字 数字 数字 数字	285 359 433 1658	1 1 1 1	0:整数のみ(#####) 1:小数1桁(#####.#) 2:小数2桁(#####.##) 3:小数3桁(#####.###) 画面表示及び印刷した場合の小数桁情報を格納
36 50 64 133	単位コード1 単位コード2 単位コード3 単位コード4	数字 数字 数字 数字	286 360 434 1659	2 2 2 2	単位を参照入力した場合、その単位コードを格納 手入力や未入力時は「00」

COMPASS標準TXTフォーマット 項目説明(2/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
37,51,65	単種目X	文字	288,362,436	2	単価マスタ参照または単価マスタ自動セット で採用した単価コードを格納 手入力や未入力時はスペース
38,52,66	単科目X	文字	290,364,438	4	
39,53,67	単部位X	文字	294,368,442	3	
40,54,68	単材料X	文字	2979,371,445	3	
41,55,69	単規格X (X: 1、2、3)	文字	300,374,448	3	
42 56 70 139	採用単区分1 採用単区分2 採用単区分3 採用単区分4	数字	303 377 451 1676	1	1: 単価A 2: 単価B 3: 単価C 4: 単価D 単価マスタ参照または単価マスタ自動セット で採用した単価番号を格納 手入力や未入力時は「0」
90	均等割付	数字	623	1	0: 管理情報に従う 1: しない 2: する 3: 材料名称の下段のみする 4: 材料名称の上段のみする 5: 材料名称の上下段ともする
91	別紙分母小数	数字	624	1	0: 整数のみ(#####) 1: 小数1桁(#####.#) 2: 小数2桁(#####.##) 3: 小数3桁(#####.###) 明細階層データで下階層の別紙明細単位数の 画面表示及び印刷した場合の小数桁情報を格納
207	入力属性	文字	2811	1	C: コメント行(印刷有) P: コメント行(印刷なし) T: 小計 M: 中計 L: 大計 S: 参考計 *: 合成内訳 +: 付属内訳 -: 付属合成 D: 代価表・付属内訳 E: 代価表・付属合成 "": 通常明細

(10) COMPASS標準CSV Ver7 フォーマットレイアウト・項目説明

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(1/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
1	階層コード1	数字	1	2	
2	第1階層1	数字	3	4	
3	第2階層1	数字	7	4	
4	第3階層1	数字	11	4	
5	第4階層1	数字	15	4	
6	第5階層1	数字	19	4	
7	第6階層1	数字	23	4	
8	第7階層1	数字	27	4	
9	第8階層1	数字	31	4	
10	第9階層1	数字	35	4	
11	第10階層1	数字	39	4	
12	第11階層1	数字	43	4	
13	第12階層1	数字	47	4	
14	第13階層1	数字	51	4	
15	第14階層1	数字	55	4	
16	第15階層1	数字	59	4	
17	第16階層1	数字	63	4	
18	出力順	数字	67	4	
19			71	1	,
20			72	1	"
21	データ種別	文字	73	1	
22			74	1	"
23			75	1	,
24	下階層区分	数字	76	2	
25			78	1	,
26			79	1	"
27	下階層データ種別	文字	80	1	
28			81	1	"
29			82	1	,
30			83	1	"
31	レコード属性	文字	84	1	
32			85	1	"
33			86	1	,
34			87	1	"
35	改頁属性	文字	88	1	
36			89	1	"
37			90	1	,
38			91	1	"
39	番無属性	文字	92	1	
40			93	1	"
41			94	1	,
42	明細タイプ	数字	95	1	
43			96	1	,
44	番号コード	数字	97	1	
45			98	1	,
46			99	1	"
47	集計・部位名称	文字	100	32	レコード目は ファイル名の先頭から24バイト 拡張子なし
48			132	1	"
49			133	1	,
50			134	1	"
51	名称上	文字	135	32	レコード目は 工事名称1行目の1~20バイト
52	名称下	文字	167	32	レコード目は 工事名称1行目の21~40バイト
53			199	1	"
54			200	1	,
55			201	1	"
56	規格上	文字	202	32	レコード目は 工事名称1行目の41~60バイト
57	規格下	文字	234	32	

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(2/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
58			266	1	"
59			267	1	,
60	数量1	文字	268	13	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
61			281	1	,
62			282	1	"
63	単位1	文字	283	4	
64			287	1	"
65			288	1	,
66	単価1	文字	289	15	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
67			304	1	,
68	金額1	文字	305	13	マイナス符号付 整数12桁
69			318	1	,
70	小数表現1	数字	319	1	
71			320	1	,
72	単位コード1	数字	321	2	
73			323	1	,
74			324	1	"
75	単種目1	文字	325	2	
76			327	1	"
77			328	1	,
78			329	1	"
79	単科目1	文字	330	4	
80			334	1	"
81			335	1	,
82			336	1	"
83	単部位1	文字	337	3	
84			340	1	"
85			341	1	,
86			342	1	"
87	単材料1	文字	343	3	
88			346	1	"
89			347	1	,
90			348	1	"
91	単規格1	文字	349	3	
92			352	1	"
93			353	1	,
94	採用単区分1	数字	354	1	
95			355	1	,
96			356	1	"
97	未使用	文字	357	6	スペース
98			363	1	"
99			364	1	,
100			365	1	"
101	未使用	文字	366	4	スペース
102			370	1	"
103			371	1	,
105			385	1	,
106			386	1	"
107	単位2	文字	387	4	
104	数量2	文字	372	13	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
108			391	1	"
109			392	1	,
110	単価2	文字	393	15	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
111			408	1	,
112	金額2	文字	409	13	マイナス符号付 整数12桁
113			422	1	,
114	小数表現2	数字	423	1	
115			424	1	,

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(3/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
116	単位コード2	数字	425	2	
117			427	1	,
118			428	1	"
119	単種目2	文字	429	2	
120			431	1	"
121			432	1	,
122			433	1	"
123	単科目2	文字	434	4	
124			438	1	"
125			439	1	,
126			440	1	"
127	単部位2	文字	441	3	
128			444	1	"
129			445	1	,
130			446	1	"
131	単材料2	文字	447	3	
132			450	1	"
133			451	1	,
134			452	1	"
135	単規格2	文字	453	3	
136			456	1	"
137			457	1	,
138	採用単区分2	数字	458	1	
139			459	1	,
140			460	1	"
141	未使用	文字	461	6	スペース
142			467	1	"
143			468	1	,
144			469	1	"
145	未使用	文字	470	4	スペース
146			474	1	"
147			475	1	,
148	数量3	文字	476	13	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
149			489	1	,
150			490	1	"
151	単位3	文字	491	4	
152			495	1	"
153			496	1	,
154	単価3	文字	497	15	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
155			512	1	,
156	金額3	文字	513	13	マイナス符号付 整数12桁
157			526	1	,
158	小数表現3	数字	527	1	
159			528	1	,
160	単位コード3	数字	529	2	
161			531	1	,
162			532	1	"
163	単種目3	文字	533	2	
164			535	1	"
165			536	1	,
166			537	1	"
167	単科目3	文字	538	4	
168			542	1	"
169			543	1	,
170			544	1	"
171	単部位3	文字	545	3	
172			548	1	"
173			549	1	,

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(4/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
174			550	1	"
175	単材料3	文字	551	3	
176			554	1	"
177			555	1	,
178			556	1	"
179	単規格3	文字	557	3	
180			560	1	"
181			561	1	,
182	採用単区分3	数字	562	1	
183			563	1	,
184			564	1	"
185	未使用	文字	565	6	スペース
186			571	1	"
187			572	1	,
188			573	1	"
189	未使用	文字	574	4	スペース
190			578	1	"
191			579	1	,
192			580	1	"
193	備考上1	文字	581	20	1レコード目は 提出先の1~20バイト
194	備考下1	文字	601	20	1レコード目は 提出先の21~40バイト
195			621	1	"
196			622	1	,
197			623	1	"
198	計表現前	文字	624	32	1レコード目は 第1階層の計表現前(名称欄)
199	計表現後	文字	656	32	1レコード目は 第1階層の計表現後(規格欄)
200			688	1	"
201			689	1	,
202	従属行数	数字	690	2	
203			692	1	,
204	別紙分母	文字	693	11	小数点付 整数7桁 小数3桁
205			704	1	,
206			705	1	"
207	種目コード	文字	706	2	
208			708	1	"
209			709	1	,
210			710	1	"
211	科目コード	文字	711	4	
212			715	1	"
213			716	1	,
214			717	1	"
215	部位コード	文字	718	3	
216			721	1	"
217			722	1	,
218			723	1	"
219	材料コード	文字	724	3	
220			727	1	"
221			728	1	,
222			729	1	"
223	規格コード	文字	730	3	
224			733	1	"
225			734	1	,
226			735	1	"
227	集計コード	文字	736	3	
228			739	1	"
229			740	1	,
230			741	1	"
231	内外区分	文字	742	1	

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(5/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
232			743	1	"
233			744	1	,
234			745	1	"
235	リストコード	文字	746	13	
236			759	1	"
237			760	1	,
238			761	1	"
239	Uコード1	文字	762	4	
240			766	1	"
241			767	1	,
242			768	1	"
243	Uコード2	文字	769	4	
244			773	1	"
245			774	1	,
246			775	1	"
247	Uコード3	文字	776	4	
248			780	1	"
249			781	1	,
250	均等割付	数字	782	1	
251			783	1	,
252	別紙分母小数	数字	784	1	
253			785	1	,
254	ゼロ印字	数字	786	1	
255			787	1	,
256	別紙タイトル種別	数字	788	1	
257			789	1	,
258			790	1	"
259	別紙タイトル	文字	791	32	
260			823	1	"
261			824	1	,
262	値引き1	数字	825	13	
263			838	1	,
264	値引き2	数字	839	13	
265			852	1	,
266	値引き3	数字	853	13	
267			866	1	,
268			867	1	"
269	備考上2	文字	868	20	
270	備考下2	文字	888	20	
271			908	1	"
272			909	1	,
273			910	1	"
274	備考上3	文字	911	20	
275	備考下3	文字	931	20	
276			951	1	"
277			952	1	,
278			953	1	"
279	付箋	文字	954	10	
280			964	1	"
281			965	1	,
282			966	1	"
283	計備考	文字	967	20	
284			987	1	"
285			988	1	,
286			989	1	"
287	数量1計算式	文字	990	100	
288			1090	1	"
289			1091	1	,

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(6/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
290			1092	1	"
291	数量2計算式	文字	1093	100	
292			1193	1	"
293			1194	1	,
294			1195	1	"
295	数量3計算式	文字	1196	100	
296			1296	1	"
297			1297	1	,
298			1298	1	"
299	単価1計算式	文字	1299	100	
300			1399	1	"
301			1400	1	,
302			1401	1	"
303	単価2計算式	文字	1402	100	
304			1502	1	"
305			1503	1	,
306			1504	1	"
307	単価3計算式	文字	1505	100	
308			1605	1	"
309			1606	1	,
310			1607	1	"
311	単価上1	文字	1608	13	
312			1621	1	"
313			1622	1	,
314			1623	1	"
315	金額上1	文字	1624	15	
316			1639	1	"
317			1640	1	,
318			1641	1	"
319	単価上2	文字	1642	13	
320			1655	1	"
321			1656	1	,
322			1657	1	"
323	金額上2	文字	1658	15	
324			1673	1	"
325			1674	1	,
326			1675	1	"
327	単価上3	文字	1676	13	
328			1689	1	"
329			1690	1	,
330			1691	1	"
331	金額上3	文字	1692	15	
332			1707	1	"
333			1708	1	,
334			1709	1	"
335	更新日付	文字	1710	20	
336			1730	1	"
337			1731	1	,
338	ページ番号	数字	1732	4	
339			1736	1	,
340	階層	数字	1737	1	
341			1738	1	,
342	UID	数字	1739	10	
343			1749	1	,
344	採用業者番号	数字	1750	1	
345			1751	1	,
346			1752	1	"
347	採用業者名	文字	1753	32	

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(7/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
348			1785	1	"
349			1786	1	,
350	ステータス	数字	1787	2	
351			1789	1	,
352			1790	1	"
353	発注コード1	文字	1791	6	
354			1797	1	"
355			1798	1	,
356			1799	1	"
357	発注コード2	文字	1800	6	
358			1806	1	"
359			1807	1	,
360	目標金額1	数字	1808	13	
361			1821	1	,
362	目標金額2	数字	1822	13	
363			1835	1	,
364	目標金額3	数字	1836	13	
365			1849	1	,
366	数量4	数字	1850	13	
367			1863	1	,
368			1864	1	"
369	単位4	文字	1865	4	
370			1869	1	"
371			1870	1	,
372	単価4	数字	1871	15	
373			1886	1	,
374	金額4	数字	1887	13	
375			1900	1	,
376	小数表現4	数字	1901	1	
377			1902	1	,
378	単位コード4	数字	1903	2	
379			1905	1	,
380			1906	1	"
381	単種目4	文字	1907	2	
382			1909	1	"
383			1910	1	,
384			1911	1	"
385	単科目4	文字	1912	4	
386			1916	1	"
387			1917	1	,
388			1918	1	"
389	単部位4	文字	1919	3	
390			1922	1	"
391			1923	1	,
392			1924	1	"
393	単材料4	文字	1925	3	
394			1928	1	"
395			1929	1	,
396			1930	1	"
397	単摘要4	文字	1931	3	
398			1934	1	"
399			1935	1	,
400	採用単区分4	数字	1936	1	
401			1937	1	,
402			1938	1	"
403	単価上4	文字	1939	13	
404			1952	1	"
405			1953	1	,

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(8/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
406			1954	1	"
407	金額上4	文字	1955	15	
408			1970	1	"
409			1971	1	,
410	値引き4	数字	1972	13	
411			1985	1	,
412			1986	1	"
413	備考上4	文字	1987	20	
414	備考下4	文字	2007	20	
415			2027	1	"
416			2028	1	,
417			2029	1	"
418	数量4計算式	文字	2030	100	
419			2130	1	"
420			2131	1	,
421			2132	1	"
422	単価4計算式	文字	2133	100	
423			2233	1	"
424			2234	1	,
425	目標金額4	数字	2235	13	
426			2248	1	,
427			2249	1	"
428	項目コード	文字	2250	12	(未使用)
429			2262	1	"
430			2263	1	,
431			2264	1	"
432	業種コード	文字	2265	4	(未使用)
433			2269	1	"
434			2270	1	,
435	要素コード	文字	2271	2	(未使用)
436			2273	1	,
437			2274	1	"
438	区分コード	文字	2275	8	(未使用)
439			2283	1	"
440			2284	1	,
441			2285	1	"
442	拾いコード	文字	2286	10	(未使用)
443			2296	1	"
444			2297	1	,
445			2298	1	"
446	担当部署	文字	2299	1	(未使用)
447			2300	1	"
448			2301	1	,
449			2302	1	"
450	仮業者CD	文字	2303	2	(未使用)
451			2305	1	"
452			2306	1	,
453			2307	1	"
454	仮業者名	文字	2308	4	(未使用)
455			2312	1	"
456			2313	1	,
457			2314	1	"
458	分類名称1	文字	2315	10	(未使用)
459			2325	1	"
460			2326	1	,
461			2327	1	"
462	業者名1	文字	2328	32	(未使用)
463			2360	1	"

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(9/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
464			2361	1	,
465	掛率1	数字	2362	5	(未使用)
466			2367	1	,
467	見積単価1	数字	2368	15	(未使用)
468			2383	1	,
469			2384	1	"
470	コメント1	文字	2385	40	(未使用)
471			2425	1	"
472			2426	1	,
473			2427	1	"
474	分類名称2	文字	2428	10	(未使用)
475			2438	1	"
476			2439	1	,
477			2440	1	"
478	業者名2	文字	2441	32	(未使用)
479			2473	1	"
480			2474	1	,
481	掛率2	数字	2475	5	(未使用)
482			2480	1	,
483	見積単価2	数字	2481	15	(未使用)
484			2496	1	,
485			2497	1	"
486	コメント2	文字	2498	40	(未使用)
487			2538	1	"
488			2539	1	,
489			2540	1	"
490	分類名称3	文字	2541	10	(未使用)
491			2551	1	"
492			2552	1	,
493			2553	1	"
494	業者名3	文字	2554	32	(未使用)
495			2586	1	"
496			2587	1	,
497	掛率3	数字	2588	5	(未使用)
498			2593	1	,
499	見積単価3	数字	2594	15	(未使用)
500			2609	1	,
501			2610	1	"
502	コメント3	文字	2611	40	(未使用)
503			2651	1	"
504			2652	1	,
505			2653	1	"
506	分類名称4	文字	2654	10	(未使用)
507			2664	1	"
508			2665	1	,
509		文字	2666	1	"
510	業者名4		2667	32	(未使用)
511			2699	1	"
512			2700	1	,
513	掛率4	数字	2701	5	(未使用)
514			2706	1	,
515	見積単価4	数字	2707	15	(未使用)
516			2722	1	,
517			2723	1	"
518	コメント4	文字	2724	40	(未使用)
519			2764	1	"
520			2765	1	,

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(10/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
521			2766	1	"
522	明細番号	文字	2767	25	(未使用)
523			2792	1	"
524			2793	1	,
525			2794	1	"
526	明細番号2	文字	2795	5	(未使用)
527			2800	1	"
528			2801	1	,
529			2802	1	"
530	取引区分CD	文字	2803	5	(未使用)
531			2808	1	"
532			2809	1	,
533			2810	1	"
534	材工共CD	文字	2811	2	(未使用)
535			2813	1	"
536			2814	1	,
537			2815	1	"
538	建設資機材CD	文字	2816	40	(未使用)
539			2856	1	"
540			2857	1	,
541			2858	1	"
542	送信側変換結果C	文字	2859	2	(未使用)
543			2861	1	"
544			2862	1	,
545			2863	1	"
546	受信側変換結果C	文字	2864	2	(未使用)
547			2866	1	"
548			2867	1	,
549	使用期間1	数字	2868	8	(未使用)
550			2876	1	,
551			2877	1	"
552	使用期間単位1	文字	2878	6	(未使用)
553			2884	1	"
554			2885	1	,
555	補助数量1	数字	2886	11	(未使用)
556			2897	1	,
557			2898	1	"
558	補助数量単位1	文字	2899	6	(未使用)
559			2905	1	"
560			2906	1	,
561	使用期間2	数字	2907	8	(未使用)
562			2915	1	,
563			2916	1	"
564	使用期間単位2	文字	2917	6	(未使用)
565			2923	1	"
566			2924	1	,
567	補助数量2	数字	2925	11	(未使用)
568			2936	1	,
569			2937	1	"
570	補助数量単位2	文字	2938	6	(未使用)
571			2944	1	"
572			2945	1	,
573	使用期間3	数字	2946	8	(未使用)
574			2954	1	,
575			2955	1	"
576	使用期間単位3	文字	2956	6	(未使用)
577			2962	1	"

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(11/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
578			2963	1	,
579	補助数量3	数字	2964	11	(未使用)
580			2975	1	,
581			2976	1	"
582	補助数量単位3	文字	2977	6	(未使用)
583			2983	1	"
584			2984	1	,
585	使用期間4	数字	2985	8	(未使用)
586			2993	1	,
587			2994	1	"
588	使用期間単位4	文字	2995	6	(未使用)
589			3001	1	"
590			3002	1	,
591	補助数量4	数字	3003	11	(未使用)
592			3014	1	,
593			3015	1	"
594	補助数量単位4	文字	3016	6	(未使用)
595			3022	1	"
596			3023	1	,
597			3024	1	"
598	使用メーカーCD	文字	3025	25	(未使用)
599			3050	1	"
600			3051	1	,
601			3052	1	"
602	使用メーカー名	文字	3053	40	(未使用)
603			3093	1	"
604			3094	1	,
605			3095	1	"
606	使用商社CD	文字	3096	25	(未使用)
607			3121	1	"
608			3122	1	,
609			3123	1	"
610	使用商社名	文字	3124	40	(未使用)
611			3164	1	"
612			3165	1	,
613			3166	1	"
614	変更CD	文字	3167	1	(未使用)
615			3168	1	"
616			3169	1	,
617			3170	1	"
618	明細CD	文字	3171	50	(未使用)
619			3221	1	"
620			3222	1	,
621			3223	1	"
622	属性CD	文字	3224	1	(未使用)
623			3225	1	"
624			3226	1	,
625			3227	1	"
626	補助明細CD	文字	3228	2	(未使用)
627			3230	1	"
628			3231	1	,
629			3232	1	"
630	入力属性	数字	3233	1	"
631			3234	1	"
632			3235	1	,
633			3236	1	"
634	関係付1	文字	3237	1	

COMPASS 標準CSVフォーマット レイアウト(12/12)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
635			3238	1	"
636			3239	1	,
637			3240	1	"
638	関係付2	文字	3241	1	"
639			3242	1	"
640			3243	1	,
641			3244	1	"
642	関係付3	文字	3245	1	"
643			3246	1	"
644			3247	1	,
645			3248	1	"
646	関係付4	文字	3249	1	"
647			3250	1	"

COMPASS標準CSV Ver7 フォーマット 項目説明(1/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
21	データ種別	文字	73	1	S: 集計階層 M: 明細階層 B: 別紙明細
24	下階層区分	数字	73	1	2~16 下階層にデータがある場合、その階層番号を格納 下階層にデータが無い場合は「0」
27	下階層データ種別	文字	80	1	S: 集計階層 M: 明細階層 B: 別紙明細 下階層データのデータ種別を格納 下階層にデータがない場合はスペース
31	レコード属性	文字	81	1	M: 明細行 D: 大計行 C: コメント行 R: 参考計 S: 小計行 Z: 消費税レコード T: 中計行
35	改頁属性	文字	88	1	P: 改頁行 指定がない場合はスペース
39	番無属性	文字	92	1	N: 番号無し 集計階層データでレコード属性が「M」 にもかかわらず番号を印字したくない場合使用 指定がない場合はスペース
42	明細タイプ	数字	95	1	1: 名称下のみ使用 2: 名称上下使用 3: 部位名、名称下使用 4: 部位名、名称上下使用 0: 集計階層データ 明細階層及び別紙明細階層データの 部位、名称の使用状態をコード化
44	番号コード	数字	97	1	下階層に 集計階層が存在する集計階層データにおいて 下階層で選択された番号タイプを格納 ただし、第1階層の情報は1レコード目
70	小数表現1	数字	319	1	0: 整数のみ(#####)
114	小数表現2	数字	423	1	1: 小数1桁(#####.#)
158	小数表現3	数字	527	1	2: 小数2桁(#####.##)
376	小数表現4	数字	1901	1	3: 小数3桁(#####.###) 4: 小数4桁(#####.####) 画面表示及び印刷した場合の小数桁情報を格納
72	単位コード1	数字	321	2	単位を参照入力した場合、その単位コードを格納
116	単位コード2	数字	425	2	手入力や未入力時は「00」
160	単位コード3	数字	529	2	
378	単位コード4	数字	1903	2	
75,119,163	単種目X	文字	325,429,533	2	単価マスタ参照または単価マスタ自動セット
79,123,167	単科目X	文字	330,434,538	4	で採用した単価コードを格納
83,127,171	単部位X	文字	337,441,545	3	手入力や未入力時はスペース
87,131,175	単材料X	文字	343,447,551	3	
91,135,179	単規格X (X: 1、2、3、4)	文字	349,453,557	3	

COMPASS標準CSV Ver7 フォーマット 項目説明(2/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
94 138 182 400	採用単区分1 採用単区分2 採用単区分3 採用単区分4	数字	354 458 562 1936	1	1:単価A 2:単価B 3:単価C 4:単価D 単価マスタ参照または単価マスタ自動セット で採用した単価番号を格納 手入力や未入力時は「0」
250	均等割付	数字	782	1	0:管理情報に従う 1:しない 2:する 3:材料名称の下段のみする 4:材料名称の上段のみする 5:材料名称の上下段ともする
630	入力属性	文字	3233	1	C :コメント T :小計 M :中計 L :大計 S :参考計 P :コメント(印刷なし) * :合成内訳 + :付属内訳 - :付属合成 D :代価表・付属内訳 E :代価表・付属合成 ブランク :通常明細

(11) 実行予算標準TXT(Ver2) フォーマットレイアウト・項目説明

実行予算標準TXT(Ver2) フォーマットレイアウト(1/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
1	階層コード1	数字	1	2	
2	第1階層1	数字	3	4	
3	第2階層1	数字	7	4	
4	第3階層1	数字	11	4	
5	第4階層1	数字	15	4	
6	第5階層1	数字	19	4	
7	第6階層1	数字	23	4	
8	第7階層1	数字	27	4	
9	第8階層1	数字	31	4	
10	第9階層1	数字	35	4	
11	第10階層1	数字	39	4	
12	第11階層1	数字	43	4	
13	第12階層1	数字	47	4	
14	第13階層1	数字	51	4	
15	第14階層1	数字	55	4	
16	第15階層1	数字	59	4	
17	第16階層1	数字	63	4	
18	出力連番	文字	67	4	
19	データ種別	文字	71	1	
20	下階層区分	数字	72	2	
21	下階層データ種別	文字	74	1	
22	レコード属性	文字	75	1	
23	改頁属性	文字	76	1	
24	番無属性	文字	77	1	
25	明細タイプ	数字	78	1	
26	番号コード	数字	79	1	
27	集計・部位名称	文字	80	32	1レコード目は ファイル名の先頭から24バイト 拡張子なし
28	名称上	文字	112	32	1レコード目は 工事名称1行目の1~20バイト
29	名称下	文字	144	32	1レコード目は 工事名称1行目の21~40バイト
30	規格上	文字	176	32	1レコード目は 工事名称1行目の41~60バイト
31	規格下	文字	208	32	
32	数量1	文字	240	12	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
33	単位1	文字	252	4	
34	単価1	文字	256	13	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
35	金額1	文字	269	13	マイナス符号付 整数12桁
36	小数表現1	数字	282	1	
37	単位コード1	数字	283	2	
38	単種目1	文字	285	2	
39	単科目1	文字	287	3	
40	単部位1	文字	290	3	
41	単材料1	文字	293	3	
42	単規格1	文字	296	3	
43	採用単区分1	数字	299	1	
44	未使用	文字	300	6	スペース
45	未使用	文字	306	4	スペース
46	数量2	文字	310	12	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
47	単位2	文字	322	4	
48	単価2	文字	326	13	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
49	金額2	文字	339	13	マイナス符号付 整数12桁
50	小数表現2	数字	352	1	
51	単位コード2	数字	353	2	
52	単種目2	文字	355	2	
53	単科目2	文字	357	3	

実行予算標準TXT(Ver2) フォーマットレイアウト(2/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
54	単部位2	文字	360	3	
55	単材料2	文字	363	3	
56	単規格2	文字	366	3	
57	採用単区分2	数字	369	1	
58	未使用	文字	370	6	スペース
59	未使用	文字	376	4	スペース
60	数量3	文字	380	12	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
61	単位3	文字	392	4	
62	単価3	文字	396	13	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
63	金額3	文字	409	13	マイナス符号付 整数12桁
64	小数表現3	数字	422	1	
65	単位コード3	数字	423	2	
66	単種目3	文字	425	2	
67	単科目3	文字	427	3	
68	単部位3	文字	430	3	
69	単材料3	文字	433	3	
70	単規格3	文字	436	3	
71	採用単区分3	数字	439	1	
72	未使用	文字	440	6	スペース
73	未使用	文字	446	4	スペース
74	備考上1	文字	450	20	レコード目は 提出先の1~20バイト
75	備考下1	文字	470	20	レコード目は 提出先の21~40バイト
76	計表現前	文字	490	32	レコード目は 第1階層の計表現前(名称欄)
77	計表現後	文字	522	32	レコード目は 第1階層の計表現後(規格欄)
78	従属行数	数字	554	2	
79	別紙分母	文字	556	11	小数点付 整数7桁 小数3桁
80	種目コード	文字	567	2	
81	科目コード	文字	569	3	
82	部位コード	文字	572	3	
83	材料コード	文字	575	3	
84	規格コード	文字	578	3	
85	集計コード	文字	581	3	
86	内外区分	文字	584	2	
87	リストコード	文字	586	6	
88	Uコード1	文字	592	4	
89	Uコード2	文字	596	4	
90	Uコード3	文字	600	4	
91	均等割付	数字	604	1	
92	ゼロ印字	数字	605	1	
93	別紙タイトル種別	数字	606	1	
94	別紙タイトル	文字	607	32	
95	値引き1	数字	639	13	
96	値引き2	数字	652	13	
97	値引き3	数字	665	13	
98	備考上2	文字	678	20	
99	備考下2	文字	698	20	
100	備考上3	文字	718	20	
101	備考下3	文字	738	20	
102	付箋	文字	758	10	
103	計備考	文字	768	20	
104	数量1計算式	文字	788	100	
105	数量2計算式	文字	888	100	
106	数量3計算式	文字	988	100	
107	単価1計算式	文字	1088	100	

実行予算標準TXT(Ver2) フォーマットレイアウト(3/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
108	単価2計算式	文字	1188	100	
109	単価3計算式	文字	1288	100	
110	単価上1	文字	1388	13	
111	金額上1	文字	1401	15	
112	単価上2	文字	1416	13	
113	金額上2	文字	1429	15	
114	単価上3	文字	1444	13	
115	金額上3	文字	1457	15	
116	区分	文字	1472	4	
117	区分名	文字	1476	20	
118	契約対象	文字	1496	1	
119	要素区分	文字	1497	1	
120	材工	文字	1498	1	
121	発注業者コード1	文字	1499	6	
122	発注業者コード2	文字	1505	6	
123	発注業者コード3	文字	1511	6	
124	発注業者コード4	文字	1517	6	
125	発注業者コード5	文字	1523	6	
126	工種	文字	1529	6	
127	原価要素	文字	1535	6	
128	要素単価11	数字	1541	13	
129	要素単価12	数字	1554	13	
130	要素単価13	数字	1567	13	
131	要素単価14	数字	1580	13	
132	要素単価15	数字	1593	13	
133	要素単価16	数字	1606	13	
134	要素単価21	数字	1619	13	
135	要素単価22	数字	1632	13	
136	要素単価23	数字	1645	13	
137	要素単価24	数字	1658	13	
138	要素単価25	数字	1671	13	
139	要素単価26	数字	1684	13	
140	要素単価31	数字	1697	13	
141	要素単価32	数字	1710	13	
142	要素単価33	数字	1723	13	
143	要素単価34	数字	1736	13	
144	要素単価35	数字	1749	13	
145	要素単価36	数字	1762	13	
146	要素金額11	数字	1775	13	
147	要素金額12	数字	1788	13	
148	要素金額13	数字	1801	13	
149	要素金額14	数字	1814	13	
150	要素金額15	数字	1827	13	
151	要素金額16	数字	1840	13	
152	要素金額21	数字	1853	13	
153	要素金額22	数字	1866	13	
154	要素金額23	数字	1879	13	
155	要素金額24	数字	1892	13	
156	要素金額25	数字	1905	13	
157	要素金額26	数字	1918	13	
158	要素金額31	数字	1931	13	
159	要素金額32	数字	1944	13	
160	要素金額33	数字	1957	13	
161	要素金額34	数字	1970	13	

実行予算標準TXT(Ver2) フォーマットレイアウト(4/4)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
162	要素金額35	数字	1983	13	
163	要素金額36	数字	1996	13	
164	ページ番号	数字	2009	4	
165	階層	数字	2013	1	
166	ダミー	文字	2014	1	

実行予算標準TXT(Ver2) フォーマットレイアウト・項目説明(1/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
19	データ種別	文字	71	1	S:集計階層 M:明細階層 B:別紙明細
20	下階層区分	数字	72	1	2~16 下階層にデータがある場合、その階層番号を格納 下階層にデータが無い場合は「0」
21	下階層データ種別	文字	74	1	S:集計階層 M:明細階層 B:別紙明細 下階層データのデータ種別を格納 下階層にデータがない場合はスペース
22	レコード属性	文字	75	1	M:明細行 D:大計行 C:コメント行 R:参考計 S:小計行 Z:消費税レコード T:中計行
23	改頁属性	文字	76	1	P:改頁行 指定がない場合はスペース
24	番無属性	文字	77	1	N:番号無し 集計階層データでレコード属性が「M」 にもかかわらず番号を印字したくない場合使用 指定がない場合はスペース
25	明細タイプ	数字	78	1	1:名称下のみ使用 2:名称上下使用 3:部位名、名称下使用 4:部位名、名称上下使用 0:集計階層データ 明細階層及び別紙明細階層データの 部位、名称の使用状態をコード化
26	番号コード	数字	79	1	下階層に 集計階層が存在する集計階層データにおいて 下階層で選択された番号タイプを格納 ただし、第1階層の情報は1レコード目
36	小数表現1	数字	282	1	0:整数のみ(#####)
50	小数表現2	数字	352	1	1:小数1桁(#####.#)
64	小数表現3	数字	422	1	2:小数2桁(#####.##) 3:小数3桁(#####.###)
					画面表示及び印刷した場合の小数桁情報を格納
37	単位コード1	数字	283	2	単位を参照入力した場合、その単位コードを格納
51	単位コード2	数字	353	2	手入力や未入力時は「00」
65	単位コード3	数字	423	2	
38,52,66	単種目X	文字	285,353,427	2	単価マスタ参照または単価マスタ自動セット
39,53,67	単科目X	文字	287,357,427	3	で採用した単価コードを格納
40,54,68	単部位X	文字	290,360,430	3	手入力や未入力時はスペース
41,55,69	単材料X	文字	293,363,433	3	
42,56,70	単規格X	文字	296,366,436	3	
	(X:1、2、3)				

実行予算標準CSV(Ver2) フォーマットレイアウト・項目説明(2/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
43 57 71	採用単区分1 採用単区分2 採用単区分3	数字	299 369 439	1	1: 単価A 2: 単価B 3: 単価C 4: 単価D 単価マスタ参照または単価マスタ自動セット で採用した単価番号を格納 手入力や未入力時は「0」
91	均等割付	数字	604	1	0: 管理情報に従う 1: しない 2: する 3: 材料名称の下段のみする 4: 材料名称の上段のみする 5: 材料名称の上下段ともする

(12) 実行予算標準CSV(Ver2) フォーマットレイアウト・項目説明

実行予算標準CSV(Ver2) フォーマットレイアウト(1/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
1	階層コード1	数字	1	2	
2	第1階層1	数字	3	4	
3	第2階層1	数字	7	4	
4	第3階層1	数字	11	4	
5	第4階層1	数字	15	4	
6	第5階層1	数字	19	4	
7	第6階層1	数字	23	4	
8	第7階層1	数字	27	4	
9	第8階層1	数字	31	4	
10	第9階層1	数字	35	4	
11	第10階層1	数字	39	4	
12	第11階層1	数字	43	4	
13	第12階層1	数字	47	4	
14	第13階層1	数字	51	4	
15	第14階層1	数字	55	4	
16	第15階層1	数字	59	4	
17	第16階層1	数字	63	4	
18	出力連番	文字	67	4	
19			71	1	,
20			72	1	"
21	データ種別	文字	73	1	
22			74	1	"
23			75	1	,
24	下階層区分	数字	76	2	
25			78	1	,
26			79	1	"
27	下階層データ種別	文字	80	1	
28			81	1	"
29			82	1	,
30			83	1	"
31	レコード属性	文字	84	1	
32			85	1	"
33			86	1	,
34			87	1	"
35	改頁属性	文字	88	1	
36			89	1	"
37			90	1	,
38			91	1	"
39	番無属性	文字	92	1	
40			93	1	"
41			94	1	,
42	明細タイプ	数字	95	1	
43			96	1	,
44	番号コード	数字	97	1	
45			98	1	,
46			99	1	"
47	集計・部位名称	文字	100	32	1レコード目は ファイル名の先頭から24バイト 拡張子なし
48			132	1	"
49			133	1	,
50			134	1	"
51	名称上	文字	135	32	1レコード目は 工事名称1行目の1~20バイト
52	名称下	文字	167	32	1レコード目は 工事名称1行目の21~40バイト
53			199	1	"

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(2/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
54			200	1	,
55			201	1	"
56	規格上	文字	202	32	1レコード目は 工事名称1行目の41~60バイト
57	規格下	文字	234	32	
58			266	1	"
59			267	1	,
60	数量1	文字	268	12	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
61			280	1	,
62			281	1	"
63	単位1	文字	282	4	
64			286	1	"
65			287	1	,
66	単価1	文字	288	13	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
67			301	1	,
68	金額1	文字	302	13	マイナス符号付 整数12桁
69			315	1	,
70	小数表現1	数字	316	1	
71			317	1	,
72	単位コード1	数字	318	2	
73			320	1	,
74			321	1	"
75	単種目1	文字	322	2	
76			324	1	"
77			325	1	,
78			326	1	"
79	単科目1	文字	327	3	
80			330	1	"
81			331	1	,
82			332	1	"
83	単部位1	文字	333	3	
84			336	1	"
85			337	1	,
86			338	1	"
87	単材料1	文字	339	3	
88			342	1	"
89			343	1	,
90			344	1	"
91	単規格1	文字	345	3	
92			348	1	"
93			349	1	,
94	採用単区分1	数字	350	1	
95			351	1	,
96			352	1	"
97	未使用	文字	353	6	スペース
98			359	1	"
99			360	1	,
100			361	1	"
101	未使用	文字	362	4	スペース
102			366	1	"
103			367	1	,
104	数量2	文字	368	12	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
105			380	1	,
106			381	1	"
107	単位2	文字	382	4	

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(3/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
108			386	1	"
109			387	1	,
110	単価2	文字	388	13	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
111			401	1	,
112	金額2	文字	402	13	マイナス符号付 整数12桁
113			415	1	,
114	小数表現2	数字	416	1	
115			417	1	,
116	単位コード2	数字	418	2	
117			420	1	,
118			421	1	"
119	単種目2	文字	422	2	
120			424	1	"
121			425	1	,
122			426	1	"
123	単科目2	文字	427	3	
124			430	1	"
125			431	1	,
126			432	1	"
127	単部位2	文字	433	3	
128			436	1	"
129			437	1	,
130			438	1	"
131	単材料2	文字	439	3	
132			442	1	"
133			443	1	,
134			444	1	"
135	単規格2	文字	445	3	
136			448	1	"
137			449	1	,
138	採用単区分2	数字	450	1	
139			451	1	,
140			452	1	"
141	未使用	文字	453	6	スペース
142			459	1	"
143			460	1	,
144			461	1	"
145	未使用	文字	462	4	スペース
146			466	1	"
147			467	1	,
148	数量3	文字	468	12	マイナス符号 小数点付 整数7桁 小数4桁
149			480	1	,
150			481	1	"
151	単位3	文字	482	4	
152			486	1	"
153			487	1	,
154	単価3	文字	488	13	マイナス符号付 整数12桁 小数1桁
155			501	1	,
156	金額3	文字	502	13	マイナス符号付 整数12桁
157			515	1	,
158	小数表現3	数字	516	1	
159			517	1	,
160	単位コード3	数字	518	2	
161			520	1	,

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(4/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
162			521	1	"
163	単種目3	文字	522	2	
164			524	1	"
165			525	1	,
166			526	1	"
167	単科目3	文字	527	3	
168			530	1	"
169			531	1	,
170			532	1	"
171	単部位3	文字	533	3	
172			536	1	"
173			537	1	,
174			538	1	"
175	単材料3	文字	539	3	
176			542	1	"
177			543	1	,
178			544	1	"
179	単規格3	文字	545	3	
180			548	1	"
181			549	1	,
182	採用単区分3	数字	550	1	
183			551	1	,
184			552	1	"
185	未使用	文字	553	6	スペース
186			559	1	"
187			560	1	,
188			561	1	"
189	未使用	文字	562	4	スペース
190			566	1	"
191			567	1	,
192			568	1	"
193	備考上1	文字	569	20	1レコード目は 提出先の1~20バイト
194	備考下1	文字	589	20	1レコード目は 提出先の21~40バイト
195			609	1	"
196			610	1	,
197			611	1	"
198	計表現前	文字	612	32	1レコード目は 第1階層の計表現前(名称欄)
199	計表現後	文字	644	32	1レコード目は 第1階層の計表現後(規格欄)
200			676	1	"
201			677	1	,
202	従属行数	数字	678	2	
203			680	1	,
204	別紙分母	文字	681	11	小数点付 整数7桁 小数3桁
205			692	1	,
206			693	1	"
207	種目コード	文字	694	2	
208			696	1	"
209			697	1	,
210			698	1	"
211	科目コード	文字	699	3	
212			702	1	"
213			703	1	,
214			704	1	"
215	部位コード	文字	705	3	

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(5/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
216			708	1	"
217			709	1	,
218			710	1	"
219	材料コード	文字	711	3	
220			714	1	"
221			715	1	,
222			716	1	"
223	規格コード	文字	717	3	
224			720	1	"
225			721	1	,
226			722	1	"
227	集計コード	文字	723	3	
228			726	1	"
229			727	1	,
230			728	1	"
231	内外区分	文字	729	1	
232			730	1	"
233			731	1	,
234			732	1	"
235	リストコード	文字	733	6	
236			739	1	"
237			740	1	,
238			741	1	"
239	Uコード1	文字	742	4	
240			746	1	"
241			747	1	,
242			748	1	"
243	Uコード2	文字	749	4	
244			753	1	"
245			754	1	,
246			755	1	"
247	Uコード3	文字	756	4	
248			760	1	"
249			761	1	,
250	均等割付	数字	762	1	
251			763	1	,
252	ゼロ印字	数字	764	1	
253			765	1	,
254	別紙タイトル種別	数字	766	1	
255			767	1	,
256			768	1	"
257	別紙タイトル	文字	769	32	
258			801	1	"
259			802	1	,
260	値引き1	数字	803	13	
261			816	1	,
262	値引き2	数字	817	13	
263			830	1	,
264	値引き3	数字	831	13	
265			844	1	,
266			845	1	"
267	備考上2	文字	846	20	
268	備考下2	文字	866	20	
269			886	1	"

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(6/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
270			887	1	,
271			888	1	"
272	備考上3	文字	889	20	
273	備考下3	文字	909	20	
274			929	1	"
275			930	1	,
276			931	1	"
277	付箋	文字	932	10	
278			942	1	"
279			943	1	,
280			944	1	"
281	計備考	文字	945	20	
282			965	1	"
283			966	1	,
284			967	1	"
285	数量1計算式	文字	968	100	
286			1068	1	"
287			1069	1	,
288			1070	1	"
289	数量2計算式	文字	1071	100	
290			1171	1	"
291			1172	1	,
292			1173	1	"
293	数量3計算式	文字	1174	100	
294			1274	1	"
295			1275	1	,
296			1276	1	"
297	単価1計算式	文字	1277	100	
298			1377	1	"
299			1378	1	,
300			1379	1	"
301	単価2計算式	文字	1380	100	
302			1480	1	"
303			1481	1	,
304			1482	1	"
305	単価3計算式	文字	1483	100	
306			1583	1	"
307			1584	1	,
308			1585	1	"
309	単価上1	文字	1586	13	
310			1599	1	"
311			1600	1	,
312			1601	1	"
313	金額上1	文字	1602	15	
314			1617	1	"
315			1618	1	,
316			1619	1	"
317	単価上2	文字	1620	13	
318			1633	1	"
319			1634	1	,
320			1635	1	"
321	金額上2	文字	1636	15	
322			1651	1	"
323			1652	1	,

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(7/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
324			1653	1	"
325	単価上3	文字	1654	13	
326			1667	1	"
327			1668	1	,
328			1669	1	"
329	金額上3	文字	1670	15	
330			1685	1	"
331			1686	1	,
332			1687	1	"
333	区分	文字	1688	4	
334			1692	1	"
335			1693	1	,
336			1694	1	"
337	区分名	文字	1695	20	
338			1715	1	"
339			1716	1	,
340			1717	1	"
341	契約対象	文字	1718	1	
342			1719	1	"
342			1720	1	,
343			1721	1	"
344	要素区分	文字	1722	1	
345			1723	1	"
346			1724	1	,
347			1725	1	"
348			1726	1	"
349	材工	文字	1727	1	
350			1728	1	,
351			1729	1	"
352	発注業者コード1	文字	1730	6	
353			1736	1	"
354			1737	1	,
355			1738	1	"
356	発注業者コード2	文字	1739	6	
357			1745	1	"
358			1746	1	,
359			1747	1	"
360	発注業者コード3	文字	1748	6	
361			1754	1	"
362			1755	1	,
363			1756	1	"
364	発注業者コード4	文字	1757	6	
365			1763	1	"
366			1764	1	,
367			1765	1	"
368	発注業者コード5	文字	1766	6	
369			1772	1	"
370			1773	1	,
371			1774	1	"
372	工種	文字	1775	6	
373			1781	1	"
374			1782	1	,
375			1783	1	"
376	原価要素	文字	1784	6	

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(8/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
377			1790	1	
378			1791	1	
379	要素単価11	数字	1792	13	
380			1805	1	
381	要素単価12	数字	1806	13	
382			1819	1	
383	要素単価13	数字	1820	13	
384			1833	1	
385	要素単価14	数字	1834	13	
386			1847	1	
387	要素単価15	数字	1848	13	
388			1861	1	
389	要素単価16	数字	1862	13	
390			1875	1	
391	要素単価21	数字	1876	13	
392			1889	1	
393	要素単価22	数字	1890	13	
394			1903	1	
395	要素単価23	数字	1904	13	
396			1917	1	
397	要素単価24	数字	1918	13	
398			1931	1	
399	要素単価25	数字	1932	13	
400			1945	1	
401	要素単価26	数字	1946	13	
402			1959	1	
403	要素単価31	数字	1960	13	
404			1973	1	
405	要素単価32	数字	1974	13	
406			1987	1	
407	要素単価33	数字	1988	13	
408			2001	1	
409	要素単価34	数字	2002	13	
410			2015	1	
411	要素単価35	数字	2016	13	
412			2029	1	
413	要素単価36	数字	2030	13	
414			2043	1	
415	要素金額11	数字	2044	13	
416			2057	1	
417	要素金額12	数字	2058	13	
418			2071	1	
419	要素金額13	数字	2072	13	
420			2085	1	
421	要素金額14	数字	2086	13	
422			2099	1	
423	要素金額15	数字	2100	13	
424			2113	1	
425	要素金額16	数字	2114	13	
426			2127	1	
427	要素金額21	数字	2128	13	
428			2141	1	
429	要素金額22	数字	2142	13	
430			2155	1	

実行予算標準CSV(Ver2)フォーマットレイアウト(9/9)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
431	要素金額23	数字	2156	13	
432			2169	1	
433	要素金額24	数字	2170	13	
434			2183	1	
435	要素金額25	数字	2184	13	
436			2197	1	
437	要素金額26	数字	2198	13	
438			2211	1	
439	要素金額31	数字	2212	13	
440			2225	1	
441	要素金額32	数字	2226	13	
442			2239	1	
443	要素金額33	数字	2240	13	
444			2253	1	
445	要素金額34	数字	2254	13	
446			2267	1	
447	要素金額35	数字	2268	13	
448			2281	1	
449	要素金額36	数字	2282	13	
450			2295	1	
451	ページ番号	数字	2296	4	
452			2300	1	
453	階層	数字	2301	1	

実行予算標準CSV(Ver2) フォーマットレイアウト・項目説明(1/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
21	データ種別	文字	73	1	S:集計階層 M:明細階層 B:別紙明細
24	下階層区分	数字	76	1	2~16 下階層にデータがある場合、その階層番号を格納 下階層にデータが無い場合は「0」
27	下階層データ種別	文字	80	1	S:集計階層 M:明細階層 B:別紙明細 下階層データのデータ種別を格納 下階層にデータがない場合はスペース
31	レコード属性	文字	84	1	M:明細行 D:大計行 C:コメント行 R:参考計 S:小計行 Z:消費税レコード T:中計行
35	改頁属性	文字	88	1	P:改頁行 指定がない場合はスペース
39	番無属性	文字	92	1	N:番号無し 集計階層データでレコード属性が「M」 にもかかわらず番号を印字したくない場合使用 指定がない場合はスペース
42	明細タイプ	数字	95	1	1:名称下のみ使用 2:名称上下使用 3:部位名、名称下使用 4:部位名、名称上下使用 0:集計階層データ 明細階層及び別紙明細階層データの 部位、名称の使用状態をコード化
44	番号コード	数字	97	1	下階層に 集計階層が存在する集計階層データにおいて 下階層で選択された番号タイプを格納 ただし、第1階層の情報は1レコード目
70	小数表現1	数字	316	1	0:整数のみ(#####)
114	小数表現2	数字	416	1	1:小数1桁(#####.#)
158	小数表現3	数字	516	1	2:小数2桁(#####.##) 3:小数3桁(#####.###)
					画面表示及び印刷した場合の小数桁情報を格納
72	単位コード1	数字	318	2	単位を参照入力した場合、その単位コードを格納
116	単位コード2	数字	418	2	手入力や未入力時は「00」
160	単位コード3	数字	518	2	
75,119,163	単種目X	文字	322,422,522	2	単価マスタ参照または単価マスタ自動セット
79,123,167	単科目X	文字	327,427,527	3	で採用した単価コードを格納
83,127,171	単部位X	文字	333,433,533	3	手入力や未入力時はスペース
87,131,175	単材料X	文字	339,439,539	3	
91,135,179	単規格X (X:1、2、3)	文字	345,445,545	3	

実行予算標準CSV(Ver2) フォーマットレイアウト・項目説明(2/2)

NO	項目名	データ型	位置	桁数	説明
94 138 182	採用単区分1 採用単区分2 採用単区分3	数字	350 450 550	1	1:単価A 2:単価B 3:単価C 4:単価D 単価マスタ参照または単価マスタ自動セット で採用した単価番号を格納 手入力や未入力時は「0」
250	均等割付	数字	762	1	0:管理情報に従う 1:しない 2:する 3:材料名称の下段のみする 4:材料名称の上段のみする 5:材料名称の上下段ともする

3. 2. 12 メインメニューの機能

メインメニューには、以下のメニューがあります。

- ファイル(F) : 新規物件の作成、編集物件の選択ならびにシステムの終了をおこないます。
- 表示(V) : 工事概要一覧の表示列の設定と列幅の設定をおこないます。
- 工事概要管理(K) : 工事概要の複写、削除、圧縮保存、圧縮ファイル読込、名前の変更などをおこないます。
- 物件管理(B) : 物件の複写、削除、圧縮保存、圧縮ファイル読込、名前の変更などをおこないます。
- マスタ管理(M) : 名称マスタ、単価マスタ、管理情報マスタ (のメンテナンス、圧縮保存、圧縮ファイル読込及び修復をおこないます。
- 外部入出力(G) : COMPASS 標準 TXT からの連動や、他ファイルからのデータ連動をおこないます。
- オプション(O) : 主に使用するマスタの選択、システムで使用する印刷フォーマットを選択します。

(1) ファイル(F)の機能

①工事概要新規作成

工事概要ファイルを新規に作成します。

詳細につきましては、「3. 2. 2 工事概要の新規作成・修正・検索 (1) 工事概要新規作成でデータを作成し入力する」をご覧ください。

②工事概要修正

工事概要ファイルの修正をおこないます。

詳細につきましては、「3. 2. 2 工事概要の新規作成・修正・検索 (2) 工事概要を修正する」をご覧ください。

③工事概要検索

工事概要ファイルの検索をおこないます。

詳細につきましては、「3. 2. 2 工事概要の新規作成・修正・検索 (3) 工事概要を検索する」をご覧ください。

④新規作成

物件ファイルを新規に作成します。

詳細につきましては、「3. 2. 3 ファイルの新規作成 (1) 新規にデータを入力する」をご覧ください。

⑤開く

物件ファイルを開きます。

詳細につきましては、「3. 2. 4 ファイルを編集する (1) ファイルを開く」をご覧ください。

⑥システムの終了

システムを終了します。

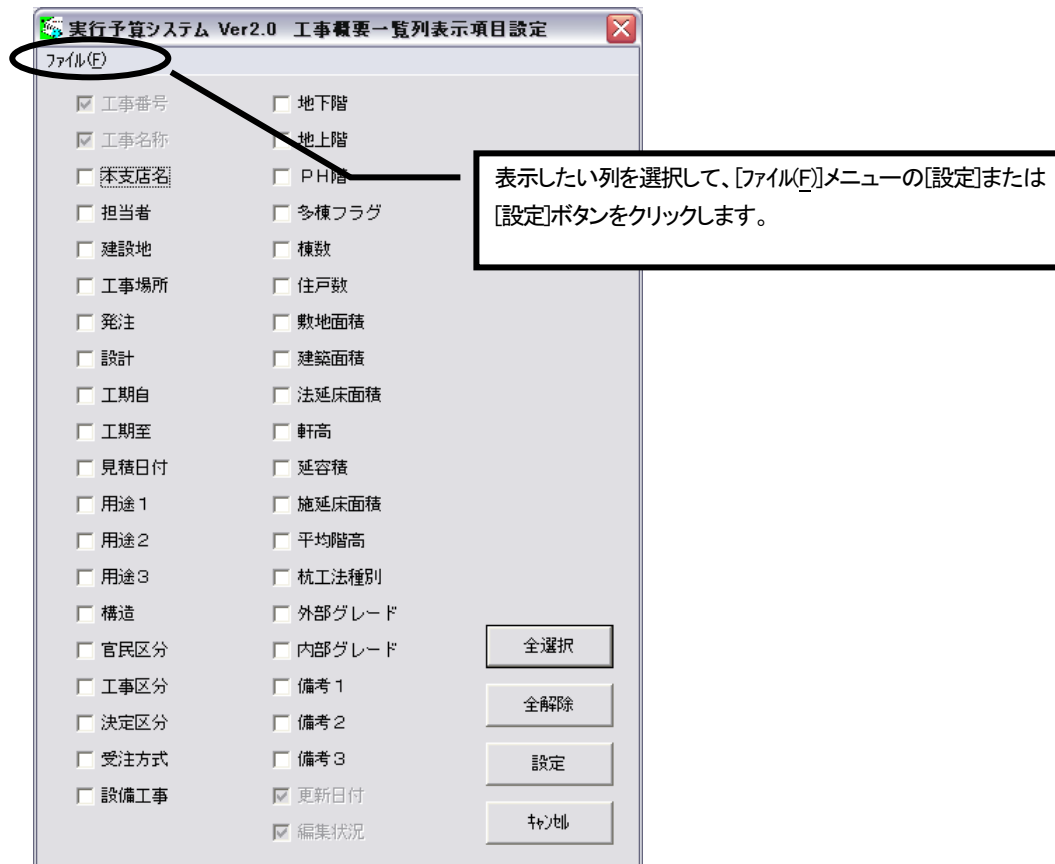
<ポイント>

- ・ 1度に編集できる物件は4物件までです。

(2) 表示(V)の機能

① 工事概要一覧列任意表示

工事概要一覧に表示する列の設定をおこないます。



- 表示したい列を選択後、[ファイル(F)]メニューの[設定] をクリックします。
- また画面上の[設定]ボタンでも設定することができます。
- [全選択] ボタンをクリックで、全てのチェックボックスにチェックされます。
- [全解除] ボタンをクリックで、全てのチェックボックスのチェックがはずされます。
- [キャンセル] ボタンをクリックで、物件一覧画面に戻ります。

② 工事概要一覧列標準表示

工事番号、工事名称、更新日付、編集状況のみ表示し、他は非表示にします。

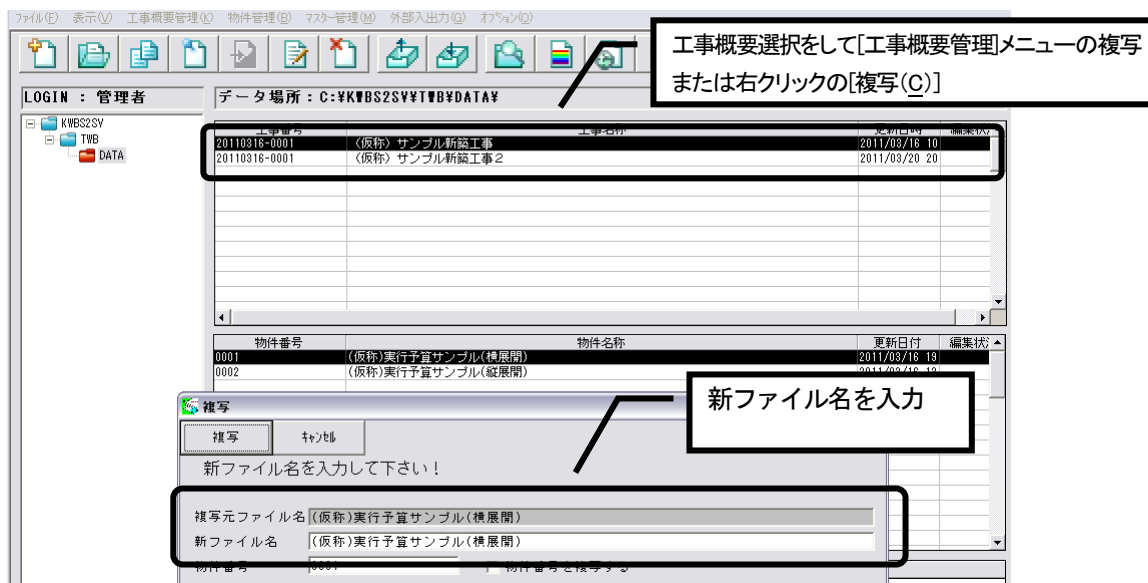
③ 列幅を元に戻す

ツリー幅、工事概要一覧高さ、物件一覧高さ、備考高さ、工事概要一覧の列幅、物件データ一覧の列幅を元に戻します。

(3) 工事概要管理(K)の機能

① 複写(C)

工事概要ファイルを別の名前で複写（コピー）します。



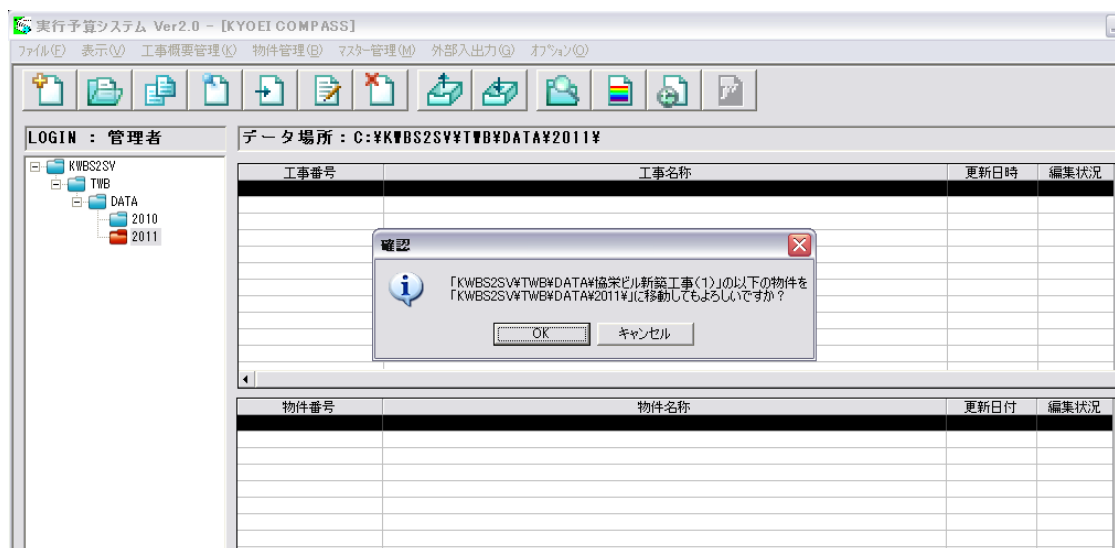
- 物件一覧画面で工事概要を選択後、[工事概要管理]メニューの[複写(C)]をクリックします。
- 工事概要選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。
新ファイル名を入力後、[複製]ボタンをクリックします。
- 工事概要のみを複写したい場合は、[概要のみ複写する]にチェックを付けた上で、[複製]ボタンをクリックします。
- 工事番号を変更したい場合は、[工事概要]に入力の上で、[複製]ボタンをクリックします。
- 工事番号も複写したい場合は、[工事番号を複写する]にチェックを付けた上で、[複製]ボタンをクリックします。
- 物件番号も複写したい場合は、[物件番号を複写する]にチェックをつけた上で、[複製]ボタンをクリックします。ただし[概要のみ複写する]にチェックがないときのみ使用できます。

- ・ 新ファイル名は半角80文字まで入力可能です。
- ・ 新ファイル名には初期値として元ファイル名が入力されます。

②移動選択(I)

指定した工事概要の物件を別フォルダに移動します。

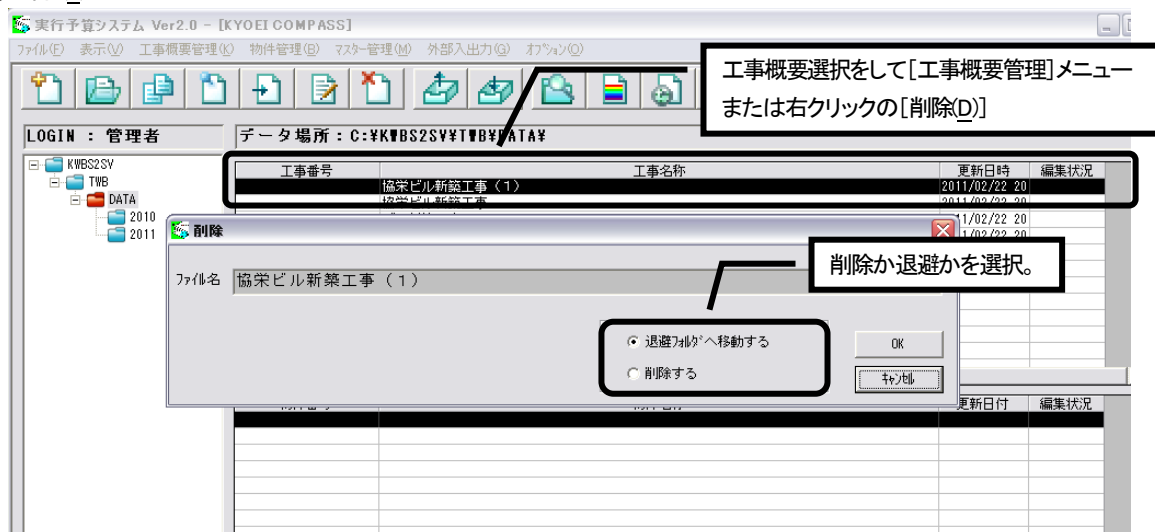
a. 移動したい工事概要を選択後、b. [工事概要管理]メニューから[移動]をクリックします。



移動させる工事概要を選択していない場合、移動することができません。

移動した場合、物件の更新日付は移動をおこなった日付に変わります。

③削除(D)



工事概要ファイルを削除または退避フォルダへ移動します。

- 物件一覧画面で工事概要を選択後、[工事概要管理]メニューの[削除(D)]をクリックします。
- 工事概要選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。
削除方法を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

・削除方法について

・退避フォルダへ移動

物件ファイルを物理的には削除せず、物件一覧には表示されない、別フォルダへ退避させます。退避させた物件ファイルは必要があれば、復旧して物件一覧へ表示することが可能です。退避フォルダからの復旧、または削除方法は後述します、「⑨退避データの復元(I)」「⑩退避データの削除(I)」をご覧ください。

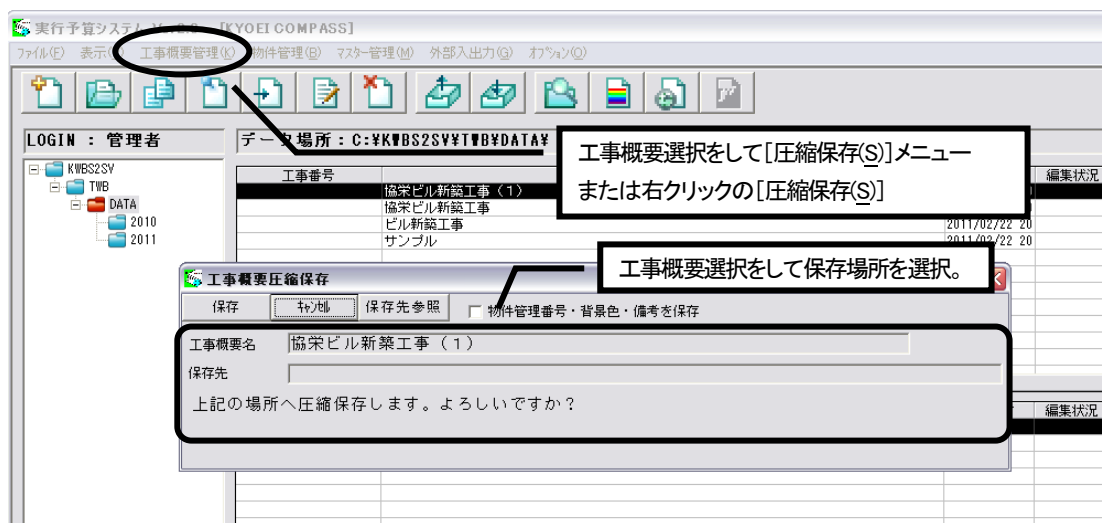
- ・削除する
物件ファイルを物理的に削除します。**復元はできません。**

- ・待避フォルダへ移動を選択した場合、物件データは物理的に削除されないため、使用するハードディスク容量は変わりません。不要な物件ファイルを多く残しておくことで、使用するハードディスク容量が減少し、新規作成または編集時に必要なファイル容量が確保できなくなる恐れもあります。後述します「⑨退避データの削除(1)」を定期的におこないハードディスク容量を確保してください。

④圧縮保存(S)

工事概要ファイルを圧縮して保存します。

- 物件一覧画面で工事概要を選択後、[工事概要管理(K)]メニューの[圧縮保存(S)]をクリックします。
- 工事概要選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。



↓
[保存] をクリックすると<複写中>、<圧縮>メッセージ表示され、以下の画面になります。



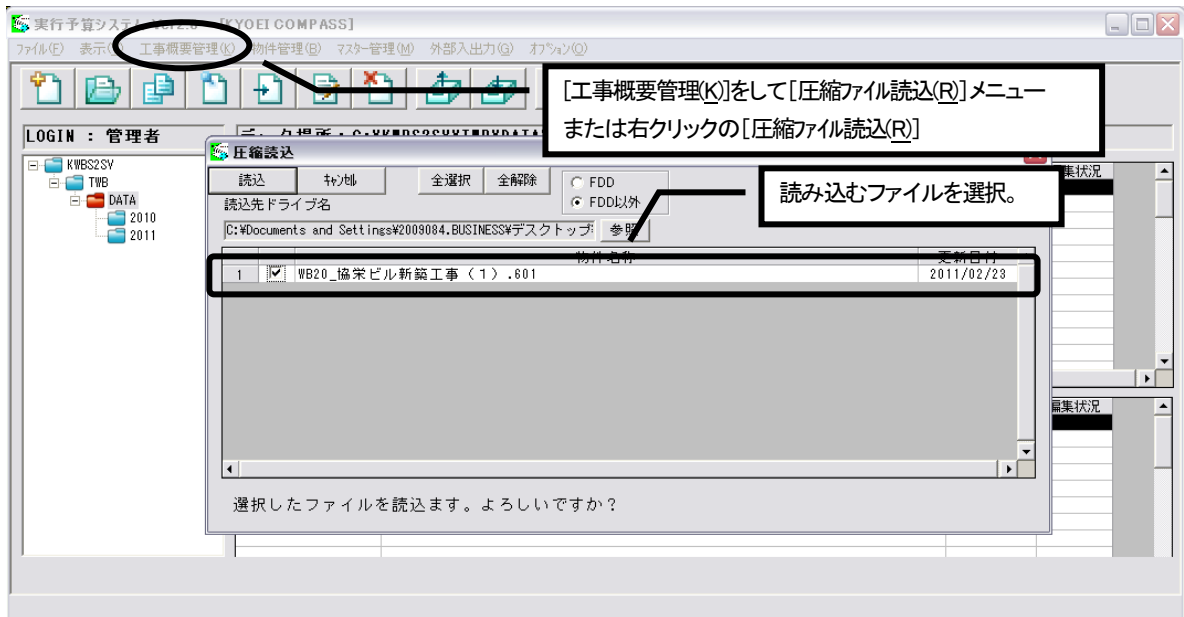
<ポイント>

- ・圧縮保存の処理は、物件ファイルを自動圧縮してコピーしています。(ファイル拡張子: 601)
実際のハードディスク上に存在する物件ファイルの10分の1程度の容量でファイルが作成されます。
- ・圧縮保存で作成したファイルは、識別用としてファイル名の先頭4文字が「WL20_」となります。
- ・圧縮保存で作成されたファイルを直接編集することはできません。後述します「⑤圧縮ファイル読込(R)」を実行することで、物件一覧に表示され編集することが可能になります。

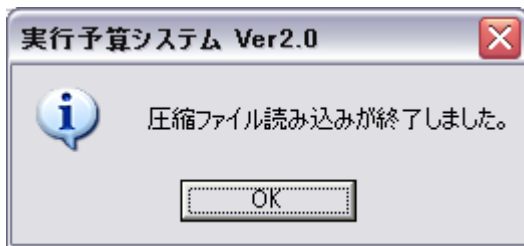
⑤圧縮ファイル読込(R)

圧縮保存(S)で保存したデータを読み込みます。

- [工事概要管理(K)]メニューの[圧縮ファイル読込(R)]をクリックします。
- 工事概要一覧画面で右クリックのポップアップメニューから実行します。



読み込みたいフォルダを選択すると、ファイル一覧が表示されます。
ファイルを選択し、「読み込み」ボタンをクリックします。

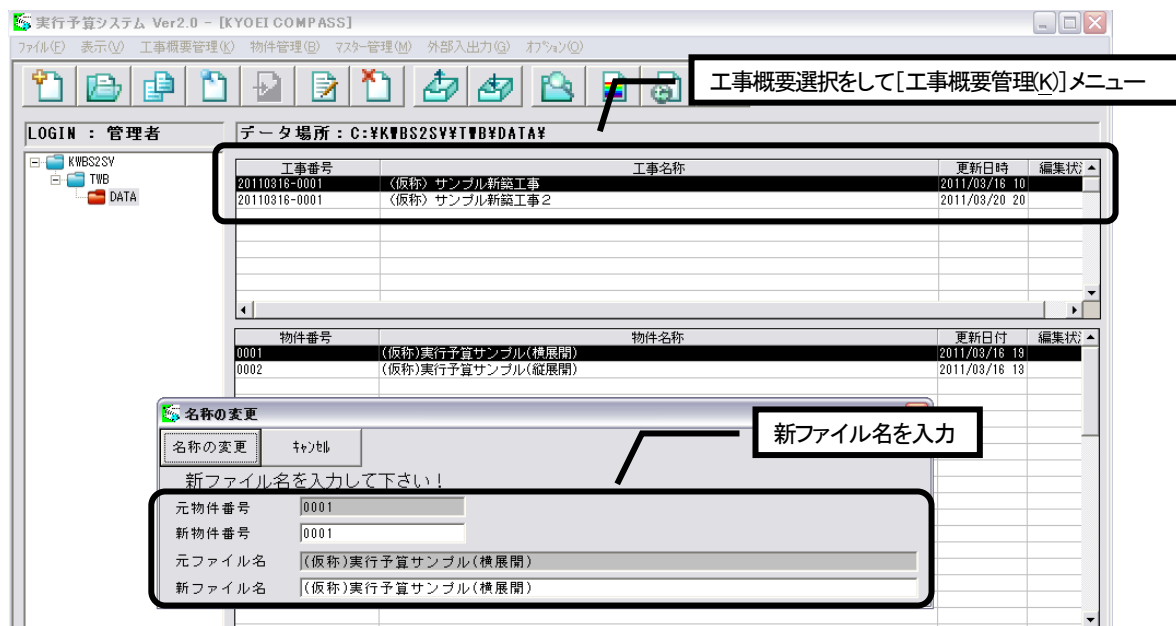


<ポイント>

- ・ 圧縮ファイル読み込の処理は、圧縮保存(S)で作成したファイルを自動解凍しながら登録するものです。
- ・ 圧縮保存で作成したファイルのファイル名を変更した場合、正常に処理されない場合があります。
圧縮保存で指定するファイルは、必ず「ML20_」で始まるファイル名としてください。
- ・ 既に同一の工事概要ファイル名が存在する場合、ファイルを読み込むことができません。

⑥名前の変更 (M)

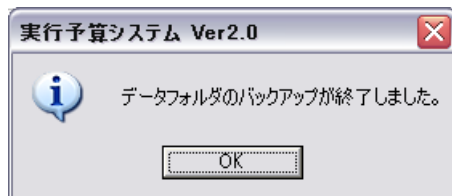
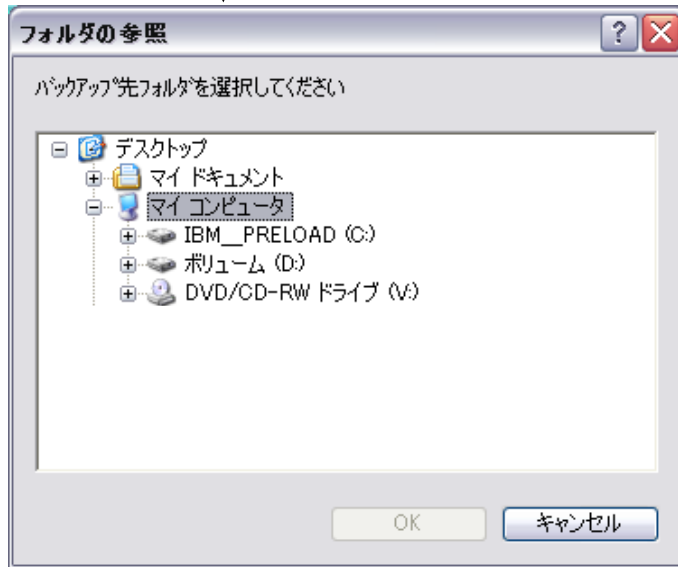
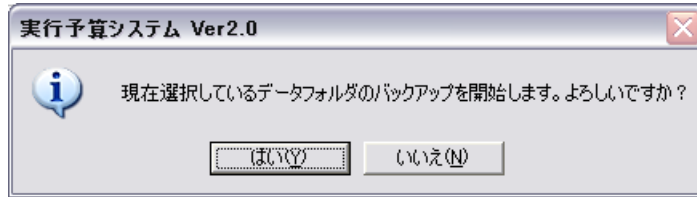
工事概要ファイル名を変更します。



- 工事概要一覧画面で工事概要を選択後、[工事概要管理(K)]メニューの[名前の変更(M)]をクリックします。
- 工事概要選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。
新ファイル名を入力後、[名称の変更]ボタンをクリックします。

- ・ 新ファイル名は半角80文字まで入力可能です。
- ・ 新ファイル名には初期値として元ファイル名が入力されます。

⑦フォルダバックアップ (P)



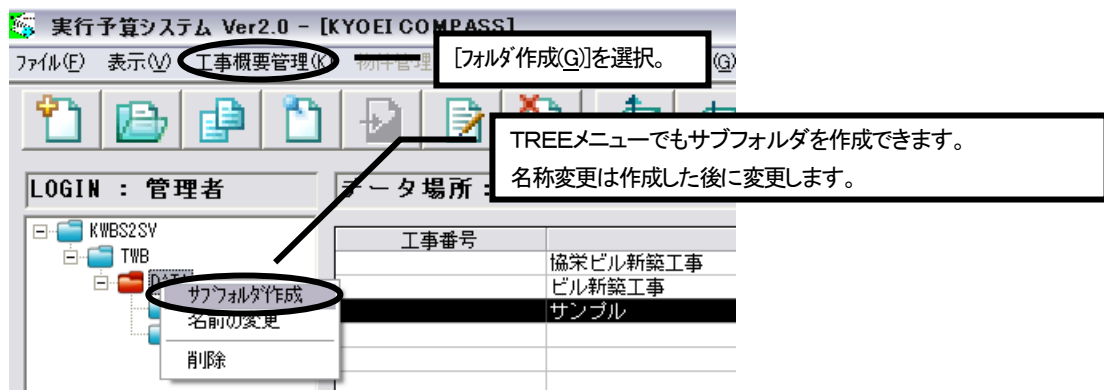
選択しているフォルダ以下にある物件ファイルを指定したフォルダにバックアップします。
拡張子は 601 です。

⑧フォルダ作成(G)

フォルダを作成できる場所は、DATA (¥KWBL¥TWB¥DATA) フォルダ以下です。
フォルダの数、深さに制限はありませんが、
フォルダ名称はコンピュータ名、ドライブ名を含めフルパスで半角200文字までです。

- [工事概要管理(K)]メニューから[フォルダ作成(G)]をクリック。
 - TREEメニューから作成したい場所でポップアップメニューからフォルダ作成。
- 以上の操作でサブフォルダを作成することができます。

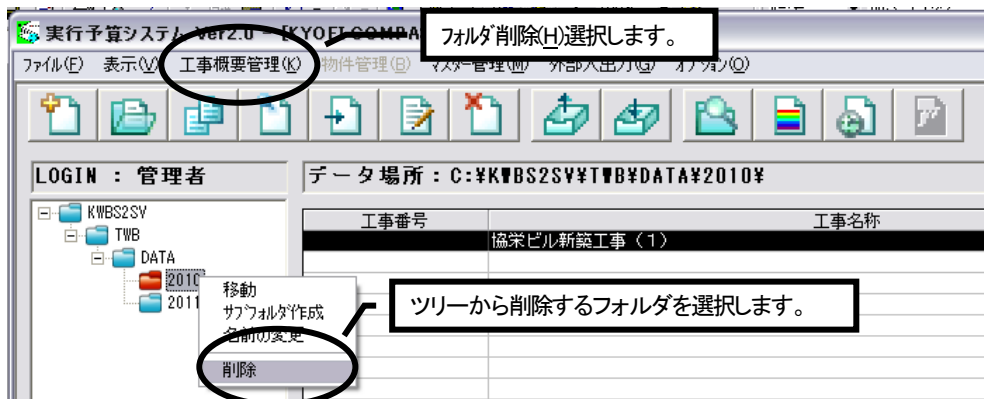
作成したフォルダ名称はマイコンピュータ、エクスプローラなどを使用して変更しないでください(通常、エクスプローラなどでは変更できません)。フォルダ名称を変更したい場合は新規フォルダを作成後に物件を移動してください。



⑨フォルダ削除(H)

指定したフォルダ以下すべてのフォルダを削除します。指定したフォルダ以下に物件ファイルが存在する場合は物件ファイルを待避フォルダに移動するか、削除するかを選択できます。

- [工事概要管理(K)]メニューから[フォルダ削除(H)]をクリックします。
- TREEメニューから削除したいフォルダでポップアップメニューから削除。



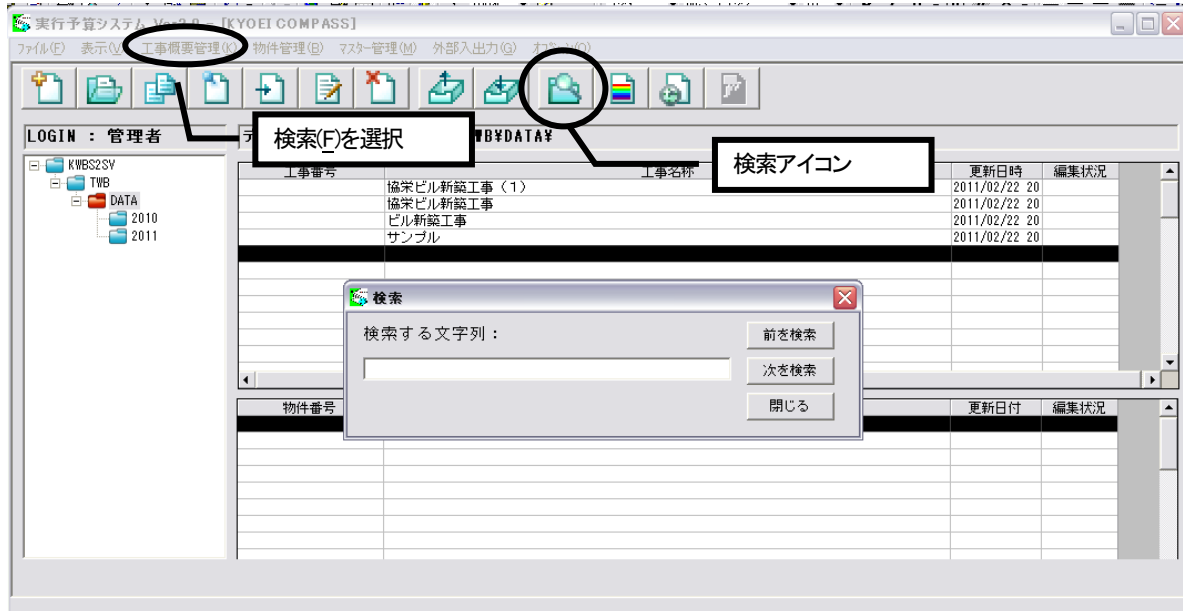
¥KWBL ¥TWB ¥DATA フォルダは削除しないでください。
¥KWBL ¥TWB ¥DATA フォルダを削除すると、全てのフォルダ、全ての物件ファイルを削除することになります。

⑩検索(F)

現在選択されているフォルダ内のファイル名を上下方向を選択し検索します。

文字列と一致した場合はその物件ファイル名にカーソルが移動します。

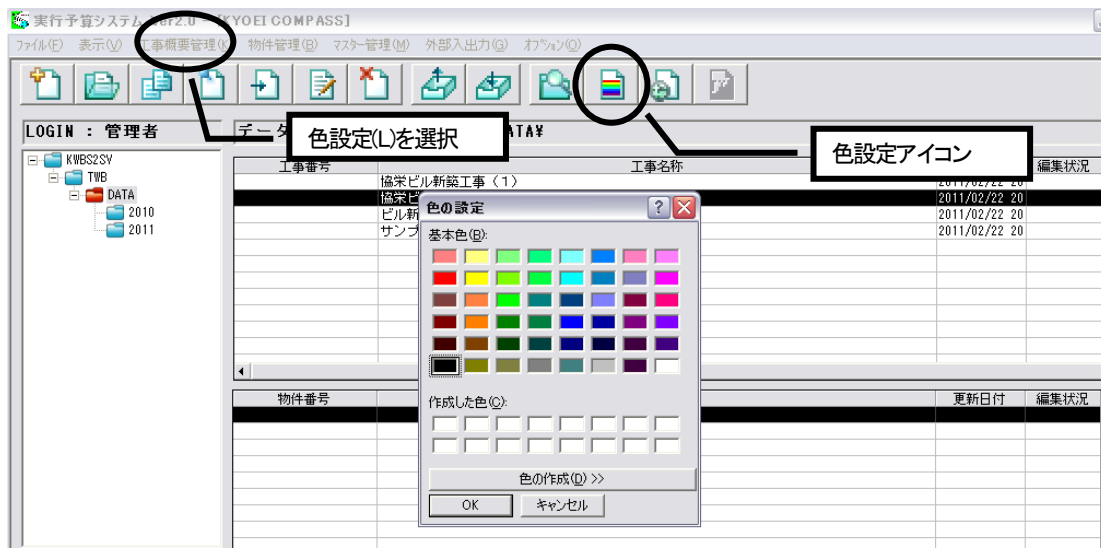
- [工事概要管理(K)]メニューから[検索(F)]をクリック。
 - 工事概要一覧を選択し、ツールバーから検索アイコンをクリック。
- 以上の操作を行うと検索ダイアログが表示します。



⑪色設定(L)

物件一覧画面で工事概要に付箋色を設定することができます。

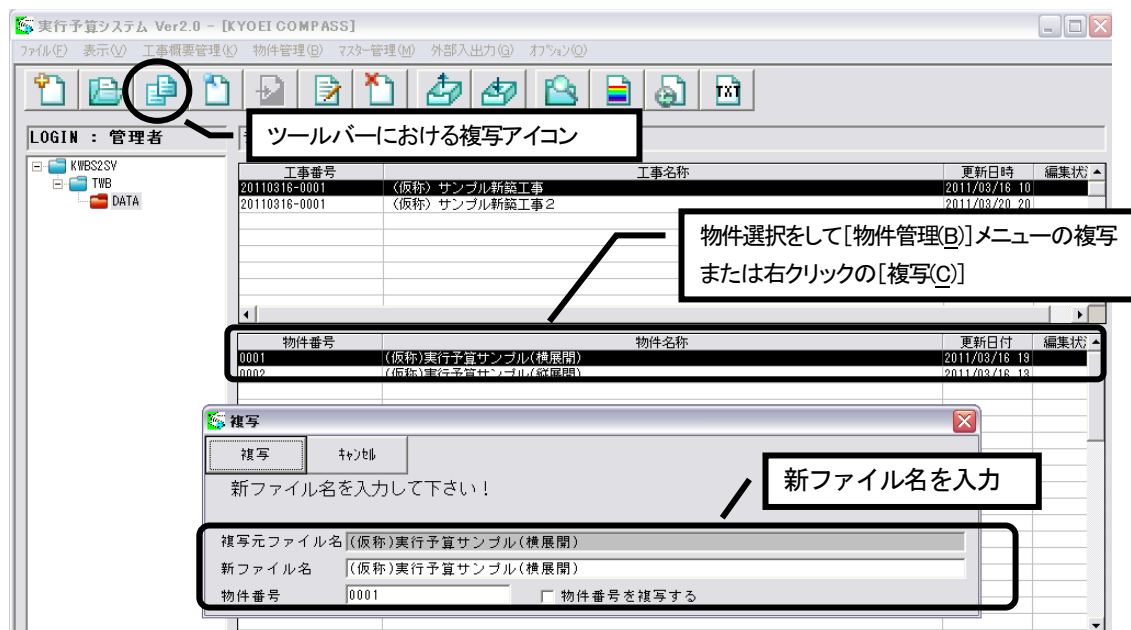
- [工事概要管理(K)]メニューから[色設定(L)]をクリック。
 - 工事概要一覧を選択し、ツールバーから色設定アイコンをクリック。
- 以上の操作を行うと色設定ダイアログが表示します。



(4) 物件管理(B)の機能

①複製(C)

物件ファイルを別の名前で複製(コピー)します。



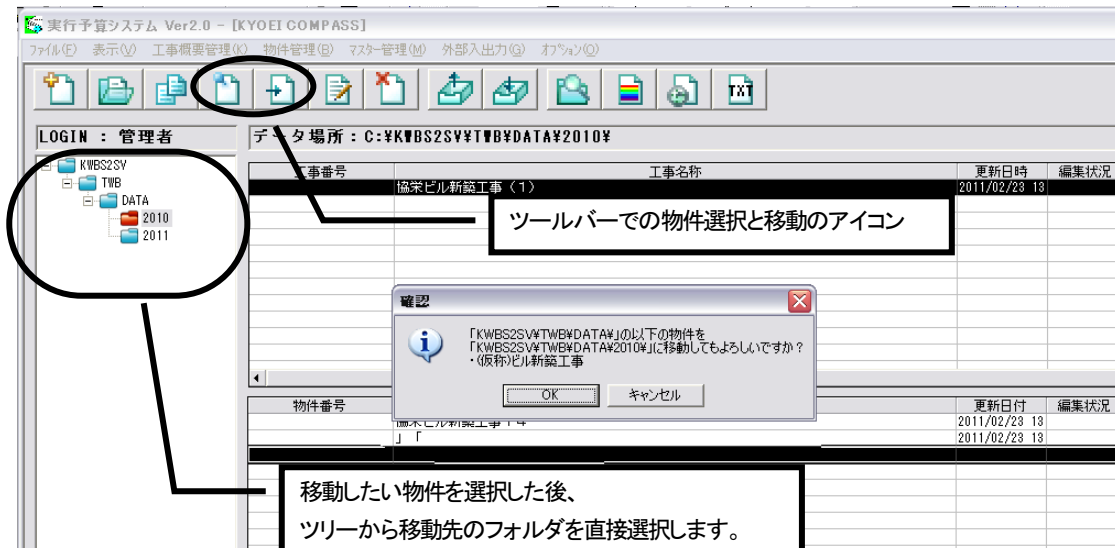
- 物件一覧画面で物件を選択後、[物件管理(B)]メニューの[複製(C)]をクリックします。
- 物件選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。
- ツールバーの複製アイコンからも複製フォームを表示できます。
新ファイル名を入力後、[複製]ボタンをクリックします。
- 物件番号も複製したい場合は、[物件番号を複製する]にチェックを付けた上で[複製]ボタンをクリックします。また異なる物件番号にしたい場合は、物件番号を入力します。

- ・ 新ファイル名は半角80文字まで入力可能です。
- ・ 新ファイル名は初期値として元ファイル名が入力されます。

②移動選択(T)

指定したファイルを別フォルダに移動します。

- 移動したい物件を選択後、b. [物件管理]メニューから[移動]をクリックします。



移動させるファイルを選択していない場合、移動することができません。
移動した場合、物件の更新日付は移動をおこなった日付に変わります。

③一括移動選択 (U)

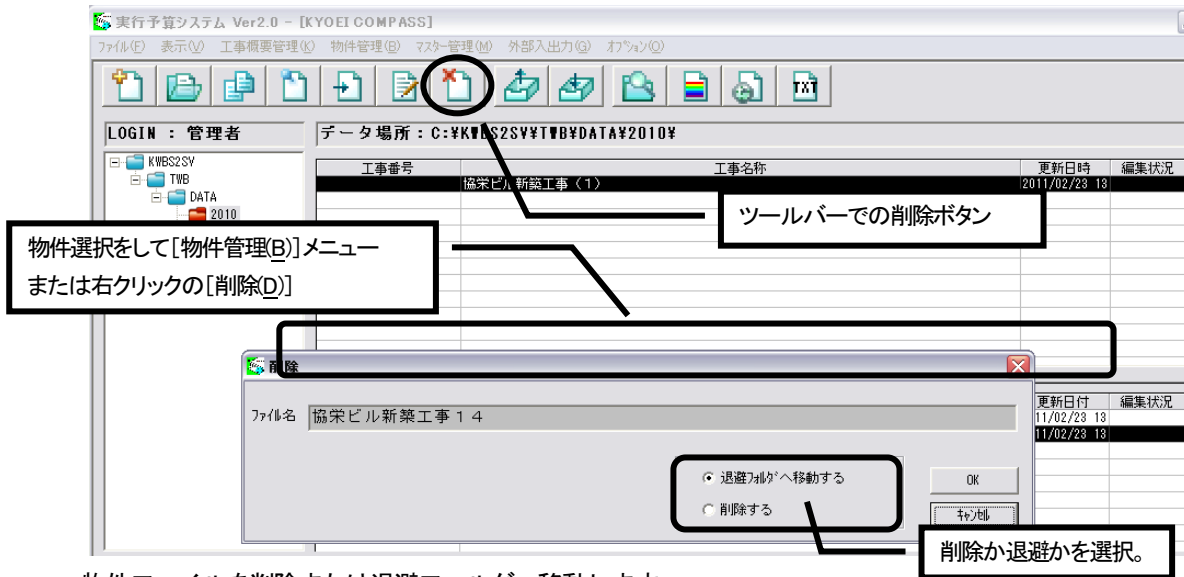
指定した複数ファイルを別フォルダに移動します。

a. 移動したい物件を選択後、b. [物件管理] メニューから [移動] をクリックします。



移動させるファイルを選択していない場合、移動することができません。
移動した場合、物件の更新日付は移動をおこなった日付に変わります。

④削除(D)



物件ファイルを削除または退避フォルダへ移動します。

- 物件一覧画面で物件を選択後、[物件管理(B)]メニューの[削除(D)]をクリックします。
- 物件選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。
- またツールバーの削除ボタンでも物件を削除することができます。
削除方法を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

・削除方法について

・退避フォルダへ移動

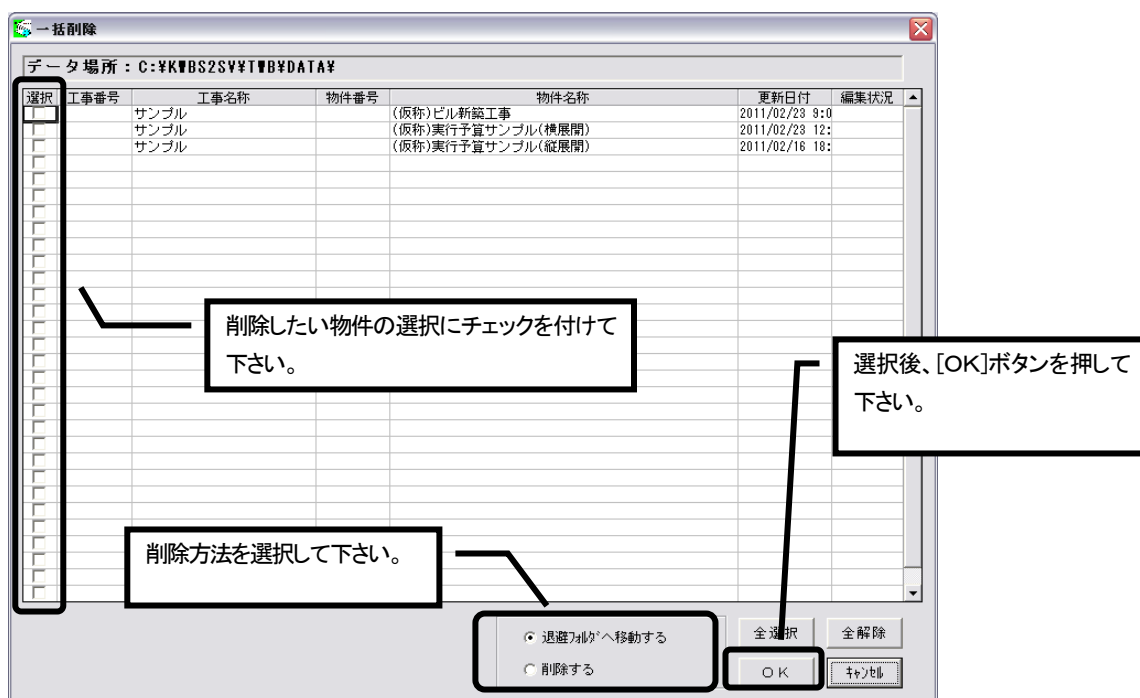
物件ファイルを物理的には削除せず、物件一覧には表示されない、別フォルダへ退避させます。退避させた物件ファイルは必要があれば、復旧して物件一覧へ表示することが可能です。退避フォルダからの復旧、または削除方法は後述します、「⑨退避データの復元(T)」 「⑩退避データの削除(I)」をご覧ください。

・削除する

物件ファイルを物理的に削除します。復元はできません。

- ・待避フォルダへ移動を選択した場合、物件データは物理的に削除されないため、使用するハードディスク容量は変わりません。不要な物件ファイルを多く残しておくことで、使用するハードディスク容量が減少し、新規作成または編集時に必要なファイル容量が確保できなくなる恐れもあります。後述します「⑩退避データの削除(I)」を定期的におこないハードディスク容量を確保してください。

⑤一括削除(X)



指定したフォルダの物件ファイルを複数同時に退避フォルダに移動するか、削除するかを選択できます。

- 物件一覧画面でフォルダを選択後、[物件管理(B)]メニューの[一括削除(X)]をクリックします。
削除したい物件ファイルの選択にチェックを付けて、[OK]ボタンをクリックします。

・削除方法について

・退避フォルダへ移動

物件ファイルを物理的には削除せず、物件一覧には表示されない、別フォルダへ退避させます。退避させた物件ファイルは必要があれば、復旧して物件一覧へ表示することが可能です。退避フォルダからの復旧、または削除方法は後述します、「⑨退避データの復元(T)」「⑩退避データの削除(I)」をご覧ください。

・削除する

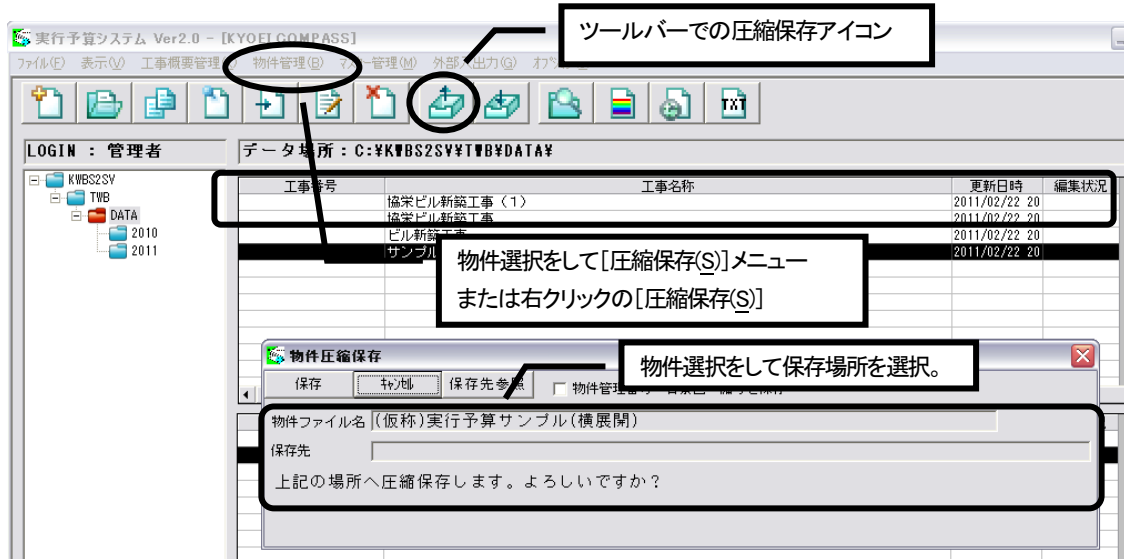
物件ファイルを物理的に削除します。復元はできません。

- 待避フォルダへ移動を選択した場合、物件データは物理的に削除されないため、使用するハードディスク容量は変わりません。不要な物件ファイルを多く残しておくことで、使用するハードディスク容量が減少し、新規作成または編集時に必要なファイル容量が確保できなくなる恐れもあります。後述します「⑩退避データの削除(I)」を定期的におこなってハードディスク容量を確保してください。

⑥圧縮保存(S)

物件ファイルを圧縮して保存します。

- 物件一覧画面で物件を選択後、[物件管理(B)]メニューの[圧縮保存(S)]をクリックします。
- 物件選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。



[保存] をクリックすると<複写中>、<圧縮>メッセージ表示され、以下の画面になります。



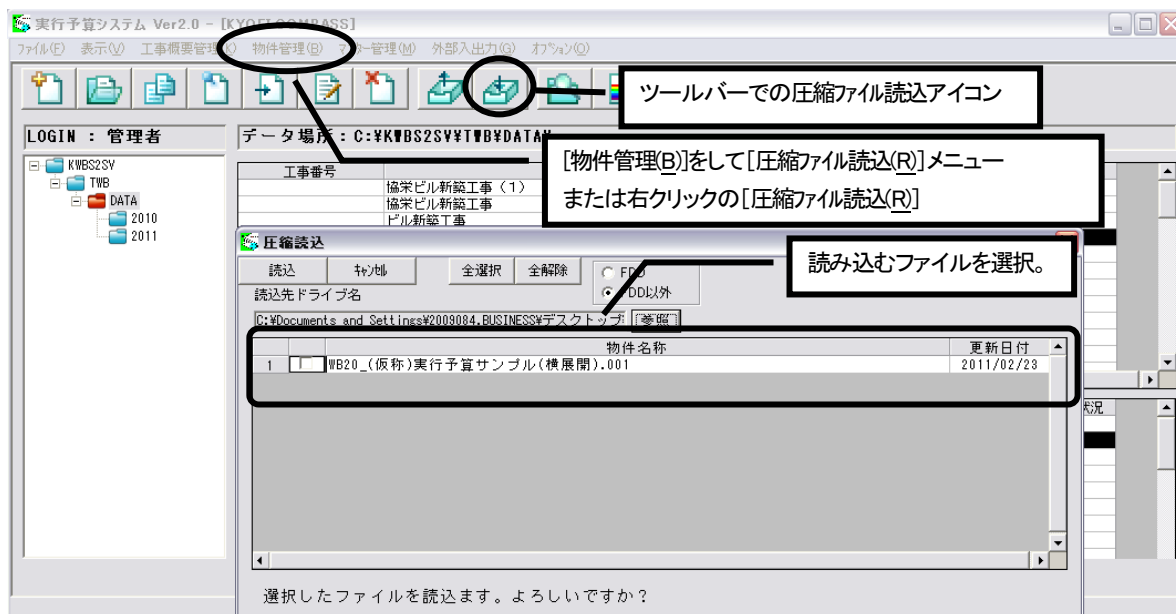
<ポイント>

- ・圧縮保存の処理は、物件ファイルを自動圧縮してコピーしています。(ファイル拡張子: 001) 実際のハードディスク上に存在する物件ファイルの10分の1程度の容量でファイルが作成されます。
- ・圧縮保存で作成したファイルは、識別用としてファイル名の先頭5文字が「WL20」となります。
- ・圧縮保存で作成されたファイルを直接編集することはできません。後述します「⑦圧縮ファイル読込(R)」を実行することで、物件一覧に表示され編集することが可能になります。

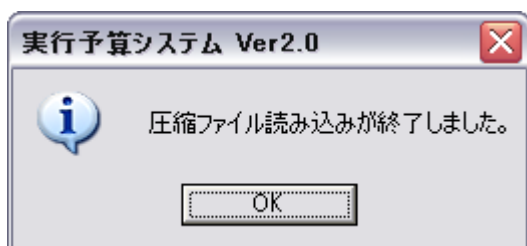
⑦圧縮ファイル読込(R)

圧縮ファイル保存(S)で保存したデータを読み込みます。

- 【物件管理(B)】メニューの【圧縮ファイル読込(R)】をクリックします。
- 物件一覧画面で右クリックのポップアップメニューから実行します。
- ツールバーでの圧縮ファイル読込も可能です。



読み込みたいフォルダを選択すると、ファイル一覧が表示されます。
ファイルを選択し、【読込】ボタンをクリックします。

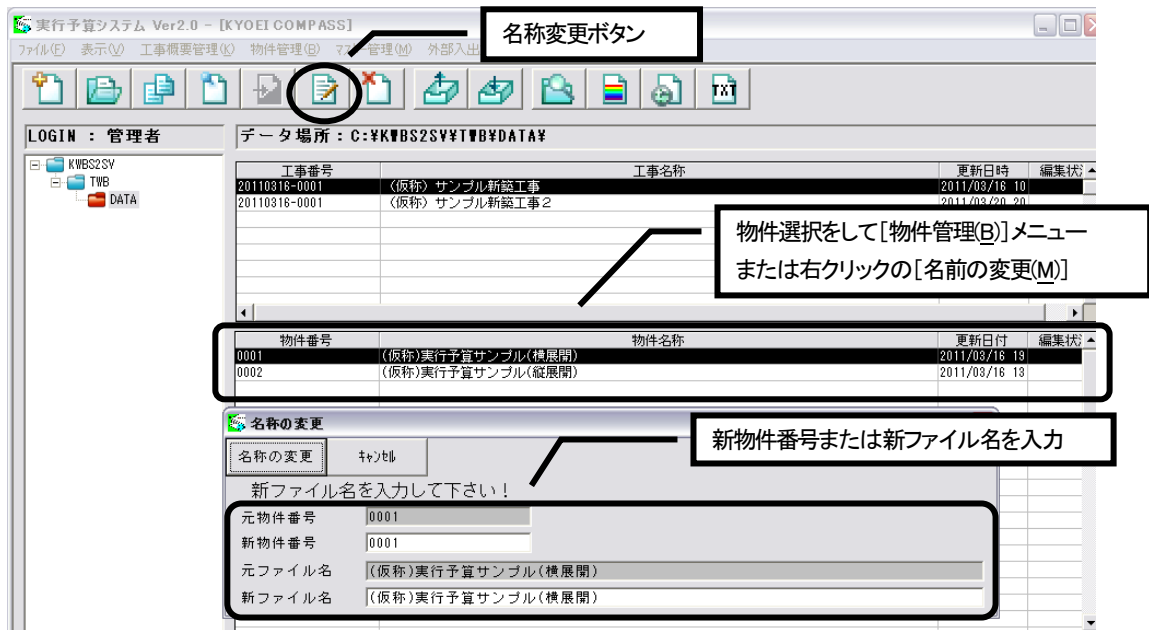


<ポイント>

- ・圧縮ファイル読込の処理は、圧縮保存(S)で作成したファイルを自動解凍しながら登録するものです。
- ・圧縮保存で作成したファイルのファイル名を変更した場合、正常に処理されない場合があります。
圧縮保存で指定するファイルは、必ず「ML20」で始まるファイル名としてください。
- ・既に同一の物件ファイル名が存在する場合、上書きか物件名称を変更するかを設定できます。
物件を上書きしてよい場合【はい】を、処理を中止する場合【いいえ】をクリックしてください。

⑧名称の変更(M)

物件ファイル名を変更します。

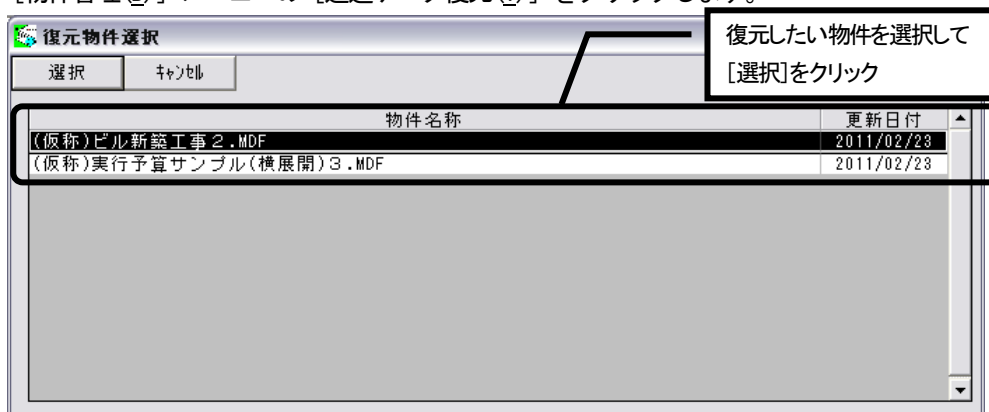


- 物件一覧画面で物件を選択後、[物件管理(B)]メニューの[名称の変更(M)]をクリックします。
- 物件選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。
- ツールバーの名称変更ボタンでもフォームが表示されます。
新ファイル名を入力後、[名称の変更]ボタンをクリックします。

- ・ 新ファイル名は半角80文字まで入力可能です。
- ・ 新物件番号には初期値として元物件番号が入力されます。
- ・ 新ファイル名には初期値として元ファイル名が入力されます。

⑨退避データ復元(I)

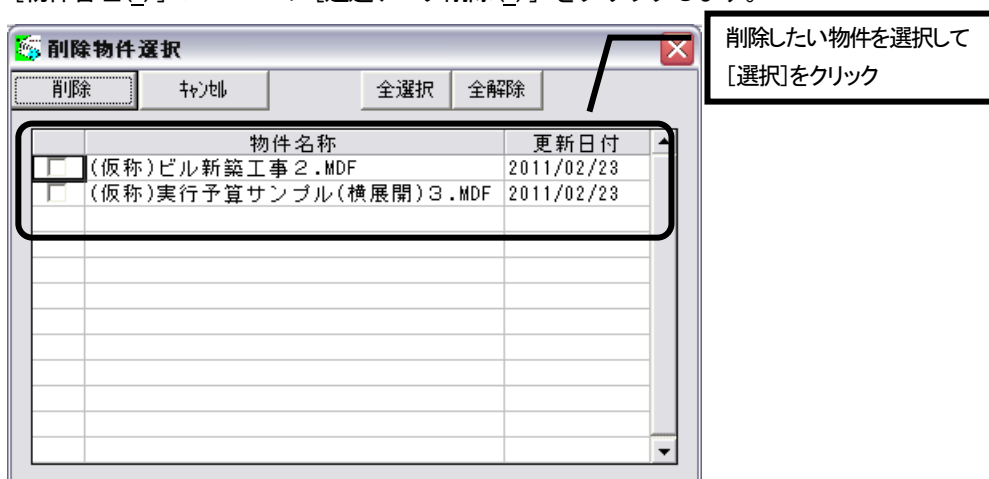
待避フォルダに移動した物件ファイルを復元します。復元した物件ファイルは物件一覧画面に表示されます。
[物件管理(B)] メニューの [退避データ復元(I)] をクリックします。



復元したい物件ファイルを選択し、[選択] ボタンをクリックします。

⑩退避データ削除(I)

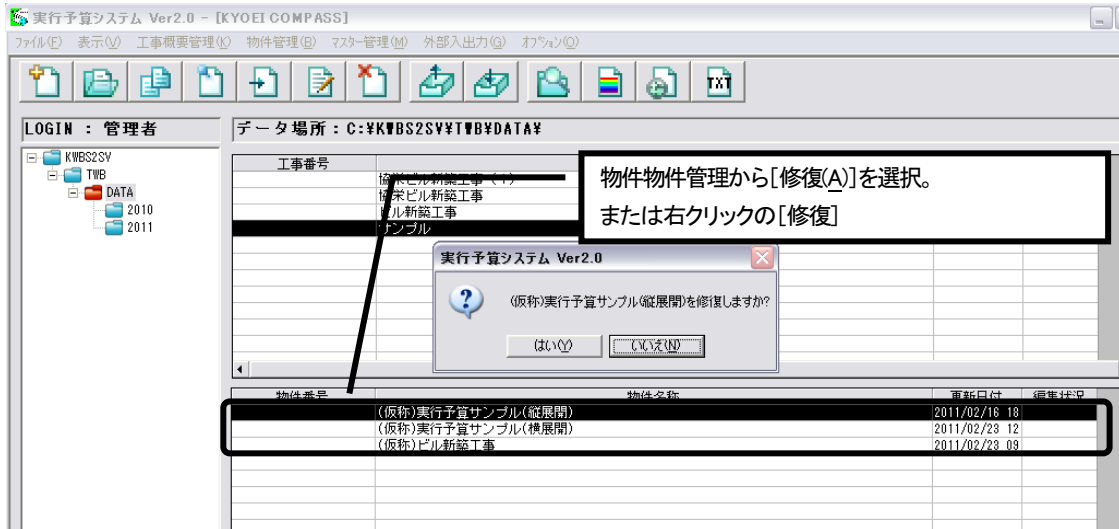
待避フォルダに移動した物件ファイル削除します。
[物件管理(B)] メニューの [退避データ削除(I)] をクリックします。



・ 選択された物件ファイルを物理的に削除します。

⑪修復(A)

物件一覧画面に表示されているのも関わらず、編集できない物件ファイルを編集できる状態にします。

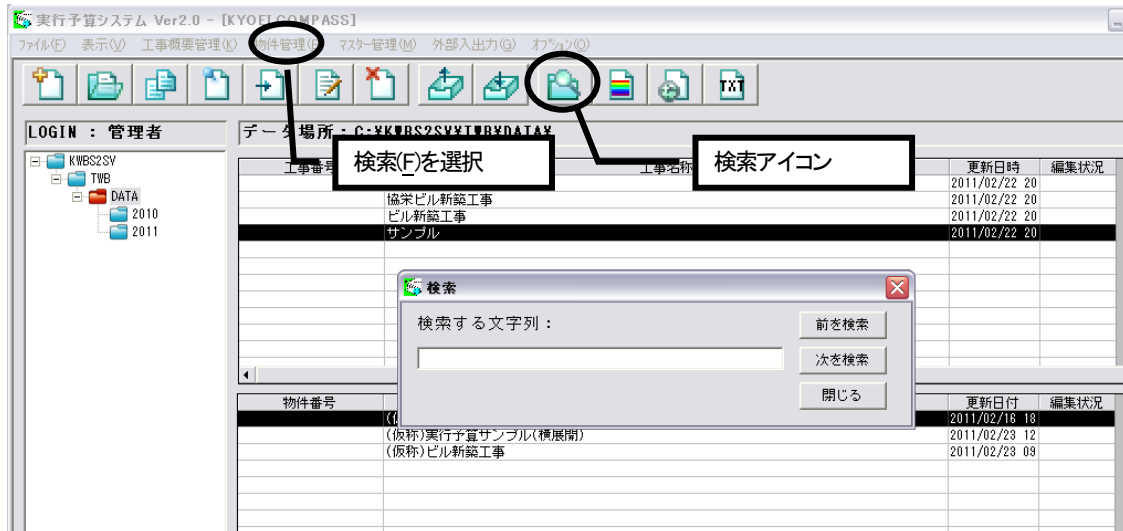


物件一覧画面で物件を選択後、[物件管理(B)]メニューの[修復(A)]をクリックします。
または、物件選択後、右クリックのポップアップメニューから実行も可能です。
[はい] ボタンをクリックすると修復を実行します。

⑫検索(F)

現在選択されているフォルダ内のファイル名を上下方向を選択し検索します。
文字列と一致した場合はその物件ファイル名にカーソルが移動します。

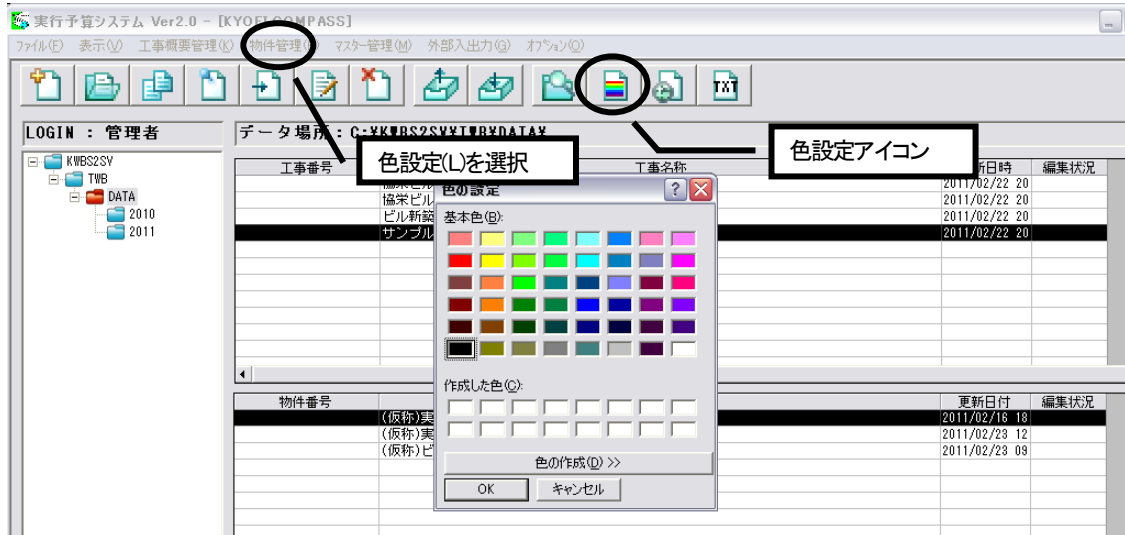
- [物件管理(B)]メニューから[検索(F)]をクリック。
- 物件一覧を選択し、ツールバーから検索アイコンをクリック。
以上の操作を行うと検索ダイアログが表示します。



⑬色設定(L)

物件一覧画面で物件に付箋色を設定することができます。

- a. [物件管理(B)]メニューから[色設定(L)]をクリック。
 - b. 物件一覧を選択し、ツールバーから色設定アイコンをクリック。
- 以上の操作を行うと色設定ダイアログが表示します。



(5) マスタ管理(M)の機能

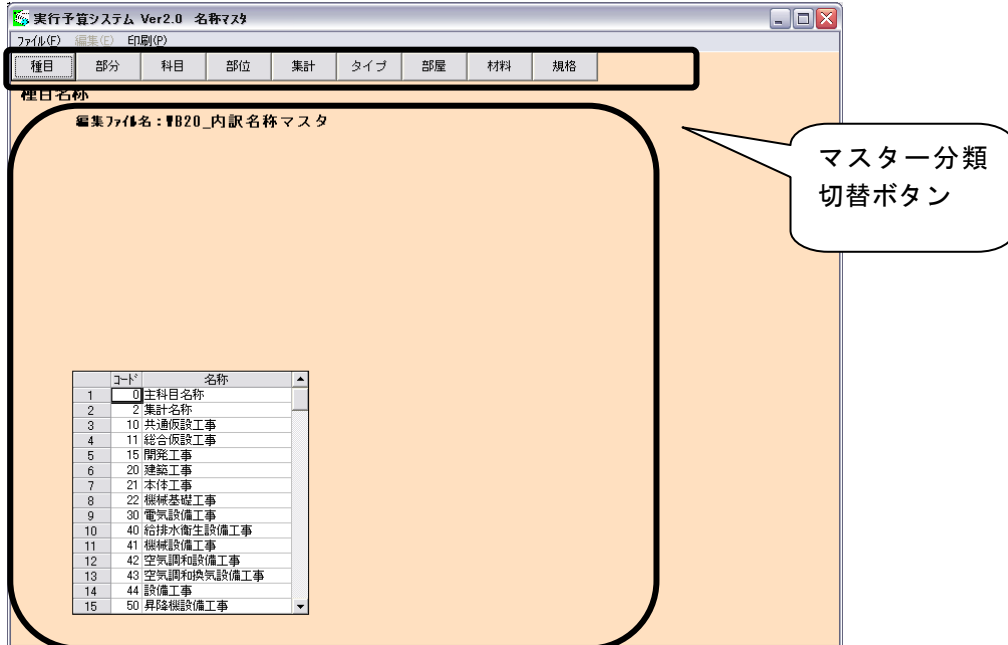
①メンテナンス

マスタファイルのメンテナンスをおこないます。

a. 内訳名称マスタ

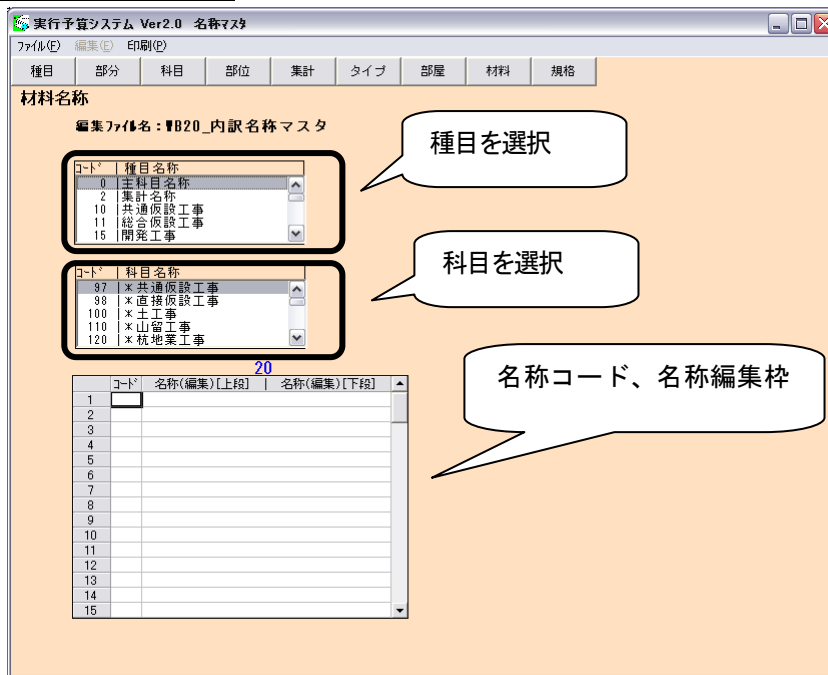
名称を分類ごとにメンテナンスします。

編集対象の名称マスタは [オプション(0)] で設定されている名称マスタになります。



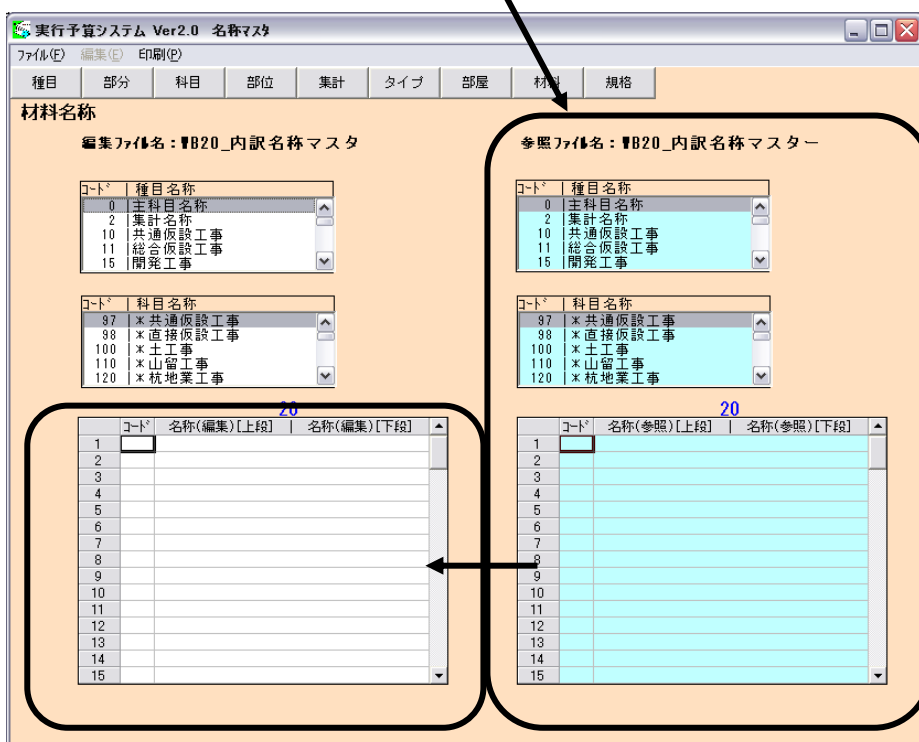
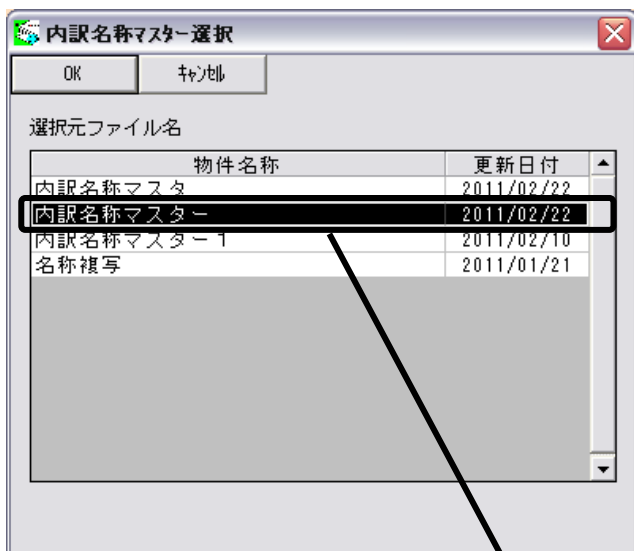
・材料、規格名称は種目、科目を選択しメンテナンスします。

名称マスタ・材料名称



・他の名称マスタを参照してメンテナンスすることも可能です。

[ファイル(F)] の [開く(O)] でマスタの一覧を表示し参照する名称マスタを選択します。



参照ファイルの名称を編集中の名称マスタにコピー、貼付けできます。

印刷は、[印刷(P)]メニューから「通常使うプリンタ」におこないます。

[全印刷(A)]を選択すると、マスタの内容全てを印刷します。

[分類印刷(B)]を選択すると、現在編集中の分類をすべて印刷します。

[部分印刷(C)]につきましては、科目、材料及び規格編集時に選択可能です。これらを編集集中に実行すると、選択した部分のマスタの内容を印刷します。

b. 管理情報マスタ

システムで使用する情報、ならびに物件を新規作成した場合の既定値情報を設定します。

閉じるときは[閉じる]ボタンか[ファイル(F)]メニューから選択、プレビューと印刷のときは[印刷(P)]メニューから、ページの切り替えは[前画面]、[次画面]ボタンで切り替えます。

管理情報マスター システム規定値・新規作成既定値（1／4）

The screenshot shows a software window titled '実行予算システム Ver2.0 管理情報マス'. It has a menu bar with 'ファイル(F)' and '印刷(P)', and buttons for '閉じる', 'ページ切り替え', '前画面', and '次画面'. The main content is divided into two sections: 'システム既定値' and '新規作成既定値 1 / 4'.

システム既定値

計表現タイプ: 上位階層名称 計

内訳書項目欄表現

名称欄	名 称
摘要欄	規 格・寸 法
数量欄	数 量
単位欄	単 位
単価欄	単 価
金額欄	金 額
区分欄	区 分
備考欄	備 考

名称印刷均等割付: しない

行削除確認メッセージ: する

新規作成既定値 1 / 4

第1階層合計表現: 総 合 計

集計番号タイプ

第1階層	2 アルファベット小文	第9階層	2 アルファベット小文
第2階層	2 アルファベット小文	第10階層	2 アルファベット小文
第3階層	2 アルファベット小文	第11階層	2 アルファベット小文
第4階層	2 アルファベット小文	第12階層	2 アルファベット小文
第5階層	2 アルファベット小文	第13階層	2 アルファベット小文
第6階層	2 アルファベット小文	第14階層	2 アルファベット小文
第7階層	2 アルファベット小文	第15階層	2 アルファベット小文
第8階層	2 アルファベット小文	第16階層	2 アルファベット小文

・システム既定値

システムで固有の情報です。

計表現タイプ：自動で発生する階層合計行の表現を決めます。

「計」を選択した場合は、物件編集画面において、画面上部で編集できます。

「計」以外を選択した場合は、物件編集画面において、画面上部の規格部分のみ編集できます。

内訳書項目欄表現：内訳書の各項目タイトルを設定します。（編集画面上では変わりません）

名称均等割付：印刷時に集計名称、材料名称項目の均等割付有無を指定します。

材料名称の均等割付は、上下段とも名称が入力されていた場合は、上段のみおこないます。

また、この設定は物件編集画面において行属性を使用して、行ごとに詳細設定も可能です。

行削除確認メッセージ：物件編集画面において行削除をおこなったときのメッセージ有無を選択します。

・新規作成既定値（1／4）

外部入出力を含み新規で物件を作成したときの既定値となります。

これら項目は、物件ごとに変更できます。

第1階層合計表現：第1階層の計表現既定値を設定します。物件では画面上部で編集できます。

集計番号タイプ：印刷の際に集計階層名称の左に印字される、番号タイプを設定します。物件では番号マスタ参照で変更できます。

管理情報マスター 新規作成既定値 (3/4)

実行予算システム Ver2.0 管理情報マスタ

ファイル(F) 印刷(P)

閉じる 前画面 次画面

新規作成既定値 3 / 4

印刷条件

鑑タイプ 印刷しない 同上材料表現 「ㄥ」を印字

頁タイプ 数字連番 同上部位表現 印字しない

同上単位表現 そのまま印字

別紙明細タイトル 別紙明細 値引き項目名称 出精値引

明細タイトルは空白行を空けない 欄外頁計を印字しない

第1階層の総合計を印字しない 単位をセンタリングしない

部位を印字しない 上段を印字しない

計行で改頁する

金額=0・規格なし・備考なしの明細行を印字しない

金額のマイナス記号 「-」を印字 金額=0印字 印字しない

ヘッダー

フォント MS 明朝 横位置 右寄せ

内訳書タイトル 日付設定

日付/会社名 社名

明細

フォント MS 明朝 第一階層物件名称表示 親

フッター

フォント MS 明朝

左部

中央部

右部 ページ表示 No.

頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する

・新規作成既定値 (3/4)

各印刷オプション：それぞれ印刷時に設定したい項目を選択します。

印刷条件：内訳書を印刷する際の条件を設定します。物件では印刷実行ウィンドウで変更できます。

値引き項目名称：値引き項目の名称を編集できます。

行種別名称設定：各行の種別によって自動で名称を設定します。

明細タイトルの空白行：明細タイトルの次の行に空白行を出力したくない場合、チェックします。

第1階層の総合計：第1階層の総合計を印字したくない場合、チェックします。

欄外頁計の印字：欄外頁計を印字したくない場合、チェックします。

単位のセンタリング：単位をセンタリングしたくない場合、チェックします。

金額=0・規格なし・備考なしの明細行の印字：金額=0・規格なし・備考なしの明細行を印字したくない場合、チェックします。

金額のマイナス記号：マイナス金額の場合、記号として「-」か「▲」を選択します。

金額=0の印字：金額が0の場合、「印字しない」か「0」を印字するかを選択します。

・ヘッダー

フォント：「MSゴシック」か「MS明朝」を選択します。

内訳書タイトル：内訳書のタイトルを選択します。

「親」の場合：工事名称を印字します。

「子」の場合：物件名称を印字します。

「親+子」の場合：工事名称と物件名称を印字します。

「内訳書」の場合：「内訳書」を印字します。

「御見積書」の場合：「御見積書」を印字します。

任意に入力した文字を印字することもできます。

日付／社名：「日付」か「社名」を印字する場合、選択します。

横位置：日付／社名に「日付」か「社名」が選択された場合、印字位置を指定します。

日付指定：日付／社名に「日付」が選択された場合、「和暦」か「西暦」を指定します。

印字する日付を変更することができます

内訳書会社名：日付／社名に「社名」が選択された場合、内訳書のヘッダーに印刷される会社名を設定します。

・明細

フォント：「MSゴシック」か「MS明朝」を選択します。

名称欄：内訳書の名称欄のタイトルを設定します。

摘要欄：内訳書の摘要欄のタイトルを設定します。

数量欄：内訳書の数量欄のタイトルを設定します。

単位欄：内訳書の単位欄のタイトルを設定します。

金額欄：内訳書の金額欄のタイトルを設定します。

備考欄：内訳書の備考欄のタイトルを設定します。

第一階層物件名表示：第一階層に印字する名称をします。

「親」の場合：工事名称を印字します。

「子」の場合：物件名称を印字します。

「親+子」の場合：工事名称と物件名称を印字します。

値引き項目名称：値引き項目の名称を設定します。

・フッター

フォント：「MSゴシック」か「MS明朝」を選択します。

左部：内訳書のフッターの左部に印字する項目を指定します。

中央部：内訳書のフッターの中央部に印字する項目を指定します。

右部：内訳書のフッターの右部に印字する項目を指定します。

「工種名称」の場合：印字する工種名称を選択します。

「ページ表示」の場合：印字するページ表示形式を選択します。

任意に入力した文字を印字することもできます。

「支店・会社名」の場合：印字する支店・会社名を選択します。

任意に入力した文字を印字することもできます。

内訳書コメント：内訳書のコメントを設定します。

頁タイプが連番で頁タイプ下線を短縮する：頁タイプが連番で下線を短縮する場合、チェックします。

管理情報マスター 新規作成既定値 (4 / 4)

実行予算作成システム Light 管理情報マス

ファイル(F)

閉じる 前画面 次画面

新規作成既定値 4 / 4

実行予算設定

総括表 要素展開 要素積上

実施予算書

比較金額表示設定

比較先 現物件 他物件 なし

比較元 現物件 他物件 なし

実行予算書横

金額表示設定

上段 下段

金額表示位置設定

印刷雛形設定

・新規作成既定値 (4 / 4)

総括表：総括表のタイプをAまたはBから選択します。

要素積上：要素別単価の積上方法を自動または手動から選択します。

実施予算書：比較金額表示設定：実施予算書の比較先・比較元に表示する物件を選択します。

実行予算書横：金額表示設定：上段下段に表示する項目をなし、単価または金額から選択します。

単位既定値

実行予算システム Ver2.0 管理情報マスタ											
ファイル(F) 印刷(P)											
閉じる											
前画面											
次画面											
単位既定値											
数量シミュレーション対象 単価印字			数量シミュレーション対象 単価印字			数量シミュレーション対象 単価印字			数量シミュレーション対象 単価印字		
1	m	対象 する	26	株	対象 する	51		対象 する	76		対象 する
2	m ²	対象 する	27	段	対象外 する	52		対象 する	77		対象 する
3	m ³	対象 する	28	巻	対象外 する	53		対象 する	78		対象 する
4	か所	対象外 する	29	回	対象外 する	54		対象 する	79		対象 する
5	式	対象外 しない	30	リットル	対象 する	55		対象 する	80		対象 する
6	個	対象外 する	31	戸	対象外 する	56		対象 する	81		対象 する
7	枚	対象外 する	32	室	対象外 する	57		対象 する	82		対象 する
8	本	対象外 する	33		対象 する	58		対象 する	83		対象 する
9	台	対象外 する	34		対象 する	59		対象 する	84		対象 する
10	組	対象外 する	35		対象 する	60		対象 する	85		対象 する
11	t	対象 する	36		対象 する	61		対象 する	86		対象 する
12	kg	対象 する	37		対象 する	62		対象 する	87		対象 する
13	基	対象外 する	38		対象 する	63		対象 する	88		対象 する
14	袋	対象外 する	39		対象 する	64		対象 する	89		対象 する
15	台月	対象 する	40		対象 する	65		対象 する	90		対象 する
16	台日	対象 する	41		対象 する	66		対象 する	91		対象 する
17	月	対象 する	42		対象 する	67		対象 する	92		対象 する
18	日	対象 する	43		対象 する	68		対象 する	93		対象 する
19	人	対象外 する	44		対象 する	69		対象 する	94		対象 する
20	人月	対象 する	45		対象 する	70		対象 する	95		対象 する
21	人日	対象 する	46		対象 する	71		対象 する	96		対象 する
22	帖	対象外 する	47		対象 する	72		対象 する	97		対象 する
23	件	対象外 する	48		対象 する	73		対象 する	98		対象 する
24	棟	対象外 する	49		対象 する	74		対象 する	99		対象 する
25	石	対象 する	50		対象 する	75		対象 する			

外部入出力を含み新規で物件を作成したときの単位マスタ既定値となります。

これら内容は、物件ごとに変更できます。

数量シミュレーション対象とは、物件の編集において単位をマスタ参照、コード入力、またはコード編集で単位コードを入力した場合、該当の単位コードが「対象外」の場合、その行の数量はシミュレーションしません。

単価印字とは、物件の編集において単位をマスタ参照、コード入力、またはコード編集で単位コードを入力した場合、該当の単位コードが「しない」の場合、印刷する数量が「1」または「-1」のとき単価を印刷しません。

c. 番号テーブルマスタ

集計階層名称の左側に印刷される番号のマスタです。

番号テーブルマスタ



編集する番号タイプを選択して、番号（半角6文字）、
頁符号（半角6文字）を入力します。

タイトルを変更する場合、[タイトル] ボタンをクリックして下
さい。

新規で番号タイプを作成する場合、番号タイトル入力後、編集を
おこなって下さい。

[印刷(P)] メニューでプレビューと印刷がおこなえます。

終了する場合、[ファイル(F)] メニューで終了して下さい。

頁符号とは、印刷条件において頁タイプを「第1階層符号+連番」
とした場合に、第2階層からの頁に印刷する符号です。

e. COMPASS連動

Compass 連動は、COMPASS のデータを取り込む(標準 TXT 入力、COMPASS データ変換入力)際に種目・科目・集計コードを使用し、工程・原価要素に自動でコードをセットする機能です。物件一覧画面の[マスター管理(M)]メニュー、[メンテナンス(M)]の[Compass 連動]を選択して下さい。

The image shows two screenshots of a software dialog box titled "Compass連動 工程・要素自動セット". Both screenshots display a table with columns for "Compass 種目・科目・集計コード", "工程コード", "工程名称", "原価コード", "原価要素名称", and "出力順".

The top screenshot shows the following data:

番号	Compass 種目	Compass 科目	Compass 集計コード	工程コード	工程名称	原価コード	原価要素名称	出力順
1	01	000	000	10100	準備費	10100	準備費	10
2	01	001	000	10200	仮設物費	10200	仮設物費	20
3	01	002	000	10300	安全費	10300	安全費	30
4	01	002	001	10400	動力用水光熱費	10400	動力用水光熱費	40
5	01	002	002	10500	試験調査費	10500	試験調査費	50
6	01	002	003	10600	整理清掃費	10600	整理清掃費	60
7								70
8								80

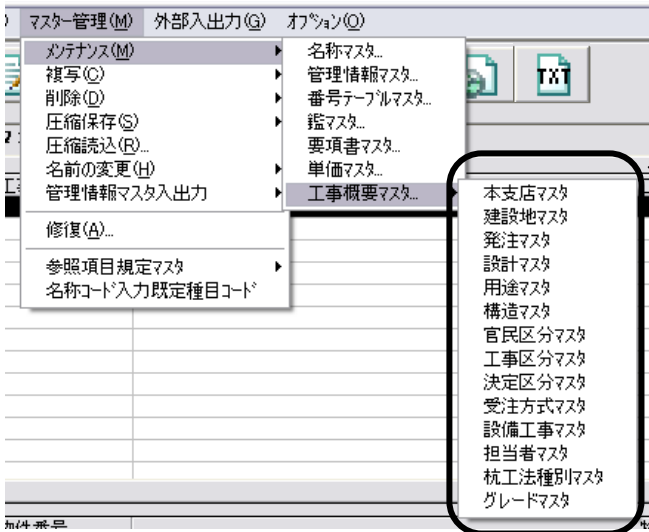
The bottom screenshot shows the same table, but with the last two rows (rows 5 and 6) highlighted in yellow, indicating they are selected or active.

上記画面で設定したデータで取り込みを行った場合、COMPASS で種目コード「01」、科目コード「002」集計コードが「001」のデータは工程コードに「10400」、原価要素コードに「10400」が自動で割り振られます。

f. 工事概要マスタ

工事概要マスタのメンテナンスをおこないます。

工事概要マスタ一覧

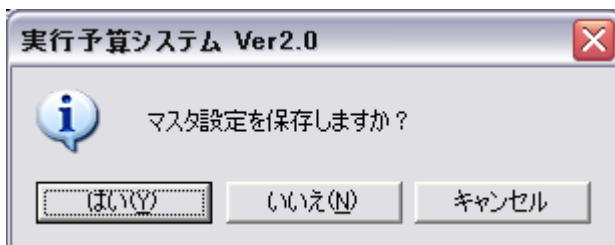


工事概要マスタ



[マスター管理(M)]メニューの[メンテナンス(M)]→[工事概要マスタ]の中からメンテナンスしたいマスタを実行すると上記の画面が表示されます。

名称に入力して、[ファイル(F)]メニューの[終了]または右上の×ボタンをクリックして下さい。保存を確認するメッセージが表示されます。



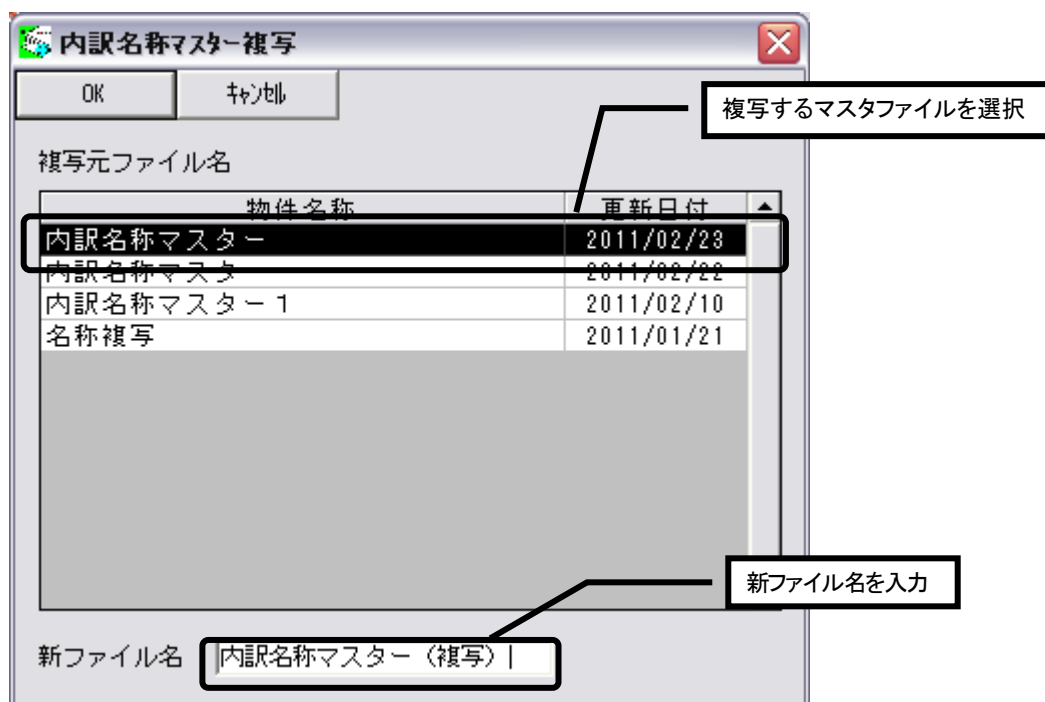
[はい(Y)]をクリックした場合、マスタ設定を保存してメインメニューに戻ります。

[いいえ(N)]をクリックした場合、マスタ設定を保存せずにメインメニューに戻ります。

②複写

内訳名称マスタ、単価マスタファイルを複写します。

a. 内訳名称マスタ



[マスタ管理] メニューの [複写(C)] [内訳名称マスタ] をクリックします。

複写するマスタファイルを選択後、新ファイル名を入力します。

[OK] ボタンをクリックすると、複写をおこないます。

b. 単価マスタ

[マスタ管理] メニューの [複写(C)] [単価マスタ] をクリックします。

以下操作につきましては「a. 内訳名称マスタ」と同様です。

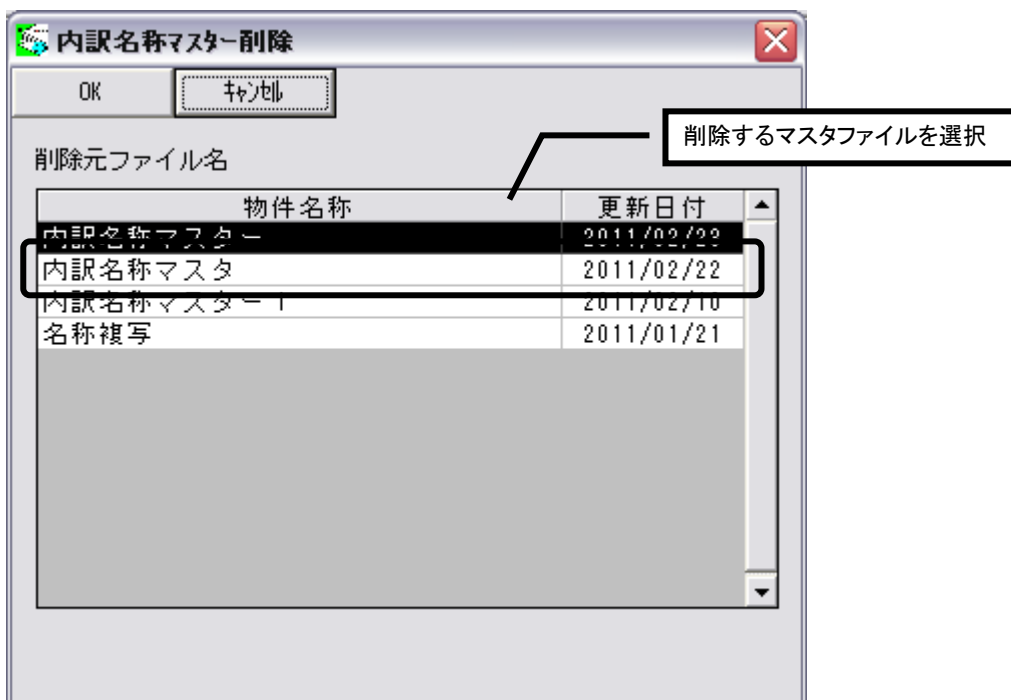
<ポイント>

- ・ 新ファイル名は半角80文字まで入力可能です。

③削除

内訳名称マスタ、単価マスタファイルを削除します。

a. 内訳名称マスタ



[マスタ管理] メニューの [削除(D)] [内訳名称マスタ] をクリックします。

削除するマスタファイルを選択後、[OK] ボタンをクリックすると、削除をおこないます。

b. 単価マスタ

[マスタ管理] メニューの [削除(D)] [単価マスタ] をクリックします。

以下操作につきましては「a. 内訳名称マスタ」と同様です。

<ポイント>

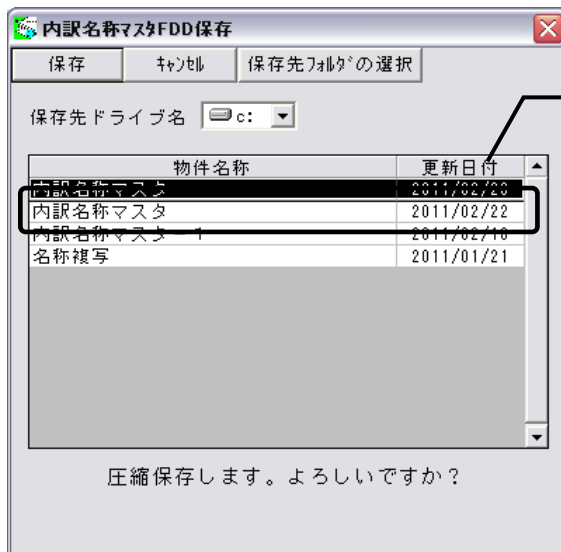
・物理的にファイルを削除します。

④圧縮保存

内訳名称マスタ、単価マスタファイルを圧縮保存ファイルとして出力します。

a. 内訳名称マスタ

[マスタ管理] メニューの [圧縮保存(S)] [内訳名称マスタ] をクリックします。



圧縮保存するマスタファイルを選択後、
[保存]をクリック

圧縮保存します。よろしいですか？

[保存] をクリックすると<複写中>、<圧縮>メッセージ表示され、以下の画面になります。



b. 単価マスタ

[マスタ管理] メニューの [圧縮保存(S)] [単価マスタ] をクリックします。

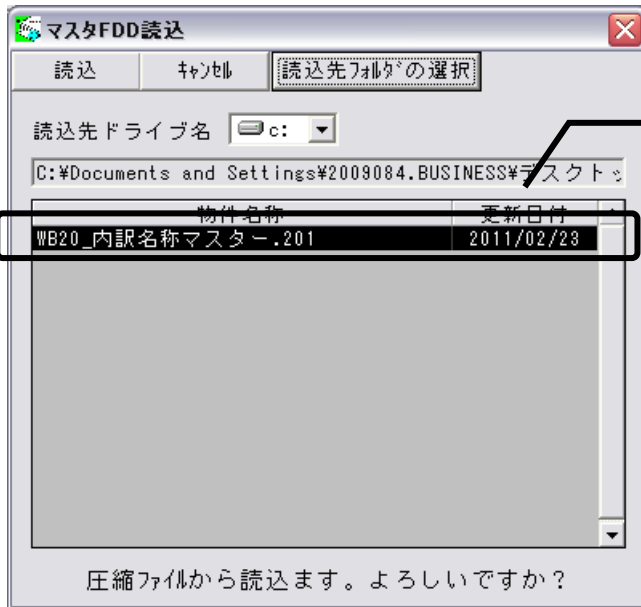
以下操作につきましては「a. 内訳名称マスタ」と同様です。

<ポイント>

- ・圧縮保存の処理は、マスタファイルを自動圧縮してコピーしています。
作成されるファイルの拡張子は、内訳名称マスタ：201、単価マスタ：301。
実際のハードディスク上に存在する物件ファイルの10分の1程度の容量でファイルが作成されます。
- ・圧縮保存で作成したファイルは、識別用としてファイル名の先頭4文字が「WL20_」となります。

⑤圧縮読込

圧縮保存(S)で保存した、内訳名称マスタ、単価マスタファイルをハードディスクに読み込みます。
[マスタ管理]メニューの[圧縮読込(R)]をクリックします。



読み込むファイルを選択。
ファイル名の先頭は必ず「WL20_」。
内訳名称マスタのとき拡張子 20*を
単価マスタのとき拡張子 30*を選択。

フロッピーをセット後、読み込みたいファイルを選択し、[読込]をクリックします。
しばらくしますと、以下の画面になります。



[いいえ]を選択。

[はい] または [いいえ] を選択すると<解凍><複写>メッセージが表示され、
以下の画面になります。



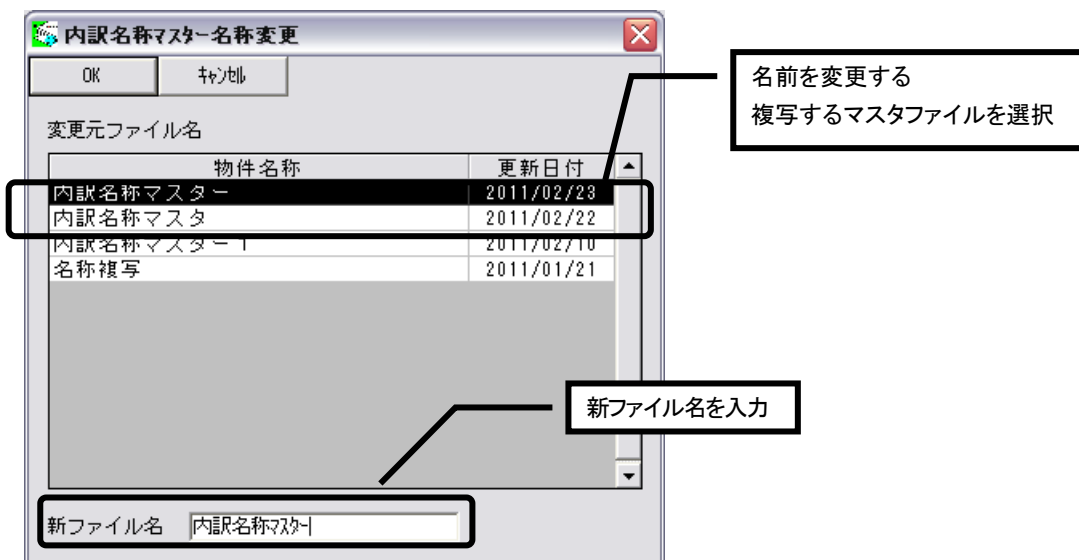
<ポイント>

- ・圧縮読込の処理は、圧縮保存(S)で作成したファイルを自動解凍しながら登録するものです。
- ・圧縮保存で作成したファイルのファイル名を変更した場合、正常に処理されない場合があります。
圧縮保存で指定するファイルは、必ず「WL20_」で始まるファイル名としてください。
- ・既に同一のマスタファイル名が存在する場合、上書き確認メッセージが表示されます。ハードディスクにあるマスタファイルを上書きしてよい場合[はい]を、処理を中止する場合 [いいえ] をクリックしてください。

⑥名前の変更

内訳名称マスタ、単価マスタファイルのファイル名を変更します。

a. 内訳名称マスタ



[マスタ管理] メニューの [名前の変更(H)] [内訳名称マスタ] をクリックします。

名前を変更するマスタファイルを選択後、新ファイル名を入力します。

[OK] ボタンをクリックすると、名前の変更をおこないます。

b. 単価マスタ

[マスタ管理] メニューの [名前の変更(H)] [単価マスタ] をクリックします。

以下操作につきましては「a. 内訳名称マスタ」と同様です。

<ポイント>

- ・ 新ファイル名は半角80文字まで入力可能です。

⑦修復

内訳名称マスタ、単価マスタにおいて一覧に表示されているにも関わらず、使用できないファイルがある場合、おこないます。



[マスタ管理] メニューの [修復(A)] をクリックします。

[はい] ボタンをクリックすると修復を実行します。

⑧参照項目既定マスタ

a. 集計階層・名称

外部入出力を含み新規で物件を作成したとき、集計階層・名称においてマスタ参照した場合に表示する名称マスタの分類およびコード入力した場合に検索する名称マスタの分類既定値となります。

参照項目既定マスタ

SEQ	下	名	単価マスタ登録	規格	数量	1	単位	1	単価	1	金額	1
1		直接仮設工事			1	:	式		0		9,514,893	
2		土工事			1	:	式		0		928,729	
3		杭地業工事			1	:	式		0		15,598,003	
4		コンクリート工事			1	:	式		0		17,555,217	
5		型枠工事			1	:	式		0		23,870,811	
6		鉄筋工事			1	:	式		0		23,869,997	
7		既製コンクリート工事			1	:	式		0		88,005	
8		防水工事			1	:	式		0		3,189,977	
9		石工事			1	:	式		0		2,199,973	

集計階層・名称のとき、種目、科目、集計、分類、タイプ、及び部屋マスタから選択します。

b. 明細、別紙明細階層部位

外部入出力を含み新規で物件を作成したとき、明細、別紙明細階層・部位においてマスタ参照した場合に表示する名称マスタの分類およびコード入力した場合に検索する名称マスタの分類既定値となります。
部位、タイプ、及び部屋マスタから選択します。

<ポイント>

- ・単位項目で参照されるマスタは単位マスタになります。
- ・明細、別紙明細階層の名称（材料）及び規格で参照されるマスタは、材料及び規格マスタになります。

⑨明細コード入力既定種目コード

外部入出力を含み新規で物件を作成したとき、明細、別紙明細階層において名称及び規格のコード入力の際、親となる種目コードの既定値となります。

明細コード入力既定種目コード

実行予算システム Ver2.0 種目コ...

種目コード 20

OK

キャンセル

(6) 外部入出力 (G) の機能

外部入出力では以下の処理がおこなえます。

- ①標準T X T入力
- ②E X C E Lマスタ変換入出力
- ③B C S入出力
- ④E X C E Lファイル入力

ここでは、メニューの順に従いまして①から順に説明します。

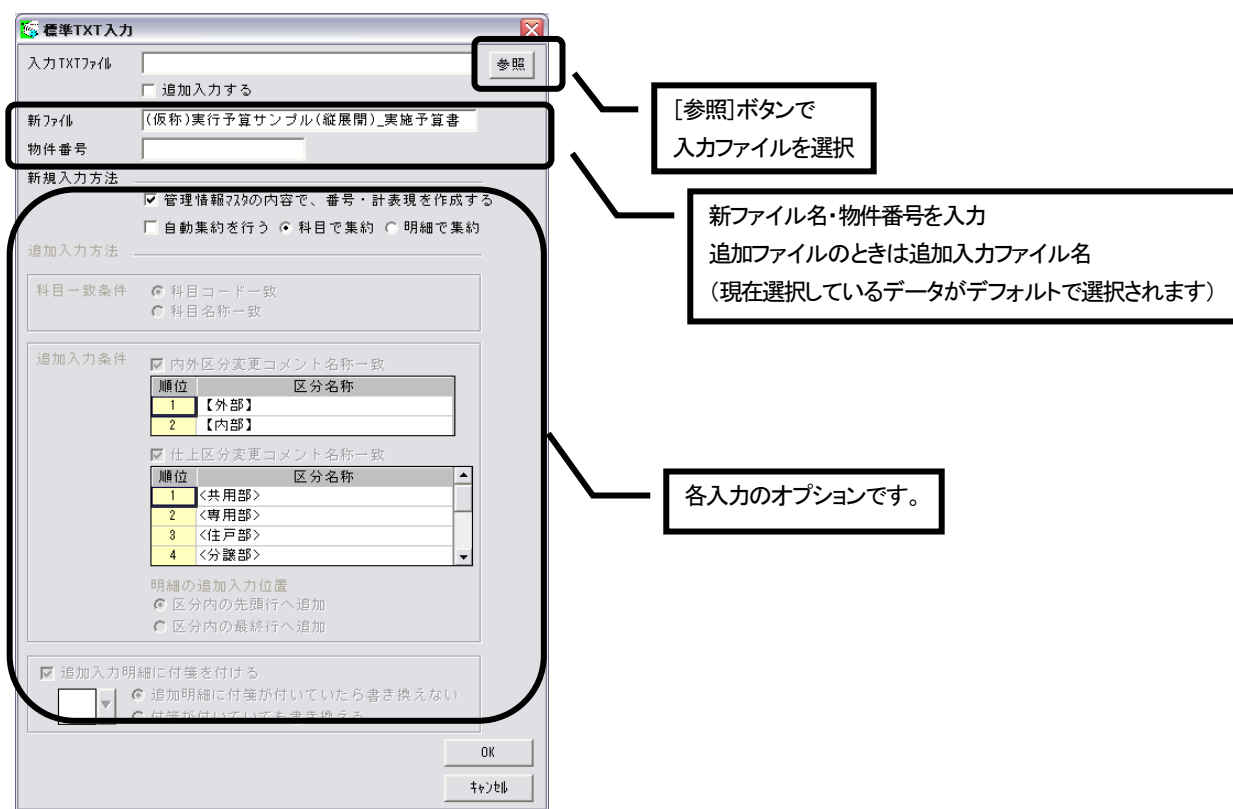
①標準T X T入力

物件編集時の [ファイル(F)] メニュー [T X T出力] で作成した標準T X Tファイル、またはこのファイルレイアウトに則ったT X Tファイルを新規物件データとして取り込みます。

また、FKS RCシステムVer. 3~Ver. 9、FKS 仕上システムVer. 3~Ver. 8で作成したCOMPASS標準T X Tファイルおよび、実行予算標準T X Tファイルを取り込みます。

COMPASS標準T X TはVer. 1形式 ~ Ver. 7形式いずれの取り込みが可能です。

COMPASS標準T X T入力



[外部入出力] メニューの [標準T X T入力] を選択すると、上記の画面が表示されます。

以下の情報を入力して [OK] ボタンをクリックして下さい。

- ・入力T X Tファイル：COMPASS標準テキストファイルのファイル名を [参照] ボタンを使用して入力します。
- ・追加入力チェック：取り込んだデータを既存の物件データに追加する場合チェックをつけます。
- ・新ファイル名/追加入力ファイル名：新ファイルのときは入力ファイルから作成される新規物件ファイル名を入力します。追加入力ファイルのときは追加入力するファイル名を入力します。
- ・自動集約を行う：自動で階層を作り、コード毎に集約する機能です。

対応するコードが存在しない場合、対象の階層に「その他」として作成されます。

- ・科目で集約を選択した場合
明細データの親である集計階層のコードで振分けされます。
- ・明細で集約を選択した場合
明細データ自身のコードで振分けされます。
- ・科目、明細で集約の共通処理
明細を持たない集計階層のデータはデータ自身のコードで振分けされます。
別紙明細は親である明細データに付随して取り込まれます。

[OK] ボタンをクリックすると、TXTファイルからデータを取り込みます。

正常終了すると、物件一覧（メインメニュー）に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、処理はおこなわずメインメニューに戻ります。

前頁に示しました画面の入力TXTファイル横にある[参照] ボタンをクリックすると、上記の画面が表示されます。入力TXTファイルを選択し、[開く(O)] ボタンをクリックして下さい。

COMPASS標準TXT入力画面に戻り、選択しましたファイル名が入力TXTファイルに表示されます。

追加入力にチェックをつけた場合は、追加入力ファイル名に追加させたい物件ファイル名を入力してください。

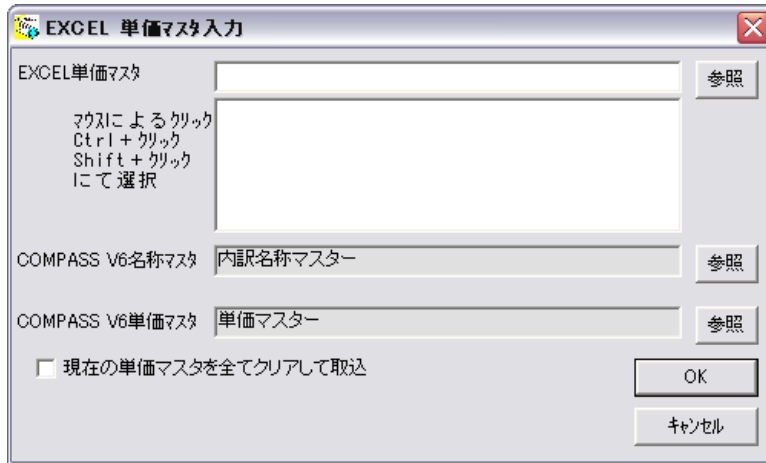
<ポイント>

- ・物件一覧において、物件ファイルが存在する行を選択して外部入出力をおこなった場合、新ファイルには選択した物件工事名称が入力されます。この状態で新ファイル名を変更せず実行した場合、上書き確認が表示されます。上書きで実行した場合は、以前の内容は削除され、入力した内容で内訳書が作成されます。
- ・作成される物件データは、集計階層、明細、別紙明細階層のデータです。鑑、要項書、及びその他の設定は管理情報の内容になります。
- ・標準TXTファイルを作成する物件編集時のTXT出力では、標準TXTファイルの既定ファイル名を、COMPASSのバージョンが
Ver. 7形式のとき「CPSTDW7. TXT」
Ver. 6形式のとき「CPSTDW6. TXT」
Ver. 5形式のとき「CPSTDW5. TXT」
Ver. 4形式のとき「CPSTDW4. TXT」
Ver. 3形式のとき「CPSTDW3. TXT」
Ver. 2形式のとき「CPSTDW2. TXT」
Ver. 1形式のとき「CPSTDW1. TXT」としています。
また、実行予算標準TXTファイルは、「CPJYSTDW2. TXT」としています。
出力時にファイル名の変更は可能ですが、変更する場合には形式も判断できる分かりやすいファイル名で出力することをおすすめします。
- ・FKS RCシステムVer. 3~Ver. 9及びFKS 仕上システムVer. 3~Ver. 8からのデータ連動は、COMPASS標準TXTを使用しておこないます。
各システムにて、[外部入出力] により標準TXTファイルを作成後、COMPASS標準TXT入力をおこなって下さい。

② EXCELマスタ変換入出力

a. EXCELマスタ変換入力

EXCEL単価マスタ変換画面



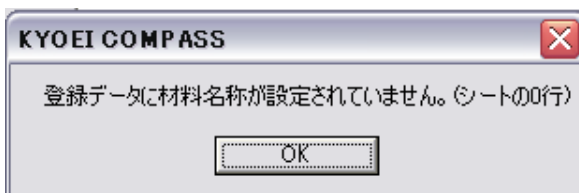
EXCEL単価マスタは参照ボタンより該当するファイルを設定します。
名称マスタ及び単価マスタは環境設定で設定された既定値が表示されます。
名称マスタには、新規に発生した部位名称、材料名称、規格名称、単位名称が自動登録されます。
また、単価マスタには、新規の場合追加登録され、既にある場合は単価が更新されます。

1. 単価登録の実行



2. エラー表示について

種目、科目コードが設定されていない場合は次のメッセージが表示されます。
EXCEL単価登録シートに種目、科目コードの設定を行い、再実行して下さい。



Excel単価マスタ例

種目コード	種目名称	科目コード	科目名称	部位名称	材料名称上	材料名称下	規格名称上	規格名称下	単位名称	単価 A	単価 B	単価 C	単価 D
		00097	金瓶工事		アルミ手摺上	アルミ手摺下	H≦200 水平部 シルバー 上	H≦200 水平部 シルバー 下	m	3,750			
							H≦200 水平部 カラー 上	H≦200 水平部 カラー 下	m	4,100			
							H≦200 バイブ 水平部 上	H≦200 バイブ 水平部 下	m	4,000			

b. EXCELマスタ変換出力



EXCEL単価マスタのエクセルファイルを出力します。
参照で出力場所を指定します。

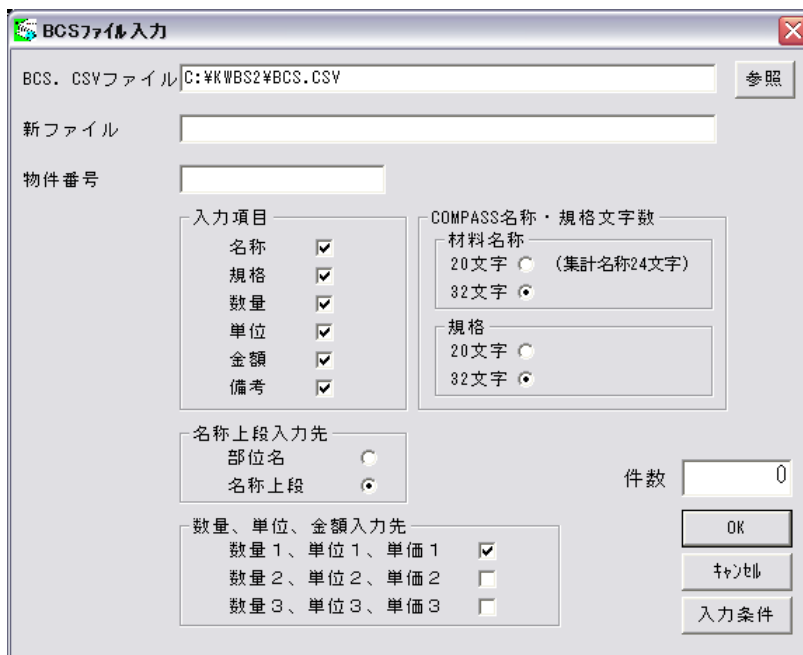
③BCS入出力

BCS. CSVファイル仕様に則ったCSVファイルと、本システムの物件データとの入出力をおこないます。BCSファイルとの入出力をおこなう場合、数々の注意事項があります。
入力、出力ともに後述いたします、<ポイント>を一読の上、使用して下さい。

a. BCSファイル入力

BCS. CSVファイル仕様に則ったCSVファイルから、物件データを新規に作成します。

BCSファイル入力



物件一覧で物件ファイルが存在しない行を選択した状態で、

[外部入出力] メニューの [BCS入出力] → [入力] を選択すると、上記の画面が表示されます。
以下の情報を入力して [OK] ボタンをクリックして下さい。

- ・ BCS. CSVファイル

入力ファイルとなるBCS. CSVファイルのファイル名を [参照] ボタンを使用して入力します。
入力するとBCSファイルから工事名称を取得し自動で新ファイル名が入力されます。

- ・ 新ファイル

本システムで新規に作成するファイル名を直接入力します。

各項目を設定して [OK] ボタンをクリックします。(入力条件については後述します)

処理中は読み込んだBCSファイルのレコード件数が表示されます。

すべてのデータが正常に入力後、再計算をおこないます。

正常終了すると、物件一覧 (メインメニュー) に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、処理はおこなわずメインメニューに戻ります。

項目説明

- ・ BCS. CSVファイル

入力ファイルとなるBCSファイル名をフルパスで入力します。

既定値は本システムがセットアップしてあるドライブの「¥KWBLY¥BCS. CSV」です。

また、[参照] ボタンをクリックすると「CSVファイルを選択」が表示され、ドライブ、フォルダおよびファイルを選択することもできます。

(この項目は [参照] ボタンを使用しての入力をおすすめします。)

- ・ 新ファイル

本システムで新規作成されるファイル名を入力します。

同一のファイル名が存在した場合は、[OK] ボタンをクリック後、確認メッセージが表示されます。

- ・ 入力項目

BCSファイルから入力する項目を指定します。ここでチェックのない項目は、本システムに入力されません。例えば、備考が不要であれば、備考のチェックをOFFにすると、たとえBCSファイルの備考に記入があっても、入力しません。

- ・ 数量、単位、金額入力先

BCSファイルの数量、単位、単価 (金額) を入力する項目を指定します。ここで

チェックをOFFにするとその単価番号には、数量、単位および単価は入力しません。

例えば、数量1、単位1、単価1のみに入力したい場合は、数量2、単位2、単価2及び数量3、単位3、単価3のチェックをOFFにします。

- ・ 名称上段入力先

BCSファイルの上段名称データを本システムでは部位に入力するか、名称上段に入力するかを、選択します。詳細につきましては<ポイント>をご覧ください。

- ・ COMPASS名称・規格文字数

本システムでの集計階層名称、規格、明細・別紙明細材料名称、規格の文字数を指定します。

- ・ [入力条件] ボタンについて

BCS. CSV仕様では、名称、規格が32文字まで入力可能となっています。

本システムにつきましては、これら項目の文字数は、20文字、32文字の選択が可能となっております。

す。20文字としたとき、BCS. CSVファイルからこれら項目を取り込んだときに、20文字以降の内

容が取り込めないこととなります。このようなことを想定し、入力条件を設定することで20文字以降を取り込むための機能です。（各項目設定内容の説明は次頁）

BCSファイル入力 入力条件画面（基本設定）

入力条件画面項目説明

集計階層

・名称

BCS、CSV下段名称から集計階層名称に取り込む条件を選択します。

標準取り込み：BCS、CSV下段名称をそのまま取り込みます。COMPASSの集計名称文字数を24文字としている場合、24文字以降はカットされます。

無条件にスペースをカット：

BCS、CSV下段名称からスペースをカットして取り込みます。本システムの集計名称文字数を24文字としている場合、スペースをカットした文字数が24文字を超えるようなデータは、24文字以降カットされます。

24文字を超えた場合スペースをカット：

BCS、CSV下段名称が、24文字を超えている場合、スペースをカットして取り込みます。24文字以下の場合、そのまま取り込みます。本システムの集計名称文字数を24文字としている場合、スペースをカットした文字数が24文字を超えるようなデータは、24文字以降カットされます。

・規格

BCS、CSV下段仕様から集計階層規格に取り込む条件を選択します。

標準取り込み：BCS、CSV下段仕様をそのまま取り込みます。本システムの規格文字数を20文字としている場合、20文字以降はカットされます。

無条件にスペースをカット：

BCS、CSV下段仕様からスペースをカットして取り込みます。本システムの規格文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるような

データは、20文字以降カットされます。

24文字を超えた場合スペースをカット：

BCS、CSV下段仕様が、20文字を超えている場合、スペースをカットして取り込みます。20文字以下の場合、そのまま取り込みます。本システムの規格文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、20文字以降カットされます。

明細・別紙明細階層

・BCS上段名称 入力先

BCS、CSV上段名称の本システムにおける取込先項目と、その取り込み条件を指定します。

部位名有的时候

標準取り込み：BCS、CSV上段名称をそのまま取り込みます。24文字以降はカットされます。

無条件にスペースをカット：

BCS、CSV上段名称からスペースをカットして取り込みます。スペースをカットした文字数が24文字を超えるようなデータは、24文字以降カットされます。

24文字を超えた場合スペースをカット：

BCS、CSV上段名称が、24文字を超えている場合、スペースをカットして取り込みます。24文字以下の場合、そのまま取り込みます。スペースをカットした文字数が24文字を超えるようなデータは、24文字以降カットされます。

名称上段のとき

標準取り込み：BCS、CSV上段名称をそのまま取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、20文字以降はカットされます。

無条件にスペースをカット：

BCS、CSV上段名称からスペースをカットして取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、20文字以降カットされます。

20文字を超えた場合スペースをカット：

BCS、CSV上段名称が、20文字を超えている場合、スペースをカットして取り込みます。20文字以下の場合、そのまま取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、20文字以降カットされます。

・BCS下段名称 入力先：名称下段

BCS、CSV下段名称は基本的には本システムの名称下段に取り込まれます。

このときの取り込み条件を指定します。

標準取り込み：BCS、CSV下段名称をそのまま取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、20文字以降はカットされます。

無条件にスペースをカット

さらに20文字を超えた場合

コメント行を次行に発生：

BCS、CSV下段名称からスペースをカットして取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、次行にコメント行を発生させ20文字以降をコメント行の名称上段に取り込みます。

名称上下段に分割：

BCS. CSV下段名称からスペースをカットして取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、名称上下段に分割して取り込みます。

この条件が使用できるのは、BCS. CSV上段名称を部位名として取り込むとしている場合です。

20文字を超えた場合スペースをカット

さらに20文字を超えた場合

コメント行を次行に発生：

BCS. CSV下段名称が、20文字を超えている場合、スペースをカットして取り込みます。20文字以下の場合、そのまま取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、次行にコメント行を発生させ20文字以降をコメント行の名称上段に取り込みます。

名称上下段に分割：

BCS. CSV下段名称が、20文字を超えている場合、スペースをカットして取り込みます。20文字以下の場合、そのまま取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、名称上下段に分割して取り込みます。

この条件が使用できるのは、BCS. CSV上段名称を部位名として取り込むとしている場合です。

スペースはカットせず20文字を超えた場合

コメント行を次行に発生：

BCS. CSV下段名称が、20文字以下の場合、そのまま取り込みます。20文字を超えている、かつ本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、次行にコメント行を発生させ20文字以降をコメント行の名称上段に取り込みます。

名称上下段に分割：

BCS. CSV下段名称が、20文字以下の場合、そのまま取り込みます。20文字を超えている、かつ本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、名称上下段に分割して取り込みます。

この条件が使用できるのは、BCS. CSV上段名称を部位名として取り込むとしている場合です。

・規格

BCS. CSV下段仕様、上段仕様から明細・別紙明細規格に取り込む条件を選択します。

BCS. CSV下段仕様、上段仕様は、それぞれ基本的には本システムの規格下段、規格上段に取り込まれます。

このときの取り込み条件を指定します。

標準取り込み：BCS. CSV下段仕様、上段仕様をそのまま取り込みます。本システムの規格文字数を20文字としている場合、20文字以降はカットされます。

無条件にスペースをカット

さらに20文字を超えた場合

規格上下段に分割しコメント行を次行に発生：

BCS. CSV下段仕様、上段仕様からスペースをカットして取り込みます。本システムの材料名称文字数を20文字としている場合、スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、BCS. CSV下段仕様、上段仕様を合成して規格上下段に分割して取り込みます。上下段位分割してもBCS. CSVのすべての文字数を取り込まない場合、次行にコメント行を発生させ、コメント行の規格上段に取り込みます。

20文字を超えた場合スペースをカット

さらに20文字を超えた場合

規格上下段に分割しコメント行を次行に発生：

BCS、CSV下段仕様、上段仕様が、20文字を超えている場合、スペースをカットして取り込みます。20文字以下の場合、そのまま取り込みます。スペースをカットした文字数が20文字を超えるようなデータは、BCS、CSV下段仕様、上段仕様を合成して規格上下段に分割して取り込みます。上下段位分割してもBCS、CSVのすべての文字数を取り込めない場合、次行にコメント行を発生させ、コメント行の規格上段に取り込みます。

スペースはカットせず20文字を超えた場合

規格上下段に分割しコメント行を次行に発生：

文字数が20文字を超えるようなデータは、BCS、CSV下段仕様、上段仕様を合成して規格上下段に分割して取り込みます。上下段位分割してもBCS、CSVのすべての文字数を取り込めない場合、次行にコメント行を発生させ、コメント行の規格上段に取り込みます。

・確認メッセージ

入力条件で設定された条件により、BCSファイルから、集計階層名称、集計階層規格、明細・別紙明細材料名称および明細・別紙明細規格の各項目において、取り込めなかった文字が発生した場合、メッセージを表示します。

<ポイント>—入力をおこなう場合、必ずご一読下さい

・エラーデータの扱い

BCSファイルを1レコードずつ読み込み、エラーチェックをおこなっています。問題のあるデータを読み込んだ時点で、そのレコード行数と、エラー内容が表示されます。内容を確認して[OK]をクリックして下さい。エラーが発生する前のデータまで、物件は作成されます。ただし、再計算をおこなっていないため、金額計算はされていません。このようなデータをCOMPASSで使用する場合は、物件を開いた後に、[明細]メニューの[再計算]を実行して下さい。

・名称、規格、備考の文字数制限

BCSファイルにおいて名称は上下段各32文字、規格(仕様)は上下段各30文字、備考は上下段各16文字です。COMPASSに取り込む際の入力条件によっては、入力文字が削除される場合があります。

・上段名称、下段名称の扱い

BCSファイルでは部位という考え方ありません。従いまして、入力する場合、上段名称を部位として入力するか、名称上段として入力するか選択していただきます。

・数量の小数桁につきました

数量の小数桁表現については、BCSファイルの入力データをそのまま採用します。例えば、同じ「1」という数値でも、数量項目に「1」または「1.」と入力されていれば、COMPASSでも「1」となります。「1.0」と入力されていれば「1.0」となります。

・最大階層構造につきました

BCSファイルでは最大、集計7階層、それに続く明細1階層、さらに代価、別紙、またはエレメント1階層の9階層作成することが可能です。

本システムにおいては、最大16階層のため、9層構造まで使用している場合でも、そのBCSのデータを入力することができます。

・階層毎の最大件数

BCSファイルでは、階層ごとの最大行数が明確にされていません。

本システムにおいては、集計階層は99行、明細および別紙明細階層は3000行です。これらの行数を超えるデータは入力できません。

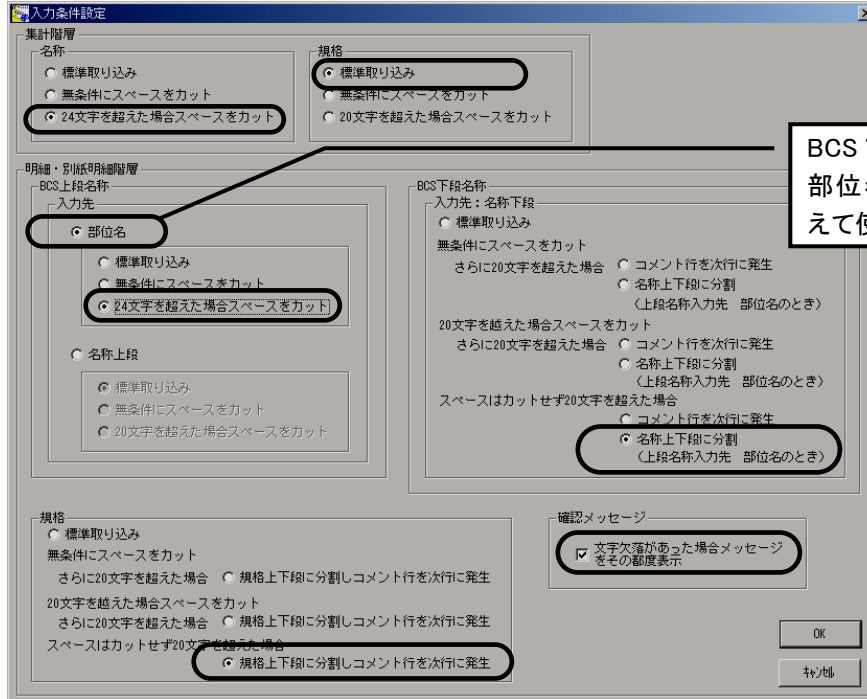
・入力条件の設定内容について

入力条件はクライアントシステム毎で内容を保持しています。同条件で入力をおこなう場合、クライアント毎で設定して下さい。

・推奨する入力条件

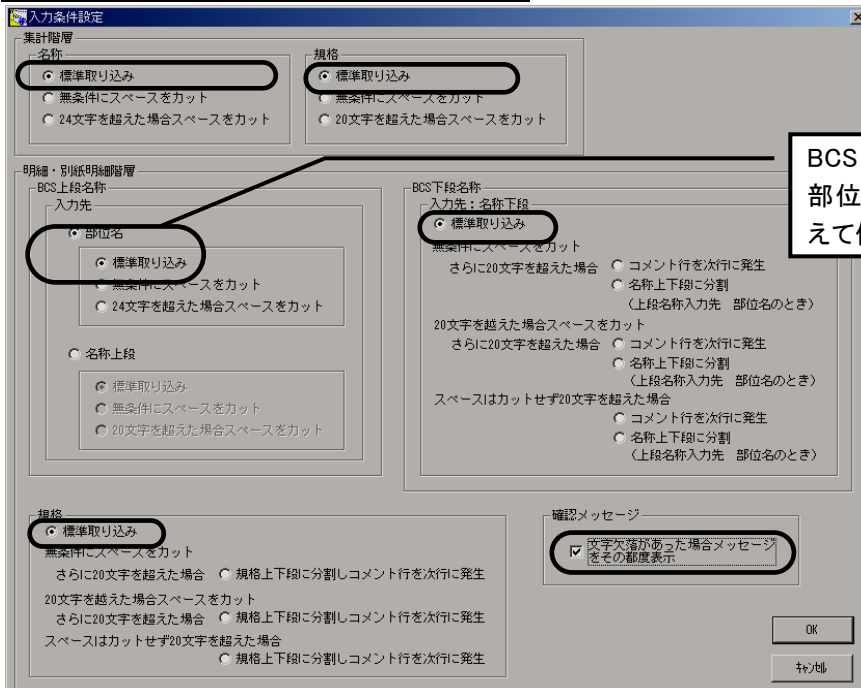
本システムにの取り込む際の入力条件は、以下の条件を推奨します。

材料名称：20文字（集計階層名称は24文字） 規格：20文字のとき



BCSファイルの内容により、明細・別紙明細階層、BCS上段名称入力先は部位名と名称上段を使い分けて下さい。名称上段とした場合、「20文字を超えた場合スペースをカット」を推奨します。またこの場合、入力先名称下段は「スペースはカットせず20文字を超えた場合、コメント行を次行に発生」を推奨します。

材料名称：32文字 規格名称：32文字のとき



材料名称、規格とも32文字を選択した場合、入力条件は「標準取り込み」を推奨します。

BCSファイルの内容により、明細・別紙明細階層、BCS上段名称入力先は部位名と名称上段を使い分けて下さい。名称上段とした場合も、「標準取り込み」を推奨します。

またこの場合、入力先名称下段も「標準取り込み」を推奨します。

b. BCSファイル出力

本システムの物件ファイルをBCS、CSVファイル仕様に則ったCSVファイルに出力します。

BCSファイル出力

物件ファイル (仮称)実行予算サンプル(横展開)

BCS、CSVファイル C:*KWBS2*BCS.CSV 参照

工事名称 サンプル(仮称)実行予算サンプル(横展開)

出力項目

名称	<input checked="" type="checkbox"/>
規格	<input checked="" type="checkbox"/>
数量	<input checked="" type="checkbox"/>
単位	<input checked="" type="checkbox"/>
金額	<input checked="" type="checkbox"/>
備考	<input checked="" type="checkbox"/>

出力数量、単位、金額、備考

数量1、単位1、単価1、備考1

数量2、単位2、単価2、備考2

数量3、単位3、単価3、備考3

文字列項目

「”」付出力

「”」無出力

出力文字数制限

集計階層名称は24文字
明細・別紙階層名称は20文字で出力する

集計階層規格は20文字
明細・別紙階層規格は20文字で出力する

件数 0

OK

キャンセル

物件一覧で物件ファイルが存在する行を選択した状態で、

[外部入出力] メニューの [BCS入出力] → [出力] を選択すると、上記の画面が表示されます。

以下の情報を入力して [OK] ボタンをクリックして下さい。

- ・物件ファイル
出力する本システムの物件ファイル名が表示されます。
- ・BCS、CSVファイル
作成するBCS、CSVファイルのファイル名を [参照] ボタンを使用して入力します。
- ・工事名称
出力する工事名称をコンボボックスで選択または直接入力します。

各項目を設定して [OK] ボタンをクリックします。

処理中は読み込んだ物件ファイルのレコード件数が表示されます。

すべてのデータが正常に出力後、出力確認が表示されます。出力する場合は [OK] ボタンをクリックします。

正常終了すると、物件一覧 (メインメニュー) に戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、処理はおこなわずメインメニューに戻ります。

項目説明

- ・物件ファイル

物件一覧で選択した工事名称が表示されます。(変更不可)

- ・ BCS. CSVファイル

出力ファイルとなるBCSファイル名をフルパスで入力します。

規定値は本システムがインストールしてあるドライブの「%KNBL%\BCS. CSV」です。

また、[参照] ボタンをクリックすると、「CSVファイル」画面が表示されます。ここで、ドライブ、フォルダおよびファイル名を直接指定することもできます。

同一のファイル名が存在した場合は、[OK] ボタンをクリック後、確認メッセージが表示されます。

- ・ 工事名称

出力する工事名称を入力します。

コンボボックスには工事概要名称、物件名称、工事概要名称+物件名称が登録されています。また、工事名称を直接入力することもできます。

- ・ 出力数量、単位、単価

COMPASSの3つある数量、単位、単価(金額)、備考の組み合わせうち、どの単価番号のものを出力するか、選択します。例えば、数量2、単位2、単価2(金額2)、備考2を出力する場合、この項目を選択します。

- ・ 出力項目

出力する項目を指定します。ここでチェックのない項目は、BCSファイルに出力しません。例えば、備考が不要であれば、備考のチェックをOFFにすると、たとえ本システムで備考に入力があっても、出力しません。

- ・ 文字列項目

BCSファイルの文字列項目を「”」(ダブルコーテーション、引用符)で囲むレイアウトにするか、しないかを指定します。BCSファイル仕様において、文字列項目はダブルコーテーションで囲む、囲まないはどちらも許されています。囲んだ場合に比べ囲まなかった場合は、作成されるBCSファイルの容量は少なくなります。

- ・ 出力文字数制限

集計階層名称、規格、明細・別紙明細階層部位名、材料名称および規格において、出力する文字数の制限をおこないます。この項目は選択した物件データにおいて、各項目の設定されている文字数を自動判定して、20文字(集計階層名称は24文字)としている場合、チェックマークがつきます。

<ポイント>—出力をおこなう場合、必ずご一読下さい

- ・ 部位の扱い

BCSファイルでは、部位という考え方がありません。このため部位を使用している場合は以下の判断で、上段名称へ出力します。

部位を使用していて、名称上段が未使用(スペース)のとき、部位をそのまま上段名称へ出力します。

部位を使用していて、名称上段も使用しているとき、部位を上段名称にセットした後、2文字のスペースを空け、その後から、上段名称をセットできる限り(32文字に至るまで)セットして出力します。

- ・ 備考の文字数制限

BCSファイルでは備考の文字数が上下段各16文字です。

本システムにおいては上下段各20文字のため、17~20バイトは出力されません。

- ・文字項目の「」扱い
BCSファイルはCSV形式のため、「」（半角のダブルコーテンション）は文字項目の区切りとして認識します。このため名称、規格、単位および備考の各項目において「」が使用されていた場合、この文字はスペースとして出力されます。

- ・スペース行は出力しません
BCSファイルでは、スペース行は出力してはいけないことになっています。
このため、以下の判定をおこない、スペース行と判断した場合は出力しません。
集計階層の場合：名称、規格、単位、備考がすべてスペース、かつ数量、単価、金額が0のとき。
明細、別紙明細階層の場合：上記の条件に部位を加えます。

- ・中計、大計行は出力しません
BCSファイルでは、中計、大計という行種がありません。このため、行種別が中計、大計のデータは出力しません。

- ・数量小数桁数表現につきまして
COMPASSで入力した（画面または印刷で見たままの）桁数で出力されます。例えば、同じ「1」という数値でも、「1」と入力してあれば「1」と、「1. 0」と入力してあれば「1. 0」と、「1. 00」と入力してあれば「1. 00」として出力します。

- ・最大集計階層構造につきまして
BCSファイルでは、集計階層構造の最大は7階層です。ほとんど考えられませんが、本システムにおいては、8階層をすべて集計階層として作成することが可能です。このようなデータは出力できません。

- ・集計階層でのコメントおよび小計行について
BCSファイル仕様において、集計階層における補助行および小計行の扱いが明確ではありません。これは本システムにおいてコメント行および小計行にあたります。今回出力していますが、不正データとして指摘を受ける可能性もあります。
そのため、集計階層において、行属性がコメント行および小計行のデータは作成しないことをおすすめします。

④ EXCELファイル入力

本システムで定める、一定規則に則ったExcelシートから、物件データを作成します。
本システムへ取り込めるExcelシートは、以下の規則に則るものとします。

a. Excelデータ入力画面

[外部入出力]メニューの[Excelファイル入力]を選択すると、下記の画面が表示されます。
以下の情報を入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。

Excelデータ入力画面

- ・登録済のEXCEL入力フォームを選択する場合
既に登録済の入力フォームを参照ボタンを押し選択します。入力ファイル名、COMPASS新規ファイル名を確認しOKを押下します。
- ・新規に条件を入力する場合
 - ・入力ファイル設定
入力ファイルとなるExcelファイルのファイル名のフォルダ名及びファイル名を[参照]ボタンを使用して入力します。
 - ・入力シート選択
指定した入力ファイルにあるシート名が表示されます。
表示されたシート名から入力するシートを、マウスを使用して選択します。
 - ・COMPASS新規ファイル名の設定
本システムで新規に作成するファイル名を直接入力します。
 - ・名称欄文字数 : 本システムの名称欄の文字数を設定します。
 - ・規格欄文字数 : 本システムの規格欄の文字数を設定します。
 - ・単価・金額の小数処理 : EXCELファイル取り込み後の金額欄の計算処理を設定します。

- ・ 1明細の行数 : 見積明細行1行分が構成されるEXCELの行数を設定します。
- ・ 明細順 : 入力するEXCELファイルが明細行のみか、印刷イメージで頁繰り返しかを選択します。
- ・ EXCELシートの行設定
 - ・ 頁の開始行 : EXCEL入力ファイルの1頁目の開始行を設定します。
 - ・ 明細行の開始行 : EXCEL入力ファイルの1頁目の明細行の開始行を設定します。
 - ・ 1頁の行数 : EXCEL入力ファイルの1頁目の1頁の総行数を設定します。
(頁の繰り返しの場合のみ設定)
 - ・ 明細行の行数 : EXCEL入力ファイルの1頁目の明細行の行数を設定します。
(頁の繰り返しの場合のみ設定)
- ・ Excelシートの列設定
取り込む列の指定をおこないます。
 - ・ 1明細の行数が1段の場合、材料上、材料下に違う列を設定した場合COMPASSでは材料上が上段に、材料下が下段にセットされます。
 - ・ 本システムのEXCEL出力で作成されたファイル(階層情報を含む場合)を取込むとき行属性及び階層情報を設定します。

EXCEL入力シートの例

頁繰り返し、明細行一段形式で明細行17行

A	B	C	D	E	F	G	H	
1	記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	2.	土 工 事						
3								
4		根 切	機械	208	m ³	1,100	228,800	
5		残 土 処 分		208	m ³	3,300	679,800	
6		埋 戻 土	購入土	70	m ³	3,850	269,500	
7		杭 間 深 い		1	式		16,500	
8		砕 石 地 盤	厚50	8	m ²	8,800	70,400	
9		ポリエチレンシート敷	①0.15	70	m ²	220	15,400	
10		山 留		1	式		3,300,000	
11		水 管 費		1	式		110,000	
12								
13		値 引		1		-200	-200	
14								
15								
16								
17		小 計					4,688,000	
18								
19	*****	○建設株式会社	*****					NO. 8

<ポイント>

- ・ 複数シートを選択する場合の注意事項
複数シートを選択する場合、それらシートの列構成はすべて同じものとして下さい。
列構成が異なるシートを複数選択して、実行した場合、エラーメッセージが表示されます。
- ・ エラーメッセージが表示された場合、物件データは作成されますが、正常に読み込んだデータまでの内訳書になります。

現在使用しているサーバーに同一物件ファイル(工事名称)が存在する場合は取込はおこなえません。
入力または選択したサーバーコンピュータにCOMPASSのサーバー環境がセットアップされていない場合、または接続できない場合、エラーメッセージが表示されます。

b. Excelデータ構成

本マニュアルとは別にサンプルデータを用意しております。サンプルデータはクライアントシステムをセットアップしました、ハードディスクドライブの以下フォルダに、以下のファイル名で存在します。

i. 印刷イメージ形式

フォルダ名： ¥KWBL¥TWB

ファイル名： Excel入力サンプル（印刷イメージ形式）.xls

サンプルファイル例をもとに、本マニュアルと照らし合わせて、ご覧下さい。

Excelシートを列単位で見た場合、同一列は同じ項目の情報であることが前提になります。

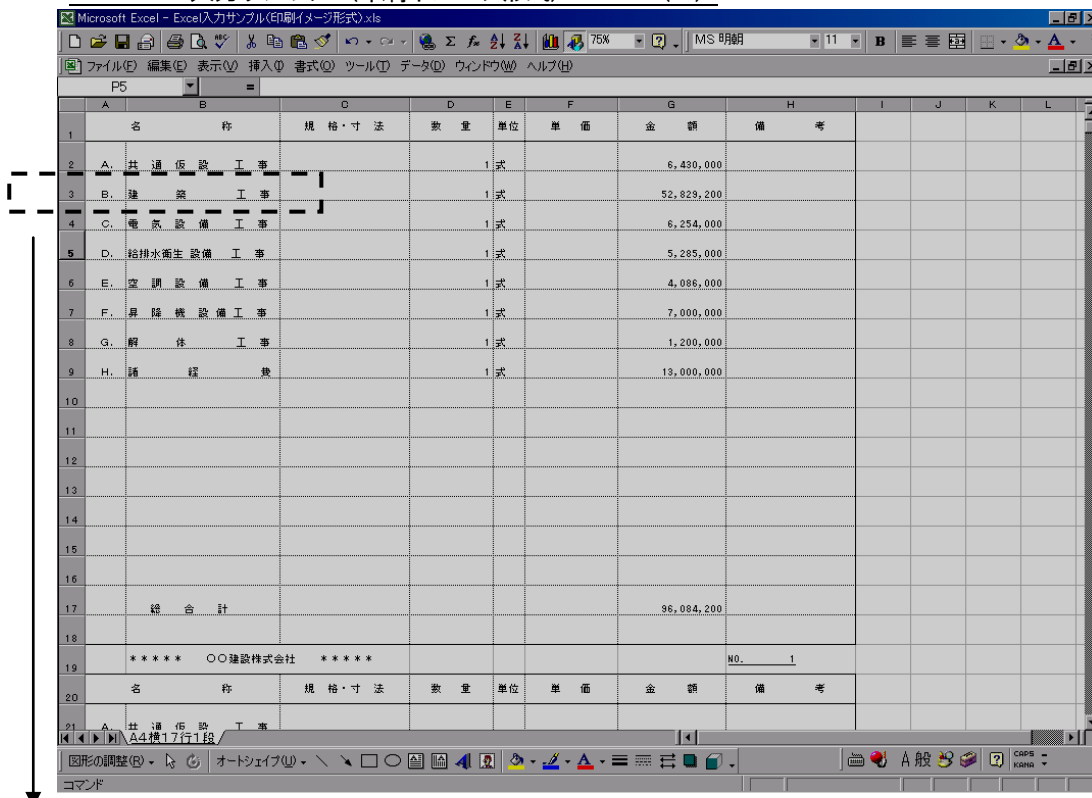
取り込むことが可能な、すべての情報と、基本となります列構成を以下に示します。

取り込む列番号については、Excel入力画面において指定できます。必ずしも、以下の通りの列構成でデータを作成する必要はありません。また取り込み不要な列についてもExcel入力画面において指定できますので、以下の情報すべてが必要とは限りません。

基本列番号	内容	最大文字数（半角文字）
A	階層記号	24文字
B	階層名称、明細階層の材料名称。（材料）	40文字、64文字
C	明細階層の規格。（規格）	40文字、64文字
D	明細階層の数量1。（数量）	整数7桁 小数3桁
E	明細階層の単位1。（単位）	4文字
F	明細階層の単価1。（単価）	整数10桁
G	明細階層の金額1。（金額）	整数12桁
H	明細階層の備考。（備考）	40文字

・階層記号と階層名称で自動的に階層を作成しますので、集計データ部の階層記号と階層名称と明細部のタイトルとなる階層記号と階層名称を一致させて下さい。

Excel入力サンプル（印刷イメージ形式）.xls（1）



Microsoft Excel - Excel入力サンプル(印刷イメージ形式).xls

MS 明朝 11

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L				
名	称	規	格・寸	法	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	
39															
40	B. 建 築 工 事														
41															
42	1. 直 接 仮 設 工 事				1	式				2,326,000					
43	2. 土 工 事				1	式				4,689,200					
44	3. 杭 工 事				1	式				3,916,000					
45	4. コンクリート 工 事				1	式				16,044,000					
46	5. 鉄 筋 工 事				1	式				5,127,000					
47	6. 組 練 工 事				1	式				16,000					
48	7. 防 水 工 事				1	式				1,014,000					
49	8. 石 ・ 搬 石 工 事				1	式									
50	9. タ イ ル 工 事				1	式				1,643,000					
51	10. 木 工 事				1	式				620,000					
52	11. 屋 根 外 装 工 事				1	式				614,000					
53	12. 金 屋 工 事				1	式				3,212,000					
54	13. 左 官 工 事				1	式				1,605,000					
55	14. 木 製 建 具 工 事				1	式				39,000					
56	15. 金 屋 製 建 具 工 事				1	式				5,623,000					
57	***** ○建設株式会社 *****										NO.	3			
58	名	称	規	格・寸	法	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
59	16. ガ ラ フ 工 事				1	式				2,326,000					

図形の調整 (F) オートシェイプ (W) コマンド

Excel入力サンプル (印刷イメージ形式) .xls (3)

Microsoft Excel - Excel入力サンプル(印刷イメージ形式).xls

MS 明朝 11

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L				
名	称	規	格・寸	法	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	
77															
78	1. 直 接 仮 設 工 事														
79															
80	やりかた 暴 出 し				1	式				165,000					
81	外 部 足 場				1	式				1,287,000					
82	内 部 足 場				1	式				187,000					
83	兼 入 構 台				1	式									
84	安 全 設 備				1	式				627,000					
85	義 生 費				1	式				121,000					
86	雑 仮 設				1	式				539,000					
87															
88															
89															
90															
91															
92															
93	小 計									2,326,000					
94															
95	***** ○建設株式会社 *****										NO.	5			
96	名	称	規	格・寸	法	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
97	?	+	T	事											

図形の調整 (F) オートシェイプ (W) コマンド

Excelファイル入力条件設定画面 (印刷イメージ形式)

Excelファイル入力

EXCEL入力フォーム

入力情報 A 4 横 1 7 行 1 段

フォルダ

入力ファイル

入力シート

COMPASS新規ファイル

名称欄文字数 20 32

規格欄文字数 20 32

単価・金額の小数処理 切り捨て 四捨五入 切り上げ

EXCELシートの形式

入力データ形式

印刷イメージ形式

行属性と階層情報を自動判定する

COMPASS Ver3 EXCEL入力ファイル形式

階層情報を階層名称とする

1 明細の行数 一段 二段

明細順 明細行の繰り返し 頁の繰り返し

EXCELシートの行設定

頁の開始行 1 頁の総行数

明細行の開始行 明細行の総行数 1 頁の内訳明細行数

EXCELシートの列設定

材料上 規格上 備考上

明細項目情報

項目	記号	部位	材料下	規格下	数量	単位	単価	金額	備考下	行属性
列	A	B	C	D	E	F	G	H		M

(取り込む列をA~IVで指定。取り込み不要の列はスペースとする。)

階層情報

階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8
N	O	P	Q	R	S	T	U
階層9	階層10	階層11	階層12	階層13	階層14	階層15	
V	W	X	Y	Z	AA	AB	

ii. COMPASS3形式 (注: 階層1の情報はExcelファイルに入力して下さい。)

フォルダ名: ¥KWBL¥TWB

ファイル名: Excel入力サンプル (COMPASS3形式).xls

サンプルファイル例をもとに、本マニュアルと照らし合わせて、ご覧下さい。

なお、サンプルファイルのシート構成は、

工事工程ごとにシートを分け入力した例 (シート名: サンプル1~4)、

工事工程ごとにシートを分けることなく、1シートにすべてに工事項目を入力した例 (シート名: 全データ)、

となっております。

Excelシートを列単位で見た場合、同一列は同じ項目の情報であることが前提になります。

取り込むことが可能な、すべての情報と、基本となります列構成を以下に示します。

取り込む列番号については、Excel入力画面において指定できます。必ずしも、以下の通りの列構成でデータを作成する必要はありません。また取り込み不要な列についてもExcel入力画面において指定できますので、以下の情報すべてが必要とは限りません。

基本列番号	内容	最大文字数 (半角文字)
A	集計階層となる第1階層名称。(階層1)	24文字
B	集計階層となる第2階層名称。(階層2)	24文字
C	集計階層となる第3階層名称。(階層3)	24文字
D	明細階層のコメント行名称。(コメント)	40文字、64文字
E	明細階層の部位名。(部位)	24文字
F	明細階層の材料名称。(材料)	40文字、64文字
G	明細階層の規格。(規格)	40文字、64文字
H	明細階層の数量1。(数量)	整数7桁 小数3桁
I	明細階層の単位1。(単位)	4文字
J	明細階層の単価1。(単価)	整数10桁
K	明細階層の金額1。(金額)	整数12桁
L	明細階層の備考。(備考)	40文字

・Excelデータ1行を1行分のデータとして作成します。

- Excelデータには、データの終わり以外にスペース行を作成しないで下さい。データの途中にスペース行が存在する場合、スペース行より前の行データのみ取り込まれます。
- Excel入力画面において、階層1、階層2および階層3列として指定した列に、データが入力されている行は、それらを第1階層、第2階層、第3階層の集計階層データとして作成します。このとき、数量、単位以外の情報は取り込まれません。数量、単位に入力データがない場合、数量=1、単位=式として作成されます。
- 作成されるデータの最大階層構成は、第1、~第7階層を集計階層、第8階層を明細階層となります。別紙明細階層は作成できません。Excel入力画面において、取り込む列を指定することができますので、必ずしも、階層2、~階層7列の情報が必要とは限りません。
- 明細階層行には階層列の入力は不要です。Excel入力画面において階層列として指定した列に入力があつた場合、その行は集計階層データとして扱います。
- 明細階層の材料、規格、備考は取り込む際に、入力されている文字数を判断して、自動で上下段に割り振ります。上下振り分けの判定は、入力文字数が20文字または32文字以下の場合、下段へ、20文字または32文字より多い場合、前半20文字分または32文字分を上段へ、残りを下段として取り込みます。Excelデータとしては、上下段を意識することなく、セルに対して左詰でデータを入力して下さい。
- Excelデータにおける行データの構成は、集計階層データとなる階層1、階層2、その下階層となる階層3、明細階層データ行を作成します。集計階層を変更する場合、上記の行構成を続け、明細階層データを挟み込むような行データを作成します。集計階層データは必須です。

Excel入力サンプル (COMPASS3形式) .xls

項目	記号	部位	材料下	規格下	数量	単位	単価	金額	備考下	行属性	
列	A	B	C	D	E	F	G	H	I	M	
1		建築工事									
2		直接仮設工事									
3					やかた	畢出し		1 式	165,000	165,000	
4					外部	足場		1 式	1,287,000	1,287,000	
5					内部	足場		1 式	187,000	187,000	
6					乗入	構台		1 式	0	0	
7					安全	設備		1 式	627,000	627,000	
8					養生	費		1 式	121,000	121,000	
9					雑	仮設		1 式	539,000	539,000	
10		土工事									
11					根切	機械		206 m3	1,100	226,600	
12					残土	処分		206 m3	3,300	679,800	
13					埋戻	土		70 m3	3,850	269,500	
14					杭間	深		1 式	16,500	16,500	
15					砕石	地業		厚50	8,800	70,400	
16					ポリエチレン	シート敷		厚0.15	70 m2	220	15,400
17					山留			1 式	3,300,000	3,300,000	
18					水替	費		1 式	110,000	110,000	
19		杭工事									
20					場所	打杭		700φ L=8.9	5 本	0	0
21					場所	打杭		800φ L=8.9	3 本	0	0
22					場所	打杭		1000φ L=8.9	4 本	0	0
23					ミニ	アース	杭工事費	1 式	2,695,000	2,695,000	
24					杭	コンクリート		FC-180	67 m3	12,700	850,900
25					杭	鉄筋		4.8 t	42,900	205,820	
26					杭頭	処理費		1 式	165,000	165,000	
27		コンクリート工事									
28					躯体	コンクリート		FC-210	306 m3	12,600	3,843,000
29					捨	コンクリート		FC-135	4 m3	11,900	47,600
30					シン	ダー	コンクリート		18 m3	14,900	268,200
31					コン	クリート	打手間		1 式	660,000	660,000
32					ポン	プ	車	損料	1 式	660,000	660,000
33					普	通	型	枠	1516 m2	3,850	5,836,600

Excelファイル入力条件設定画面 (COMPASS3形式)

Excelファイル入力

EXCEL入力フォーム

入力情報 参照

フォルダ 参照

入力ファイル 参照

入力シート マウスによるクリック
Ctrl+クリック
Shift+クリック
にて選択

COMPASS新規ファイル 物件番号

名称欄文字数 20 32

規格欄文字数 20 32

単価・金額の小数処理
 切り捨て 四捨五入 切り上げ

EXCELシートの形式

入力データ形式
 印刷イメージ形式
 行属性と階層情報を自動判定する

COMPASS Ver3 EXCEL入力ファイル形式
 階層情報を階層名称とする

1 明細の行数
 一段 二段

明細順
 明細の繰り返し 頁の繰り返し

EXCELシートの行設定

頁の開始行 1 頁の総行数

明細行の開始行 明細行の総行数 1 頁の内訳明細行数

EXCELシートの列設定

階層情報

材料上	規格上	備考上	行属性	階層1	階層2	階層3	階層4	階層5	階層6	階層7	階層8						
			N	O	P	Q	R	S	T	U							
項目	記号	部位	材料下	規格下	数量	単位	単価	金額	備考下	行属性	階層9	階層10	階層11	階層12	階層13	階層14	階層15
列	A	B	C	D	E	F	G	H		M	V	W	X	Y	Z	AA	AB

(取り込み列をA~IVで指定。取り込み不要の列はスペースとする。)

OK 終了

(7) オプション(0)の機能

ここでは、メニュー順に従い、以下の手順で説明します。

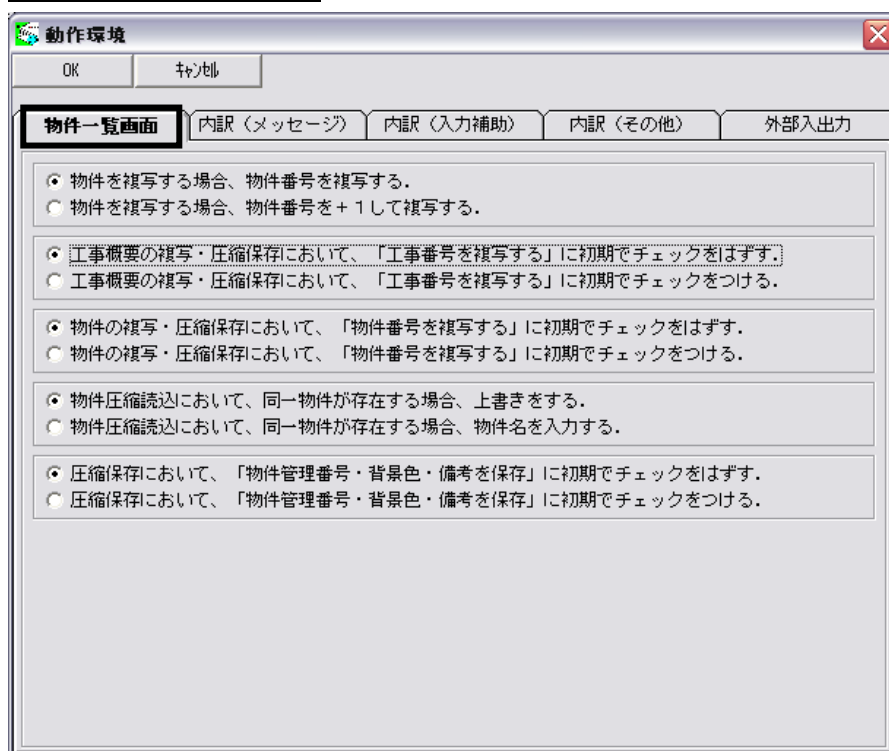
- ① 動作環境設定
- ② マスター環境設定・名称マスタ
- ③ マスター環境設定・単価マスタ
- ④ 印刷フォームタイプ
- ⑤ データリスト不整合チェック
- ⑥ データ情報更新
- ⑦ バージョン情報

①動作環境設定

端末毎の実行予算Lightの動作環境を設定します。

ここでは、タブの順に説明します。

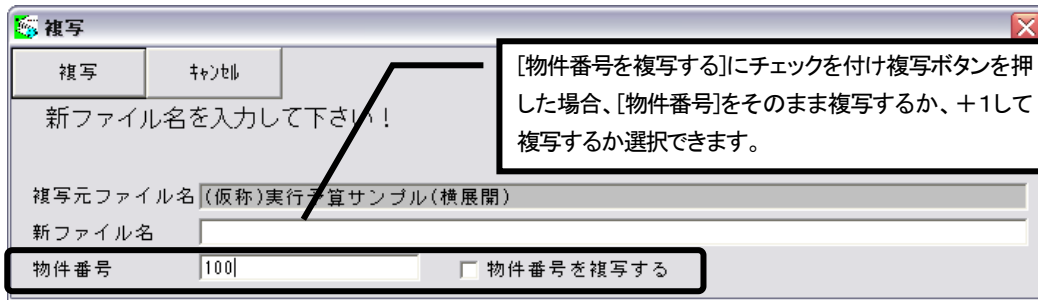
動作環境設定・物件一覧画面



[オプション(0)]メニューの[動作環境設定]を選択すると上記の画面が表示されます。

[物件一覧画面]タブを選択すると、上記の画面が表示されます。

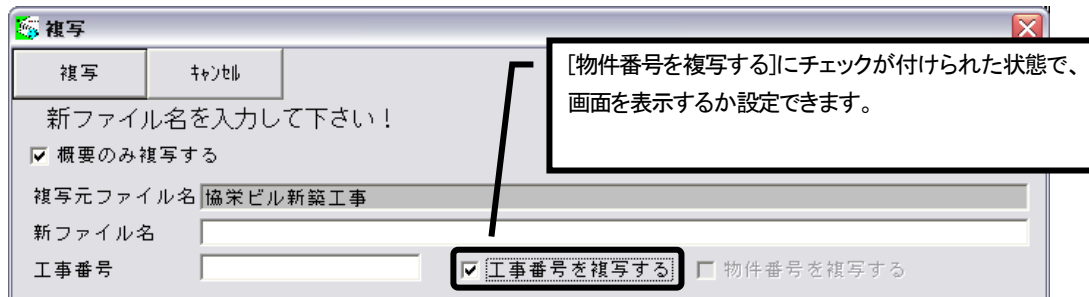
- ・ 物件を複写する場合、物件番号を複写する。
物件複写を[物件番号を複写する]にチェックを付けて実行した場合、物件番号に入力された物件番号と同一の番号を、新たに複写された物件に付与します。
- ・ 物件を複写する場合、物件番号を+1して複写する。
物件複写を[物件番号を複写する]にチェックを付けて実行した場合、物件番号に入力された物件番号+1の番号（使用されていない番号）を、新たに複写された物件に付与します。ただし整数値に限ります。また複写画面で物件番号を編集した場合、+1されず入力したままの番号が反映されます。



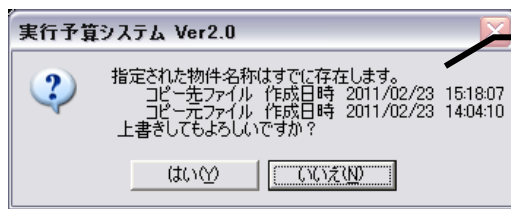
- ・工事概要の複製において、「工事番号を複製する」に初期でチェックをはずす。
工事概要複製を実行した場合、[工事番号を複製する]のチェックがはずれた状態で画面が表示されます。
- ・工事概要の複製において、「工事番号を複製する」に初期でチェックをつける。
工事概要複製を実行した場合、[工事番号を複製する]のチェックがついた状態で画面が表示されます。



- ・物件の複製において、「物件番号を複製する」に初期でチェックをはずす。
物件複製を実行した場合、[物件番号を複製する]のチェックがはずれた状態で画面が表示します。
- ・物件の複製において、「物件番号を複製する」に初期でチェックをつける。
物件複製を実行した場合、[物件番号を複製する]のチェックが付いた状態で画面が表示します。



- ・ 物件圧縮読込において、同一物件が存在する場合、上書きをする。
同一名称の物件が存在する状態で物件圧縮読込を実行した場合、上書きを確認するメッセージを表示します。

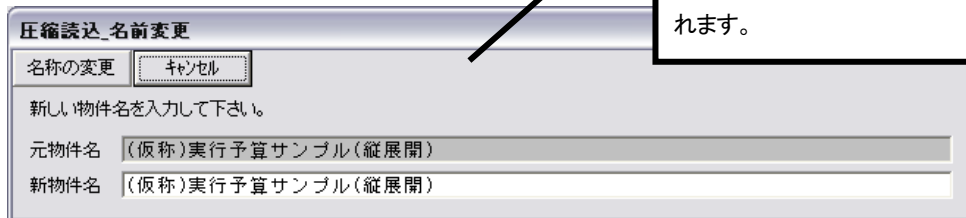


上書きするか確認するメッセージが表示されます。
「はい」を選択すると上書きされます。
「いいえ」を選択すると新たな物件名を入力する画面が表示されます。



- ・ **新物件名には初期値として元物件名が入力されます。**

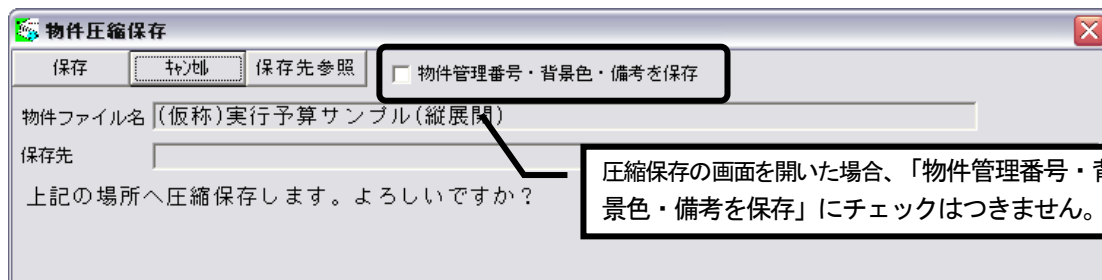
- ・ 物件圧縮読込において、同一物件が存在する場合、物件名を入力する。
同一名称の物件が存在する状態で物件圧縮読込を実行した場合、上書きはせずに新たな物件名を入力する画面を表示します。



上書きの確認はせずに物件名を入力する画面が表示されます。

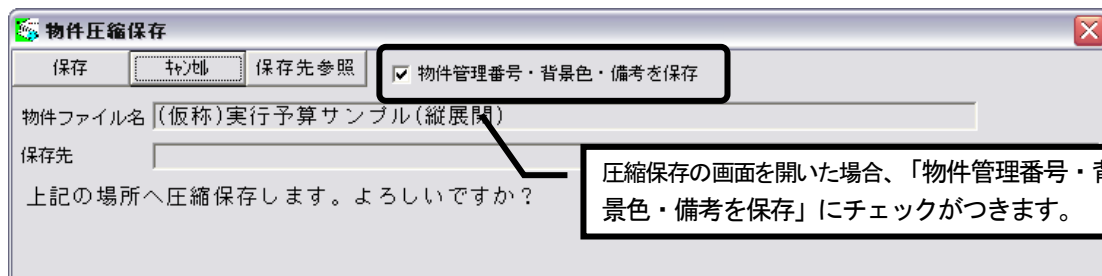
- ・ **新物件名には初期値として元物件名が入力されます。**

- ・ 圧縮保存において、「物件管理番号・背景色・備考を保存」に初期でチェックをはずす。



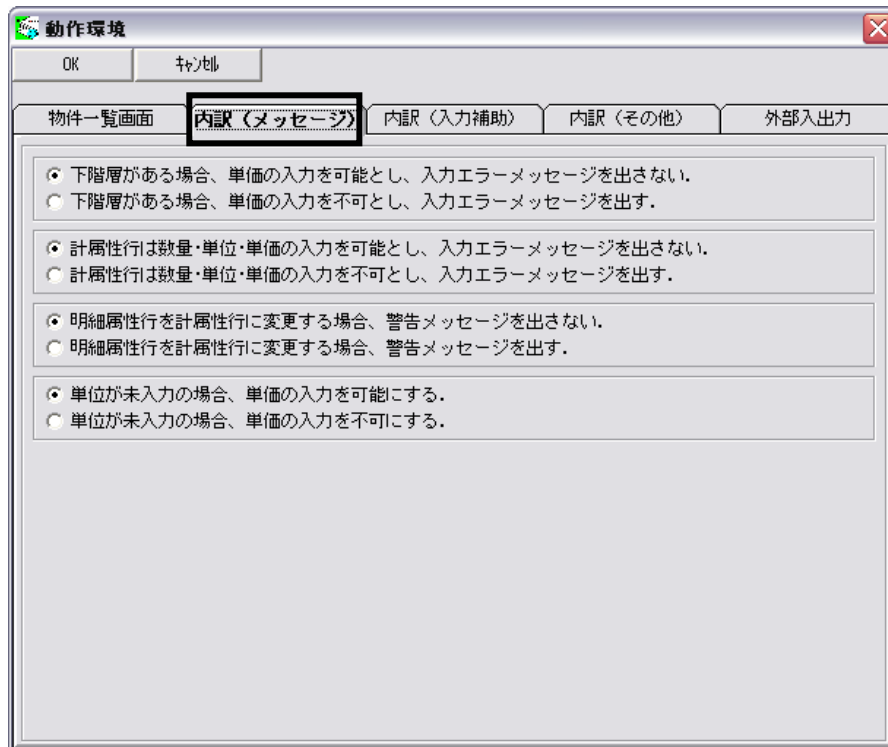
圧縮保存の画面を開いた場合、「物件管理番号・背景色・備考を保存」にチェックはつきません。

- ・ 圧縮保存において、「物件管理番号・背景色・備考を保存」に初期でチェックをつける。



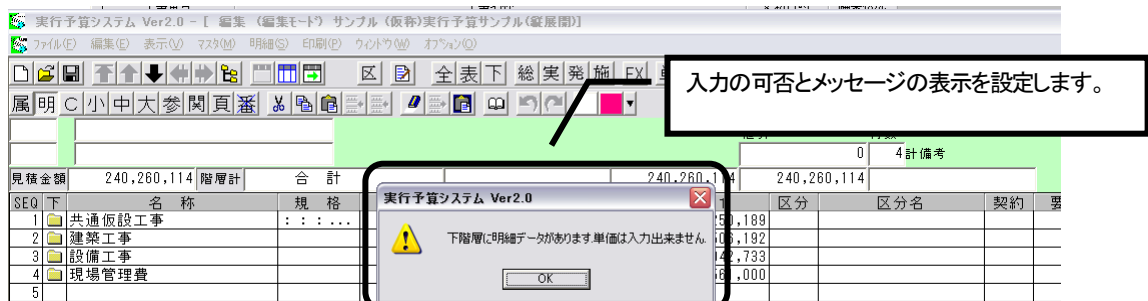
圧縮保存の画面を開いた場合、「物件管理番号・背景色・備考を保存」にチェックが付きます。

動作環境設定・内訳（メッセージ）

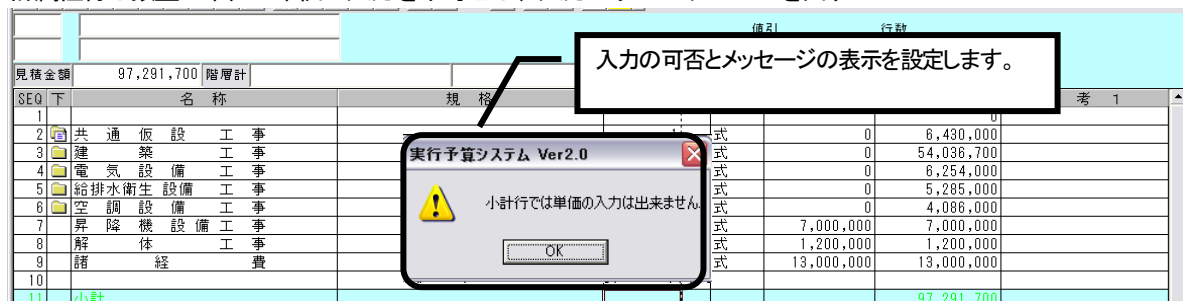


[内訳（メッセージ）]タブを選択すると、上記の画面が表示されます。

- 下階層がある場合、単価の入力を可能とし、入力エラーメッセージを出さない。
特にメッセージは表示されず、単価の入力が可能です。
- 下階層がある場合、単価の入力を不可とし、入力エラーメッセージを出す。



- 計属性行は数量・単位・単価の入力を可能とし、入力エラーメッセージを出さない。
特にメッセージは表示されず、数量・単位・単価の入力が可能です。
- 計属性行は数量・単位・単価の入力を不可とし、入力エラーメッセージを出す。



- ・明細属性行を計属性行に変更する場合、警告メッセージを出さない。
特にメッセージは表示されず、明細属性行に変更できます。
- ・明細属性行を計属性行に変更する場合、警告メッセージを出す。

実行予算システム Ver2.0

別データがありますか上書きしますか?

はい いいえ

入力の可否とメッセージの表示を設定します。

見積金額	240,260,114	階層計	合計	240,260,114	240,	
SEQ	下	名称	規格	数	金額	区分
1		共通仮設工事	:::...		8,250,189	
2		建築工事			190,506,192	
3		設備工事			22,942,733	
4		現場管理費			18,561,000	
5						

- ・単位が未入力の場合、単価の入力を可能にする。
- ・単位が未入力の場合、単価の入力を不可にする。

実行予算システム Ver2.0

単位1が未入力のため単価1を入力できません。

OK

入力の可否とメッセージの表示を設定します。

見積金額	240,260,114	階層計	合計	240,260,114	240,260,	
SEQ	下	名称	規格	数	金額	区分
1		共通仮設工事	:::...		8,250,189	
2		建築工事			190,506,192	
3		設備工事			22,942,733	
4		現場管理費			18,561,000	
5						

動作環境設定・内訳（入力補助）

動作環境

OK キャンセル

物件一覧画面 内訳（メッセージ） **内訳（入力補助）** 内訳（その他） 外部入出力

- 下階層マークをシングルクリックで下階層移動できるようにする。
 下階層マーク、名称欄をダブルクリックで下階層移動できるようにする。
- セル選択中に [BackSpace] キーで、セル内の文字をクリアする。
 セル選択中に [BackSpace] キーで、カーソルが前セルにバック移動する。
- 行を貼り付けした場合、下階層データなしで貼り付けする。
 行を貼り付けした場合、下階層データ付きで貼り付けする。
- 単価移動は、全ての単価に移動する。
 単価移動は、数量・単位が入力されている単価のみ移動する。
- 単位欄を全角モードにする。
 単位欄を半角モードにする。
- コメント属性から明細属性に変更した場合、単価を保持する。
 コメント属性から明細属性に変更した場合、単価を"0"にする。
- 行属性で小数点以下の桁数を変更可能にする。
 行属性で小数点以下の桁数を変更不可にする。

[内訳（入力補助）] タブを選択すると、上記の画面が表示されます。

- ・下階層マークをシングルクリックで下階層移動できるようにする。
- ・下階層マーク、名称欄をダブルクリックで下階層移動できるようにする。

実行予算システム Ver2.0 - [編集 (編集モード) サンプル (仮称) 実行予算サンプル (仮展開)]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) マスク(M) 明細(C) 印刷(P) ウインドウ(W) ヘルプ(H)

全表 下 総実発施 EX 単割 → ↓

属明 C 小中大参関頁番

SEQ	下	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
1		直接仮設工事		0		9,514,693		
2		土工事		928,729		928,729		
3		杭地業工事		0		15,598,003		
4		コンクリート工事		0		17,599,457		
5		型枠工事		0		23,870,811		
6		鉄筋工事		0		23,869,993		
7		既製コンクリート工事		0		88,005		
8		防水工事		0		3,189,977		
9		石工事		0		2,199,973		
10		タイル工事		0		3,300,114		

- ・セル選択中に [BackSpace] キーで、セル内の文字をクリアする。
- ・セル選択中に [BackSpace] キーで、カーソルが前セルにバック移動する。

SEQ	下	名称	規格	数量	単位	単価1	金額1	備考1
1							0	
2		共通仮設工事						
3		建築工事						
4		電気設備工事						
5		給排水衛生設備工事						
6		空調設備工事						
7		昇降機設備工事		1	式	7,000,000	7,000,000	
8		解体工事		1	式	7,000,000	7,000,000	
9		諸経費		1	式	13,000,000	13,000,000	
10								

[BackSpace] キーでの動作を変更します。

- ・行を貼り付けした場合、下階層データなしで貼り付けする。

14	左官工事			式	0	4,730,791	
13	左官工事			式	0	4,730,791	
14	木製建具工事			式	0	714,999	
15	金属製建具工事			式	21,813,036	21,813,036	
16	硝子工事			式	0	1,540,106	
17	塗装工事				0	3,300,652	
18	内外装工事				0	17,599,930	
19	仕上工外工事				0	22,660,025	
20	雑工事				0	12,100,008	
21							
22							
23	金属製建具工事			式	21,813,036	21,813,036	
24							

下階層は貼り付きません。

- ・行を貼り付けした場合、下階層データ付きで貼り付けする。

15	金属製建具工事			式	21,813,036	21,813,036	
16	硝子工事			式	0	1,540,106	
17	塗装工事				0	3,300,652	
18	内外装工事				0	17,599,930	
19	仕上工外工事				0	22,660,025	
20	雑工事				0	12,100,008	
21							
22							
23	金属製建具工事			式	21,813,036	21,813,036	
24							

下階層も貼り付きます。

- ・単価移動は、全ての単価に移動する。
- ・単価移動は、数量・単位が入力されている単価のみ移動する。
数量・単位が入力された単価セルにのみ移動します。

見種金額	100,141,700	階層計	小計	2,850,000	2,850,000		
SFO下	部 位	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額
1		仮 設 建 物		1	式	0	0
2		工 事 施 設		1	式	650,000	650,000
3		機 械 器 具 損 料		0	式	0	0
4		動 力 用 水 費		1		820,000	820,000
5		地 代 家 賃		1	式	0	0
6		環 境 安 全 費		1	式	1,380,000	1,380,000
7		整 理		1	式	0	0
8		運		1	式	0	0
9							

単価移動は、数量・単位が入力されている単価のみ移動します。

- ・単価欄を全角モードにする。
単価セルに入力する場合、全角モードになります。
- ・単価欄を半角モードにする。
単価セルに入力する場合、半角モードになります。
- ・コメント属性から明細属性に変更した場合、単価を保持する。
コメント属性から明細属性に変更した場合、そのままの単価で明細属性に変更します。
- ・コメント属性から明細属性に変更した場合、単価を”0”にする。
コメント属性から明細属性に変更した場合、単価を”0”にして明細属性に変更します。
- ・行属性で小数点以下の桁数を変更可能にする。
行属性で小数点以下の桁数を変更可能にした場合、行属性画面で数量小数桁の変更は可能にします。



- ・ 行属性で小数点以下の桁数を変更不可にする。
行属性で小数点以下の桁数を変更不可にした場合、行属性画面で数量小数桁の変更は不可にします。



動作環境設定・内訳（その他）

動作環境

OK キャンセル

物件一覧画面 内訳（メッセージ） 内訳（入力補助） **内訳（その他）** 外部入出力

- 計属性行を明細属性行に変更する場合、属性のみ変更する。
 計属性行を明細属性行に変更する場合、行をクリアする。
- 階層の合計金額を上階層の金額に積上げる。
 階層の合計金額を上階層の単価に積上げる。
- 単位を消した場合、単価をクリアしない。
 単位を消した場合、単価をクリアする。
- UCD1列のタイトルを変更しない。
 UCD1列のタイトルを番号に変更する。
- 割掛け処理において、単位・単価を任意でコピーする。
 割掛け処理において、単位・単価を必ずコピーする。
- 割掛け処理において、対象元と対象先を同じにしない。
 割掛け処理において、対象元と対象先を同じにする。
- 数量マシレーションで単位マスターにない単位は対象外とする。
 数量マシレーションで単位マスターにない単位は対象外としない。
- マシレーションでコメント行の掛率、指定をできないようにしない。
 マシレーションでコメント行の掛率、指定をできないようにする。

[内訳（その他）]タブを選択すると、上記の画面が表示されます。

- 計属性行を明細属性行に変更する場合、属性のみ変更する。

1	共通仮設工事		値引	行数								
見積金額	95,958,007	階層計	小計	2,030,000								
SEQ	下	部位	名称	規格	数量	1	単位	単価	1	0	8	計備考
1			仮設建物		1					0		
2			工事施設		1		式			650,000		
3			機械器具損料		0		式			0		
4			動力用水費		0					820,000		
5			地代家賃		1		式			0		
6			環境安全費		1		式			1,380,000		
7			整理清掃費		1					0		
8			小計		0					0		

属性のみ変更されます。

- 計属性行を明細属性行に変更する場合、行をクリアする。

1	共通仮設工事		値引	行数						
見積金額	102,017,000	階層計	小計	0,700,000						
SEQ	下	部位	名称	規格	数量	1	単位	単価	1	
1			仮設建物		1		式			200,000
2			工事施設		1		式			650,000
3			機械器具損料		1		式			1,300,000
4			動力用水費		1		式			820,000
5			地代家賃		1		式			900,000
6			環境安全費		1		式			1,380,000
7			整理清掃費		1		式			700,000
8			運搬費		1		式			480,000
9										

行はクリアされます。

- ・階層の合計金額を上階層の金額に積上げる。

SEQ	下	番号	名称	規格	数量	1	単位	単価	金額
1		0000	共通仮設工事		1		式	6,430,000	6,430,000
2		0000	建築工事		1		式	52,829,000	52,829,000
3		0000	電気設備工事		1		式	6,254,000	6,254,000
4		0000	給排水衛生設備工事		1		式	5,285,000	5,285,000
5		0000	空調設備工事		1		式	4,086,000	4,086,000
6		0000	昇降機設備工事		1		式	7,000,000	7,000,000
7		0000	解体工事		1		式	1,200,000	1,200,000
8		0000	諸経費		1		式	13,000,000	13,000,000
9		0000							
10		0000	共通仮設工事		1		式	6,430,000	6,430,000

金額に積上げられます。

- ・階層の合計金額を上階層の単価に積上げる。

SEQ	下	番号	名称	規格	数量	1	単位	単価	金額
1		0000	共通仮設工事		1		式	6,430,000	6,430,000
2		0000	建築工事		1		式	52,829,000	52,829,000
3		0000	電気設備工事		1		式	6,254,000	6,254,000
4		0000	給排水衛生設備工事		1		式	5,285,000	5,285,000
5		0000	空調設備工事		1		式	4,086,000	4,086,000
6		0000	昇降機設備工事		1		式	7,000,000	7,000,000
7		0000	解体工事		1		式	1,200,000	1,200,000
8		0000	諸経費		1		式	13,000,000	13,000,000
9		0000							
10		0000	共通仮設工事		1		式	6,430,000	6,430,000

単価に積上げられます。

- ・単位を消した場合、単価をクリアしない。

KYOEI COMPASS for Win Ver6.0 - [編集 (編集モード) 協栄ビル新築工事]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) マスク(M) 明細(S) 印刷(P) ウィンドウ(W) オプション(O)

全表下 単 EX割 → ↓

属明 C 小中大参関頁番

見積金額 102,514,000 階層計 総合計 102,514,000 102,514,000

SEQ	下	番号	名称	規格	数量	1	単位	単価	金額
1		0000	共通仮設工事		1		式	6,430,000	6,430,000
2		0000	建築工事		1		式	52,829,000	52,829,000
3		0000	電気設備工事		1		式	6,254,000	6,254,000
4		0000	給排水衛生設備工事		1		式	5,285,000	5,285,000
5		0000	空調設備工事		1		式	4,086,000	4,086,000
6		0000	昇降機設備工事		1		式	7,000,000	7,000,000
7		0000	解体工事		1		式	1,200,000	1,200,000
8		0000	諸経費		1		式	13,000,000	13,000,000
9		0000							
10		0000	共通仮設工事		1		式	6,430,000	6,430,000

単位を消した場合、単価はクリアされません。

- ・単位を消した場合、単価をクリアする。

KYOEI COMPASS for Win Ver6.0 - [編集 (編集モード) 協栄ビル新築工事]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) マスク(M) 明細(S) 印刷(P) ウィンドウ(W) オプション(O)

全表下 単 EX割 → ↓

属明 C 小中大参関頁番

見積金額 96,084,000 階層計 総合計 96,084,000

SEQ	下	UCD1	名称	規格	数量	1	単位	単価	金額
1		0000	共通仮設工事		1		式	6,430,000	6,430,000
2		0000	建築工事		1		式	52,829,000	52,829,000
3		0000	電気設備工事		1		式	6,254,000	6,254,000
4		0000	給排水衛生設備工事		1		式	5,285,000	5,285,000
5		0000	空調設備工事		1		式	4,086,000	4,086,000
6		0000	昇降機設備工事		1		式	7,000,000	7,000,000
7		0000	解体工事		1		式	1,200,000	1,200,000
8		0000	諸経費		1		式	13,000,000	13,000,000
9		0000							
10		0000	共通仮設工事		1			0	0

単位を消した場合、単価はクリアされます。

・UCD1 列のタイトルを変更しない。

KYOEI COMPASS for Win Ver6.0 - [編集 (編集モード) 協栄ビル新築工事]

見積金額 96,084,000 階層計 総合計 96,084,000 値引 0 行数 10 計備考

SEQ	UCD1	名称	規格	数量	1	単位	1	単価	1	金額	1
1	0000	共通仮設工事		1		式		6,430,000		6,430,000	
2	0000	建築工事		1		式		52,829,000		52,829,000	
3	0000	電気設備工事		1		式		6,254,000		6,254,000	
4	0000	給排水衛生設備工事		1		式		5,285,000		5,285,000	
5	0000	空調設備工事		1		式		4,086,000		4,086,000	
6	0000	昇降機設備工事		1		式		7,000,000		7,000,000	
7	0000	解体工事		1		式		1,200,000		1,200,000	
8	0000	諸経費		1		式		13,000,000		13,000,000	

UCD1 に切替設定します。

・UCD1 列のタイトルを番号に変更する。

KYOEI COMPASS for Win Ver6.0 - [編集 (編集モード) 協栄ビル新築工事]

見積金額 100,141,700 階層計 100,141,700 値引 0 行数 11 計備考

SEQ	番号	名称	規格	数量	1	単位	1	単価	1	金額	1	備考	1
1										0			
2	0000	共通仮設工事		1		式		0		2,850,000			
3	0000	建築工事		1		式		0		54,036,700			
4	0000	電気設備工事		1		式		0		6,254,000			
5	0000	給排水衛生設備工事		1		式		0		5,285,000			
6	0000	空調設備工事		1		式		0		4,086,000			
7	0000	昇降機設備工事		1		式		7,000,000		7,000,000			
8	0000	解体工事		1		式		1,200,000		1,200,000			
9	0000	諸経費		1		式		13,000,000		13,000,000			
10	0000												
11	0000	共通仮設工事		1		式		0		6,430,000			

番号に切替設定します。

- ・割掛け処理において、単位・単価を任意でコピーする。
- ・割掛け処理において、単位・単価を必ずコピーする。

割掛け

処理対象: 単価 | 処理内容: 割掛

処理: 対象元 単価1 × 掛率 100.0 = 対象先 単価2

単価丸め単位

丸め単位	丸め方法
1~9	1 切り捨て
10~99	10 切り捨て
100~999	10 切り捨て
1,000~9,999	10 切り捨て
10,000~99,999	100 切り捨て
100,000以上	1000 切り捨て

割掛けで単位・単価をコピーするか初期値を設定されます。

数量をコピーする
 単位をコピーする

単位をコピーする
 単価をコピーする

- ・割掛け処理において、対象元と対象先を同じにしない。

割掛けおよびシミュレーションでの対象元と対象先を異なるものを設定します。

The image shows two side-by-side screenshots of the '割掛け' (Split) dialog box. Both windows have the title '割掛け' and a close button. The left window has '処理対象' (Processing Target) set to '単価' (Unit) and '処理内容' (Processing Content) set to '割掛' (Split). In the '処理' (Processing) section, '対象元' (Source) is '単価1' and '対象先' (Destination) is '単価2'. The right window has '処理対象' set to '数量' (Quantity) and '処理内容' set to '割掛'. In its '処理' section, '対象元' is '数量1' and '対象先' is '数量2'. Both windows have a '単価丸め単位' (Unit Rounding) table with columns for '丸め単位' (Rounding Unit) and '丸め方法' (Rounding Method). The table is as follows:

丸め単位	丸め方法
1~9	切り捨て
10~99	切り捨て
100~999	切り捨て
1,000~9,999	切り捨て
10,000~99,999	切り捨て
100,000以上	切り捨て

Below the table are checkboxes for '数量をコピーする' (Copy Quantity) and '単価をコピーする' (Copy Unit). The right window also has a '端数丸め方法' (Rounding Method) set to '四捨五入' (Round to Nearest) and a '未登録単位' (Unregistered Unit) section with radio buttons for '計算対象とする' (Treat as Calculation Target) and '計算対象外とする' (Treat as Non-Calculation Target).

- ・割掛け処理において、対象元と対象先を同じにする。

割掛けおよびシミュレーションでの対象元と対象先が同じになるように設定します。

The image shows two side-by-side screenshots of the '割掛け' (Split) dialog box. Both windows have the title '割掛け' and a close button. The left window has '処理対象' (Processing Target) set to '単価' (Unit) and '処理内容' (Processing Content) set to '割掛' (Split). In the '処理' (Processing) section, both '対象元' (Source) and '対象先' (Destination) are set to '単価1'. The right window has '処理対象' set to '数量' (Quantity) and '処理内容' set to '割掛'. In its '処理' section, both '対象元' and '対象先' are set to '数量1'. Both windows have a '単価丸め単位' (Unit Rounding) table identical to the one in the previous image. The right window also has a '端数丸め方法' (Rounding Method) set to '四捨五入' (Round to Nearest) and a '未登録単位' (Unregistered Unit) section with radio buttons for '計算対象とする' (Treat as Calculation Target) and '計算対象外とする' (Treat as Non-Calculation Target).

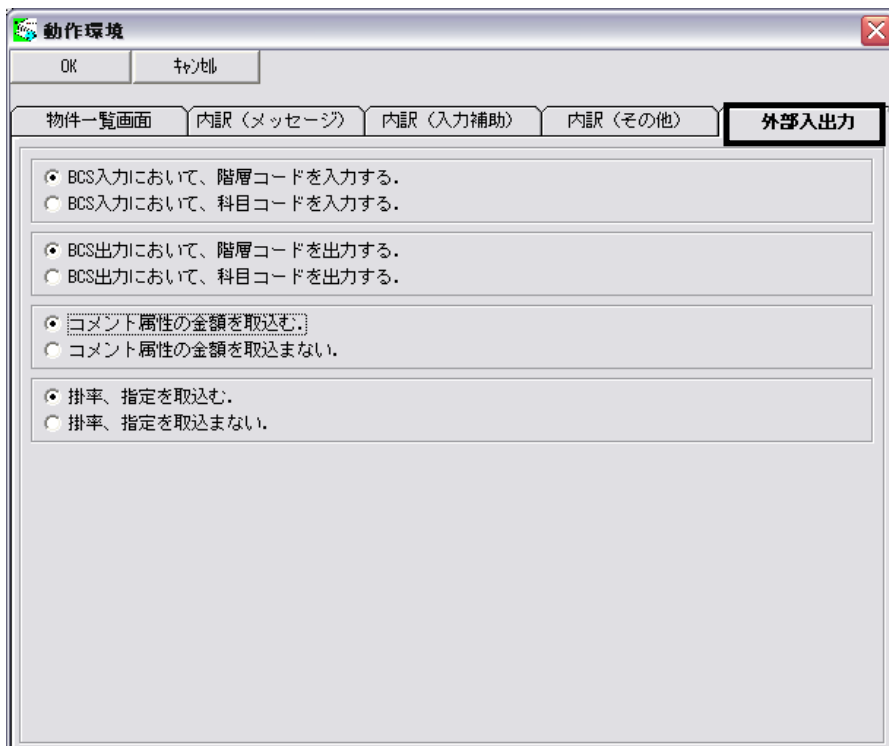
- ・単価シミュレーションで単位マスターにない単価は対象外とする。

単価マスターにない単価を選択した行は単価シミュレーションの対象外になります。

- ・単価シミュレーションで単位マスターにない単価は対象外としない。

単価マスターにない単価を選択した行は単価シミュレーションの対象になります。

動作環境設定・外部入出力



[動作環境設定] を選択し、外部入出力タブを選択すると上記の画面が表示されます。

- ・ BCS 入力において、階層コードを入力する。
科目コードではなく、階層コードを入力します。
- ・ BCS 入力において、科目コードを入力する。
階層コードではなく、科目コードを入力します。
- ・ BCS 出力において、階層コードを出力する。
科目コードではなく、階層コードを出力します。
- ・ BCS 出力において、科目コードを出力する。
階層コードではなく、科目コードを出力します。

②マスター環境設定

物件を新規で作成した際に名称マスタ参照で使用する内訳名称マスタを設定します。

また、ここで設定した名称マスタファイルが [マスタ管理 (M)] の [メンテ] において編集対象となります。

マスター環境設定・名称マスタ



[マスター環境設定] → [名称マスタ] を選択すると、上記の画面が表示されます。

名称マスタとして使用するファイル名を選択し、[OK] ボタンをクリックして下さい。

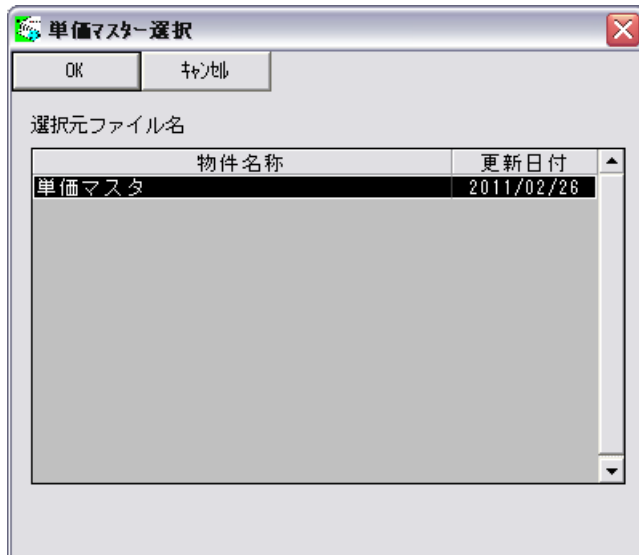
[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定はおこなわずに物件一覧 (メインメニュー) に戻ります。

③マスタ環境設定・単価マスタ

物件を新規で作成した際にマスタ参照及び単価マスタ自動セットで使用する単価マスタを設定します。

また、ここで設定した単価マスタファイルが [マスタ管理 (M)] の [メンテ] において編集対象となります。

環境設定・単価マスタ



[環境設定] → [単価マスタ] を選択すると、上記の画面が表示されます。

単価マスタとして使用するファイル名を選択し、[OK] ボタンをクリックして下さい。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定はおこなわずに物件一覧 (メインメニュー) に戻ります。

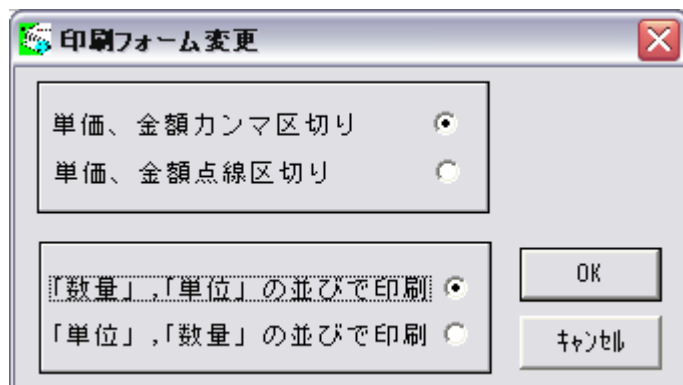
④印刷フォームタイプ

本システムでは以下の4種類の内訳書レイアウトで印刷できます。

- ・単価、金額カンマ区切り 「数量」、「単位」並び
- ・単価、金額カンマ区切り 「単位」、「数量」並び
- ・単価、金額点線区切り 「数量」、「単位」並び
- ・単価、金額点線区切り 「単位」、「数量」並び

これら4種のうち1種を選択して印刷することになります。

印刷フォームタイプ



[印刷フォームタイプ] を選択すると、現在システムで設定されているレイアウト情報で画面が表示されます。

印刷フォームタイプを選択します。

[OK] ボタンをクリックすると、以後選択したレイアウトで印刷をおこないます。正常終了すると、メインメニューに戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、印刷フォームタイプは変更せずに、物件一覧（メインメニュー）に戻ります。

セットアップ直後の既定値は、「単価、金額カンマ区切り」「数量、単位の並びで印刷」です。

⑤データリスト不整合チェック

物件一覧には、パソコン上の特定フォルダ（物件データが格納されるフォルダ）に存在する物件ファイルを表示しています。

何らかの影響により、フォルダに格納されているにも関わらず、物件一覧に表示されない、または物件一覧に表示されているにもかかわらず、実際のファイルとして存在しない状態になった場合、データリスト不整合チェックをおこないます。

[データリスト不整合チェック] を選択すると、処理を開始します。

表示されている物件一覧に問題がない場合、不整合データがありませんとメッセージが表示されます。

物件一覧と、実際に格納されているフォルダの内容とが異なった場合、メッセージが表示されます。

確認メッセージ画面の [OK] ボタンをクリックすると、メインメニューに戻ります。

また何らかの影響により、不整合データが登録されていた工事概要が存在しない状態になった場合、データリスト不整合一覧が表示されます。

[移動] ボタンをクリックすると、メインメニューで選択されている工事概要に移動します。

[閉じる] ボタンをクリックすると、メインメニューに戻ります。

データリスト不整合 確認メッセージ



データリスト不整合一覧

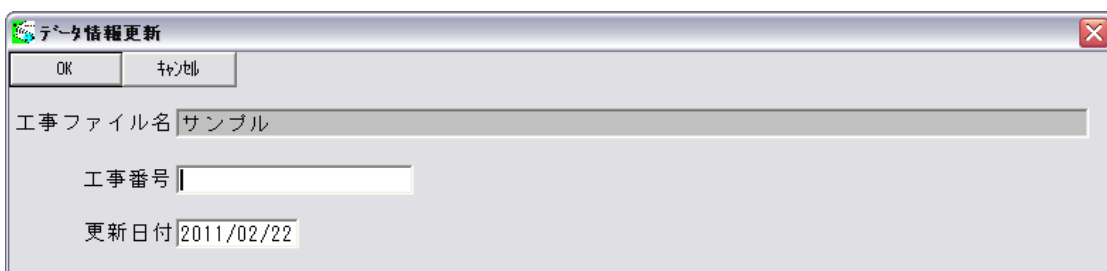


⑥データ更新

工事概要ファイルの工事番号と更新日付または物件ファイルの物件管理番号と更新日付を更新する画面を表示します。

- 工事概要一覧を選択した後に画面を表示すると、工事番号と更新日付を更新できる画面が表示されます。
- 物件一覧を選択した後に画面を表示すると、物件番号と更新日付を更新できる画面が表示されます。

データ情報更新



入力できる各桁数は物件新規作成と同じです。

⑦バージョン情報

クライアントシステムのバージョン情報を表示します。

バージョン情報



[バージョン情報] を選択すると、上記ウィンドウが表示されます。

[OK] をクリックすると、物件一覧（メインメニュー）に戻ります。

付録

1. BCS入力 エラーメッセージについて

BCSファイルを読み「BCS. CSV仕様」に反する行データを発見した場合、エラーメッセージを表示します。

エラーメッセージは、違反があった行数とその内容が表示されます。

以下に表示されるメッセージ内容を示します。

- 1) 層番号：○に対応した○層が数字でない。
内容：○層フィールドが数字ではない。○には1～7が入ります。
- 2) 階層（1階から7層）の不整合。
内容：1層から7層までのうち、いずれかが不正。
- 3) 層番号がない。
内容：先頭および最終行以外は必ず層番号が必要です。
- 4) 層番号が1から始まっていない。
内容：層番号は1から始まっていなければならない。
- 5) 親行に対して層番号が+1でない。
内容：層番号は必ず親行より「+1」でなければならない。
- 6) 層番号が10以上か不正文字。
内容：層番号は1～9でなければならない。
- 7) 層番号が親の層番号と同じである。
内容：層番号は必ず親行より「+1」でなければならない。
- 8) 層番号が数字でない。
内容：層番号フィールドが数字と認識できない。
- 9) 通番号が1から始まっていない。
内容：通番号は「1」から始まっていなければならない。
- 10) 通番号が連番でない。
内容：通番号は前行の通番号の数値より「+1」でなければならない。
- 11) 通番号が数字でない。
内容：通番号フィールドが数字と認識できない。
- 12) 行種：PまたはTの通番号は不要。
内容：行種：Tのとき、通番号は不要である。
- 13) 行種エラー。
内容：この行の行種はA、P、S、Tのいずれかでなければならない。

- 14) 行種：Nが発生する前にQ、B、E、は発生できない。
内容：代価親行、別紙親行またはエレメント親行の入れ子が閉じていない状態で、さらに、これらの行種が発生した。
- 15) 最初の子データに行種：Nは発生できない。
内容：代価親行、別紙親行またはエレメント親行が発生する前に、行種：Nが発生している。
- 16) 意味不明な行種
内容：D、A、P、Q、B、E、N、SまたはT以外の行種が使用されている。
- 17) 行種：Nが2行続いている
内容：Nが2行続くことはない。
- 18) 数量：数字でないか小数桁が4桁以上。
内容：数量フィールドが数字でないか小数3桁以上である。
- 19) 単価：数字でないか小数桁がある。
内容：単価フィールドが数字でないか小数桁が存在する。
- 20) 行種：A、N、SまたはTのとき、〇〇は不要。
内容：上記の行種の場合、〇〇フィールドに入力があってはいけない。
〇〇には、数量、称号または単価が入ります。
- 21) 数値フィールドにダブルコーテーションが使用されている。
内容：1層～7層、層番号、通番号、数量または単価フィールドにダブルコーテーションが使用されている。
- 22) 文字フィールドに区切り記号以外でダブルコーテーションが使用されている。
内容：行種、下段名称、下段仕様、称号、下段備考、上段名称、上段仕様または上段備考フィールドに区切り記号以外でダブルコーテーションが使用されている。
- 23) 〇〇〇〇：桁数オーバー。
内容：〇〇〇〇フィールドの桁数がオーバーしている。
〇〇〇〇には、各フィールド名が入ります。
- 24) フィールド数が20以上（カンマが19以上）
内容：カンマが19以上存在する。カンマは18でなければならない。
- 25) フィールド数が19未満（カンマが18未満）
内容：カンマが18未満である。カンマは18でなければならない。
- 27) 〇〇〇〇：文字列終了区切りダブルコーテーションの後が「,」でない。
内容：〇〇〇〇フィールドがダブルコーテーションで文字列終了したにも関わらず、直後がフィールド区切りカンマになっていない。
〇〇〇〇には各文字フィールド名が入ります。

28) 1行もデータがないか、CSVファイル形式ではありません。

内容：指定したファイルにデータが1行も存在しないか、CSVファイル形式として読み込むことはできません。

29) ファイルXXXXXXXXがありません。

内容：BCS. CSVファイルとして指定した、ファイル名では、ファイルは存在しません。
XXXXXXXXには、指定したファイル名が入ります。

Microsoft Windows は 米国 Microsoft Corporation の商標です。

その他本書に記載される会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

実行予算作成システム L i g h t 利用者マニュアル

発行日

2017年 11月 1日 第1版第1刷発行

発行所

協栄産業株式会社

建設ソリューション事業部

建設第1部 営業課

〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1

TEL 03(3767)2312 FAX 03(3767)2318

URL <http://www.kyoei.co.jp/fks/>

-
- ・本書は改善のため事前予告なしに変更することがあります。
 - ・本システムの運用による影響、結果については、当社はその責任を一切負いません。
 - ・無断転載を禁じます。